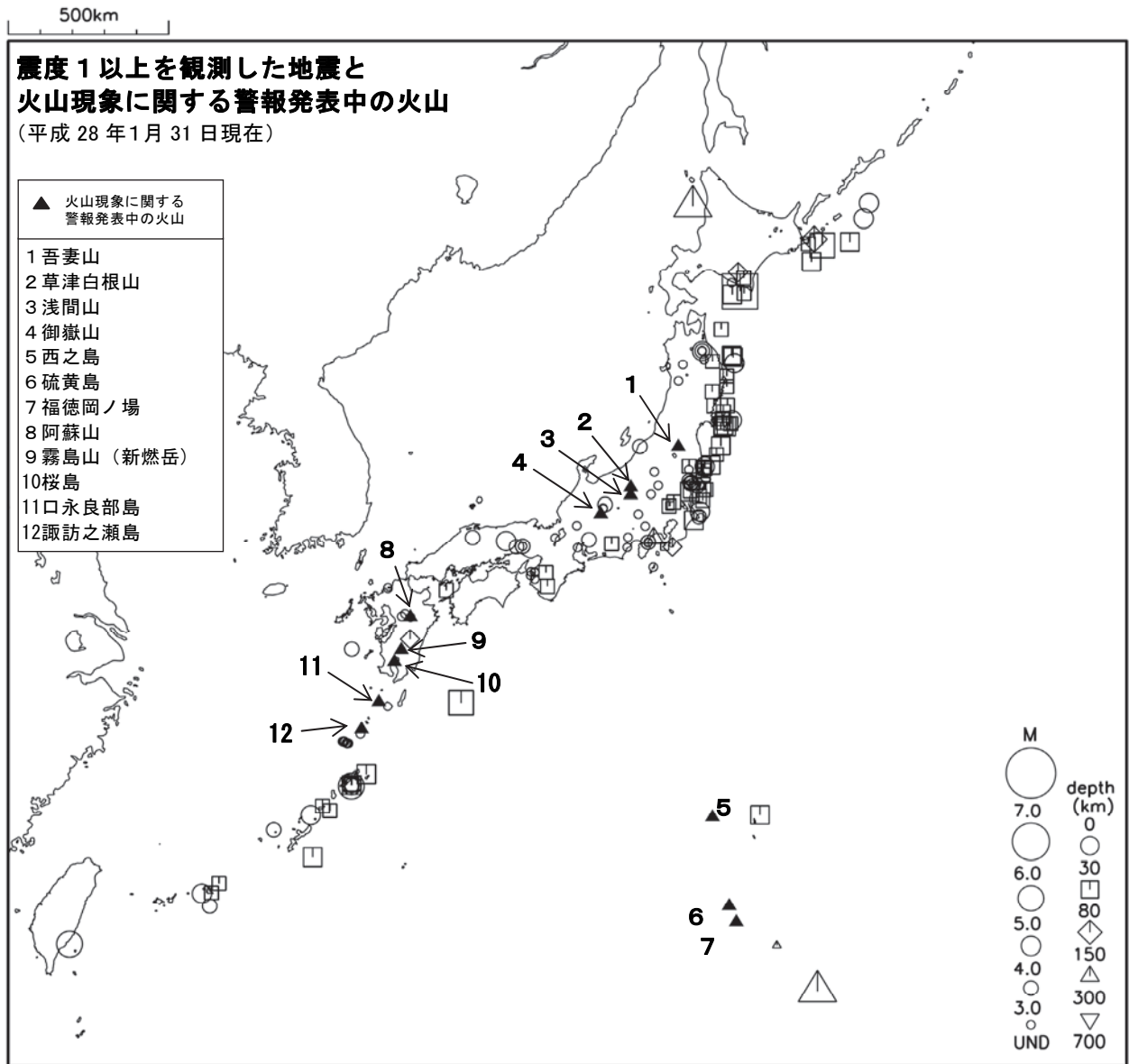


平成 28 年 1 月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

January 2016



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 平成 28 年 1 月 31 日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の 47 都道府県、8 政令指定都市。

注** 平成 28 年 1 月 31 日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県及び神奈川県温泉地学研究所、気象庁のデータを基に作成している。また、IRIS の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用している。

□ 本書利用上の注意

・ 震央分布図中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）

・ 発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

・ 発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸） T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

・ Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・ M-T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・ 震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1 月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・ 震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・ 地震の震源要素等について

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

・ 火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

・ 本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用した（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。また、震央分布図等に表記した活断層は、地震調査研究推進本部の長期評価による。

・ 図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	7
東北地方の地震活動	11
関東・中部地方の地震活動	15
近畿・中国・四国地方の地震活動	16
九州地方の地震活動	17
沖縄地方の地震活動	19
その他の地域の地震活動	20
● 東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動と 地震防災対策強化地域判定会検討結果	22
● 日本の主な火山活動	41
北海道地方	43
東北地方	44
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	44
九州地方及び南西諸島	47
資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ	50
● 世界の主な地震	54
● 世界の主な火山活動	58
● 付録	
1. 震度 1 以上を観測した地震の表	59
2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	80
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	81
4. 緊急地震速報の提供状況	82
5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震	86
6. 地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名	89
● 正誤表	94

●日本及びその周辺での主な地震活動

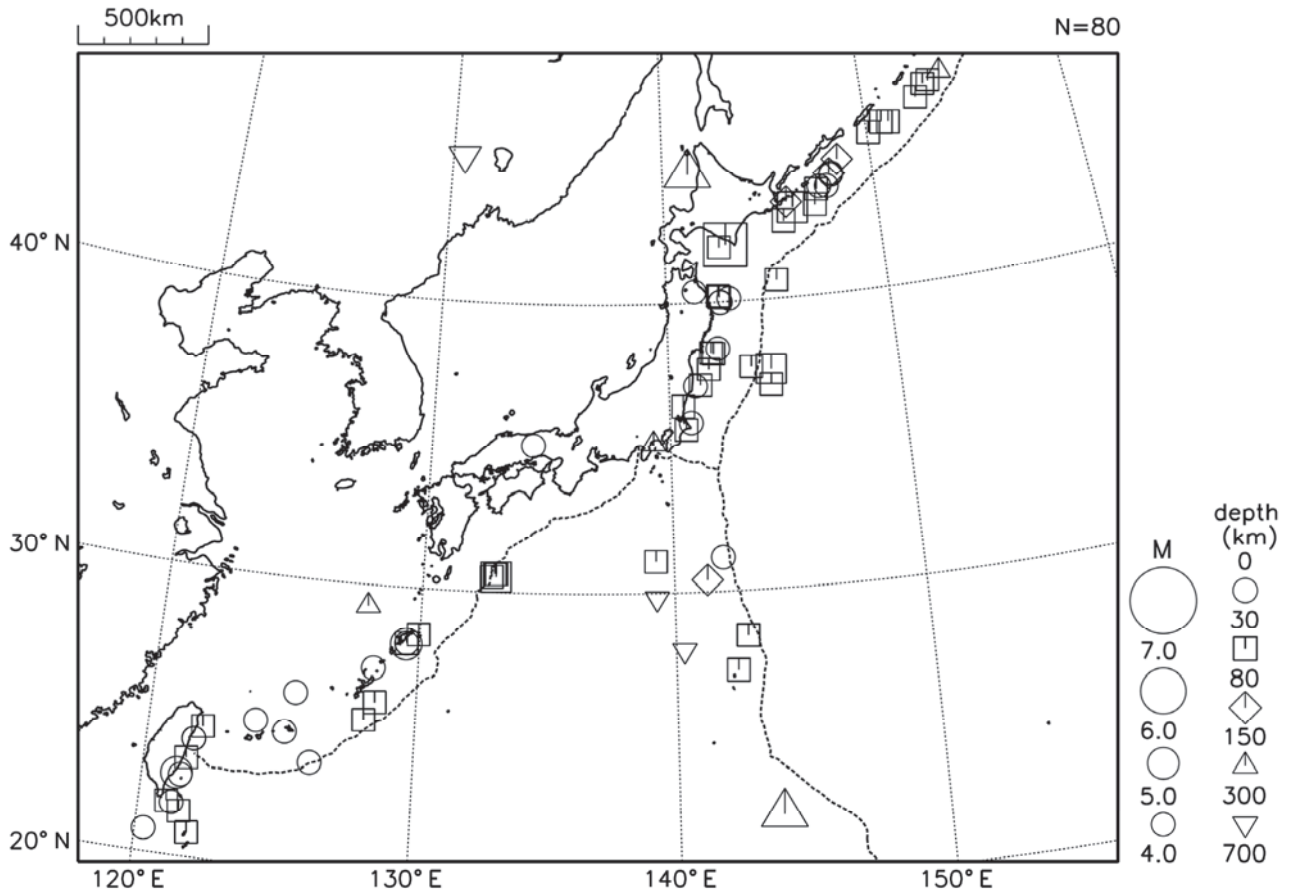


図 1 平成 28 年 1 月に日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の震央分布図

1 月 11 日 15 時 26 分に青森県三八上北地方で M4.6 の地震が発生した。この地震により、青森県南部町で最大震度 5 弱を観測したほか、北海道、青森県、岩手県、秋田県で震度 4～1 を観測した。

1 月 14 日 12 時 25 分に浦河沖で M6.7 の地震が発生し、気象庁は緊急地震速報（警報）を発表した。この地震により、北海道函館市、新冠町、浦河町、様似町、青森県東通村で震度 5 弱を観測したほか、北海道から東北地方、関東地方にかけて震度 4～1 を観測した。この地震により、負傷者 2 人の被害が生じた（総務省消防庁による）。

平成 28 年（2016 年）1 月に日本国内で震度 1 以上を観測した地震の回数は 167 回（12 月は 179 回）、日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の回数は 80 回（12 月は 73 回）であった。

1 月中に発生した主な地震を表 1（次ページ）に示す。1 月中に震度 5 弱以上を観測した地震は 2 回であった。津波を観測した地震はなかった（12 月は震度 5 弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった）。

「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震は次第に少なくなってきたものの、余震域の沿岸に近い領域を中心に、本震発生以前に比べ活発な活動が継続している。1 月中に発生した M5.0 以上の地震の回数は 1 回（12 月は 0 回）であった。

表 1 平成 28 年 1 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注 1）（注 2）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M _w (注 3)	M H S T (注 4)	最大震度・被害状況等（注 5）	掲載 ページ
1	1 6 6 59	硫黄島近海	6.0	5.6	M	1：東京都 小笠原村母島	21
2	1 9 23 12	奄美大島近海	5.4	5.4	. . . S .	4：鹿児島県 瀬戸内町請島* など 1 県 5 地点	4、18
3	1 11 15 26	青森県三八上北地方	4.6	4.3	. . . S .	5弱：青森県 青森南部町平*	4、13
4	1 12 2 8	北海道北西沖	6.2	6.2	M	3：青森県 階上町道仏*	5、8
5	1 14 12 25	浦河沖	6.7	6.7	M H S .	5弱：北海道 浦河町潮見 様似町栄町* など 1 道 1 県 7 地点 緊急地震速報（警報）を公表 被害：負傷者 2 人	5、9
6	1 21 6 53	根室半島南東沖	5.1	4.8	3：北海道 根室市落石東* など 1 道 6 地点	6、10
7	1 25 2 13	福島県沖	4.2	—	. . . S .	4：福島県 檜葉町北田*	6、14

（注 1）主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。

（注 2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

（注 3）M_w欄の「—」はM_wが求められていないことを示す。

（注 4）M H S T の各項目について、M:M6.0 以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度 4 以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

（注 5）最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

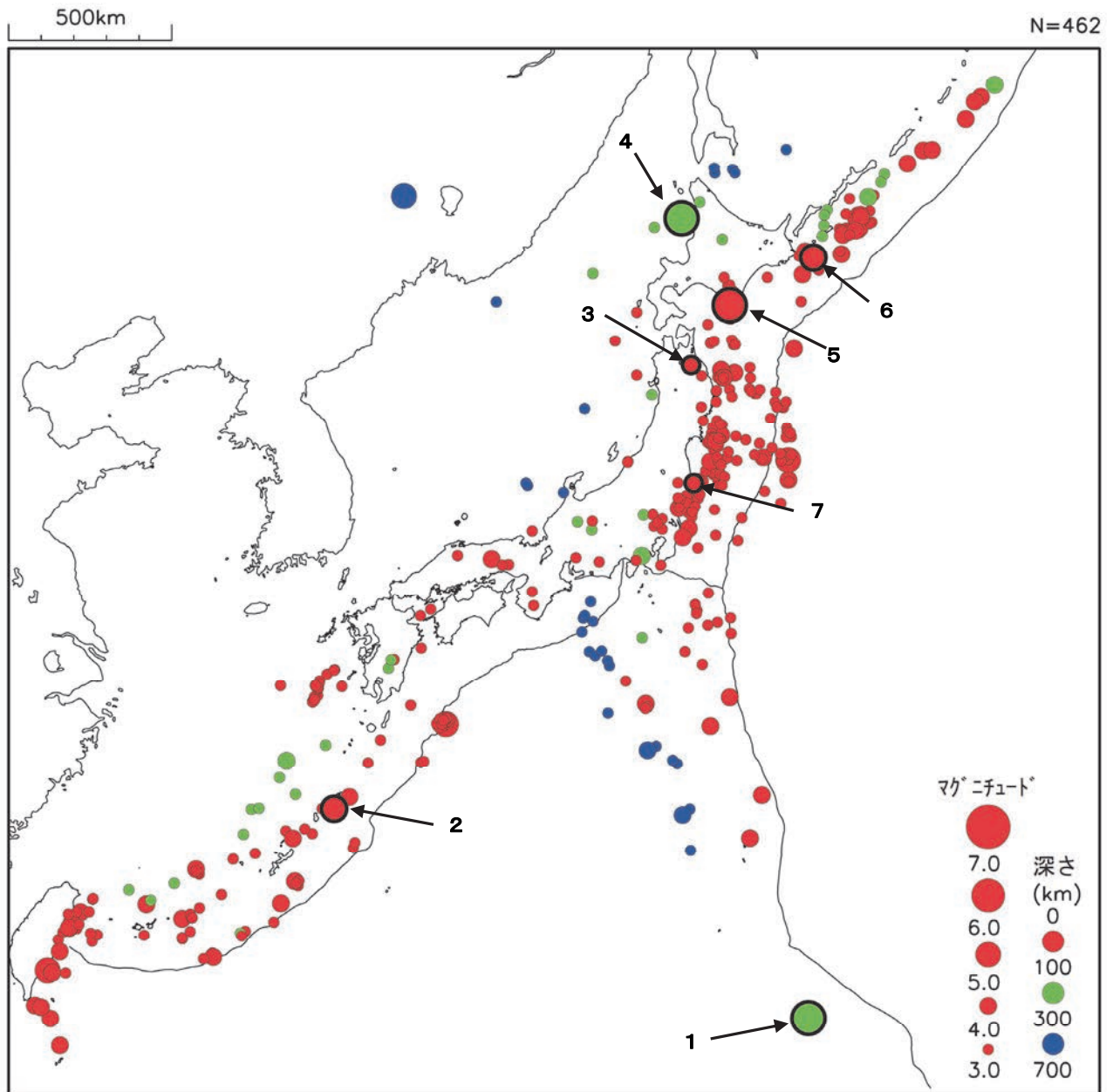
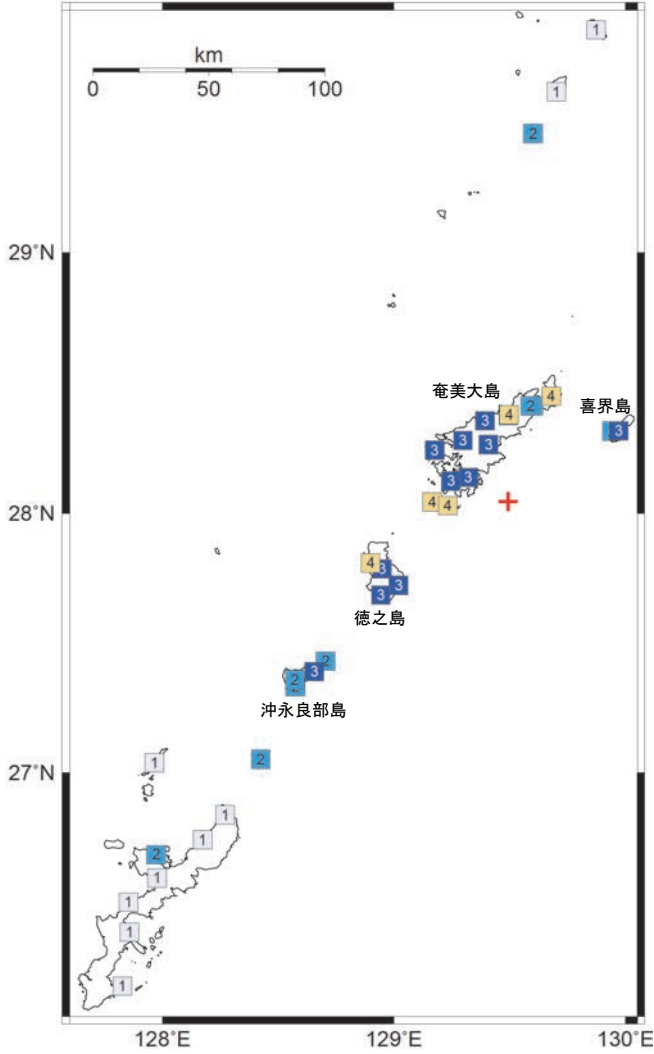
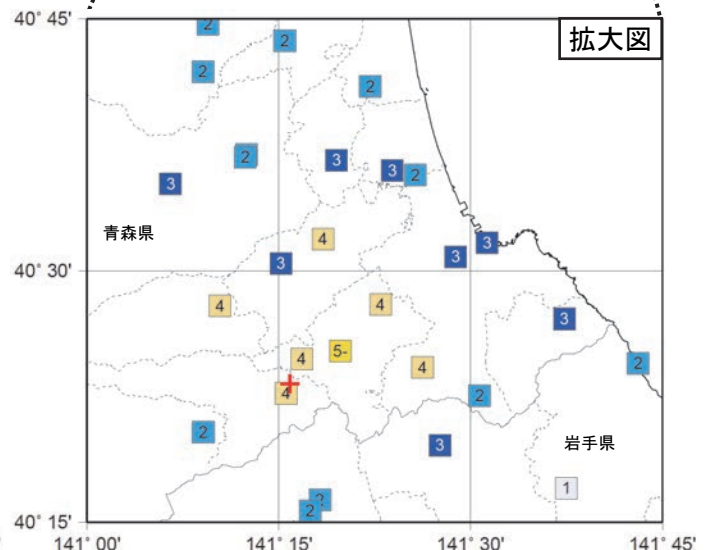
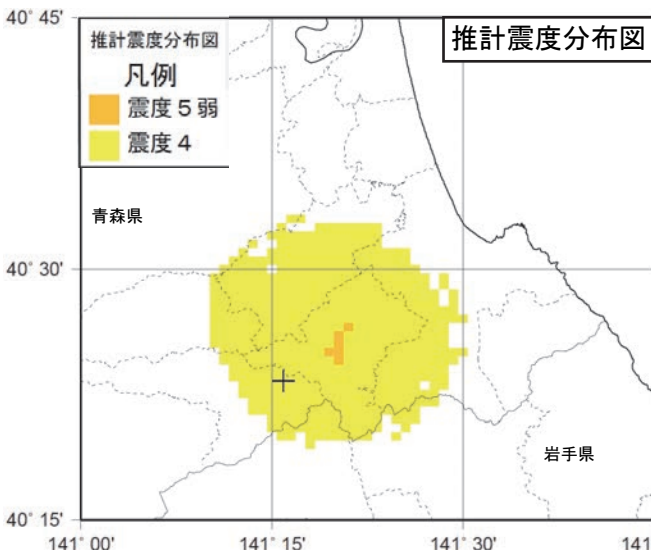
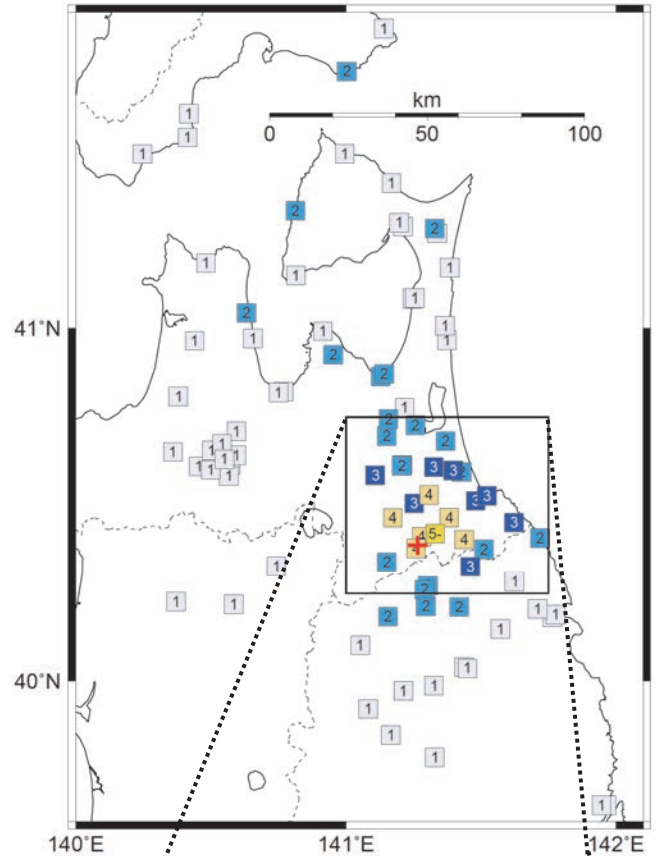


図 2 平成 28 年 1 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図
(図中の数字は表 1 の番号に対応)

2 1月9日 23時12分 奄美大島近海
(M5.4、深さ28km、最大震度4)



3 1月11日 15時26分 青森県三八上北地方
(M4.6、深さ10km、最大震度5弱)



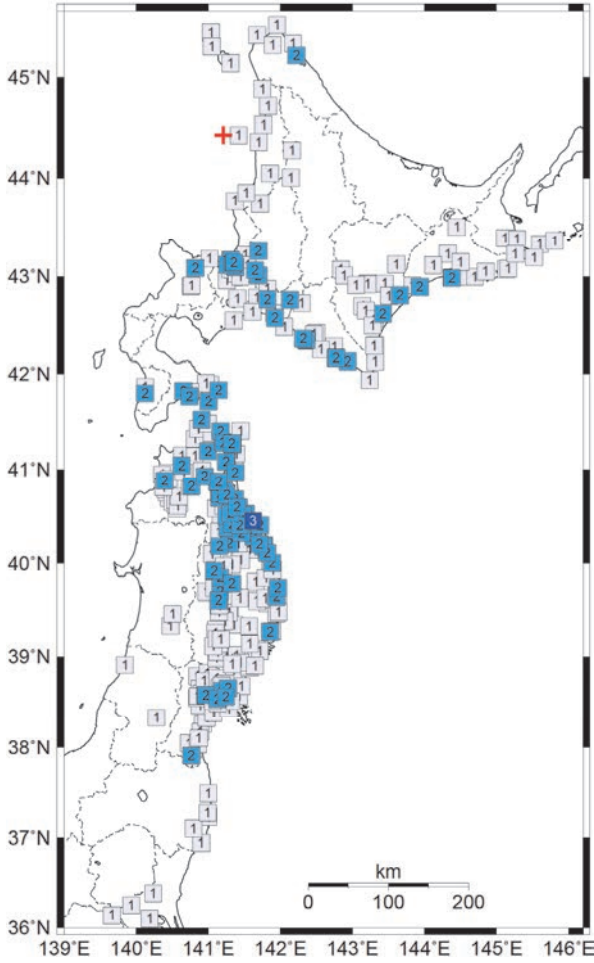
(表示範囲は震度分布図の拡大図(右図)に等しい)

＜推計震度分布図について＞
地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがある。このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目して利用されたい。

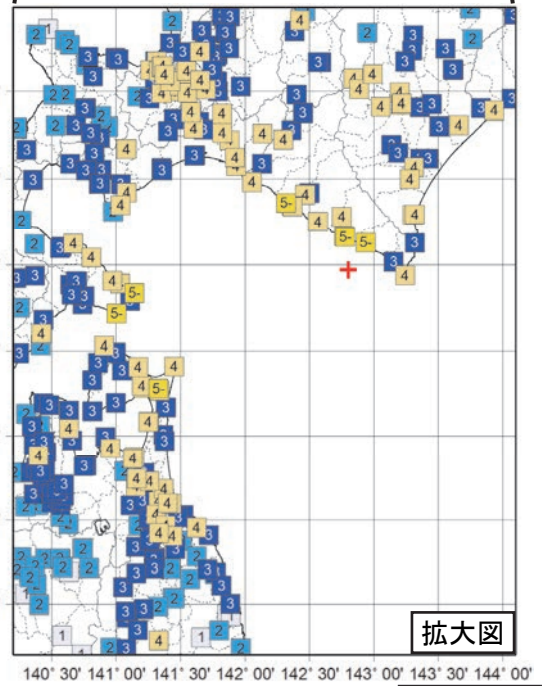
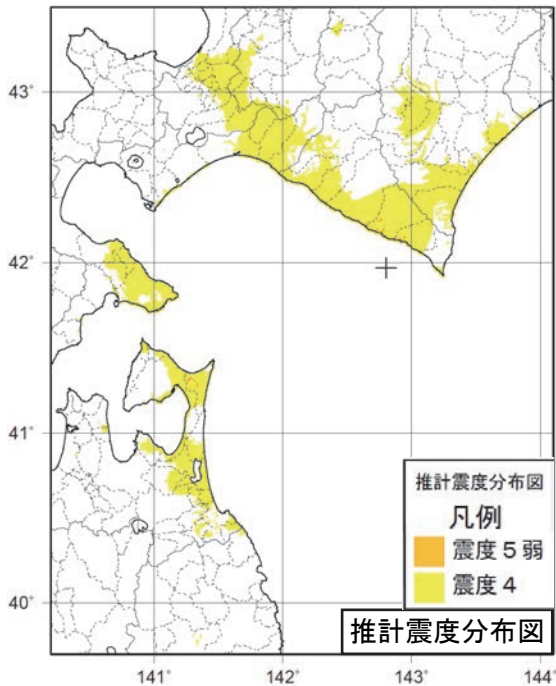
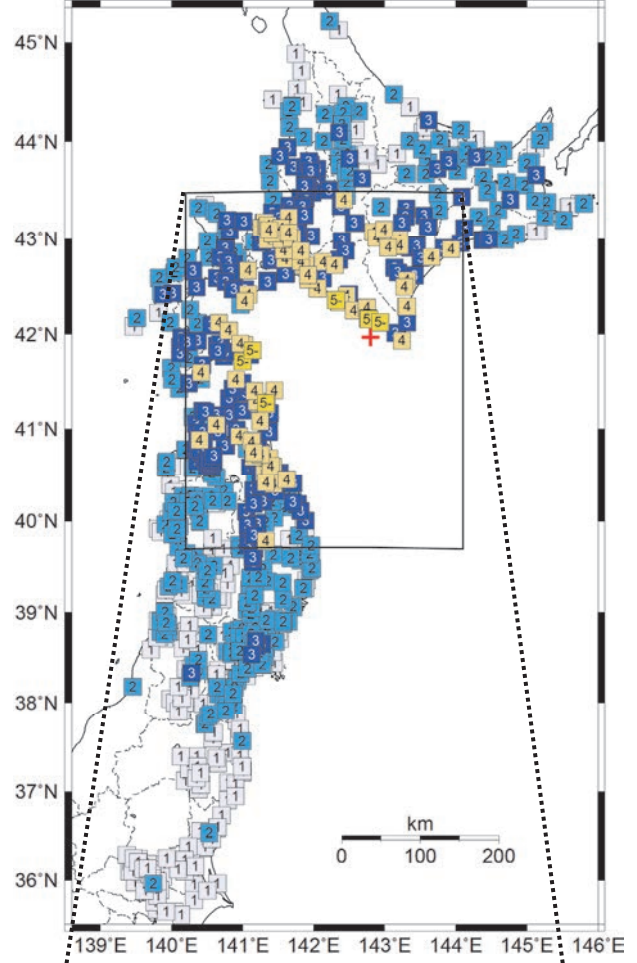


図3-1 震度分布図(各図の左上の数字は表1、図2の番号に対応する。+印は震央を示す。)

4 1月12日02時08分 北海道北西沖
(M6.2、深さ265km、最大震度3)



5 1月14日12時25分 浦河沖
(M6.7、深さ52km、最大震度5弱)



(表示範囲は震度分布図の拡大図(右図)に等しい)

<推計震度分布図について>
地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがある。このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目して利用されたい。

図3-2 震度分布図(各図の左上の数字は表1、図2の番号に対応する。+印は震央を示す。)

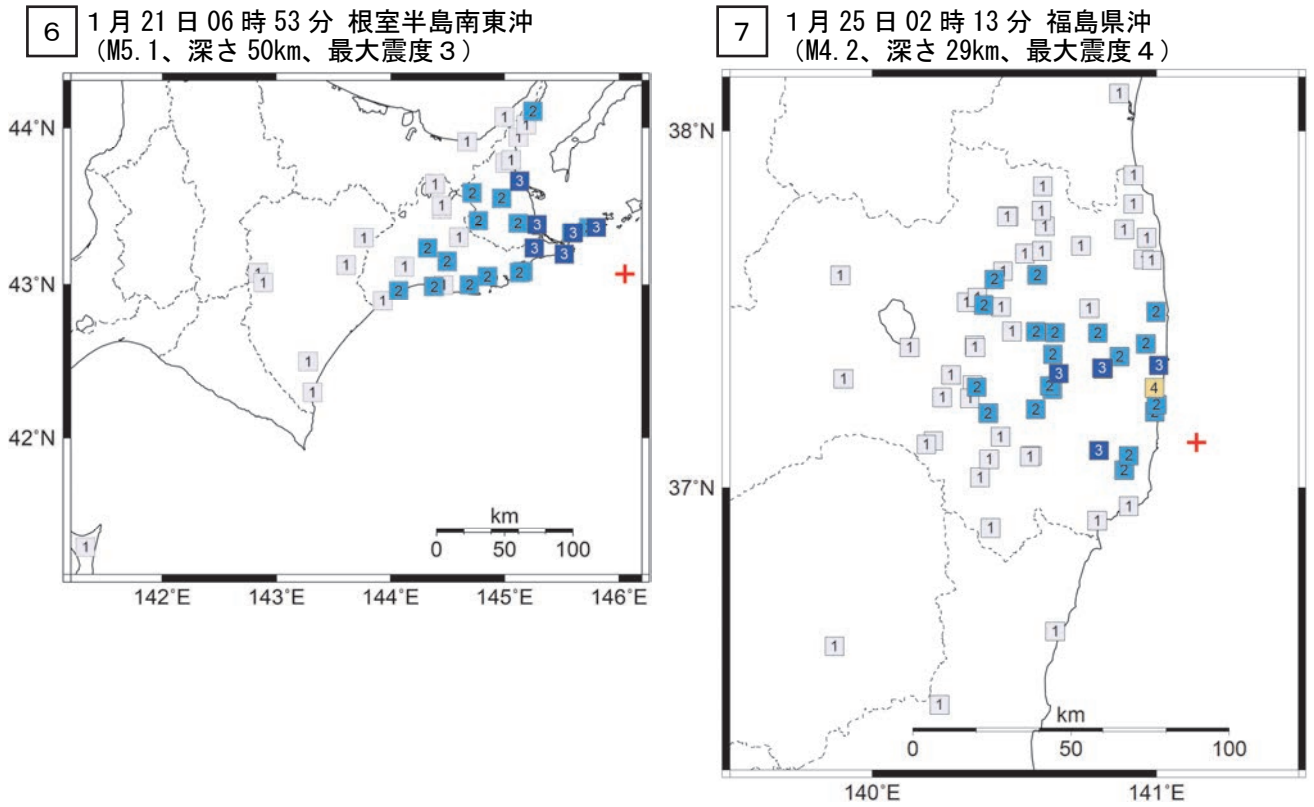


図3-3 震度分布図（各図の左上の数字は表1、図2の番号に対応する。+印は震央を示す。）

○北海道地方の地震活動

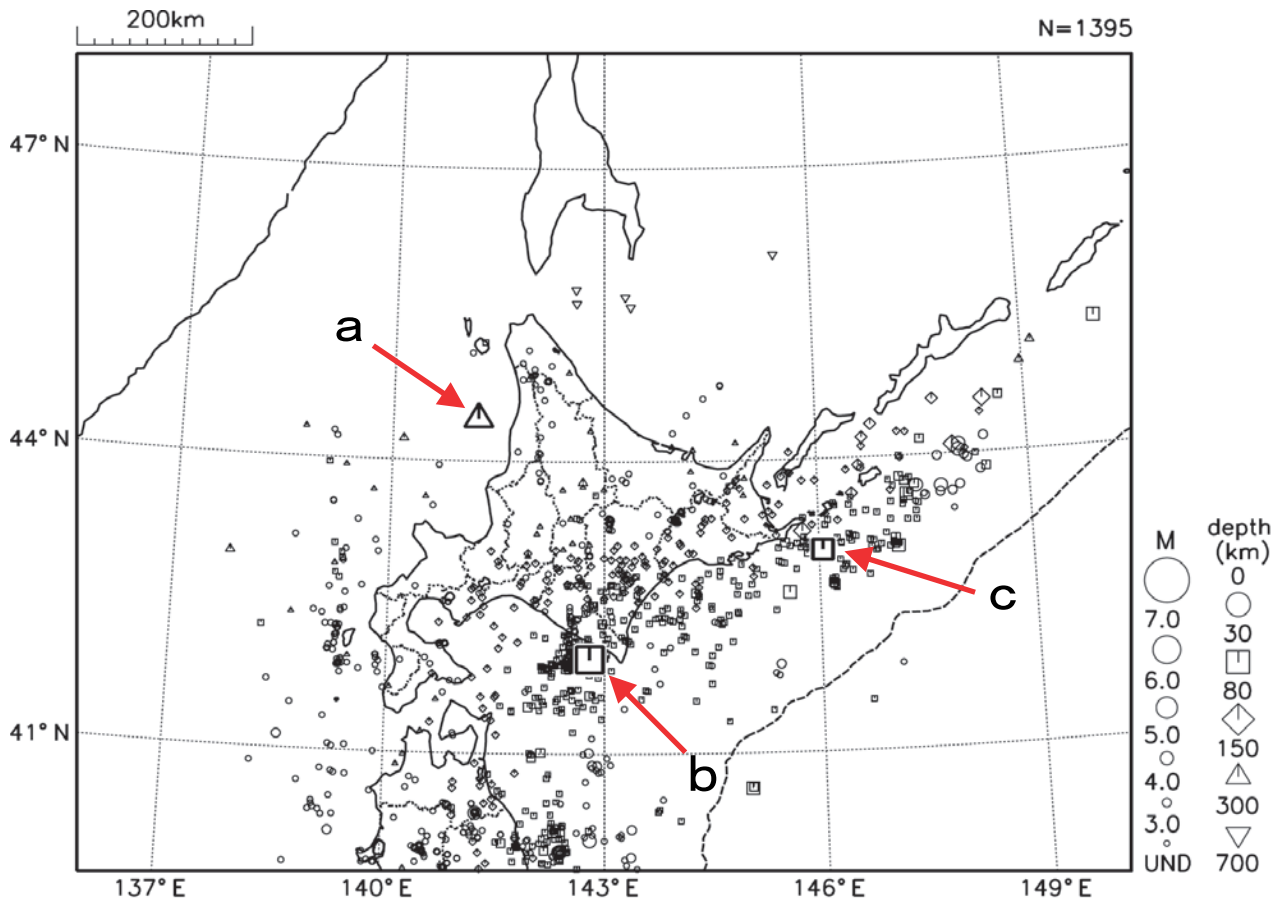


図 4 北海道地方の震央分布図（2016 年 1 月 1 日～1 月 31 日）

〔概況〕

1 月に北海道地方で震度 1 以上を観測した地震は 17 回（2015 年 12 月は 13 回）であった。1 月中の主な地震活動は次のとおりである。

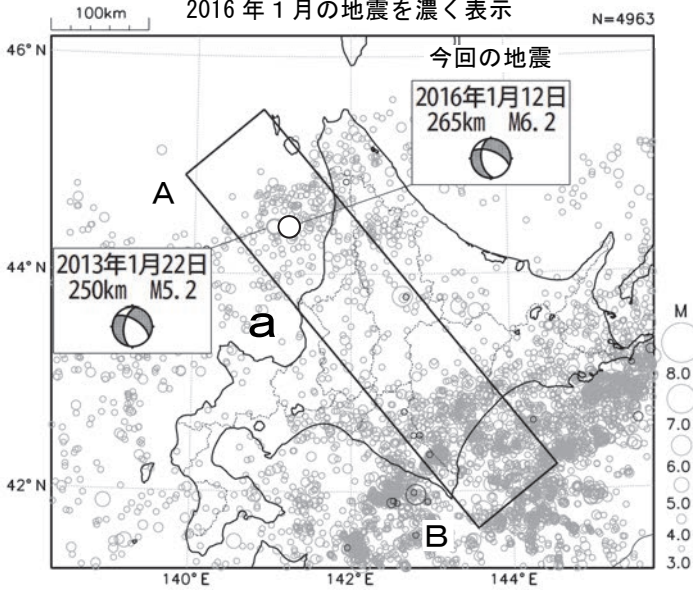
12 日 02 時 08 分に北海道北西沖の深さ 265km で M6.2 の地震（図 4 中の a）が発生し、青森県階上町で震度 3 を観測したほか、北海道から東北地方、関東地方の一部にかけて震度 2～1 を観測した（p 5、8 参照）。

14 日 12 時 25 分に浦河沖の深さ 52km で M6.7 の地震（図 4 中の b）が発生し、北海道函館市、新冠町、浦河町、様似町、青森県東通村で震度 5 弱を観測したほか、北海道から東北地方、関東地方にかけて震度 4～1 を観測した（p 5、9 参照）。

21 日 06 時 53 分に根室半島南東沖の深さ 50km で M5.1 の地震（図 4 中の c）が発生し、北海道根室市、標津町、別海町で震度 3 を観測したほか、北海道道東と青森県の一部で震度 2～1 を観測した（p 6、10 参照）。

1 月 12 日 北海道北西沖の地震

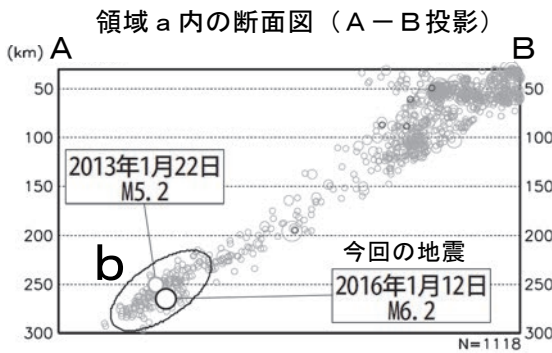
震央分布図
 (1997 年 10 月 1 日～2016 年 1 月 31 日、
 深さ 30～300km、 $M \geq 3.0$)
 2016 年 1 月の地震を濃く表示



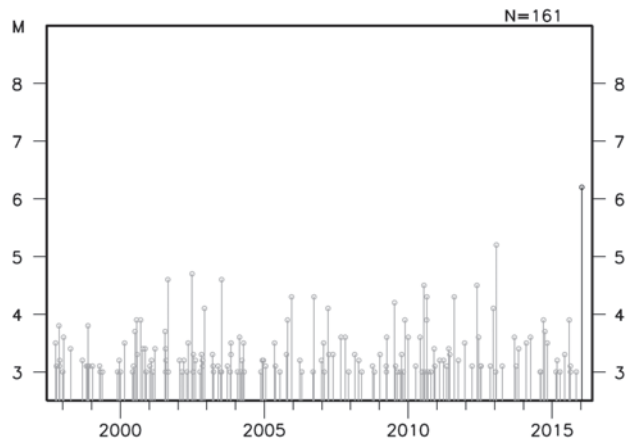
2016 年 1 月 12 日 02 時 08 分に北海道北西沖の深さ 265km で $M 6.2$ の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構は、北東-南西方向に張力軸を持つ型である。

1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、2013 年 1 月 22 日の地震 ($M 5.2$ 、最大震度 1) など $M 4.0$ 以上の地震が時々発生しているが、 $M 6.0$ 以上の地震は発生していなかった。

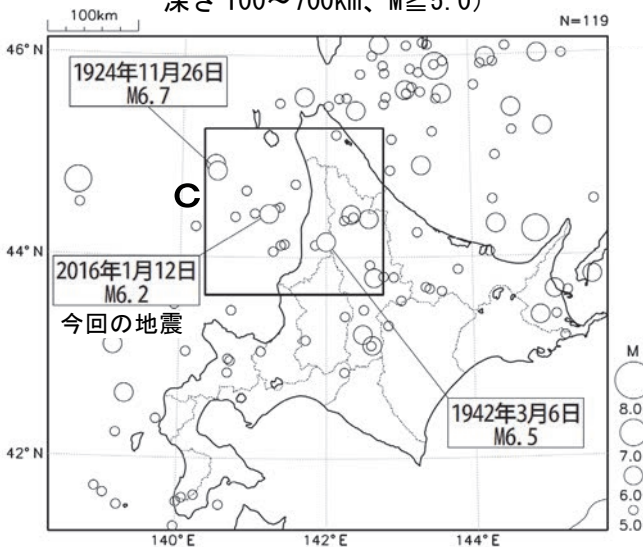
1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。



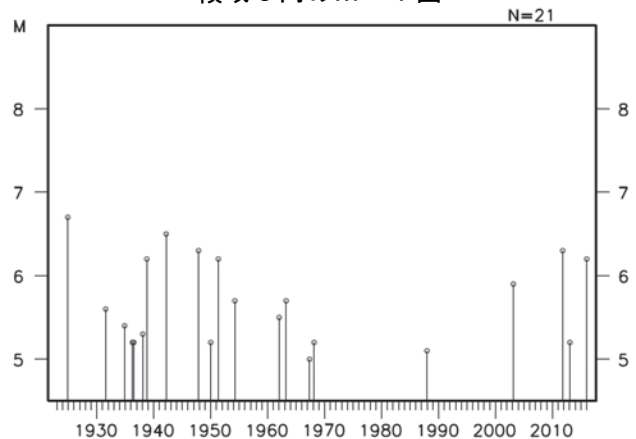
領域 b 内の M-T 図



震央分布図
 (1923 年 1 月 1 日～2016 年 1 月 31 日、
 深さ 100～700km、 $M \geq 5.0$)

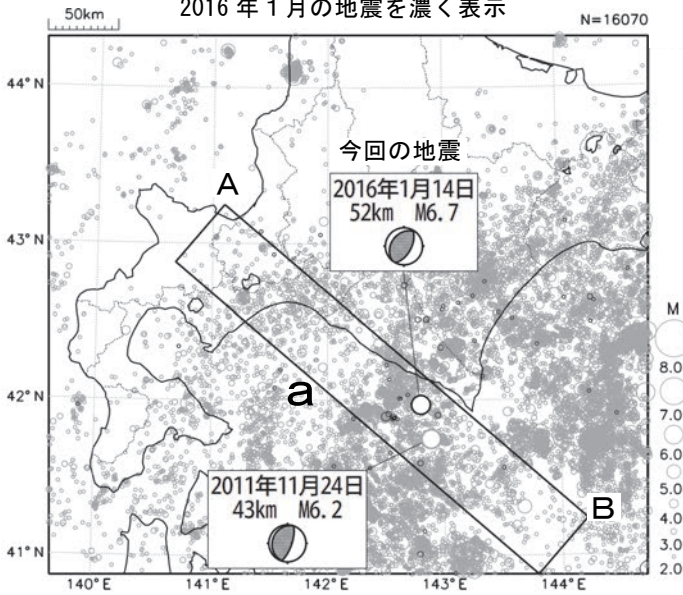


領域 c 内の M-T 図



1 月 14 日 浦河沖の地震

震央分布図
 (2001 年 10 月 1 日～2016 年 1 月 31 日、
 深さ 0～150km、 $M \geq 2.0$)
 2016 年 1 月の地震を濃く表示

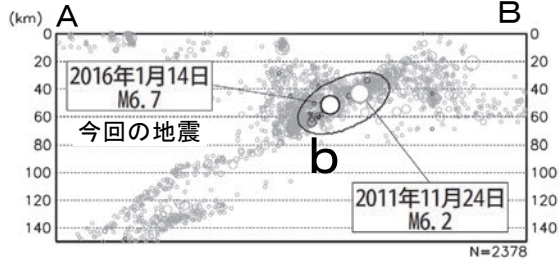


2016 年 1 月 14 日 12 時 25 分に浦河沖の深さ 52km で M6.7 の地震 (最大震度 5 弱) が発生した。この地震は発震機構が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震では、負傷者 2 人の被害が生じた (1 月 15 日現在、総務省消防庁による)。

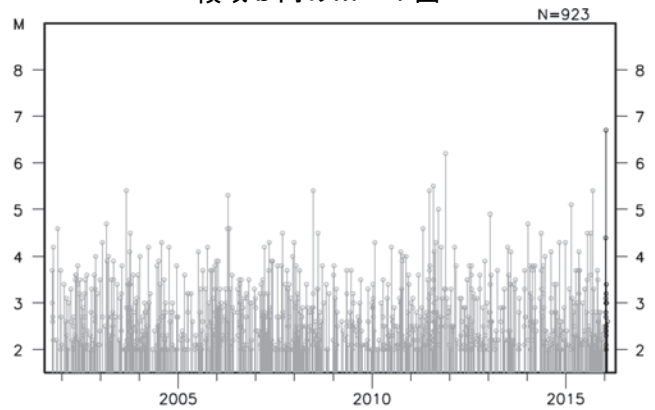
2001 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、M5.0 以上の地震がしばしば発生しており、2011 年 11 月 24 日には M6.2 の地震 (最大震度 5 弱) が発生している。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では M6.0 以上の地震がしばしば発生している。「昭和 57 年 (1982 年) 浦河沖地震」 (M7.1、最大震度 6) では、重軽傷者 167 人、住家全半壊 41 棟などの被害が生じた (「昭和 57・58 年災害記録 (北海道、1984)」による)。

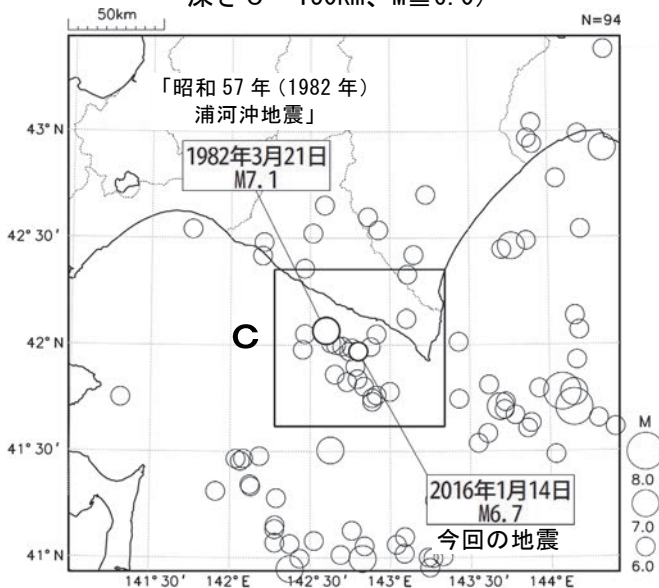
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



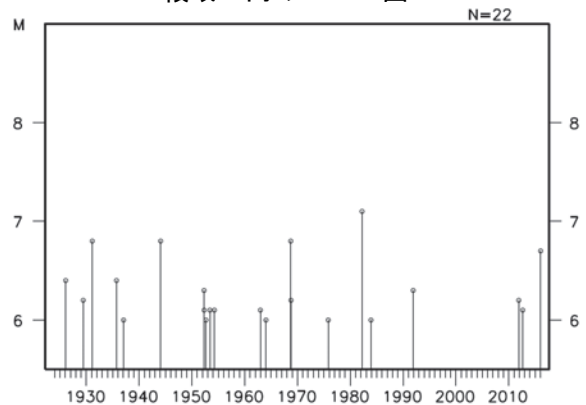
領域 b 内の M-T 図



震央分布図
 (1923 年 1 月 1 日～2016 年 1 月 31 日、
 深さ 0～150km、 $M \geq 6.0$)

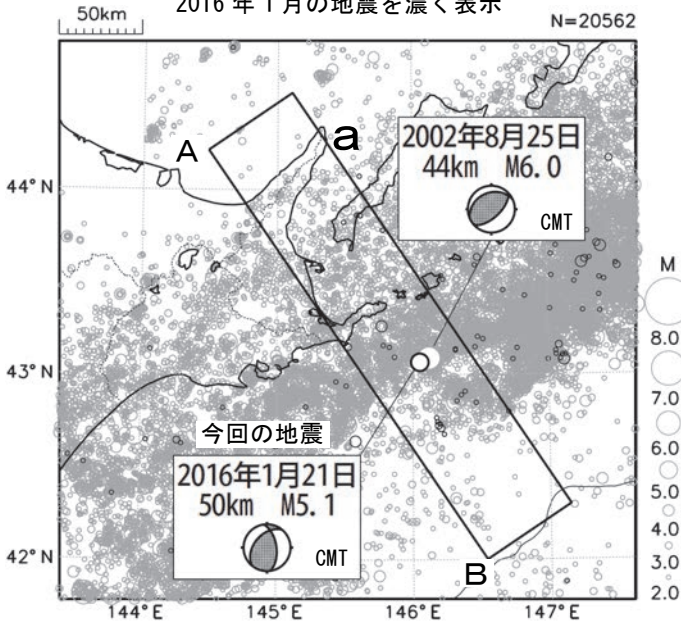


領域 c 内の M-T 図



1 月 21 日 根室半島南東沖の地震

震央分布図
 (2001 年 10 月 1 日～2016 年 1 月 31 日、
 深さ 0～150km、 $M \geq 2.0$)
 2016 年 1 月の地震を濃く表示

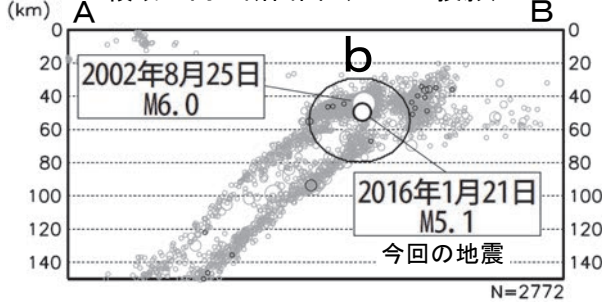


2016 年 1 月 21 日 06 時 53 分に根室半島南東沖の深さ 50km で $M5.1$ の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震の発震機構 (CMT 解) は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

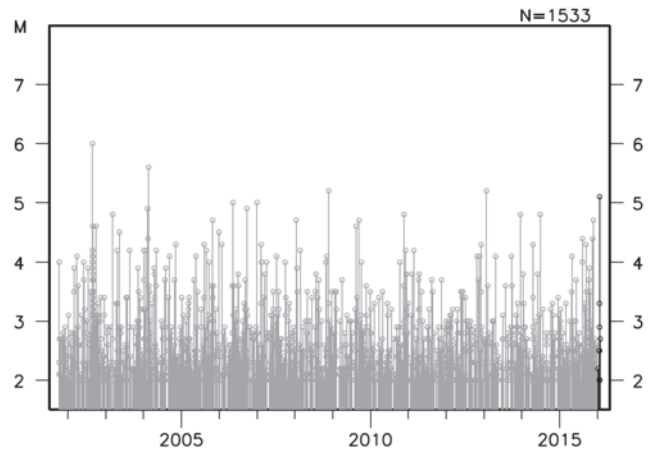
2001 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、 $M5.0$ 以上の地震が時々発生しており、2002 年 8 月 25 日には $M6.0$ の地震 (最大震度 4) が発生している。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、「1973 年 6 月 17 日根室半島沖地震」 ($M7.4$ 、最大震度 5) が発生している。この地震では負傷者 27 人、住家破損約 5,000 棟などの被害が生じ、根室市花咲では 280cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波を観測した (被害は「昭和 48・49 年災害記録 (北海道 1974) による)。

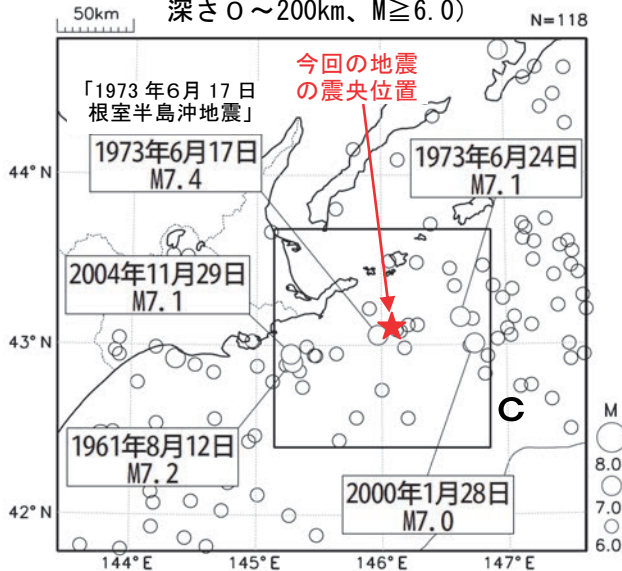
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



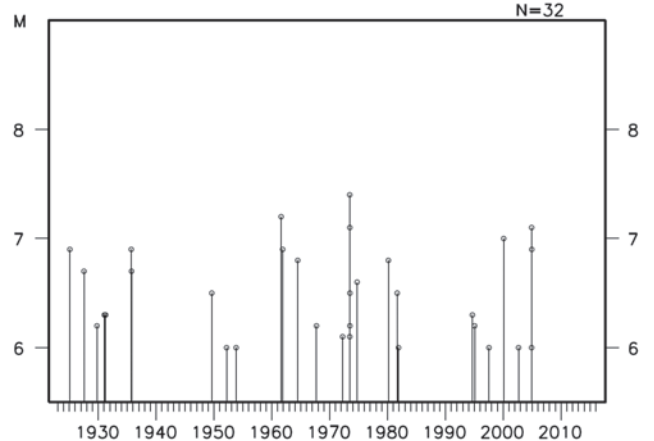
領域 b 内の M-T 図



震央分布図
 (1923 年 1 月 1 日～2016 年 1 月 31 日、
 深さ 0～200km、 $M \geq 6.0$)



領域 c 内の M-T 図



○東北地方の地震活動

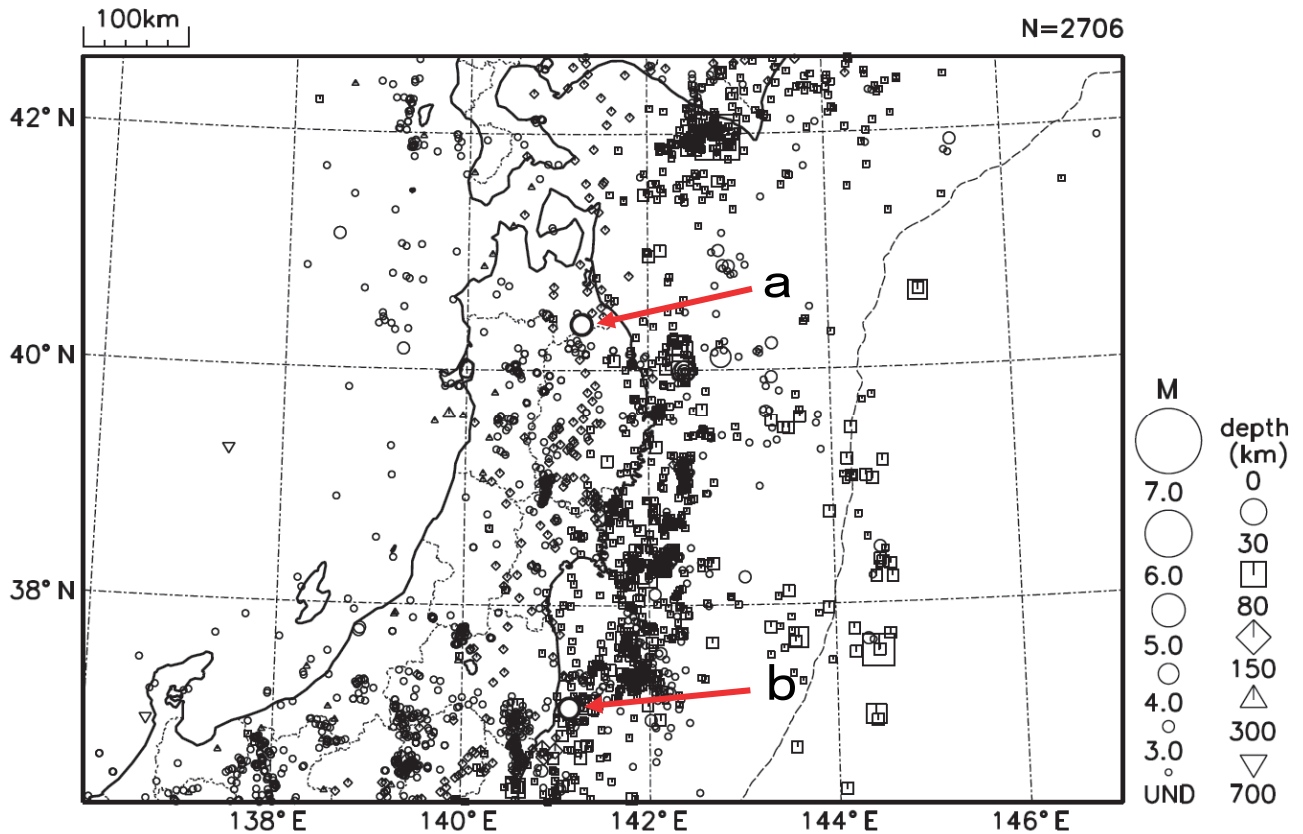


図5 東北地方の震央分布図（2016年1月1日～1月31日）

〔概況〕

1月に東北地方で震度1以上を観測した地震は53回（2015年12月は48回）であった。1月中の主な活動は次のとおりである。

「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震が、引き続き岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲で発生した（図5、p. 12 参照）。

11日15時26分に青森県三八上北地方の深さ10kmでM4.6の地震（図5中のa）が発生し、青森県南部町で震度5弱を観測したほか、北海道、青森県、岩手県、秋田県で震度4～1を観測した（p. 4、13 参照）。

25日02時13分に福島県沖の深さ29kmでM4.2の地震（図5中のb）が発生し、福島県楡葉町で震度4を観測したほか、宮城県、福島県、茨城県、栃木県で震度3～1を観測した（p. 6、14 参照）。

平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の余震活動

2016 年 1 月は、領域 a（「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の震源域及び海溝軸の東側を含む震源域の外側）で M5.0 以上の地震は 1 回発生した。また、最大震度 4 以上を観測する地震は 1 回発生した。

2011 年 3 月 11 日に発生した「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震活動は次第に少なくなってきているものの、余震域の沿岸に近い領域を中心に、本震発生以前に比べ活発な地震活動が継続している。

領域 a で 2016 年 1 月に発生した M5.0 以上の地震は以下のとおり。

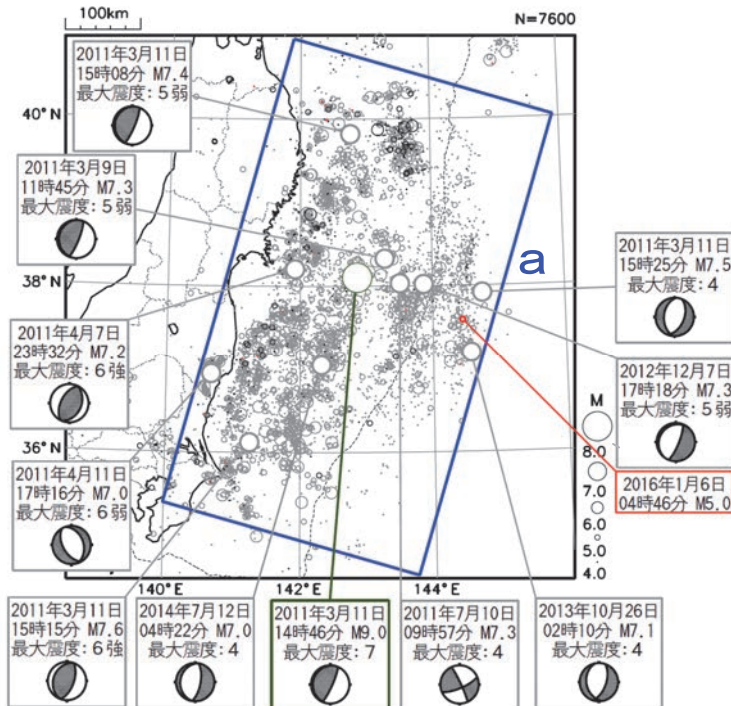
2016 年 1 月に領域 a 内で発生した M5.0 以上の地震

発生日時	震央地名	M	Mw	最大震度	発震機構（CMT解）
01月06日	04時46分 福島県沖	5.0			

震央分布図

（2011 年 3 月 1 日～2016 年 1 月 31 日、深さすべて、 $M \geq 4.0$ ）

2011 年 3 月からの地震を薄く、2015 年 1 月から 2015 年 12 月の地震を濃く、
2016 年 1 月の地震を赤く表示。発震機構は CMT 解。

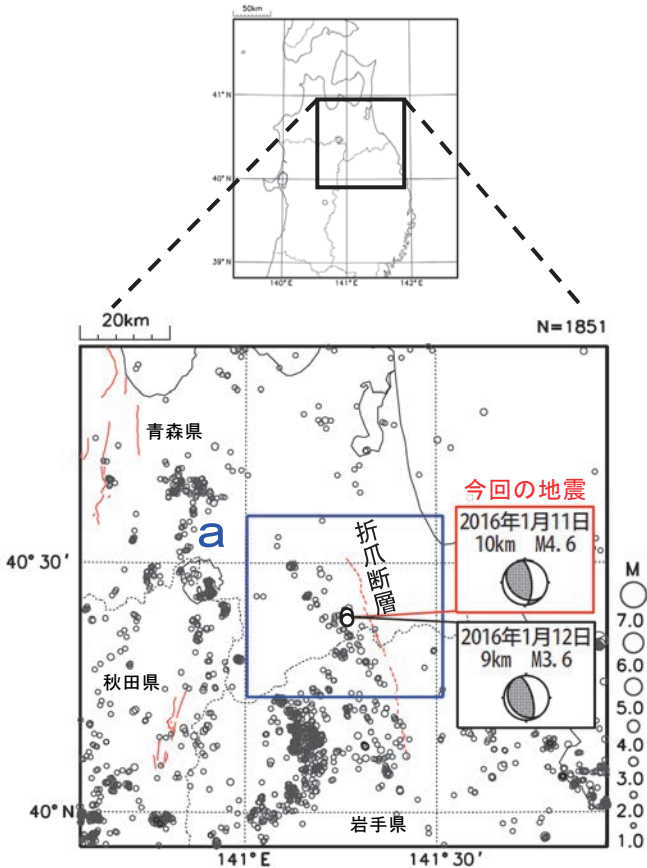


領域 a 内の M7.0 以上の地震と
2016 年 1 月に発生した M5.0
以上の地震に吹き出しをつけた。



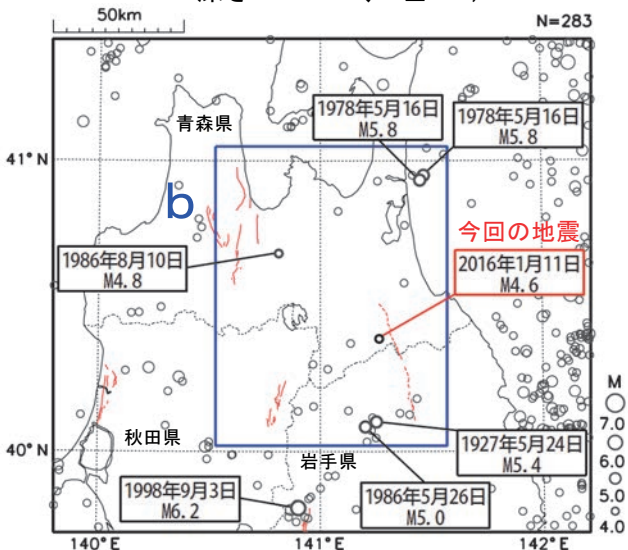
1 月 11 日 青森県三八上北地方の地震

震央分布図
 (2002 年 10 月 1 日～2016 年 1 月 31 日、
 深さ 0～30km、 $M \geq 1.0$)
 2016 年 1 月の地震を濃く表示



図中の細線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す

震央分布図
 (1923 年 1 月 1 日～2016 年 1 月 31 日、
 深さ 0～50km、 $M \geq 4.0$)



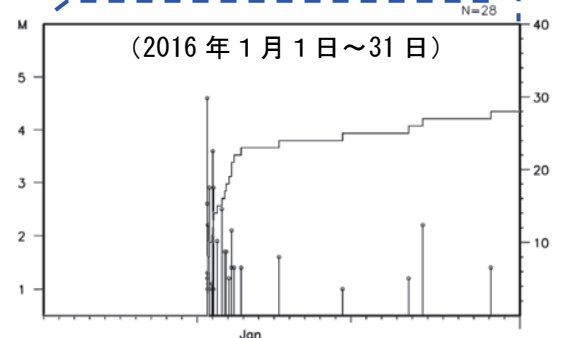
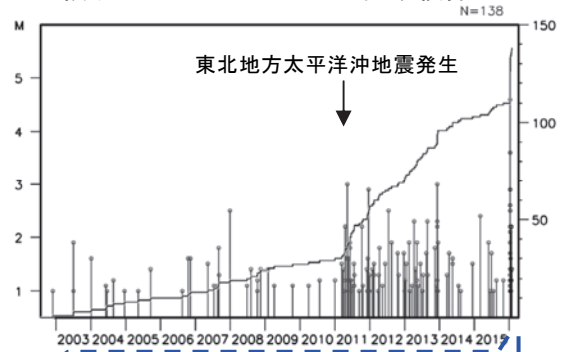
図中の細線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す

2016 年 1 月 11 日 15 時 26 分に青森県三八上北地方の深さ 10km で $M4.6$ の地震（最大震度 5 弱）が発生した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構は、東北東－西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。震度 1 以上を観測した余震は 7 回発生している。

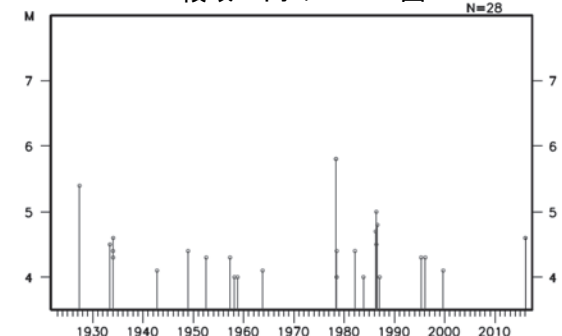
2002 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域 a）では、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」発生以前は、 $M2$ 前後の地震が数年に 1 回発生する程度で、地震活動は低調であった。同地震発生以降、今回の地震の近傍で地震活動がやや活発になっている。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 b）では、 $M5.0$ 以上の地震が 4 回発生している。1978 年 5 月 16 日に、 $M5.8$ の地震が 2 回発生し、これらの地震によりモルタル壁の剥落、ブロック塀の破壊等の被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図

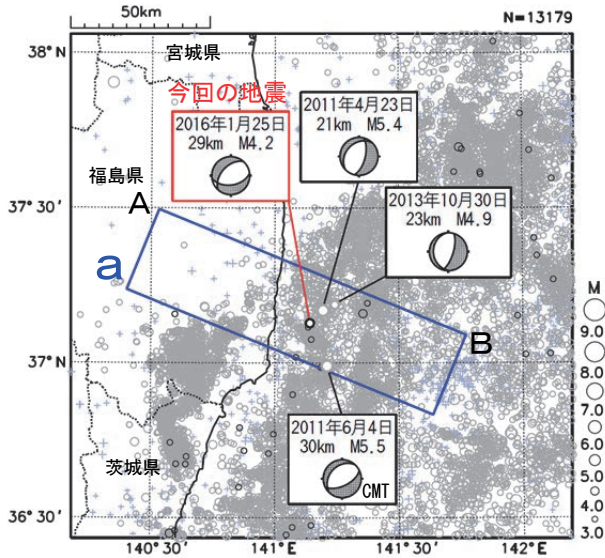


領域 b 内の M-T 図

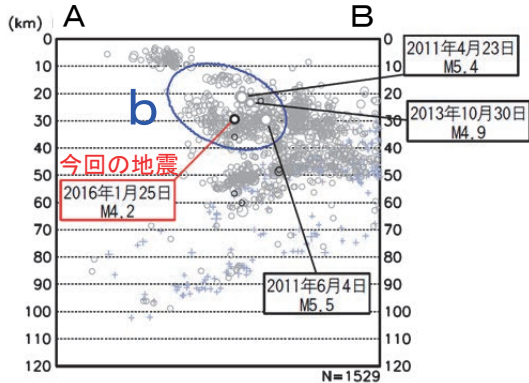


1 月 25 日 福島県沖の地震

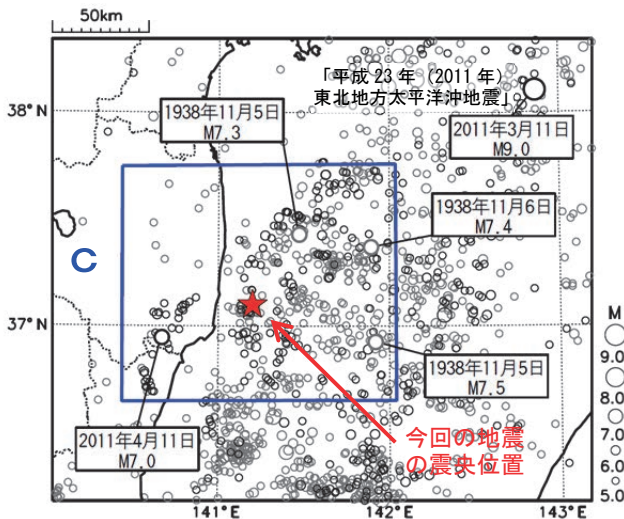
震央分布図
 (1997 年 10 月 1 日～2016 年 1 月 31 日、
 深さ 0～120km、 $M \geq 3.0$)
 東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
 東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を薄い○
 2016 年 1 月の地震を濃い○で表示



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図
 (1923 年 1 月 1 日～2016 年 1 月 31 日、
 深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$)
 2011 年 3 月 11 日以降の地震を濃く表示

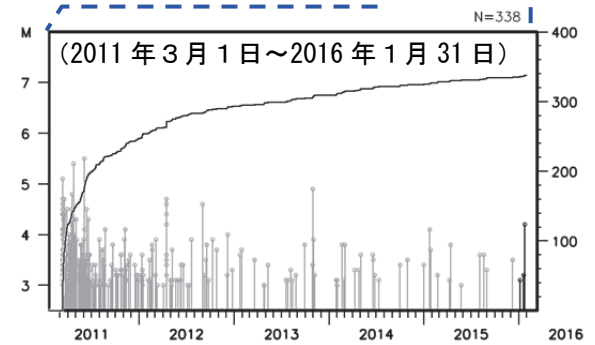
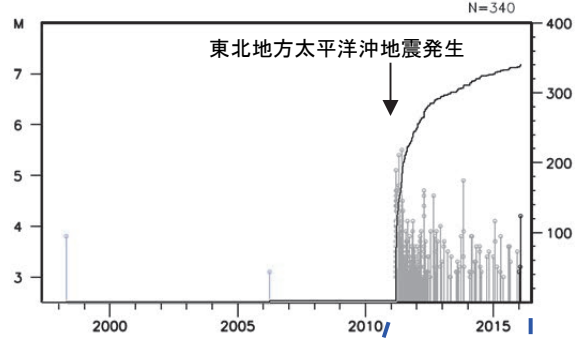


2016 年 1 月 25 日 02 時 13 分に福島県沖の深さ 29km で $M 4.2$ の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は発震機構が北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型で、陸のプレート内で発生した。

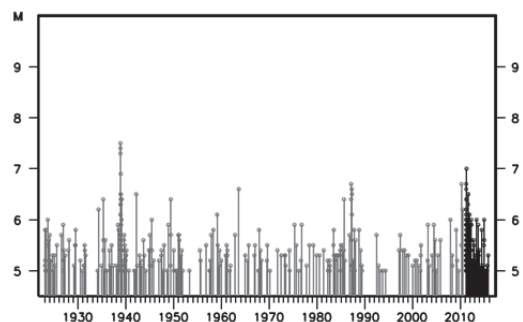
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、 $M 4.0$ 以上の地震は発生していなかったが、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降、 $M 5$ 前後の地震が発生するなど、地震活動が活発になっている。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。2011 年 4 月 11 日に $M 7.0$ の地震 (最大震度 6 弱) が発生し、死者 3 人、負傷者 10 人の被害が生じた (被害は総務省消防庁による)。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図



○関東・中部地方の地震活動

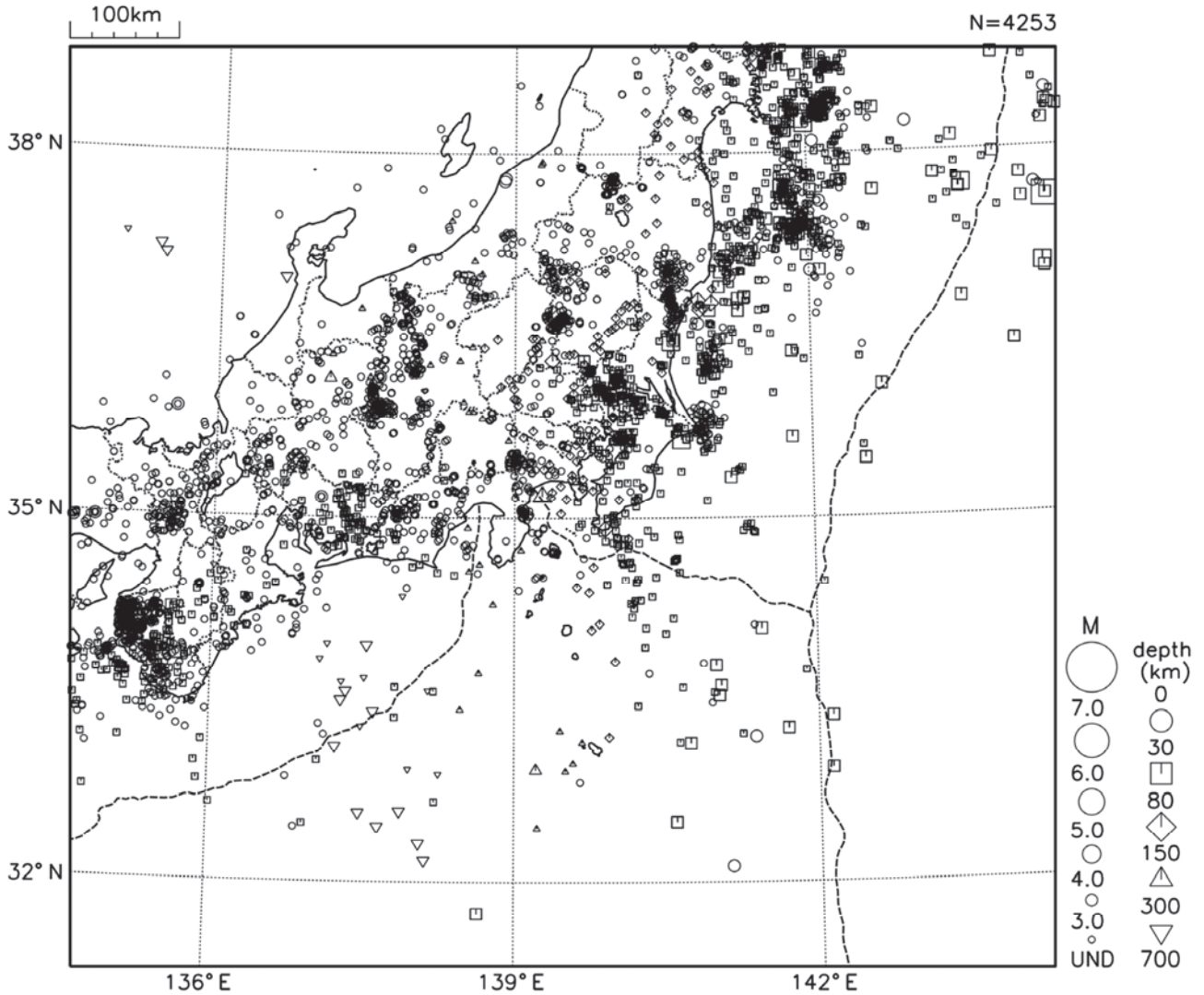


図6 関東・中部地方の震央分布図（2016年1月1日～1月31日）

[概況]

1月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は59回（2015年12月は55回）であった。

1月中の主な地震活動は次のとおりである。

「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震が、引き続き岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲で発生した（p. 11の図5、p. 12参照）。

○ 近畿・中国・四国地方の地震活動

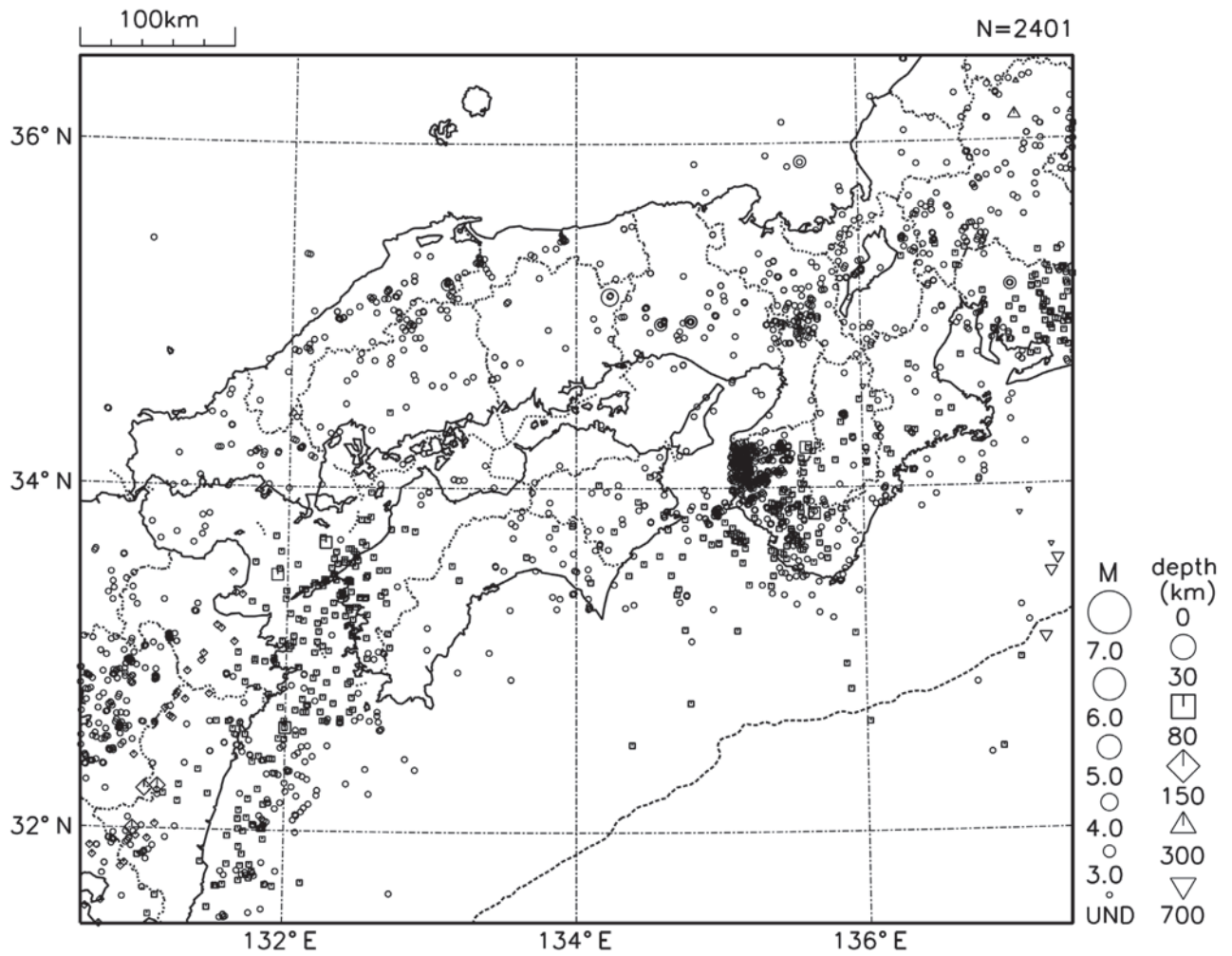


図7 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2016年1月1日～1月31日）

[概況]

1月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は18回（2015年12月は21回）であった。

1月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

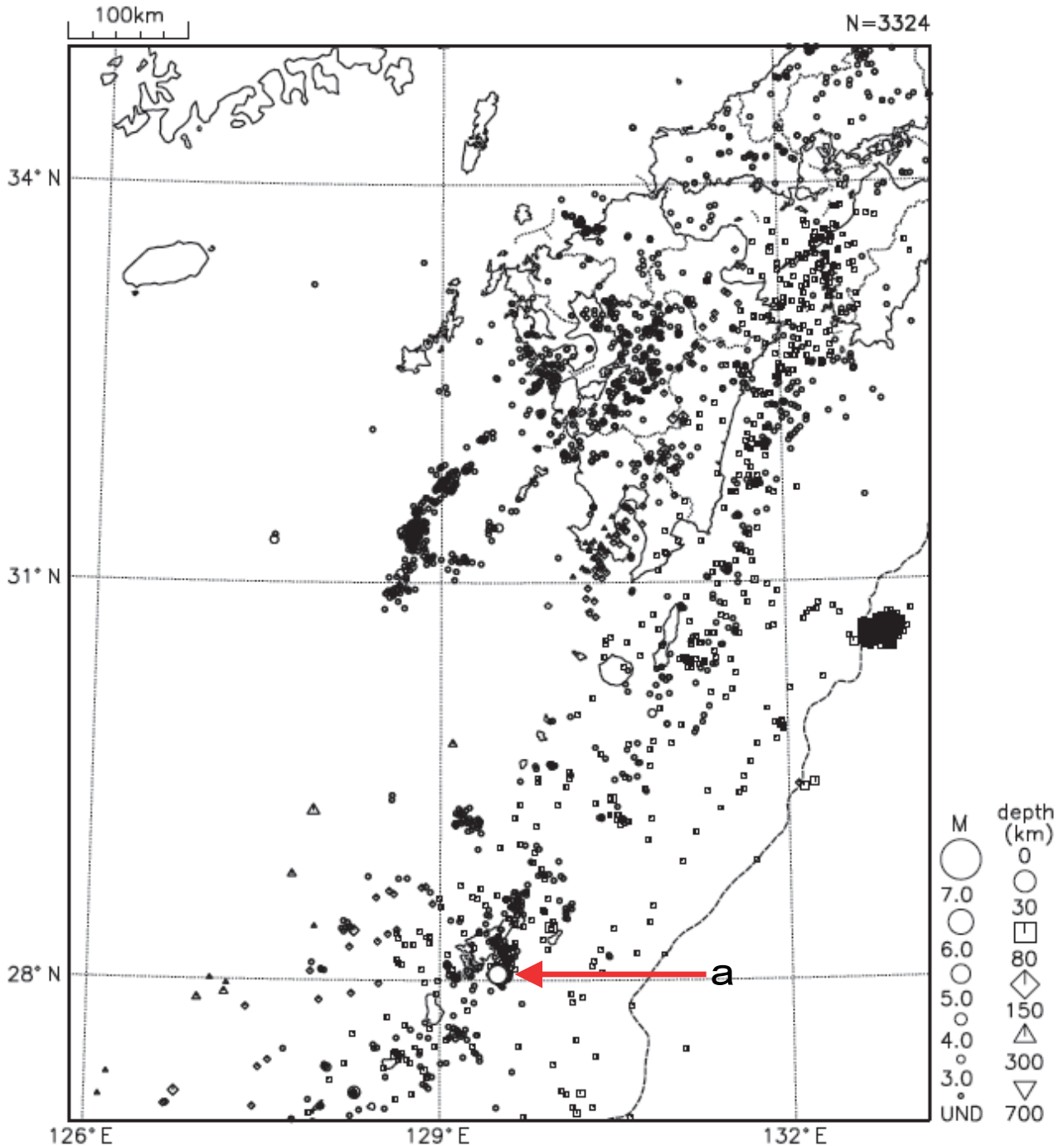


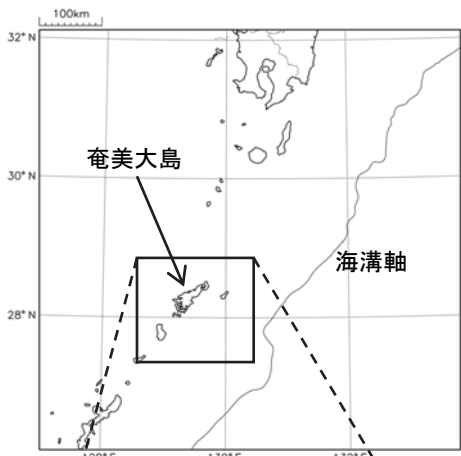
図 8 九州地方の震央分布図（2016 年 1 月 1 日～1 月 31 日）

〔概況〕

1 月に九州地方で震度 1 以上を観測した地震は 33 回（2015 年 12 月は 47 回）であった。1 月中の主な活動は次のとおりである。

9 日 23 時 12 分に奄美大島近海の深さ 28km で M5.4 の地震（図 8 中の a）が発生し、鹿児島県の奄美市（奄美大島）、瀬戸内町（請島、与路島）、天城町（徳之島）で震度 4 を観測したほか、鹿児島県と沖縄県で震度 3～1 を観測した（p. 4、18 参照）。

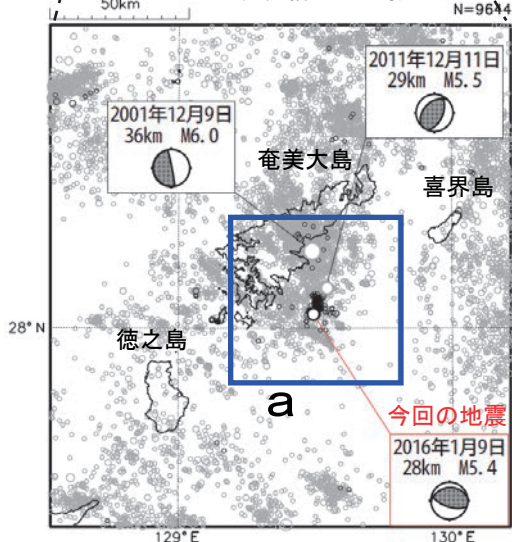
1 月 9 日 奄美大島近海の地震



震央分布図

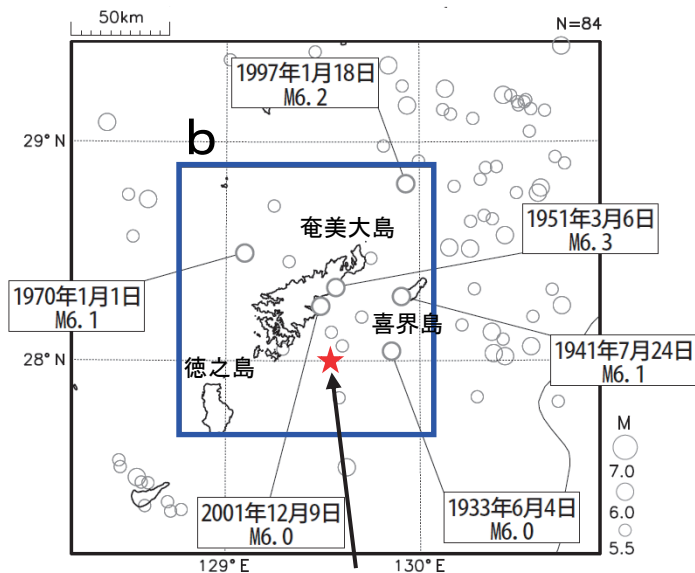
(1994 年 10 月 1 日～2016 年 1 月 31 日
深さ 0～40km、 $M \geq 2.0$)

2016 年 1 月の地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2016 年 1 月 31 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 5.5$)



今回の地震の震央位置

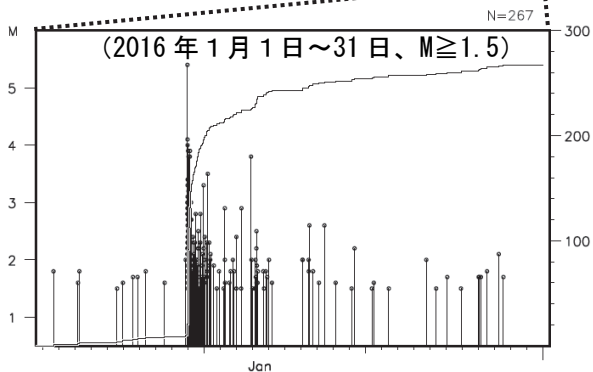
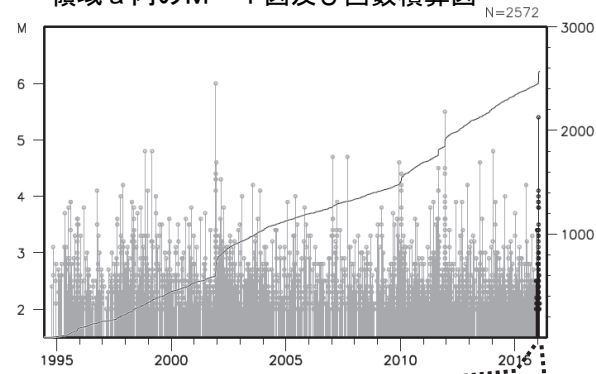
2016年1月9日23時12分に奄美大島近海の深さ28kmでM5.4の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、南北方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

この地震の発生以降、一時的に余震活動が活発となり、最大震度1以上を観測した余震が11回発生した。余震活動はほぼ収まっている。

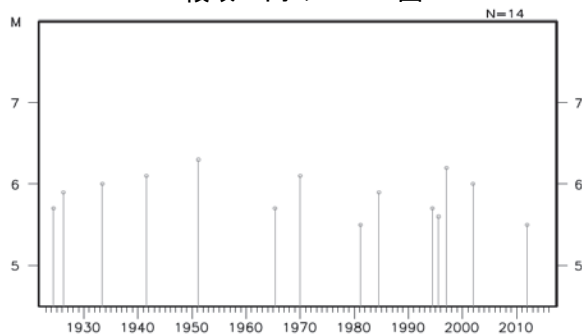
1994年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、地震活動が活発な領域で、M4.0を超える地震がしばしば発生している。そのうち、2001年12月9日に発生したM6.0の地震（最大震度5強）では、住家一部損壊1棟などの被害が生じた（被害は、総務省消防庁による）。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生している。そのうち、1970年1月1日に発生したM6.1の地震（最大震度5）では、負傷者5人、住家一部破損1,462棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



領域 b 内の M-T 図



○沖縄地方の地震活動

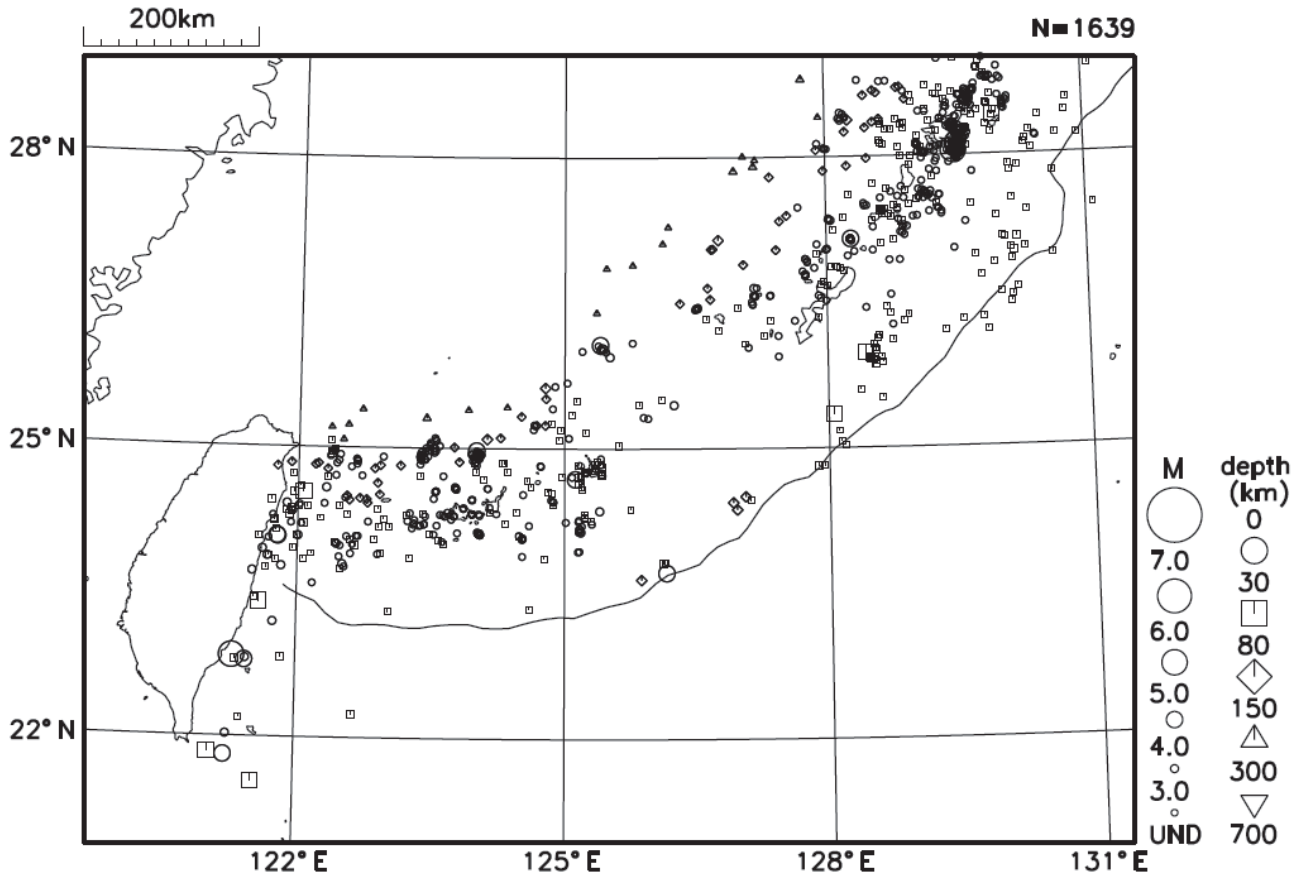


図9 沖縄地方の震央分布図（2016年1月1日～1月31日）

[概況]

1月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は9回（2015年12月は5回）であった。1月中、特に目立った活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

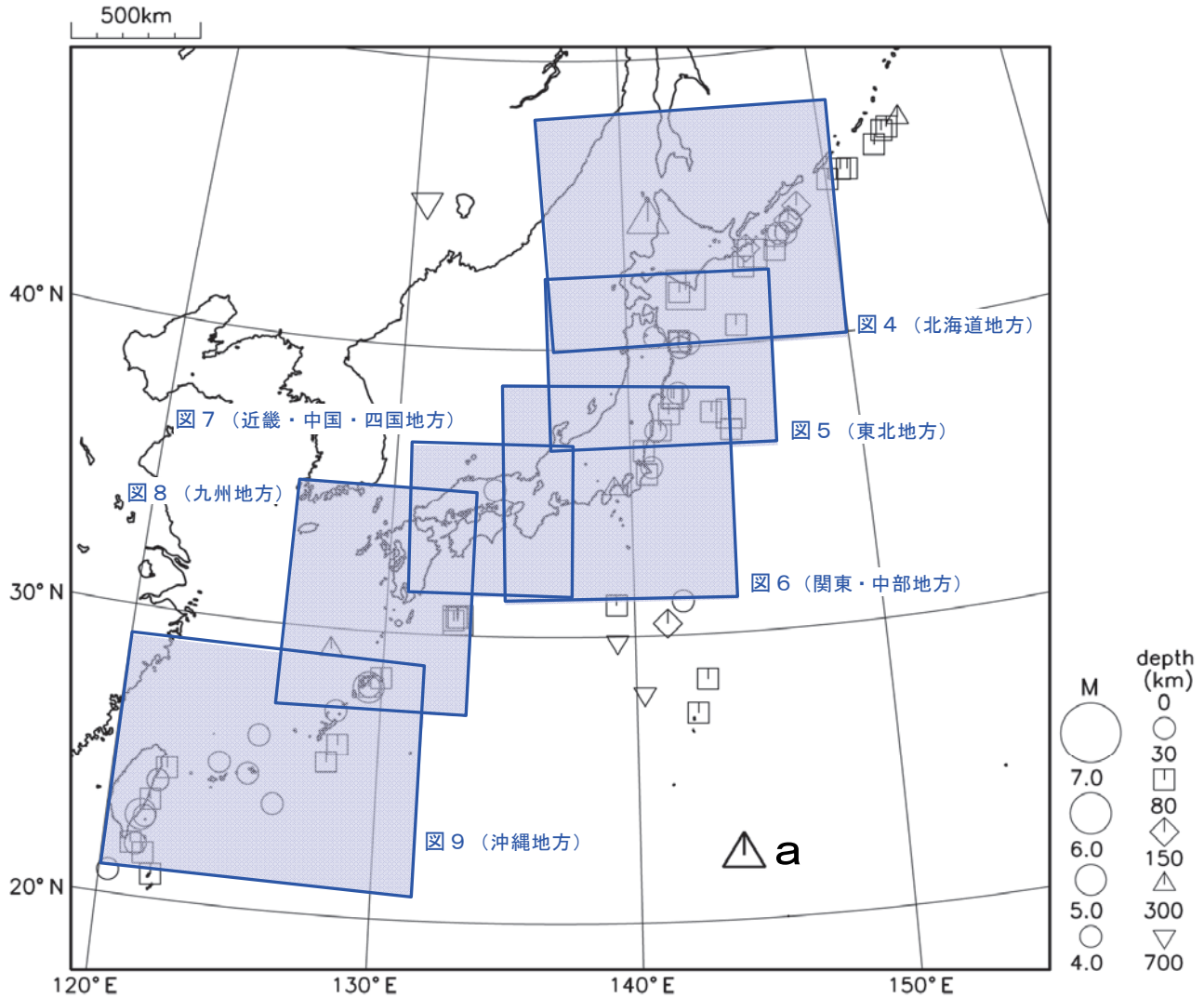


図 10 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2016 年 1 月 1 日～1 月 31 日、 $M \geq 4.0$ ）

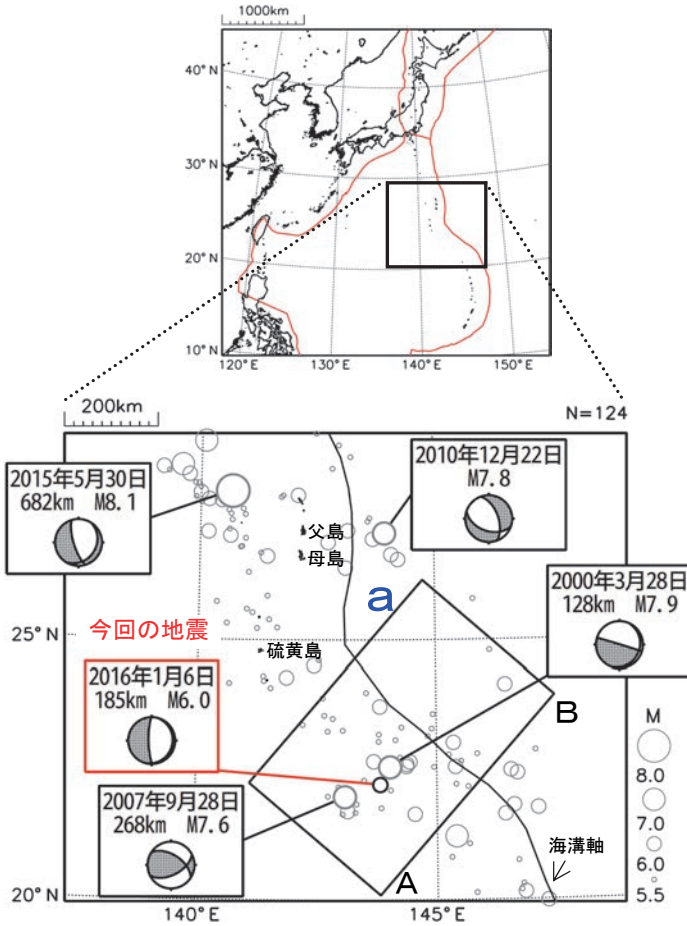
[概況]

1 月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震は 3 回であった（2015 年 12 月はなかった）。1 月中、図 4～9 の領域外で発生した主な地震活動は次のとおりである。

6 日 06 時 59 分に硫黄島近海で $M6.0$ の地震（図 10 中の a）が発生し、東京都小笠原村（母島）で震度 1 を観測した（p. 21 参照）。

1 月 6 日 硫黄島近海の地震

震央分布図
 (2000 年 1 月 1 日～2016 年 1 月 31 日、
 深さ 0～700km、 $M \geq 5.5$)
 2016 年 1 月の地震を濃く表示
 図中の発震機構は CMT 解

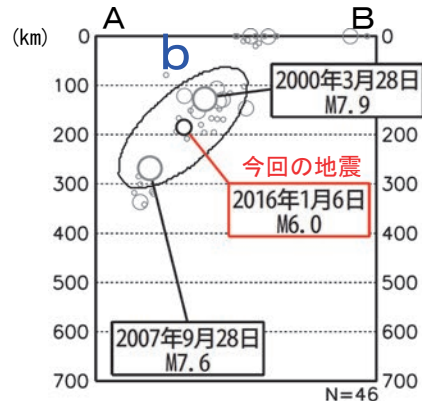


2016 年 1 月 6 日 06 時 59 分に硫黄島近海の深さ 185km で M6.0 の地震 (最大震度 1) が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構は東西方向に張力軸を持つ型である。

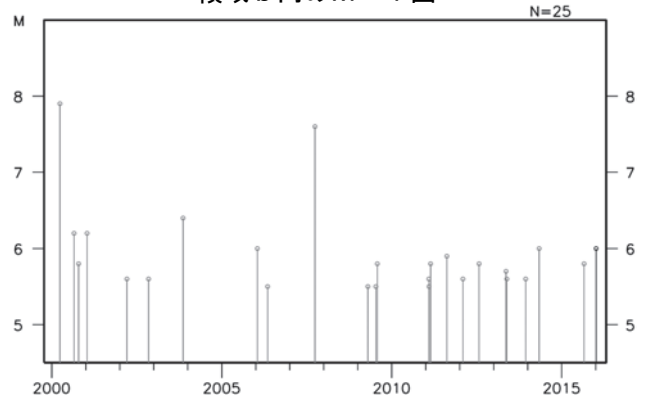
2000 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺 (領域 b) では、M7.0 を超える地震が 2000 年 3 月 28 日 (M7.9、最大震度 3)、及び 2007 年 9 月 28 日 (M7.6、最大震度 2) に 2 回発生している。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、M7.0 以上の地震が時々発生している。

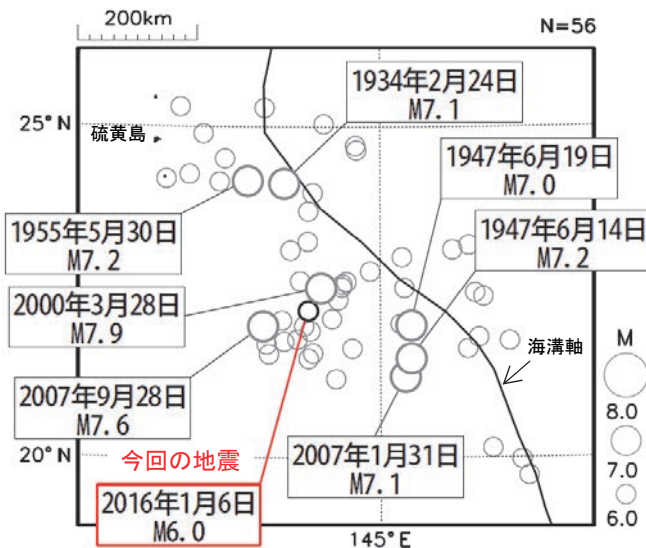
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



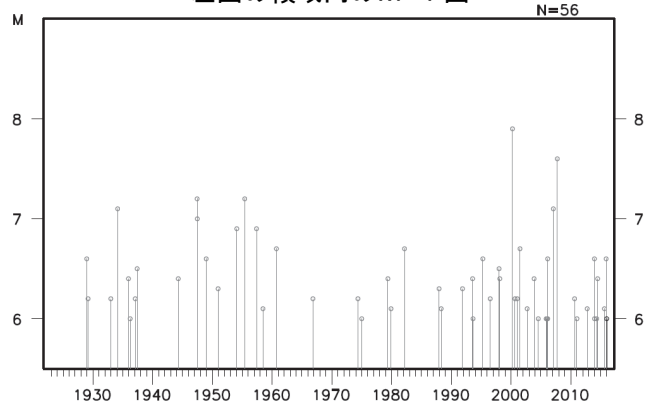
領域 b 内の M-T 図



震央分布図
 (1923 年 1 月 1 日～2016 年 1 月 31 日、
 深さ 0～700km、 $M \geq 6.0$)



左図の領域内の M-T 図



●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動と 地震防災対策強化地域判定会検討結果

東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

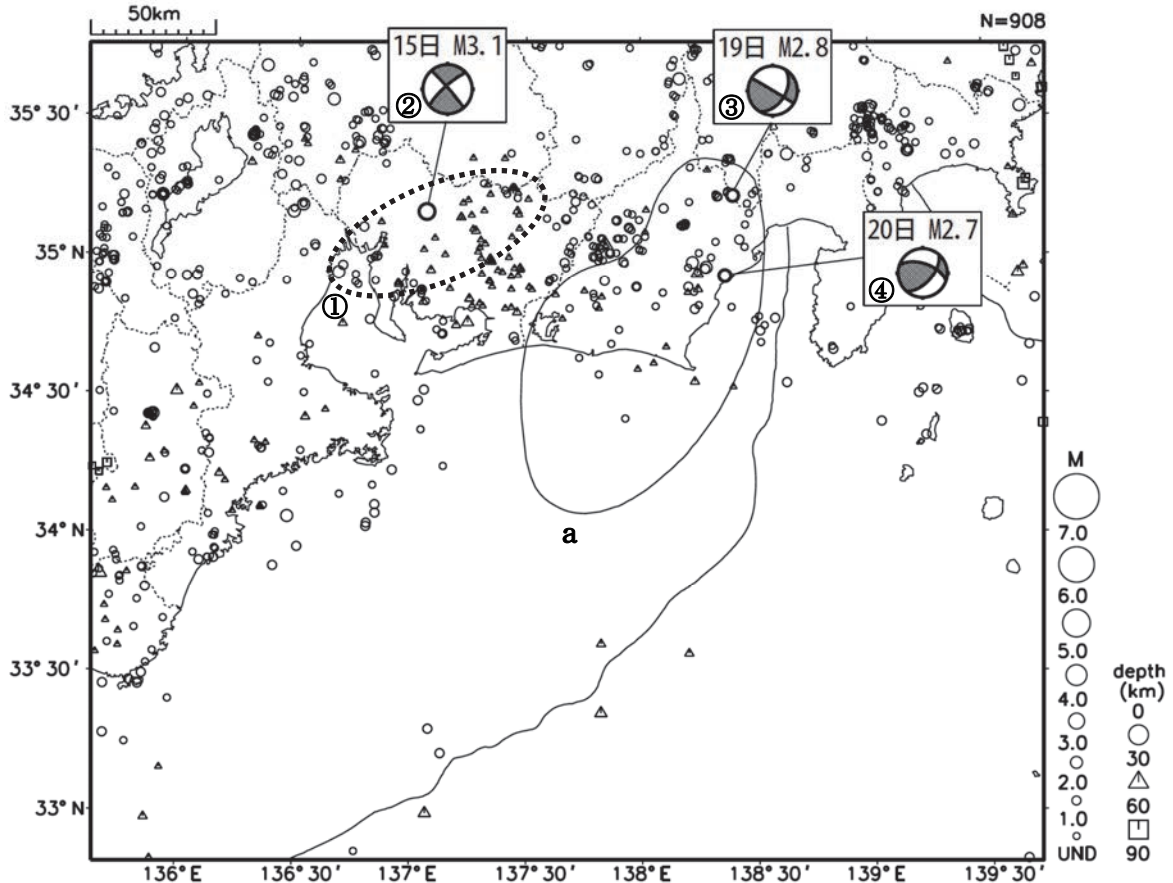


図1 震央分布図（2016年1月1日～31日：深さ0～90km、Mすべて。図中の領域aは東海地震の想定震源域。）

【概況】

特に目立った活動はなかった。

- ① 2015年12月28日から2016年1月14日にかけて、三重県から長野県南部を震源とする深部低周波地震を観測した。
- ② 2016年1月15日20時05分に愛知県西部の深さ14kmでM3.1の地震（最大震度1）が発生した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構は、東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。
- ③ 2016年1月19日06時09分に山梨県中・西部の深さ21kmでM2.8の地震（最大震度1）が発生した。発震機構は南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。
- ④ 2016年1月20日11時15分に静岡県中部の深さ24kmでM2.7の地震（最大震度1）が発生した。この地震は、発震機構が東北東－西南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

注 冒頭の番号は図1中の数字に対応する

地震防災対策強化地域判定会検討結果

1 月 25 日に気象庁において第 357 回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地殻活動」として次の調査結果を発表した（図 2～図 18）。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくと思われる変化は観測していません。

1. 地震の観測状況

12月28日から1月14日にかけて、三重県から長野県南部のプレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）を観測しています。

2. 地殻変動の観測状況

GNSS観測及び水準測量の結果では、御前崎の長期的な沈降傾向は継続しています。

平成25年はじめ頃から静岡県西部から愛知県東部にかけてのGNSS観測及びひずみ観測にみられている通常とは異なる変化は、現在も継続しています。

また、12月30日から1月9日にかけて、三重県、愛知県及び静岡県の複数のひずみ観測点やGNSS観測点でわずかな地殻変動を観測しました。

3. 地殻活動の評価

平成25年はじめ頃から観測されている通常とは異なる地殻変動は、浜名湖付近のプレート境界において発生している「長期的ゆっくりすべり」に起因すると推定しており、現在も継続しています。

そのほか東海地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは今のところ得られていません。

一方、上記の深部低周波地震（微動）、ひずみ観測点及びGNSS観測点で観測した地殻変動は、三重県及び愛知県の想定震源域より深いプレート境界において発生した「短期的ゆっくりすべり」に起因すると推定しています。

以上のように、現在のところ、東海地震に直ちに結びつくと思われる変化は観測していません。

なお、GNSS観測の結果によると「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」による余効変動が、小さくなりつつありますが東海地方においてもみられています。

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和 53 年（1978 年）12 月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域を予め「地震防災対策強化地域」（以下、「強化地域」という。）として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、予め地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講ずることとしている。強化地域は平成 14 年（2002 年）4 月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる 157 市町村（平成 24 年 4 月現在）が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード 8 クラスと想定されている大地震（東海地震）が起こった場合、震度 6 弱以上（一部地域では震度 5 強程度）になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。

気象庁では、いつ発生してもおかしくない状態にある「東海地震」を予知すべく、東海地域の地震活動や地殻変動等の状況を監視している。また、これらの状況を定期的に評価するため、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を取りまとめたコメント「最近の東海地域とその周辺の地殻活動」を発表している。

【地震防災対策強化地域判定会検討結果の頁で使われる用語】

・「想定震源域」と「固着域」

東海地震発生時には、「固着域」（プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域）あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ（前兆すべり）が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。図 2 の静岡県中西部の場合、相互の震央間の距離が 3 km 以内で、相互の発生時間差が 7 日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が 1 つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

主に浜名湖周辺下のフィリピン海プレートと陸のプレートの境界が、数年間にかけてゆっくりとすべる現象で、十数年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられており、前回は 2000 年秋頃～2005 年夏頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約 30km～40km で発生する、長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

「短期的ゆっくりすべり」は、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1 週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。

なお、地震活動および地殻活動の解析には Hirose et al. (2008)* によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

*Hirose, F., J. Nakajima, and A. Hasegawa (2008), Three-dimensional seismic velocity structure and configuration of the Philippine Sea slab in southwestern Japan estimated by double-difference tomography, J. Geophys. Res., 113, B09315, doi:10.1029/2007JB005274.

東海地域の地震活動指数 (クラスタを除いた地震回数による)

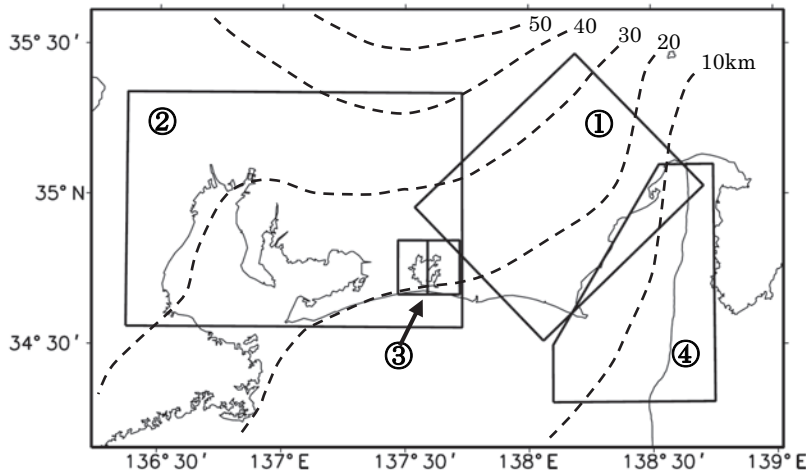
(参考)

2016年1月17日 現在

	① 静岡県中西部		② 愛知県		③ 浜名湖周辺			④ 駿河湾	
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内			全域	余震 除去
					全域	西側	東側		
短期活動指数	8	3	6	4	1	3	1	5	4
短期地震回数 (平均)	12 (5.29)	4 (7.00)	18 (13.16)	14 (14.15)	1 (6.16)	1 (2.46)	0 (3.70)	8 (6.06)	3 (3.89)
中期活動指数	7	4	4	4	1	3	1	5	4
中期地震回数 (平均)	25 (15.87)	19 (21.00)	41 (39.48)	39 (42.44)	5 (12.32)	3 (4.93)	2 (7.39)	14 (12.12)	6 (7.79)

- * Mしきい値： 静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺：M \geq 1.1、駿河湾：M \geq 1.4
- * クラスタ除去：震央距離が Δr 以内、発生時間差が Δt 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。
静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺： $\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$
駿河湾： $\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$
- * 対象期間： 静岡県中西部、愛知県：短期30日間、中期90日間
浜名湖周辺、駿河湾：短期90日間、中期180日間
- * 基準期間： おおむね長期的ゆっくりすべり（スロースリップ）発生前の地震活動を基準とする。
静岡県中西部、愛知県：1997年－2001年（5年間）、
浜名湖周辺：1998年－2000年（3年間）、駿河湾：1991年－2000年（10年間）

- [各領域の説明]
- ① 静岡県中西部：プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域（固着域）。
 - ② 愛知県：フィリピン海プレートが沈み込んでいく先の領域。
 - ③ 浜名湖周辺：固着域の縁。長期的ゆっくりすべり（スロースリップ）が発生する場所であり、同期して地震活動が変化すると考えられている領域。
 - ④ 駿河湾：フィリピン海プレートが沈み込み始める領域。
- 余震除去：2009年8月11日の駿河湾の地震（M6.5）と2011年8月1日の駿河湾の地震（M6.2）の余震域の活動を除いて活動指数を求めた場合。



指数	確率 (%)	地震数
8	1	多い
7	4	
6	10	
5	15	ほぼ平常
4	40	
3	15	やや少ない
2	10	
1	4	
0	1	少ない

* Hirose et al. (2008) によるプレート境界の等深線を破線で示す

図2 東海地域の地震活動指数

気象庁作成

地震活動指数の推移（中期活動指数）

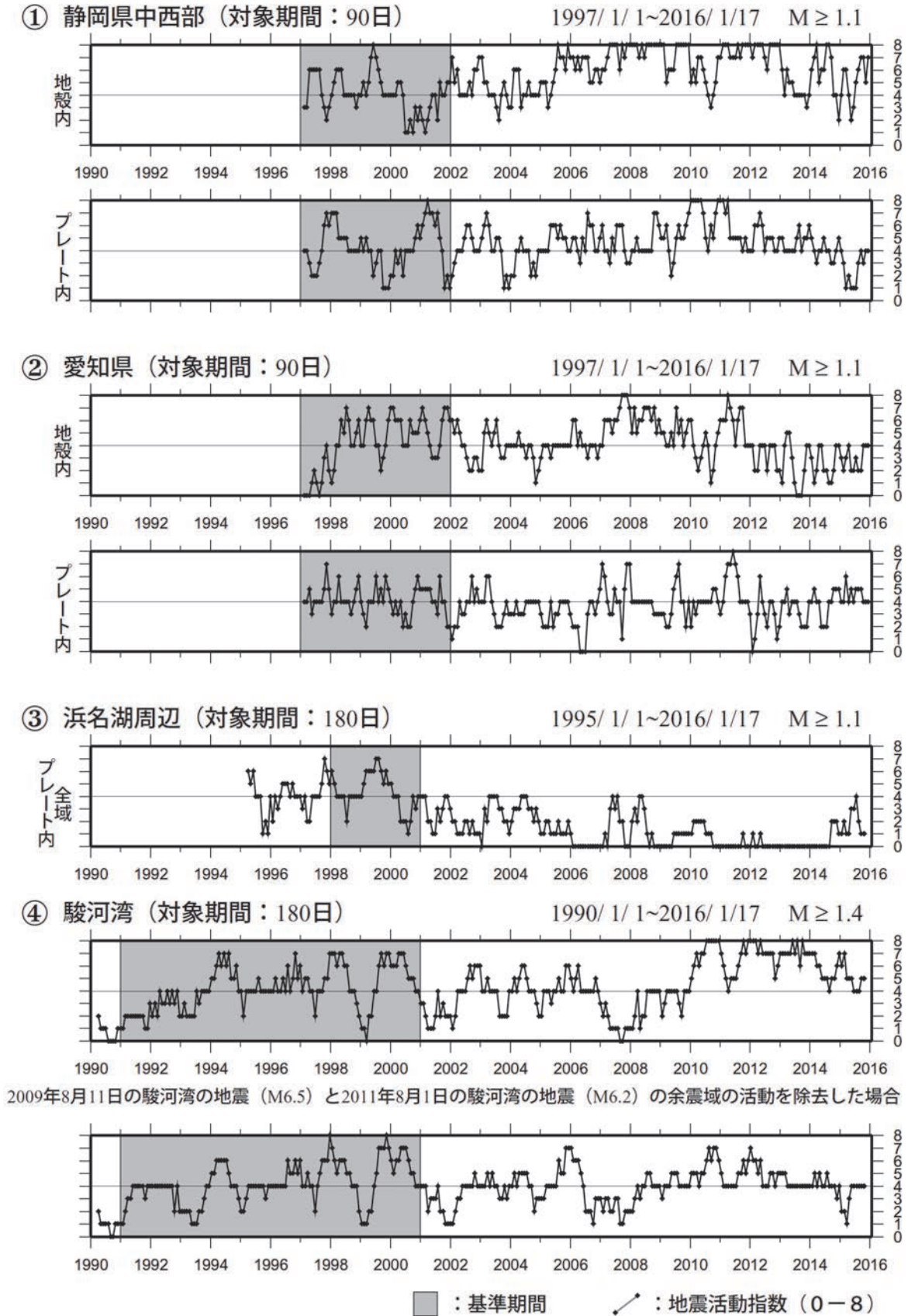


図3 東海地域の地震活動指数の推移

浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、地震の発生頻度の低い状態が続いている。その他の地域では概ね平常レベルである。

気象庁作成

深部低周波地震は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。

深部低周波地震活動（2000年1月1日～2016年1月20日）

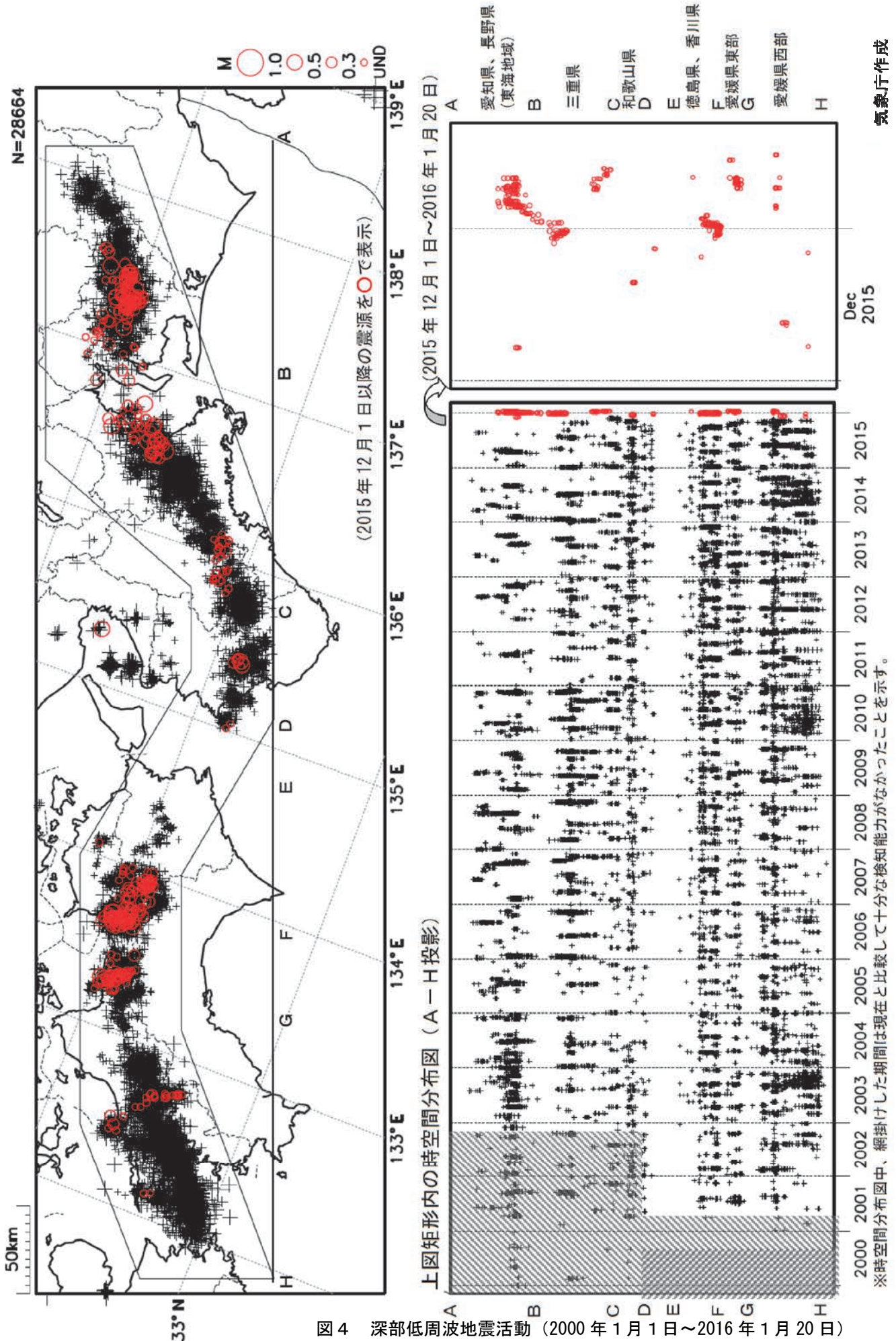


図4 深部低周波地震活動（2000年1月1日～2016年1月20日）

紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況 (2015 年 12 月～2016 年 1 月)



- 紀伊半島北部から東海地方において 12 月 28 日～1 月 14 日頃に、活発な微動活動。
- 紀伊半島南部において 1 月 8～13 日頃に、やや活発な微動活動。

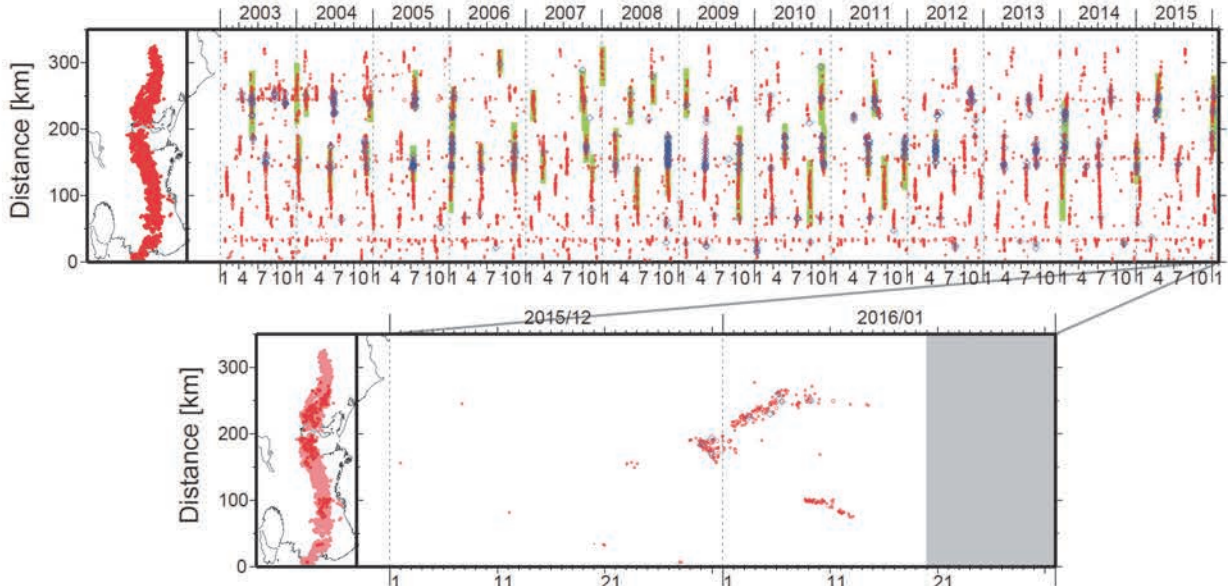


図 1. 紀伊半島・東海地域における 2003 年 1 月～2016 年 1 月 19 日までの深部低周波微動の時空間分布（上図）。赤丸はエンベロープ相関・振幅ハイブリッド法(Maeda and Obara, 2009)およびクラスタ処理(Obara et al., 2010)によって 1 時間毎に自動処理された微動分布の重心である。青菱形は周期 20 秒に卓越する超低周波地震 (Ito et al., 2007) である。黄緑色の太線はこれまでに検出された短期的スロースリップイベント (SSE) を示す。下図は 2015 年 12 月～2016 年 1 月の拡大図である。12 月 28 日～1 月 14 日頃に三重県北部から愛知県で微動活動がみられた。この活動は、12 月 31 日頃まで南西方向に活動域が拡大したのち、1 月 1 日頃からは伊勢湾を挟んだ愛知県西部の領域で活動が開始した。その後、東方向への活動域の移動がみられ、愛知県東部まで達した。活動は 10 日頃より弱まりつつ 14 日頃まで継続した。この活動に際して、傾斜変動から短期的 SSE の断層モデルも推定されている。1 月 8 日～13 日頃には奈良県南部でやや活発な微動活動が発生し、西方向への活動域の移動がみられた。12 月 20～21 日頃には、和歌山県中部でごく小規模な活動がみられた。12 月 23～24 日頃には、三重県北部で小規模な活動がみられた。

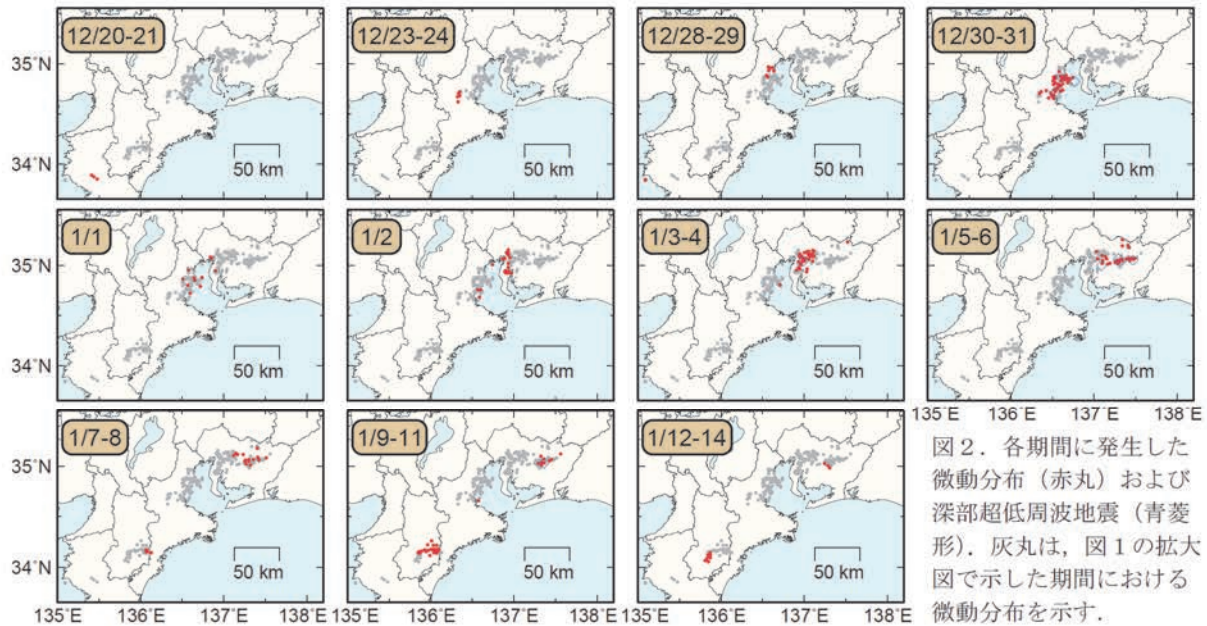


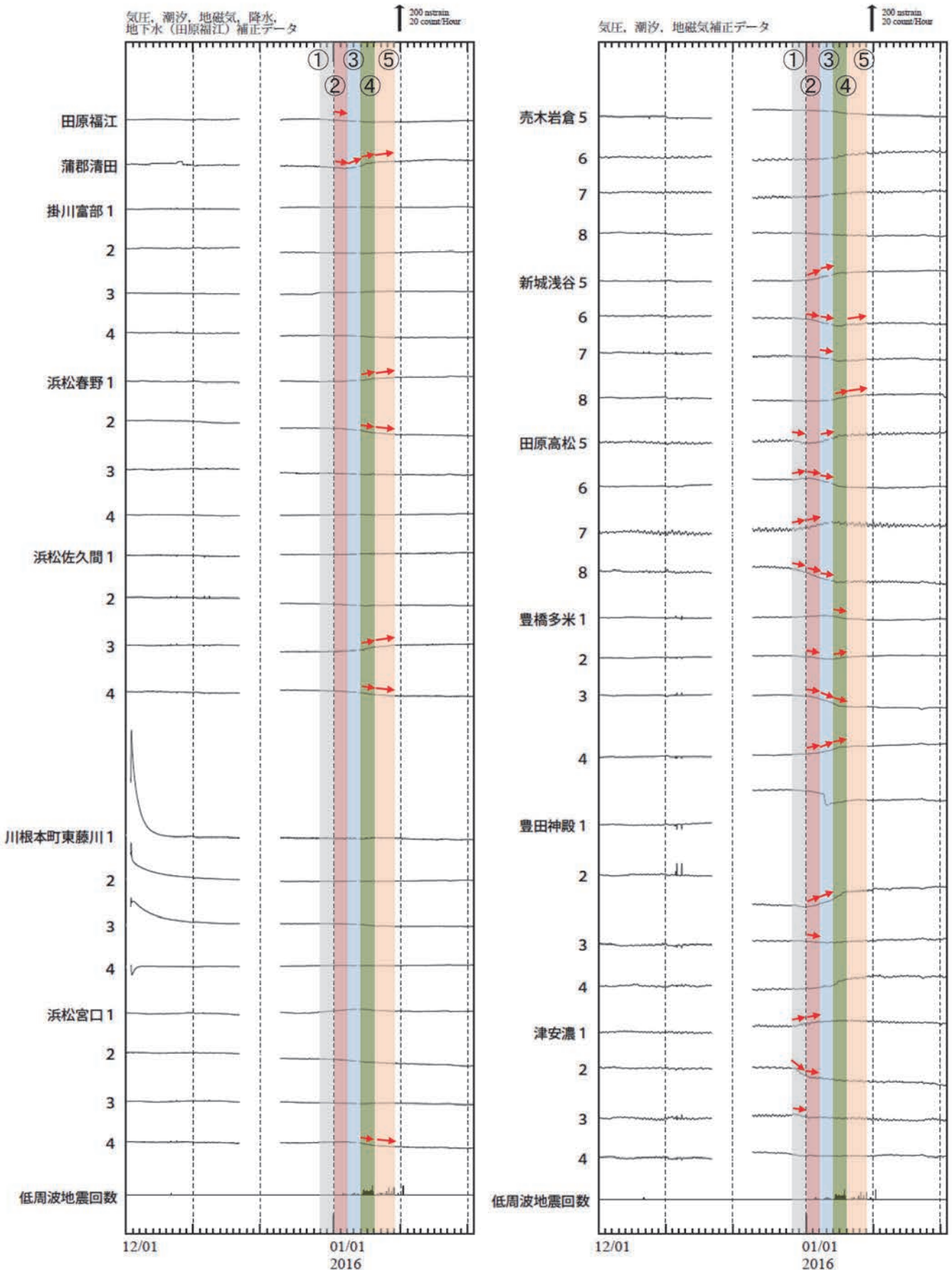
図 2. 各期間に発生した微動分布（赤丸）および深部超低周波地震（青菱形）。灰丸は、図 1 の拡大図で示した期間における微動分布を示す。

防災科学技術研究所作成

図 5 紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況

東海地域のひずみ変化

2015. 12. 01 ~ 2016. 01. 21



※浜松春野、川根本町東藤川は静岡県、豊橋多米、豊田神殿、津安濃は産業技術総合研究所の観測点である。

気象庁作成

図 6 東海地域のひずみ変化

ひずみ変化を説明しうる断層モデル候補

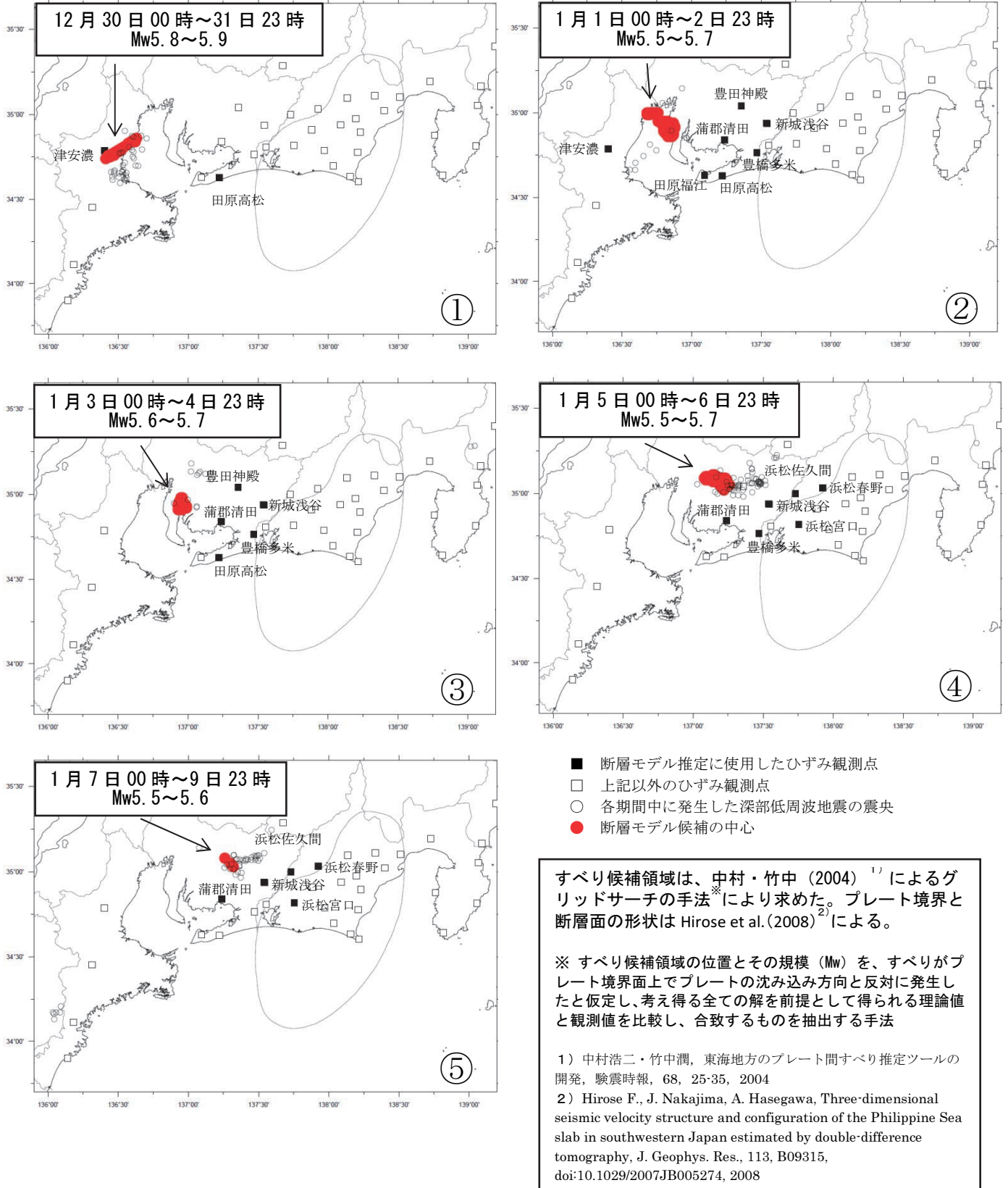
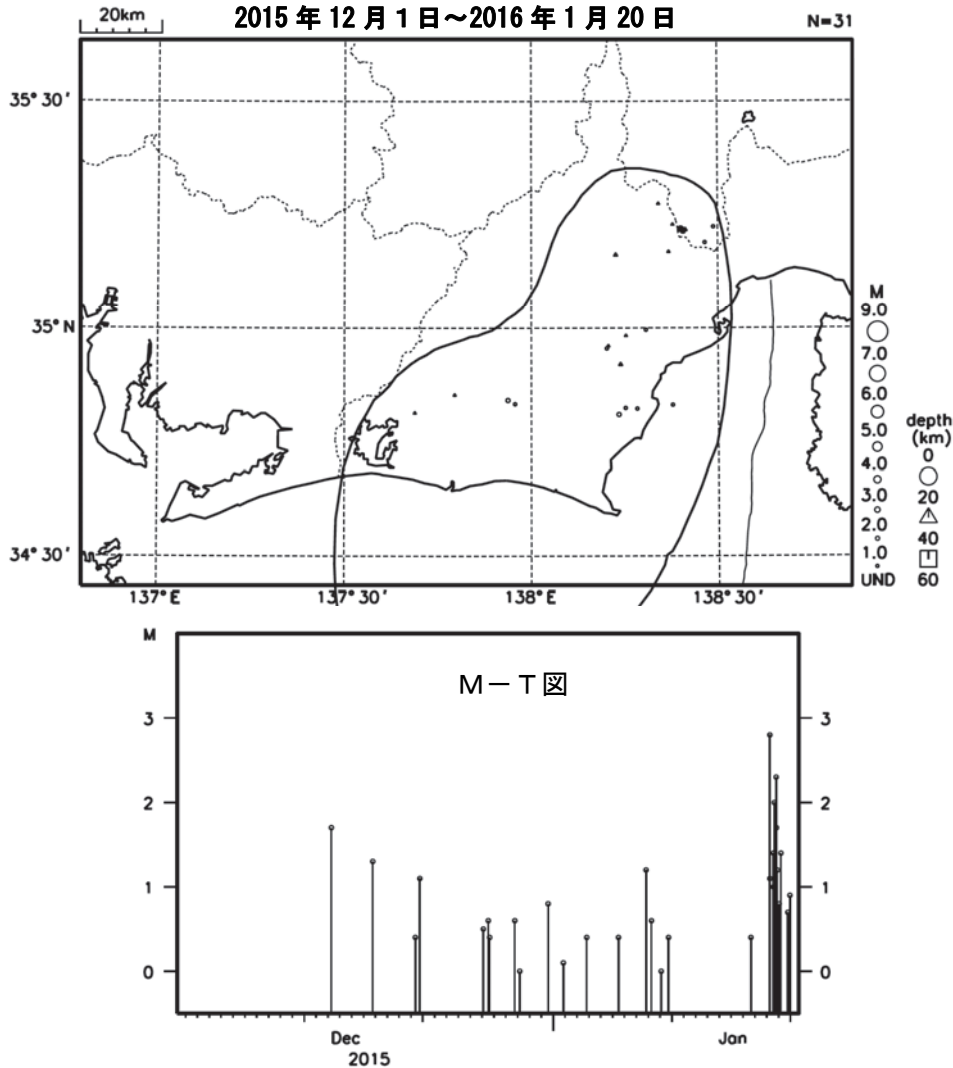


図 7 ひずみ変化を説明しうる断層モデル候補

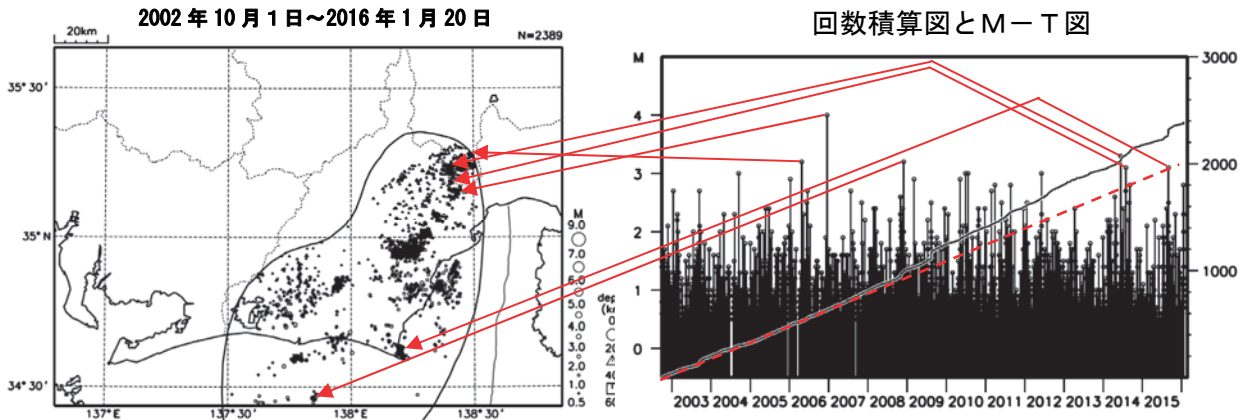
プレート境界とその周辺の地震活動（最近の活動状況）

（Hirose et al. (2008) によるフィリピン海プレート上面深さの±3km の地震を抽出）

プレート境界とその周辺の地震の震央分布（最近約 1 ヶ月半、M すべて）



プレート境界とその周辺の地震の震央分布（2002 年 10 月以降、 $M \geq 0.5$ ）



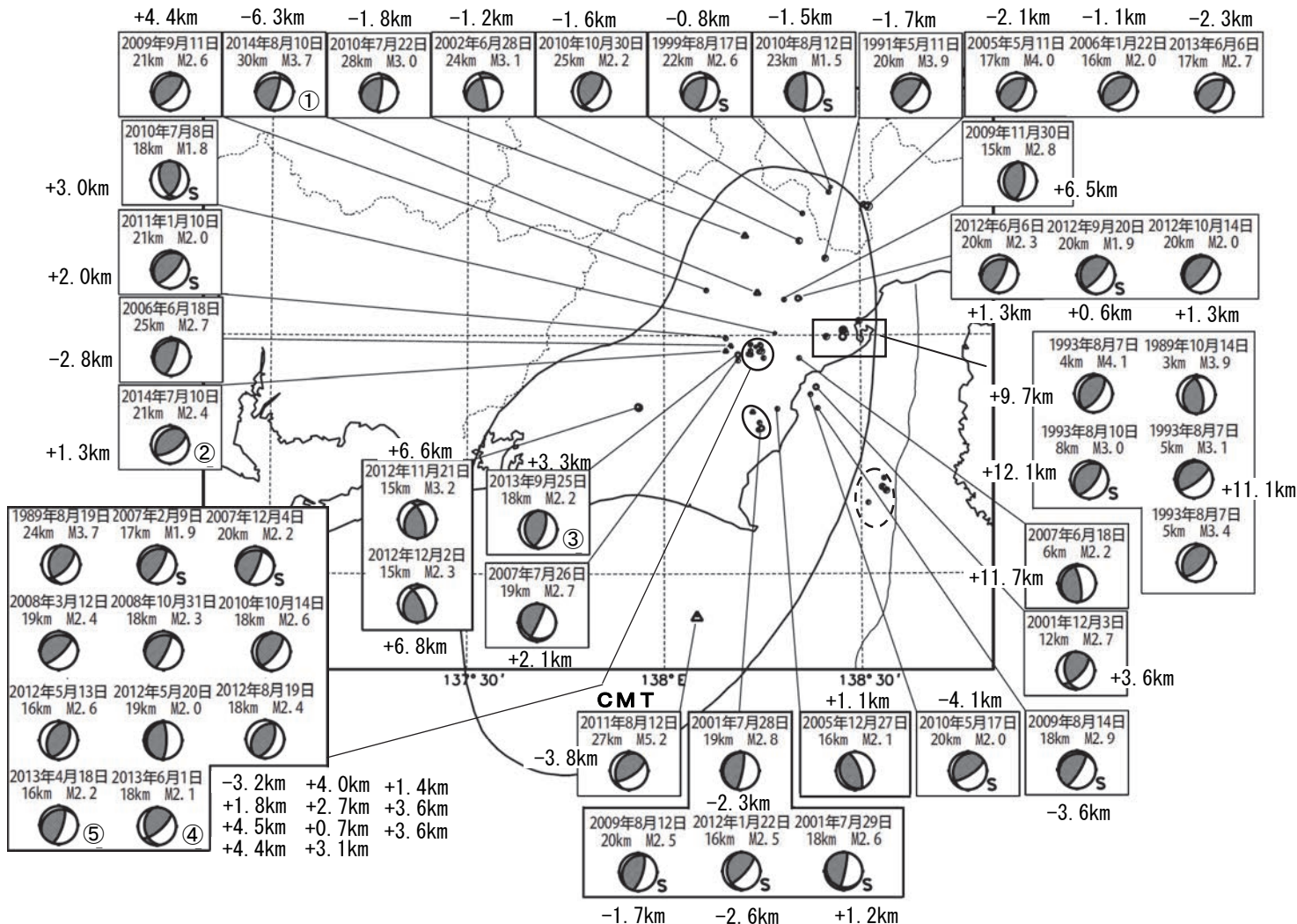
2002 年 10 月以降 ($M \geq 0.5$) で見ると、東海地域のプレート境界とその周辺の地震活動は、2007 年中頃あたりからやや活発に見える。なお、2009 年 8 月 11 日以降は、駿河湾の地震 ($M6.5$) の余震活動の一部を抽出している。M3 を超える地震については、その震央を矢印で示しているが、これらの地震の発震機構解は想定東海地震のものとは類似の型ではない。

図 8 プレート境界とその周辺の地震活動（最近の活動状況）

気象庁作成

想定東海地震の発震機構解と類似の型の地震

1987 年 9 月 1 日～2016 年 1 月 20 日



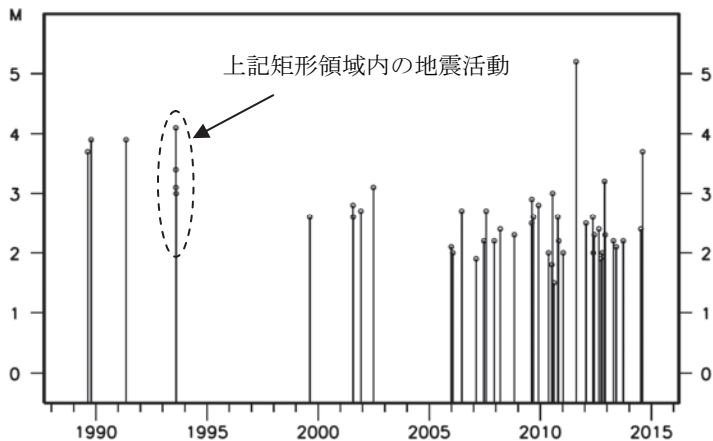
吹き出しの傍に書かれた値は、Hirose et al. (2008)によるプレート境界からの鉛直方向の距離。+はプレート境界より浅く、-は深いことを示す。

最近発生した5つの地震については、丸数字で順番を示す。

想定東海地震の発震機構解と類似の型の地震を抽出した。抽出条件は、P軸の傾斜角が45度以下、かつP軸の方位角が65度以上145度以下、かつT軸の傾斜角が45度以上、かつN軸の傾斜角が30度以下とした。

プレート境界で発生したと疑われる地震の他、明らかに地殻内またはフィリピン海プレート内で発生したと推定される地震も含まれている。また、2009年までに発生した地震については、Nakamura et al. (2008)の3次元速度構造で震源とメカニズム解を再精査し、いくつかの地震は候補から削除されている。点線楕円で囲まれた地震は、2011年8月1日に発生したM6.2の地震の余震で、フィリピン海プレート内の地震である。

なお、吹き出し図中、震源球右下隣りにSの表示があるものは、発震機構解に十分な精度がない。



上記イベントの、想定震源域内におけるM-T図。

図9 想定東海地震の発震機構解と類似の型の地震

気象庁作成

ひずみ変化と長期的ゆっくりすべりのすべり推定

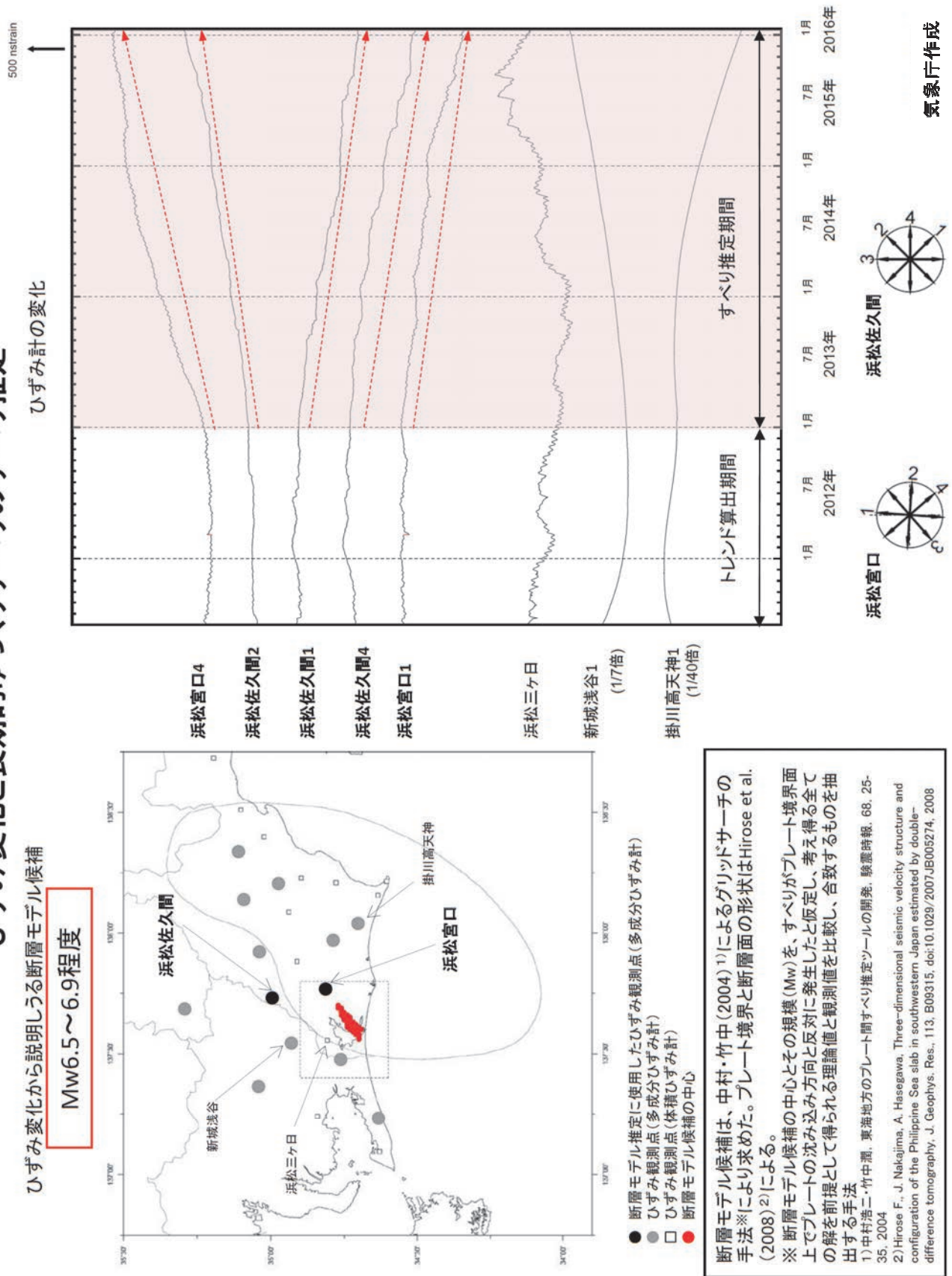


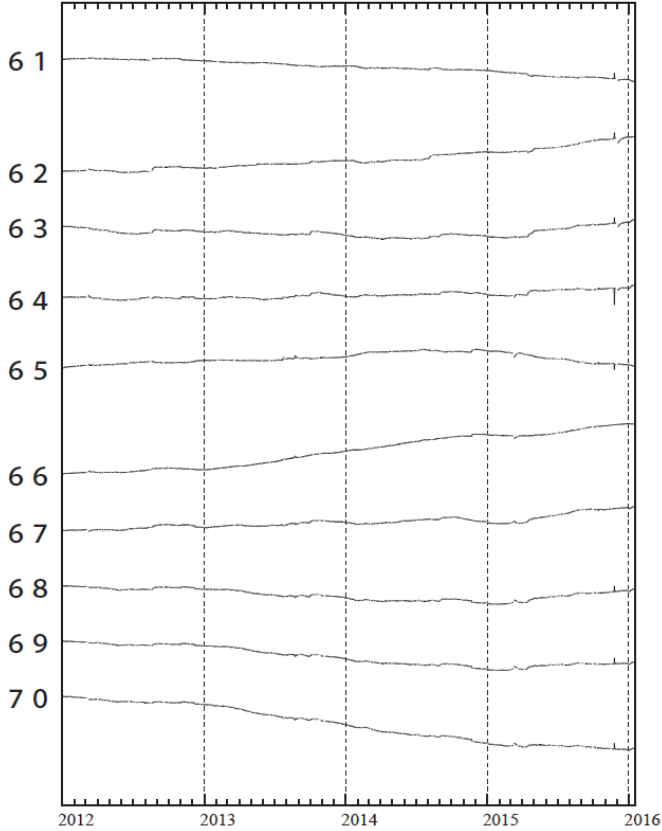
図 10 ひずみ変化と長期的ゆっくりすべりのすべり推定

スタッキング*による長期的ゆっくりすべりの検出について

○各グリッドでの時系列変化

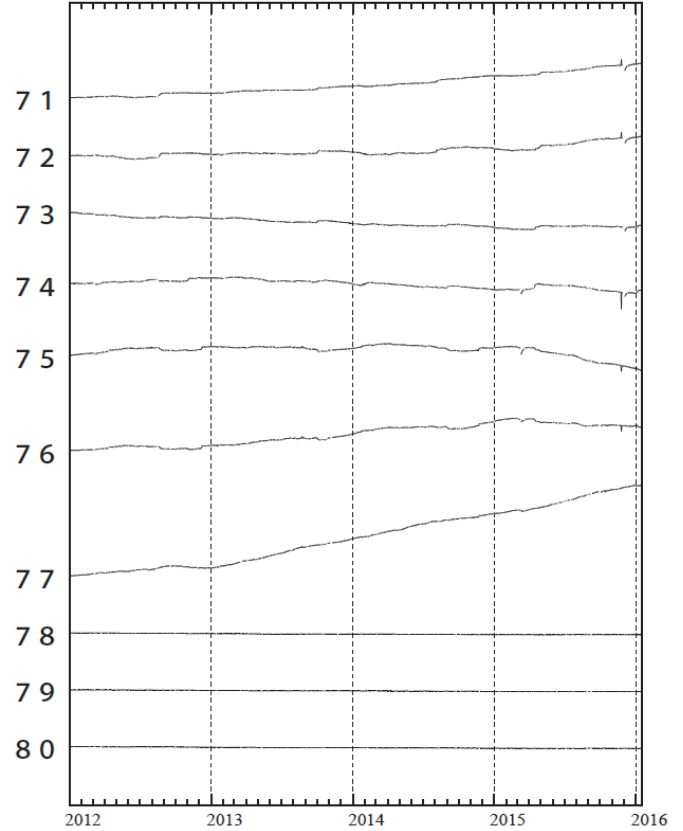
Stack 61 ~70 (降水補正日値)

2012/01/01:00:00 - 2016/01/17:00:00
気圧, 潮汐, 降水, 地磁気補正データ



Stack 71 ~80 (降水補正日値)

2012/01/01:00:00 - 2016/01/17:00:00
気圧, 潮汐, 降水, 地磁気補正データ

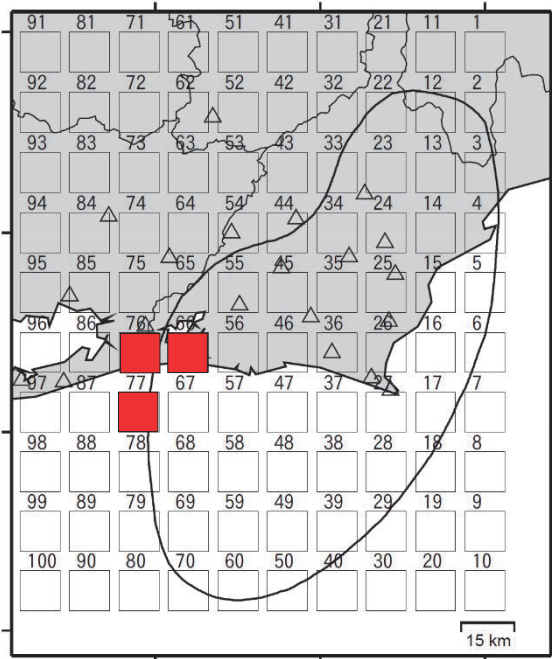


日値スタッキング波形。番号は監視グリッド（左下図参照）を示す。

データ : 補正日値（体積ひずみ計とアナログ式多成分ひずみ計）

ノイズレベル : 2011年6月~2012年12月の、60日階差（単純な階差）の標準偏差

理論値計算 : 0.15°ごとの各グリッドを中心とする、20×20kmの断層



グリッド配置及びすべり位置

グリッド No.66, 76 及び No.77 に明瞭な変化が見られている。総すべり量は Mw6.6 相当となる。

□ スタッキンググリッド

* スタッキング手法は、複数のひずみ計のデータを重ね合わせることによって、微小な地殻変動のシグナルを強調させて、検知能力を向上させる解析方法である。

参考文献

宮岡一樹, 横田 崇 (2012) : 地殻変動検出のためのスタッキング手法の開発—東海地域のひずみ計データによるプレート境界すべり早期検知への適用—, 2012, 地震

図 11 スタッキングによる長期的ゆっくりすべりの検出

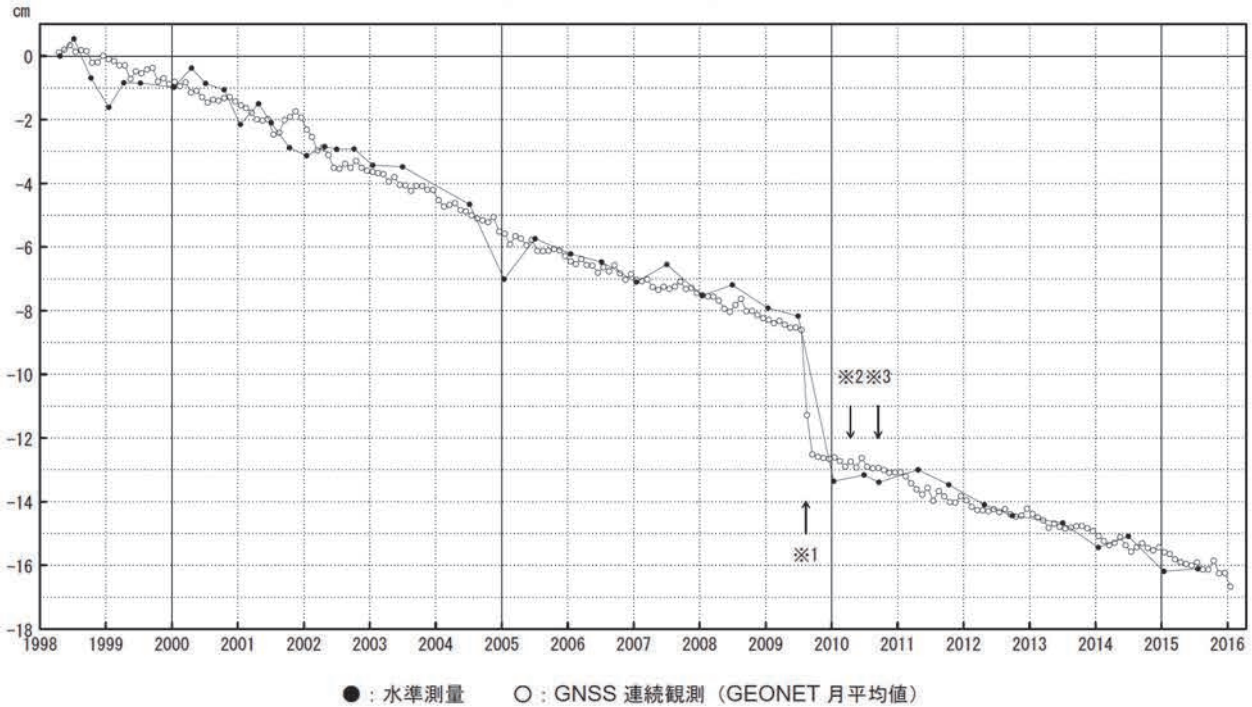
気象庁・気象研究所作成

御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GNSS 連続観測

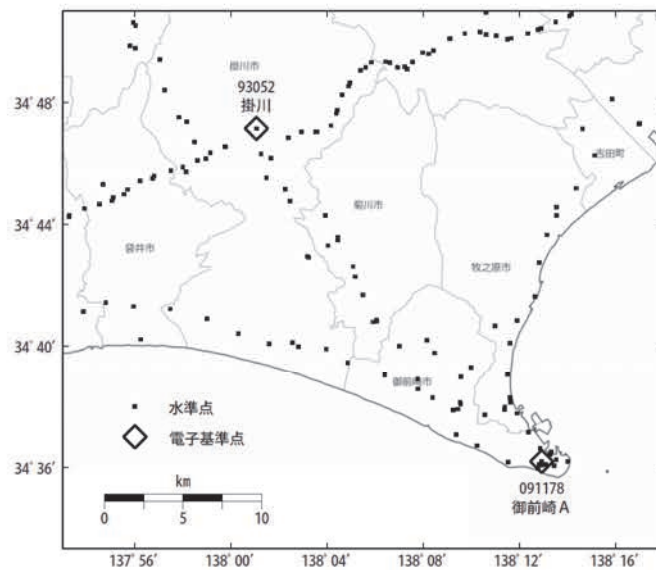
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川 (93052) - 御前崎 A (091178)



・ 最新のプロット点は 01/01～01/02 の平均。

- ※ 1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※ 2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※ 3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。



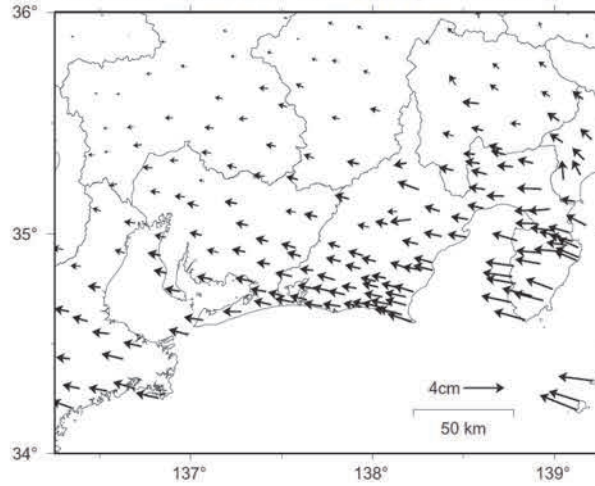
国土地理院

図 12 国土地理院 GNSS 観測結果及び水準測量による御前崎の上下変動

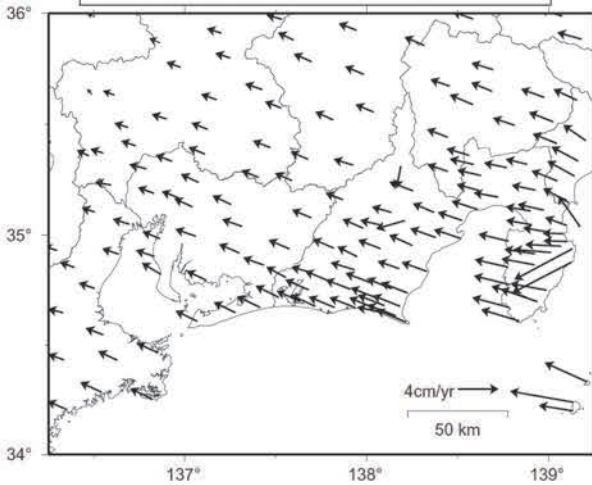
掛川から見た御前崎の上下変動を示したものである。掛川に対して御前崎が沈降するという長期的な傾向に変化は見られない。

東海地方の水平地殻変動【固定局：三隅】 （ 2015 年 1 月～ 2016 年 1 月）

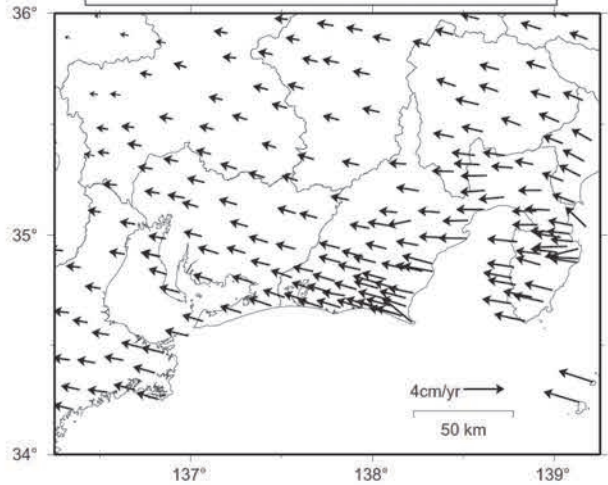
基準期間：2015/1/9 - 2015/1/16 [F3：最終解]
比較期間：2016/1/9 - 2016/1/16 [R3：速報解]



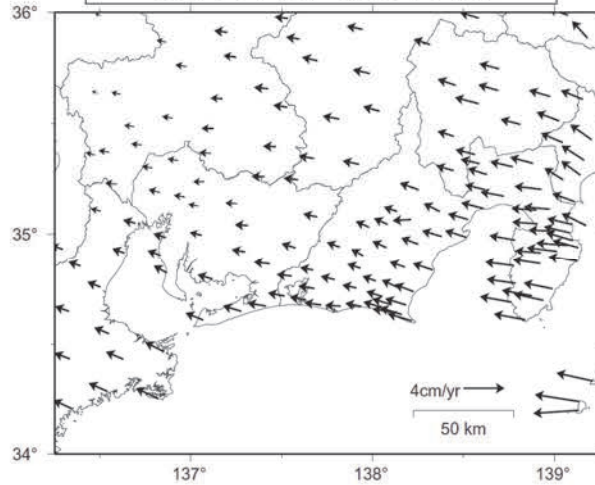
スロースリップ発生前の水平地殻変動速度
(1997年1月～2000年1月)



スロースリップ終息後の水平地殻変動速度
(2008年1月～2011年1月)



スロースリップ進行期の水平地殻変動速度
(2001年1月～2004年1月)

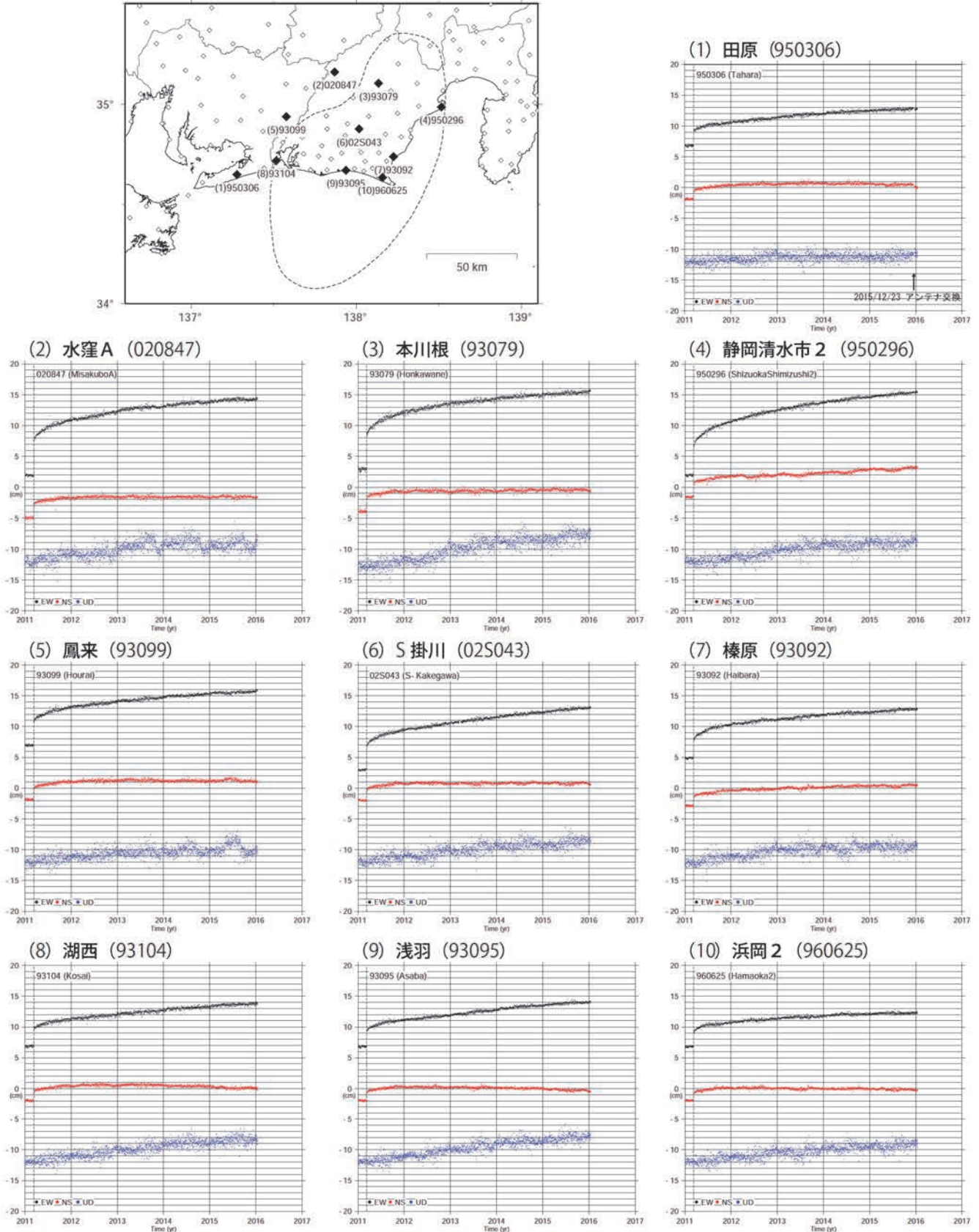


国土地理院

図 13 国土地理院 GNSS 観測結果による、東海地方の水平地殻変動

東海地方の非定常地殻変動時系列【固定局：三隅】

速報解含む 2011/1/1 - 2016/1/16



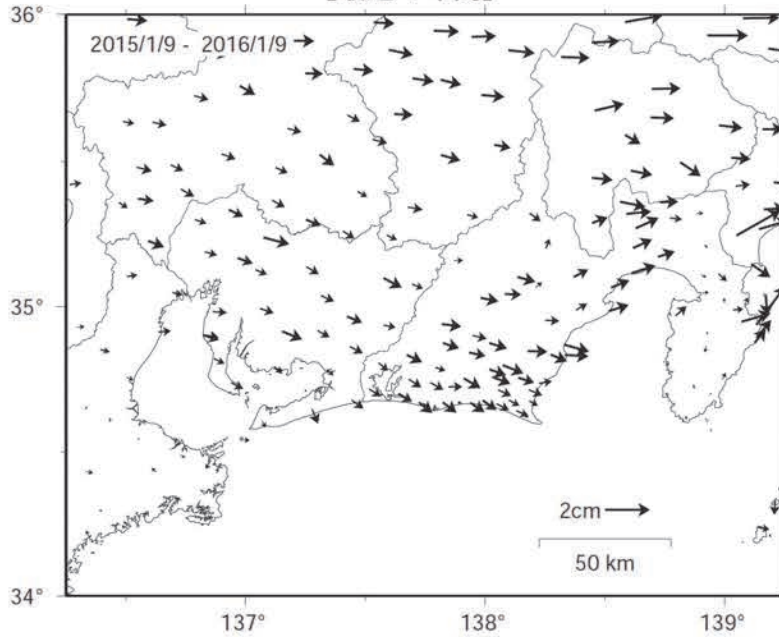
- ・ 2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動の影響は取り除いていない。
- ・ 2008 年 1 月 1 日～2011 年 1 月 1 日のデータから平均変動速度、年周/半年周成分を推定して、元の時系列データから除去している。

図 14 国土地理院 GNSS 観測結果による、東海地方の非定常地殻変動時系列

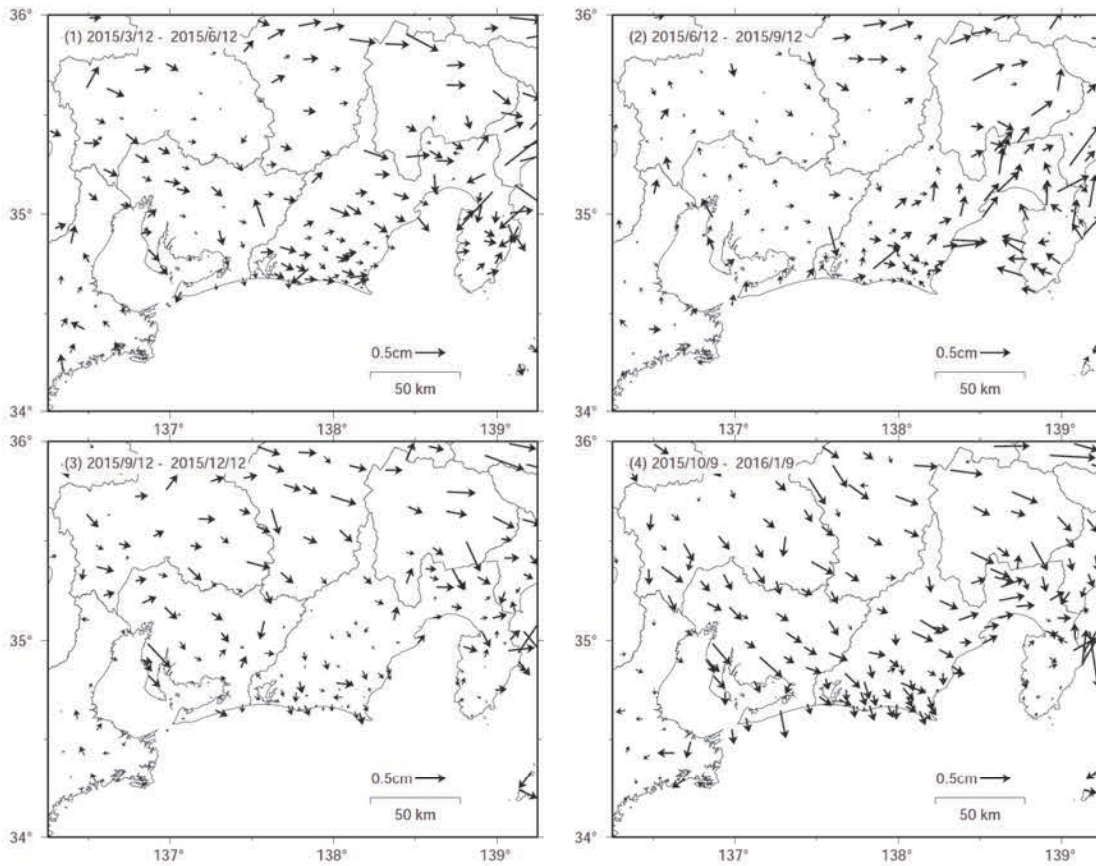
国土地理院

「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」による余効変動が、小さくなりつつあるが、東海地方においてもみられている。

東海地方の非定常水平地殻変動【固定局：三隅】
（2015 年 1 月～2016 年 1 月）
【最近 1 年間】



【最近 1 年間 3 ヶ月ごと】



・非定常地殻変動時系列から、1 年間と 3 ヶ月間の変動量を表示している。

※非定常地殻変動時系列：

2008 年 1 月～2011 年 1 月のデータから平均変動速度、年周/半年周成分を推定して、元の時系列データから除去した時系列。

国土地理院

図 15 国土地理院 GNSS 観測結果による、東海地方の非定常水平地殻変動

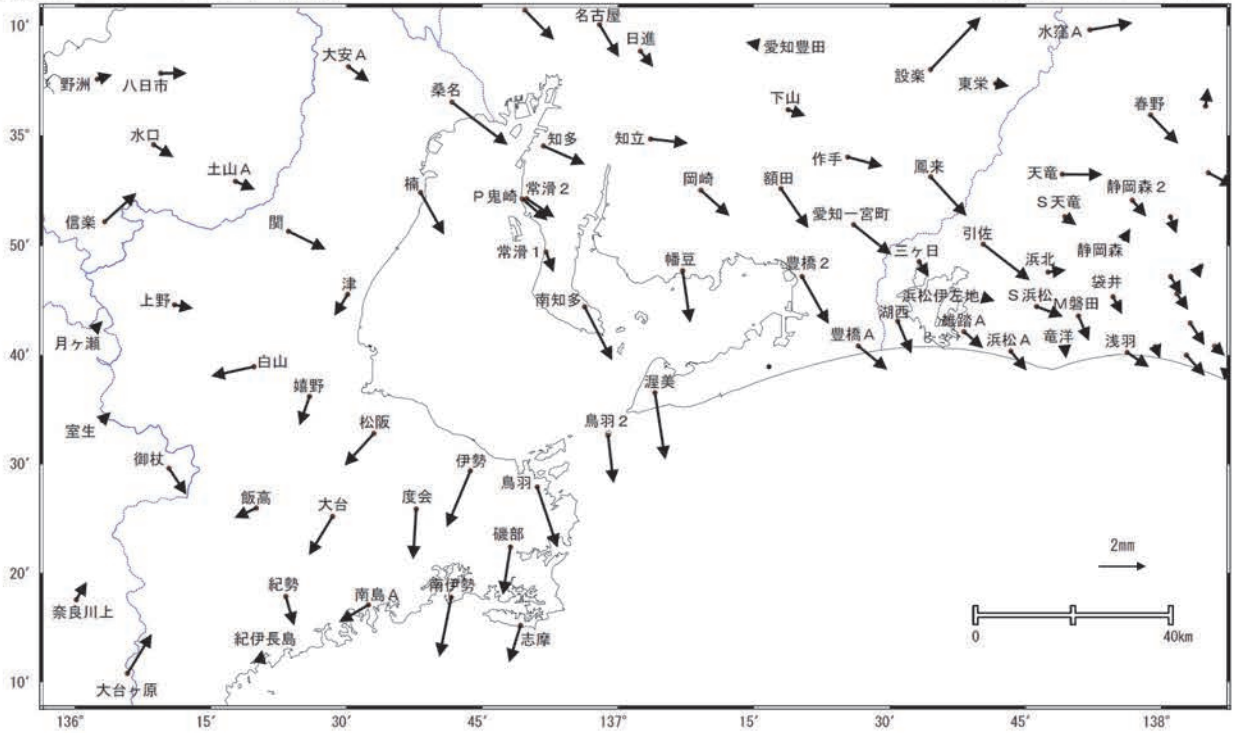
東海地方の非定常的な地殻変動（1）

伊勢湾・三河湾周辺で2016年1月上旬頃にわずかな地殻変動が観測された。

地殻変動(水平)（一次トレンド除去）

基準期間：2015/12/18～2015/12/27[F3:最終解]
比較期間：2016/01/13～2016/01/20[R3:速報解]

計算期間：2015/09/01～2015/11/30

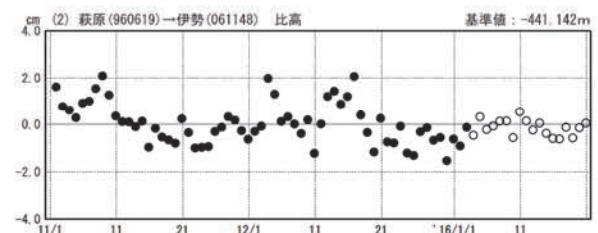
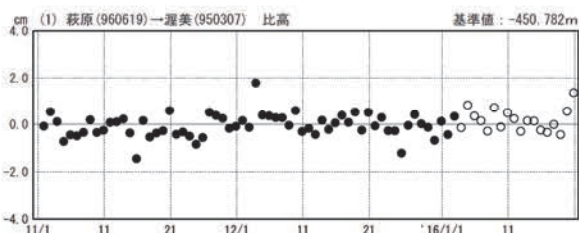
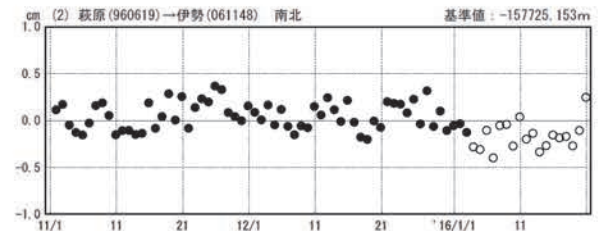
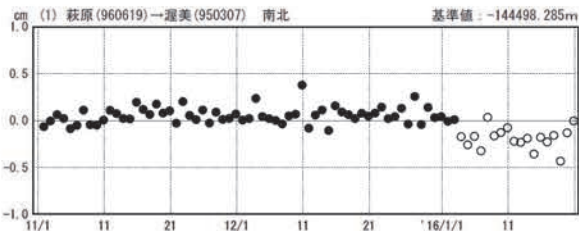
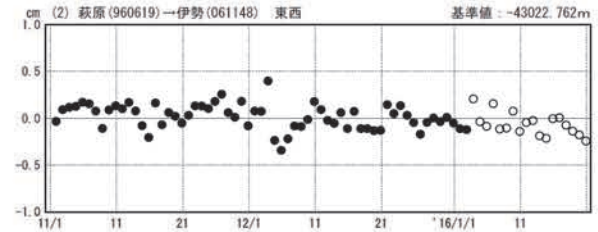
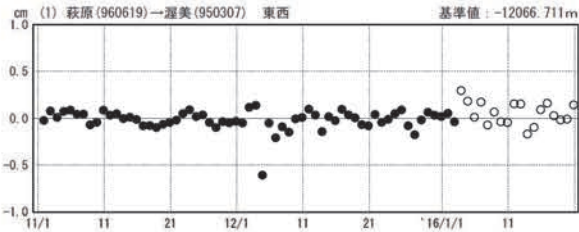


固定局：萩原(960619)

成分変化グラフ（一次トレンド除去）

期間：2015/11/01～2016/01/20 JST

期間：2015/11/01～2016/01/20 JST 計算期間：2015/09/01～2015/11/30



●—[F3:最終解] ○—[R3:速報解]

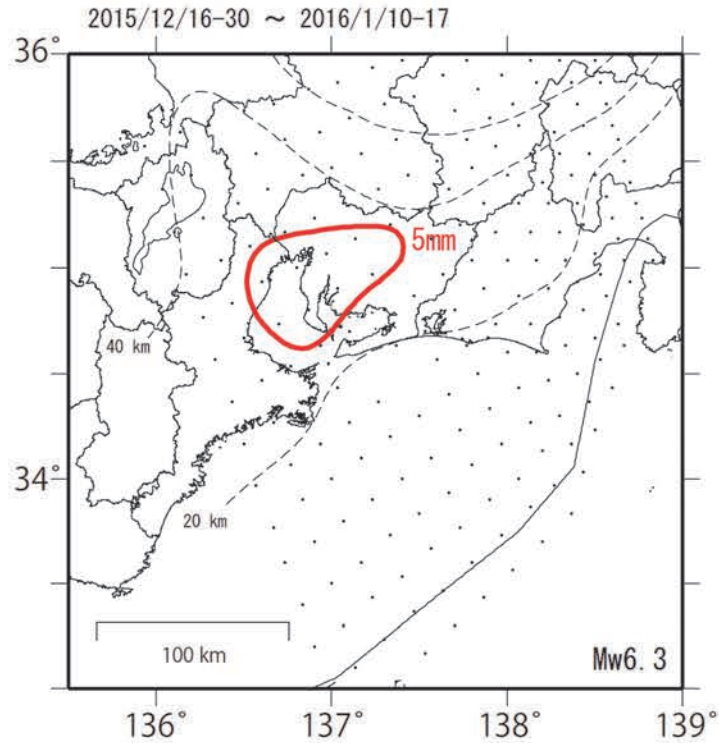
図 16 国土地理院 GNSS 観測結果による、東海地方の非定常的な地殻変動
伊勢湾・三河湾周辺で2016年1月上旬頃にわずかな地殻変動が観測された。

国土地理院

東海地方の非定常的な地殻変動（2）

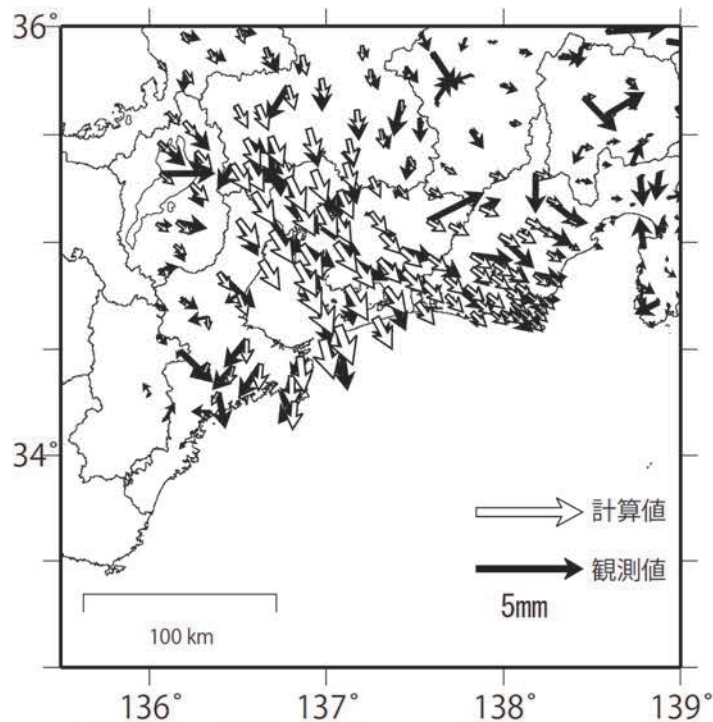
フィリピン海プレートと陸側プレートの境界で最大約7mmの滑りが推定された。

非定常地殻変動から推定されるプレート境界面上の滑り分布



- ・ 矢吹&松浦の方法による。
- ・ 推定される滑り量を等値線（赤実線）で示している（等値線間隔：5mm）。
- ・ 黒破線は、沈み込む海側プレート上面の等深線。

地殻変動ベクトルの観測値と計算値の比較（水平）



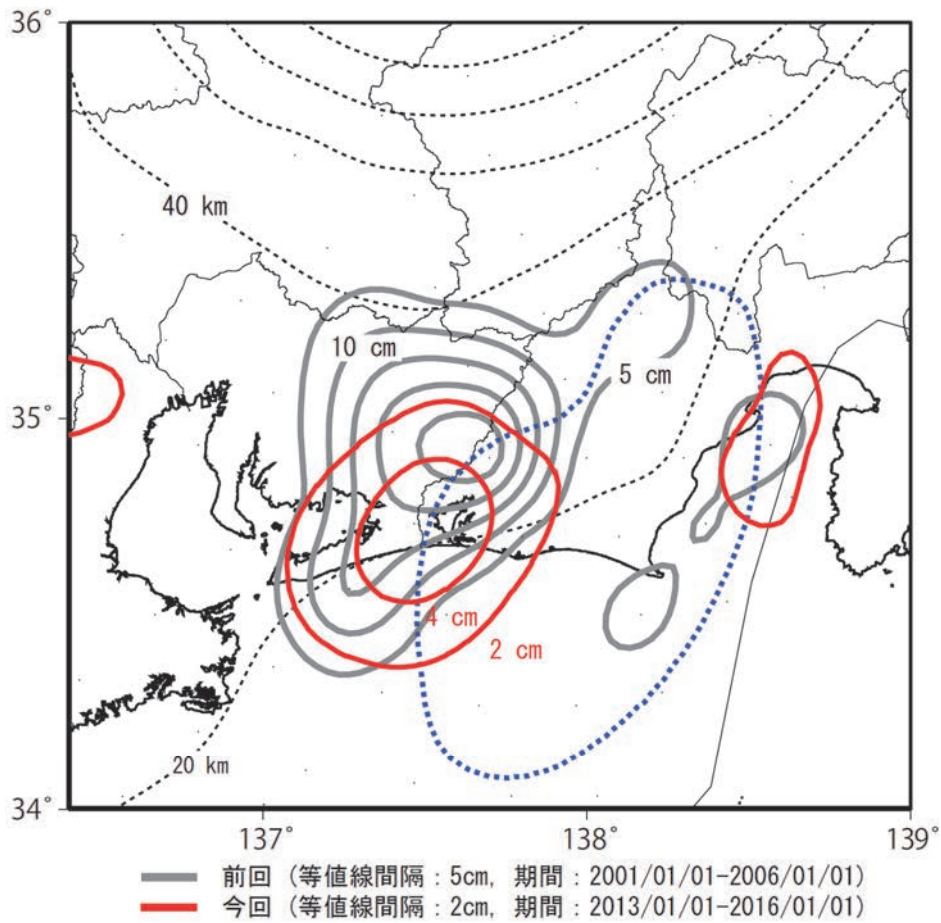
固定局：三隅（950388）

図 17 国土地理院 GNSS 観測結果による、東海地方の非定常的な地殻変動から推定されるプレート境界面上のすべり分布及び地殻変動ベクトルの観測地と計算値の比較（水平）

国土地理院

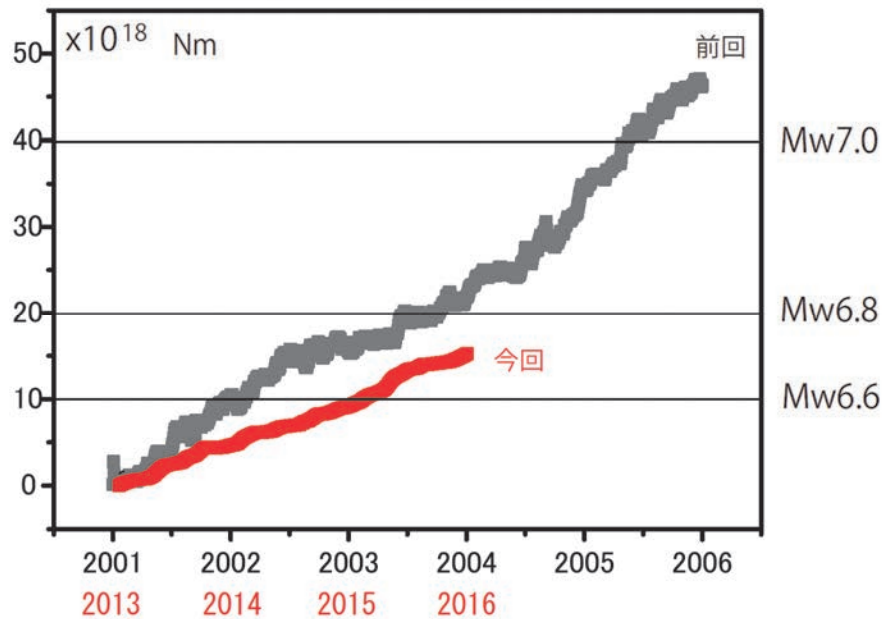
非定常地殻変動から推定される累積すべり分布及びモーメントの時間変化（暫定）

累積すべり分布



- ・それぞれの期間の、累積のすべり量を等値線で示している。
- ・黒破線は、沈み込む海側プレート上面の等深線。
- ・青破線は、東海地震の想定震源域。

モーメントの時間変化



- ・それぞれの期間のモーメントの時間変化を、横軸を重ねて示している。

図 18 国土地理院 GNSS 観測結果による、長期的ゆっくりすべりの発生を示唆する非定常地殻変動から推定される累積すべり分布及びモーメントの時間変化の比較

● 日本の主な火山活動

口永良部島の新岳では、2015 年 6 月 19 日の噴火後、噴火は観測されていない。

火山性地震は少ない状態で経過した。火山性微動は観測されなかった。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量はやや少ない状況であった。

地殻変動観測では、2015 年 5 月 29 日の噴火後、特段の変化は認められない。

5 月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性は低くなっているものの、引き続き噴火の可能性があり、火砕流に警戒が必要である。火砕流の流下による影響が及ぶと予想される屋久島町口永良部島の居住地域（前田地区、向江浜地区）では厳重な警戒（避難等の対応）が必要である。

噴火に伴う大きな噴石の飛散が予想される新岳火口から概ね 2 km の範囲、及び火砕流の流下による影響が及ぶと予想される新岳火口の西側の概ね 2.5 km の範囲では、厳重な警戒（避難等の対応）が必要である。新岳火口から半径 1.4 海里以内の周辺海域では、噴火による影響が及ぶおそれがあるので、噴火に警戒が必要である。

西之島では、今期間、海上保安庁が実施した上空から実施した観測では、観測中に噴火は認められなかった。これまでの海上保安庁、海上自衛隊等の観測によると、2013 年 11 月以降、西之島では活発な噴火活動が確認されている。西之島では、今後も新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられる。また、西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられ、噴火による影響が海上まで及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石や、水面を高速で広がるベースサージ等の影響が概ね 2 km の範囲に及ぶおそれがあるので、西之島の中心から概ね 4 km 以内では噴火に警戒が必要である。

吾妻山では、大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。

大穴火口付近では小規模な噴火が発生する可能性があるため、大穴火口周辺（火口から概ね 500 m の範囲）では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

草津白根山では、湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にかけての斜面で熱活動の活発な状態が継続している。東京工業大学によると北側噴気地帯のガス組成及び湯釜湖水の化学成分にも、火山活動の活発化を示す変化が観測され、その状態が継続している。

地殻変動観測によると、2014 年 4 月頃から湯釜付近の膨張を示す変動が認められていたが、2015 年 4 月頃より鈍化している。

湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

浅間山では、2015 年 6 月 19 日の噴火後、噴火は観測されていない。

山頂直下のごく浅い所を震源とする体を感じない火山性地震は引き続き多い状態が続いている。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量もやや多い状態で経過しており、引き続き火山活動はやや活発な状態で経過している。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるため、山頂火口から概ね 2 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

御嶽山では、火山活動は低下した状態が続き、2014 年 10 月以降噴火が発生していないことから、2014 年 9 月 27 日と同程度の噴火の可能性は低下していると考えられる。一方、火口列からの噴煙活動や、地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性がある。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

阿蘇山の中岳第一火口では、2015 年 12 月 25 日の噴火後、噴火は観測されていない。

20 日に南阿蘇村中松で震度 1 を観測する火山性地震が発生した。火山性微動の振幅は、概ね小さな状態で経過した。孤立型微動は概ね多い状態で経過した。

中岳第一火口では、2014 年 11 月以降、活発な火山活動が続いてきたことから、当分の間は火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がある。

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要

である。

霧島山（新燃岳）付近を震源とする火山性地震が時々発生した。

GNSS 連続観測によると、新燃岳の北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2015 年 1 月頃から停滞している。また、新燃岳周辺の一部の基線では、わずかに伸びの傾向がみられていたが、2015 年 10 月頃から停滞している。

新燃岳では火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性があるため、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

桜島の昭和火口及び南岳山頂火口では、2015 年 10 月以降、噴火は観測されていない。火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されなかった。山体の膨張を示す地殻変動はみられていない。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は少ない状態であった。

火山活動は低下しているが、これまでも噴火を繰り返しており、今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると考えられる。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

諏訪之瀬島の御岳火口では、6 日に爆発的噴火が 1 回発生した。また、ごく小規模な噴火が時々発生した。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるため、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

表 1 1 月 31 日現在の火山現象に関する特別警報・警報・予報等の発表状況
(※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中)

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火警報	レベル 5（避難）	口永良部島※
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	レベル 2（火口周辺規制）	吾妻山、草津白根山、浅間山、御嶽山、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、桜島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福德岡ノ場※
噴火予報	レベル 1（活火山であることに留意）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、安達太良山、磐梯山、那須岳、新潟焼山、焼岳、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、九重山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	上記以外の活火山

*噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。



図1 1月31日現在、火山現象に関する特別警報、警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

各火山の1月の活動解説

【北海道地方】

雌阿寒岳めあかんだけ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過している。
 直ちに噴火に至る兆候は認められないが、ポンマチネシリ96-1火口の噴煙量は、2015年6月頃以降やや多い状態が続いている。また、ポンマチネシリ96-1火口近傍の地下における熱活動の活発化の可能性を示す全磁力¹⁾の変化は継続している。今後の火山活動の推移に注意が必要である。

十勝岳とからだけ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。
 15日に実施した上空からの観測（第一管区海上保安本部の協力による）では、62-2火口や大

正火口の状況に特段の変化はみられなかったが、2015年6月の現地調査以降に確認されている振子沢噴気孔群の地熱域や前十勝の列状の噴気に対応する融雪域が認められており、62-2火口とその周辺では熱活動がやや高い状態が継続していると考えられる。

ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量増加、地震増加、火山性微動の発生、発光現象及び地熱域の拡大などを確認しており、長期的にみると十勝岳の火山活動は高まる傾向にあるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

樽前山たるまえざん〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。
 山頂溶岩ドーム周辺では1999年以降、高温の状態が続いているので、突発的な火山ガス等の噴出に注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

アトサヌプリ [噴火予報（活火山であることに留意）]

大雪山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

倶多楽 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

有珠山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

北海道駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

恵山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

【東北地方】

秋田駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

女岳では、2009 年から地熱域の拡大が認められている。

地震活動は概ね低調で、地殻変動及び噴気活動にも大きな変化はみられないが、地熱活動が継続しているため今後の火山活動の推移に注意が必要である。

蔵王山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山性微動が 1 日に 2 回、5 日に 1 回発生した。坊平の傾斜計²⁾では、1 日 19 時 35 分頃に発生した火山性微動に先行してわずかな南東方向（山頂の南側）上がりの変化があり、発生直後にわずかな南東下がりの変化がみられ、微動発生前の状況に戻っている。火山性地震は観測されなかった。2013 年以降、火山性地震の増加や火山性微動の発生が観測されており、2014 年 10 月以降はわずかな膨張を示す地殻変動が観測されるなど、長期的にみると火山活動はやや高まった状態にあるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

吾妻山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。遠望カメラによる観測では、大穴火口（一切経山南側山腹）の噴気の高さは 70m 以下で経過した。また、2015 年 1 月以降確認している大穴火口外の噴気が引き続き認められている。

火山性地震は少ない状態で経過した。火山性微動は観測されなかった。

浄土平の傾斜計²⁾では、2014 年 4 月以降緩やかな西側（火口方向側）上がりの変動が観測されていたが、2015 年 7 月頃から停滞し、9 月後半から西側下がり傾向となっている。

GNSS³⁾連続観測では、2014 年 9 月頃から一切経山付近の膨張を示す緩やかな変化がみられていたが、2015 年 6 月頃から停滞している。国土地理院の広域的な地殻変動観測結果では、2014 年 12 月頃から一部の基線で山体の膨張を示す地殻変動が観測されていたが、2015 年 7 月頃から停滞し、10 月頃から収縮に転じている。

大穴火口付近では小規模な噴火が発生する可能性があるため、大穴火口周辺（火口から概ね 500m の範囲）では弾道を描いて飛散する大きな噴石⁴⁾に警戒が必要である。また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石⁴⁾、火山ガスに注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

岩木山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

八甲田山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

秋田焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

岩手山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

鳥海山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

栗駒山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

安達太良山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

磐梯山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

【関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島】

草津白根山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にかけての斜面で熱活動の活発な状態が継続している。東京工業大学によると、北側噴気地帯のガス成分及び湯釜湖水の化学成分にも、火山活動の活発化を示す変化が観測され、その状態が継続している。

遠望カメラによる観測では湯釜及び湯釜北側噴気地帯からの噴気は認められなかった。

全磁力¹⁾連続観測及び繰り返し観測で、2014 年 5 月頃からみられていた湯釜近傍地下の温度上昇を示すと考えられる変化は、2014 年 7 月以降停滞している。

2014 年 3 月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加し、その後、消長を繰り返しながら多い状態が継続していたが、2014 年 8 月下旬以降は概ね少ない状態で経過し、今期間は少ない状態で経過している。

地殻変動観測によると、2014 年 4 月頃から湯釜付近の膨張を示す変動が認められていたが、2015 年 4 月頃より鈍化している。また、湯釜周辺に設置している東京工業大学の傾斜計²⁾によると、2014 年 3 月からみられている湯釜付近浅部での膨張を示す変動は、2015 年 11 月頃から停滞傾向が認められる。

湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石⁴⁾に警戒が必要である。噴火時には、風下側で火山灰や小さな噴石⁴⁾が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺のくぼ地や谷地形などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがあるので、注意が必要である。

あさまやま 浅間山[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

2015 年 6 月 19 日の噴火後、噴火は観測されていない。

山頂火口からは、白色の噴煙が最高で火口縁上 100～300m で経過している。噴煙量は 2015 年 6 月以降、増加している。山頂火口で、夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映⁵⁾を 1 日と 3 日に観測している。

4 日及び 22 日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量⁶⁾は 1 日あたり 700～900 トン（前回 2015 年 12 月 22 日：800 トン）とやや多い状態で経過している。

山頂火口直下のごく浅い所を震源とする体を感じない火山性地震が、2015 年 4 月下旬頃から増加し 6 月以降多い状態で経過していた。12 月頃から次第に減少し、やや多い状態で経過している。発生した地震の多くは BL 型地震（低周波地震）であった。2015 年 7 月に増加した周期の短い火山性地震（BH 型地震）は、8 月以降減少している。火山性微動は、2015 年 9 月以降少ない状態で経過している。

光波測距観測⁷⁾では、2015 年 6 月頃からの山頂と追分の間でみられていた縮みの傾向が、10 月頃から停滞している。傾斜計²⁾では、6 月上旬頃から緩やかな変化がみられており、鈍化しながらも継続している。GNSS³⁾の観測では、5 月頃からの浅間山を挟む基線で見られていたわずかな伸びは、10 月頃から停滞している。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるため、山頂火口から概ね 2 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石⁴⁾に警戒が必要である。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石⁴⁾に注意が必要である。

にいがたけやま 新潟焼山[噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

2015 年夏頃から噴煙がやや高く上がる傾向が認められ、12 月下旬からは噴煙量も多くなっている。

28 日に実施した上空からの観測（国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所の協力による）では、山頂火口からの白色噴煙は、火口縁上高さ約 100m まで上がり東に流れていた。また、火口付近に地熱域を確認している。

火山性地震は少ない状態で経過した。長期的には 2015 年に入って地震活動がやや増加している。火山性微動は観測されなかった。

地震活動や地殻変動の観測データに特段の変化は認められない。今後の火山活動の推移に注意が必要である。

みだかはら 弥陀ヶ原[噴火予報（活火山であることに留意）]

弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で経過している。

以前から熱活動が活発な立山地獄谷では、2012 年 6 月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されていることから、今後の火山活動の推移に注意が必要である。また、この付近では火山ガスに注意が必要である。

おんたけさん 御嶽山[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

遠望カメラによる観測では、白色の噴煙が火口縁上 400m 以下で経過している。

今期間、火山性地震は少ない状態で経過しているが、2014 年 8 月以前の状況には戻っていない。低周波地震及び火山性微動は観測されていない。傾斜計²⁾や GNSS³⁾連続観測で、火山活動の高まりを示す変化は観測されていない。

御嶽山の火山活動は低下した状態が続き、2014 年 10 月以降噴火が発生していないことから、2014 年 9 月 27 日と同程度の噴火の可能性は低下していると考えられる。一方、火口列からの噴煙活動や地震活動が続いており、今後も小規模な噴火が発生する可能性がある。

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石⁴⁾に警戒が必要である。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石⁴⁾に注意が必要である。

ふじさん 富士山[噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

2011 年 3 月 15 日に静岡県東部（富士山の南部付近）で発生したマグニチュード 6.4 の地震以降、地震活動が活発な状況となっていたが、その後、地震活動は低下してきている。その他

の観測データでも浅部の異常を示すものはない。火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められない。

はこねやま
箱根山[噴火予報(噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)]

箱根山では、大涌谷で 2015 年 7 月 1 日にごく小規模な噴火が発生した以降、噴火は観測されていない。遠望カメラによる観測では、15-1 火口や噴気孔、またその周辺の大涌谷温泉供給施設から引き続き蒸気が勢いよく噴出しているのを確認している。大涌谷周辺での噴気の高さは概ね 600m 以下で経過している。

15 日に実施した現地調査では、これまでの現地調査と同様に 15-1 火口及び 15-2~4 の各噴気孔、またその周辺の大涌谷温泉供給施設から引き続き噴煙や噴気が勢いよく噴出しているのを確認した。赤外熱映像装置⁸⁾による観測では、噴気の量が多いため、これまで観測していた 15-1 火口の東側の高温領域は確認できなかった。

火山性地震は少ない状態で経過している。火山性微動は観測されなかった。

GNSS³⁾連続観測並びに気象庁と神奈川県温泉地学研究所が設置している傾斜計²⁾及び気象庁の湯河原鍛冶屋の体積ひずみ計⁹⁾では、特段の変動はみられていない。

大涌谷周辺の想定火口域では、噴気や火山ガスに引き続き注意が必要である。

いずのおおしま
伊豆大島[噴火予報(噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)]

火山性地震はやや少ない状態で経過している。低周波地震や火山性微動は観測されていない。

25 日に実施した現地調査では、三原山山頂火口内にある中央火口内の温度及び地表面温度分布は、前回(2015 年 12 月 9 日)の観測と比べ、特段の変化は認められなかった。その他、三原山山頂周辺の噴気温度にも特段の変化は認められない。

地殻変動観測では、短期的な膨張や収縮があるものの、長期的には地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が続いている。その他の観測データには特段の変化はなく、噴火の兆候は認められない。山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動に注意が必要である。

みやげしま
三宅島[噴火予報(噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)]

山頂浅部を震源とする地震は概ね少ない状態で経過している。5 日及び 14 日に実施した現地調査では、火山ガス(二酸化硫黄)の放出量⁶⁾

は 1 日あたり約 300 トン(前回 2015 年 12 月 1 日:約 200 トン)で、やや少ない状態であった。火山ガス放出量⁶⁾は、長期的に減少傾向にあり、2013 年 9 月以降は 1 日あたり 500 トン以下で経過している。

GNSS³⁾連続観測によると、2000 年以降、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなり、2013 年頃から停滞している。島内の長距離の基線で 2006 年頃から伸びの傾向がみられるなど、山体深部の膨張を示す地殻変動が継続している。

火口内では噴出現象が突発的に発生する可能性があるため、山頂火口内及び主火孔から 500 m 以内では火山灰噴出に警戒が必要である。また、火山ガスの放出が継続していることから、風下にあたる地域では火山ガスに注意が必要である。

にしのおしま
西之島[火口周辺警報(入山危険)及び火山現象に関する海上警報]

これまでの海上保安庁、海上自衛隊等の観測によると、2013 年 11 月以降、西之島では活発な噴火活動が確認されている。

3 日及び 15 日に第三管区海上保安本部が、19 日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、観測中に第 7 火口及びその他の場所からの噴火は認められなかった。19 日の観測では、第 7 火口や溶岩流も含めて、島内に顕著な高温域は認められなかった。また、新たな溶岩流は認められず、海岸線に若干の海蝕による崩落場所があったが、地形変化は認められなかった。

西之島周辺の海岸線に薄い茶褐色の変色水が幅約 200~400m で分布していた。

新たな陸地の大きさは、東西約 1,930m、南北約 1,940m、面積は 2.63km²(前回 2015 年 12 月 22 日 2.62km²)であった。

なお、西之島及び新たな陸地には、津波を発生させる恐れのある、海岸線に平行に走る断層やクラックは認められなかった。

西之島では、今後も新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられる。また、西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられ、噴火による影響が海上まで及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石⁴⁾や水面を高速で広がるベースサージ¹⁰⁾等の影響が概ね 2 km の範囲に及ぶおそれがあるので、西之島の中心から概ね 4 km 以内の範囲では噴火に警戒が必要である。

いおうとう
硫黄島[火口周辺警報(火口周辺危険)及び火山現象に関する海上警報]

火山性地震はやや少ない状態で経過している。火山性微動は 13 回発生した。火山性微動が観測

された時間帯に、その他の観測データに異常は認められなかった。

GNSS³⁾ 連続観測によると、地殻変動は隆起・停滞を繰り返している。2014 年以降は、島の北部ほど隆起が大きい状態が継続している。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生している。このことから火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火が発生している地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒が必要である。

福徳岡ノ場 [噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場では長期にわたり火山活動によるとみられる変色水や浮遊物が確認されており、2010 年 2 月 3 日には小規模な海底噴火が発生している。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されるので、周辺海域では噴火に警戒が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

なすだけ
那須岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

にっこうしらねさん
日光白根山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

やけどだけ
焼岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

はくさん
白山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

のりくらだけ
乗鞍岳 [噴火予報（活火山であることに留意）]

いずとうぶかさんぐん
伊豆東部火山群 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

にいしま
新島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

こうづしま
神津島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

はちじょうしま
八丈島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

あおがしま
青ヶ島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

【九州地方及び南西諸島】

くじゅうさん
九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められないが、GNSS³⁾ 連続観測によると、一部の基線で伸びの傾向が

認められるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

阿蘇山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

中岳第一火口では、2015 年 12 月 25 日の噴火後、噴火は観測されていない。白色の噴煙が火口縁上概ね 200m で経過した。

5 日に実施した現地調査では、中岳第一火口内に湯だまりを確認した。

7 日に気象庁及び京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設火山研究センターが実施した現地調査では、2015 年 12 月 25 日の噴火による大きな噴石⁴⁾ が、火口南西側に飛散しているのを確認した。

20 日 11 時 23 分に、中岳第一火口付近のごく浅い所を震源とする振幅の大きな火山性地震が発生し、南阿蘇村中松で震度 1 を観測した。火山性地震により震度 1 以上を観測したのは、2015 年 12 月 4 日（震度 1）以来である。地震前後で噴煙や地殻変動の状況に特段の変化は認められなかった。

11 日に産業技術総合研究所が実施した観測及び 20 日、25 日に気象庁が実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量⁶⁾ は、1 日あたり 400～1,800 トン（2015 年 12 月：700～1,800 トン）と、概ね多い状態であった。

火山性微動の振幅は概ね小さな状態で経過した。孤立型微動は概ね多く、火山性地震は少ない状態で経過した。

中岳第一火口では、2014 年 11 月以降、活発な火山活動が続いてきたことから、当分の間は火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がある。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石⁴⁾ 及び火砕流に警戒が必要である。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石⁴⁾ に注意が必要である。

雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められないが、長期的には 2010 年頃から火山性地震の活動がやや活発となっているので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

霧島山（新燃岳） [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

新燃岳付近を震源とする火山性地震が時々発生した。火山性地震の月回数は 52 回と前月（2015 年 12 月：69 回）と同程度であった。火

山性微動は観測されなかった。

GNSS³⁾連続観測によると、新燃岳の北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2015 年 1 月頃から停滞している。また、新燃岳周辺の一部の基線では、わずかに伸びの傾向が認められていたが、2015 年 10 月頃から停滞している。

新燃岳では火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性があるため、新燃岳火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石⁴⁾に警戒が必要である。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石⁴⁾（火山れき¹¹⁾）に注意が必要である。降雨時には、泥流や土石流に注意が必要である。

まりしまやま おほち **霧島山（御鉢）[噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]**

火山性地震はの月回数は 22 回で、前月（2015 年 12 月：52 回）に比べ減少した。火山性微動は観測されなかった。火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められないが、7 月頃から火山性地震の活動がやや活発となっているので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

まりしまやま **霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）[噴火予報（活火山であることに留意）]**

3 日、14 日及び 22 日に実施した現地調査では、2015 年 12 月 14 日以降噴気が確認されている硫黄山の火口内の南西側で、引き続き弱い噴気を確認した。14 日の現地調査で、火口南側斜面（山頂付近）で新たな熱異常域を確認し、ごく少量の噴気が最大で高さ約 1 m 上がっていることを確認した。また、14 日と 22 日には、これまでの調査時に比べて硫化水素臭が強まっているのを確認した。

赤外熱映像装置⁸⁾による観測では、前月（2015 年 12 月 14 日から 28 日）の調査と比較して、硫黄山の火口内の南西側で噴気を確認した付近の熱異常域が拡大しているのを確認した。14 日には、新たに噴気を確認した火口南斜面で熱異常域を確認し、22 日には熱異常域がわずかに拡大していた。いずれも熱異常域の最高温度は約 80 度（前回約 80 度）でこれまでと大きな変化は認められなかった。

2 日 17 時 37 分頃に継続時間約 2 分 30 秒の振幅の小さな火山性微動が発生した。火山性微動発生後に火山性地震が一時的に増加し、火山性微動の発生に伴い、韓国岳北東の傾斜計²⁾で北西方向がわずかに隆起するような傾斜変動を観測した。

えびの高原（硫黄山）周辺では、2014 年 7 月頃から振幅の小さな火山性微動が時々発生して

いる他、硫黄山で新たな噴気が確認されるなど、火山活動がやや高まってきているので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

さくらじま **桜島[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]**

昭和火口及び南岳山頂火口では、2015 年 10 月以降、噴火は観測されていない。

昭和火口では、白色の噴煙が火口縁上 50～200 m で経過し、南岳山頂火口では、白色の噴煙が火口縁上 50～500 m で経過した。

火山性地震の月回数は 33 回で、前月（2015 年 12 月：37 回）に比べ減少した。火山性微動は観測されなかった。

桜島島内での傾斜計²⁾、伸縮計¹²⁾による観測では、2015 年 8 月の急激な変動以降、山体の膨張を示す地殻変動はみられていない。GNSS³⁾による観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の膨張を示す伸びの傾向は、2015 年 8 月の急激な変動後も引き続きみられる。2015 年 1 月頃から島内でみられていた山体膨張の傾向は、8 月の急激な山体膨張の変動以降、収縮傾向に転じている。

12 日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量⁶⁾は 1 日あたり 100 トン（2015 年 12 月 100 トン）と、少ない状態であった。

火山活動は低下しているが、これまでも噴火を繰り返しており、今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると考えられる。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石⁴⁾に警戒が必要である。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石⁴⁾（火山れき¹¹⁾）が遠方まで風に流されて降るため注意が必要である。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意が必要である。また、降雨時には土石流に注意が必要である。

さつまいおうじま **薩摩硫黄島[噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められないが、硫黄岳山頂火口では噴煙活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性がある。また、火口付近では火山ガスに注意が必要である。

くちのえらぶじま **口永良部島[噴火警戒レベル 5、避難]及び火山現象に関する海上警報]**

新岳では、2015 年 6 月 19 日の噴火後、噴火は観測されていない。

遠望カメラによる観測では、白色の噴煙が火口縁上 300m 以下で経過した。

期間内に実施した現地調査では、火口周辺の地形や噴気等の状況に変化は見られなかった。また、赤外熱映像装置⁸⁾による観測では、2015 年 3 月頃から 5 月 29 日の噴火前に温度上昇が認められていた新岳火口西側割れ目付近の領域の温度は、引き続き低下した状態であった。

10 日に産業技術総合研究所が実施した観測、及び 28 日に気象庁が実施した観測では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量⁶⁾は 1 日あたり 100 トン（2015 年 12 月：100～900 トン）とやや少ない状況であった。

火山性地震は少ない状態で経過した。火山性微動は観測されなかった。

地殻変動観測では、2015 年 5 月 29 日の噴火後、特段の変化は認められない。

5 月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性は低くなっているものの、引き続き噴火の可能性があるため、火砕流に警戒が必要である。火砕流の流下による影響が及ぶと予想される屋久島町口永良部島の居住地域（前田地区、向江浜地区）では厳重な警戒（避難等の対応）が必要である。

噴火に伴う大きな噴石⁴⁾の飛散が予想される新岳火口から概ね 2 km の範囲、及び火砕流の流下による影響が及ぶと予想される新岳火口の西側の概ね 2.5 km の範囲では、厳重な警戒（避難等の対応）が必要である。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石⁴⁾が遠方まで風に流されて降るため注意が必要である。降雨時には土石流の可能性があるので注意が必要である。

新岳火口から半径 1.4 海里以内の周辺海域では、噴火による影響が及ぶ恐れがあるので、噴火に警戒が必要である。

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

御岳火口では、6 日 21 時 14 分に爆発的噴火が発生した。また、ごく小規模な噴火が時々発生した。同火口では、夜間に高感度カメラで火映⁵⁾を時々観測した。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、22 日と 23 日に集落（御岳の南南西約 4 km）で降灰が

観測された。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石⁴⁾に警戒が必要である。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石⁴⁾が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

鶴見岳・加藍岳 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- 1) 火山体の南側で全磁力を観測した場合、全磁力値が減少すると火山体内部で温度上昇が、全磁力値が増加すると火山体内部で温度低下が生じていると推定される。
- 2) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがある。
- 3) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称である。
- 4) 噴石については、大きさによる風の影響の程度の違いによって飛散範囲が大きく異なる。本文中「大きな噴石」とは、「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とは、それより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことである。
- 5) 赤熱した溶岩や高温の火山ガス等が、噴煙や雲に映って明るく見える現象。
- 6) 火口から放出される火山ガスには、マグマに溶けていた水蒸気や二酸化硫黄、硫化水素など様々な成分が含まれており、これらのうち、二酸化硫黄はマグマが浅部へ上昇するとその放出量が増加する。気象庁では、二酸化硫黄の放出量を観測し、火山活動の評価に活用している。
- 7) レーザなどを用いて山体に設置した反射鏡までの距離を測定する機器を用いて、山体の膨張や収縮による距離の変化を観測する。
- 8) 赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器である。熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。
- 9) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等で変化が観測されることがある。
- 10) 火山ガスと火山灰等の混合物が、水面や地表面を高速で横方向に広がり、地表の物を巻き込む現象。人体や建物、船舶等に大きな被害を与える恐れがあり、とても危険である。
- 11) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現している。
- 12) 火山活動による地殻の伸び縮みを観測する機器。マグマ溜まりや火道内の圧力増加によって生じる火口周辺の変化が観測されることがある。

表 2 平成 28 年 1 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報		概要
		種類、号数等	発表日時	
口永良部島	噴火警報 (噴火警戒レベル 5、避難)	解説情報 第 1 号～ 9 号	1 日、4 日、8 日、 12 日、15 日、22 日、 25 日、29 日 16 時 00 分	噴煙・地震回数等火山活動の状況。現地調査の状況。
吾妻山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 1 号～ 4 号	4 日、12 日、18 日、 25 日 16 時 00 分	噴気・地殻変動・地震回数等火山活動の状況。
草津白根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 1 号～ 5 号	1 日、8 日、15 日、 22 日、29 日 16 時 00 分	地殻変動・地震回数等火山活動の状況。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 1 号～ 9 号	1 日、4 日、8 日、 11 日、15 日、18 日、 22 日、25 日、29 日 16 時 00 分	噴煙・火山性地震・火山性微動等火山活動の状況。現地調査の状況。
御嶽山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 1 号～ 5 号	1 日、8 日、15 日、 22 日、29 日 16 時 00 分	噴煙・火山性地震・火山性微動等火山活動の状況。
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 1 号～ 9 号	1 日、4 日、8 日、 12 日、15 日、18 日、 22 日、25 日、29 日 16 時 00 分	噴火活動・火山性微動等火山活動の状況。現地調査の状況。
新潟焼山	噴火予報(噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)	火山活動解説資料	28 日 17 時 20 分	28 日に実施した上空からの観測の状況。
霧島山 (えびの高原 (硫黄山) 周辺)	噴火予報(活火山であることに留意)	解説情報 第 1 号、第 2 号	2 日 19 時 20 分 3 日 18 時 00 分	2 日に発生した火山性微動の状況。現地調査の状況。
		火山活動解説資料	15 日 16 時 30 分	

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。阿蘇山、桜島、諏訪之瀬島、口永良部島においては、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。

資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ（平成 28 年 1 月 31 日現在）

(1) 主な活火山

噴火警報、火口周辺警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の警報及び予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	雌阿寒岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年9月29日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年10月17日 噴火予報(平常) 2008年11月17日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年12月16日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日 噴火予報(レベル1、平常) 2015年7月28日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年11月13日 噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	大雪山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	十勝岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年12月16日 噴火予報(レベル1、平常) 2014年12月16日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年2月24日 噴火予報(レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2015年10月1日 噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	有珠山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年6月9日 噴火予報(レベル1、平常)

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2013年7月25日 噴火予報（レベル1、平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2015年4月13日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日 噴火予報（活火山であることに留意）
	吾妻山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）	
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	草津白根山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日 噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	御嶽山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2015年9月2日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	神津島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	青ヶ島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2013年11月20日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日 火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日 火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日 火口周辺警報（入山危険）切替
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日 噴火警報（周辺海域警戒）
	九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（活火山であることに留意）
九重山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
阿蘇山		火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日 噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日 噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日 噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
雲仙岳		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
霧島山（新燃岳）		火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
霧島山（御鉢）		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）		噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2014年10月24日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日 噴火予報（平常）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	桜島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年2月3日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年2月20日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年4月8日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年7月14日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年7月28日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年8月28日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年2月2日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年2月19日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年3月2日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年3月10日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2009年4月24日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年7月19日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2010年9月30日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2010年10月13日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2012年3月12日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2012年3月21日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2015年8月15日 噴火警報 (レベル 4、避難準備) 2015年9月1日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2015年11月25日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)
	薩摩硫黄島	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2012年11月29日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2013年6月4日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2013年7月10日 噴火予報 (レベル 1、平常)
	口永良部島	噴火警報 (レベル 5、避難)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年1月25日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2008年9月4日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年10月27日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年3月18日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年8月4日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2009年9月27日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年10月30日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2011年12月15日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2012年1月20日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2014年8月3日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2014年8月7日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2015年5月29日 噴火警報 (レベル 5、避難) 2015年10月21日 噴火警報 (レベル 5、避難) 切替
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)

(2) その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報 (平常) を発表した (但し、*印の活火山では、活火山として選定された平成 23 年 6 月 7 日に噴火予報 (平常) を発表)。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はない。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカシダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

注) 平成 27 年 5 月 18 日から (平常) は (活火山であることに留意) に変更している。

●世界の主な地震

平成 28 年（2016 年）1 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

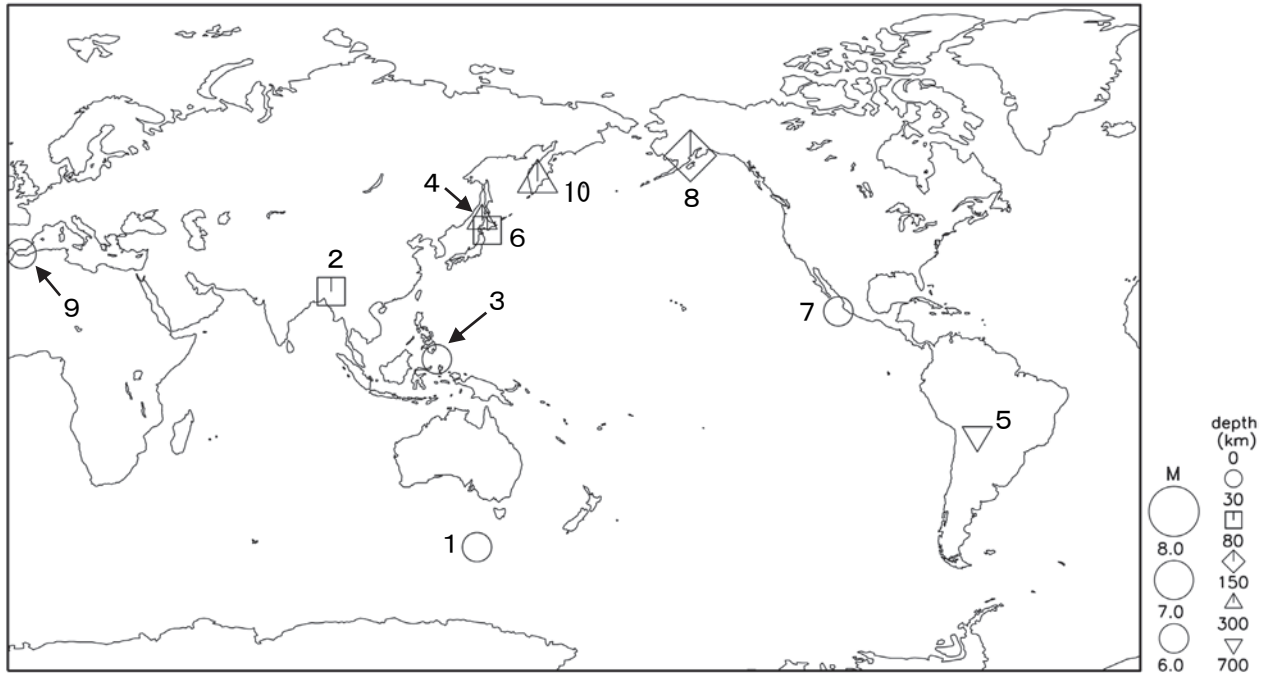


図 1 平成 28 年（2016 年）1 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

- * : 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake ArchiveSearch & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2016 年 2 月 2 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素は気象庁による。
- ** : 数字は、表 1 の番号に対応する。
- *** : マグニチュードは表 1 の mb (実体波マグニチュード)、Mj (気象庁マグニチュード)、Mw (モーメントマグニチュード) のいずれかを用いて表示している。

表 1 平成 28 年（2016 年）1 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

1	01月01日11時00分	S50° 34.5′	E139° 26.8′	10		6.3	インド・南極海嶺西部			
2	01月04日08時05分	N24° 50.0′	E 93° 39.3′	55		6.7	ミャンマー・インド国境	インドで死者8人、負傷者100人以上、 バングラデシュで死者5人、負傷者70人以上など		
3	01月12日01時38分	N 3° 51.8′	E126° 52.0′	21		6.5	インドネシア、タラウド諸島			○
4	01月12日02時08分	N44° 25.8′	E141° 12.6′	265		6.2	(6.2) 北海道北西沖			
5	01月14日12時25分	S19° 49.5′	W 63° 17.1′	582		6.1	ボリビア南部			
6	01月14日12時25分	N41° 58.2′	E142° 48.0′	52		6.7	(6.7) 浦河沖			○
7	01月22日03時06分	N18° 50.4′	W106° 57.2′	10		6.6	メキシコ、ハリスコ州沖			
8	01月24日19時30分	N59° 39.5′	W153° 27.1′	128		(7.1)	米国、アラスカ州南部			○
9	01月25日13時22分	N35° 39.1′	W 3° 40.5′	12		6.3	ジブラルタル海峡			
10	01月30日12時25分	N54° 00.4′	E158° 30.3′	161		(7.2)	ロシア、カムチャツカ半島	北海道、青森県、宮城県で震度1を観測		○ ○

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2016 年 2 月 2 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・1 月 4 日のミャンマー・インド国境の地震の被害状況は OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs : 国連人道問題調整事務所) による (2016 年 1 月 4 日現在)。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9 時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (地震・火山月報 (防災編) 2005 年 5 月号参照) を発表したことを表す。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

1 月 24 日 米国、アラスカ州南部の地震

2016 年 1 月 24 日 19 時 30 分（日本時間）に、米国、アラスカ州南部の深さ 128km で Mw7.1 の地震が発生した。この地震は北米プレートの下に沈み込む太平洋プレート内部で発生した。発震機構（気象庁による CMT 解）は南北方向に圧力軸を持つ型である。

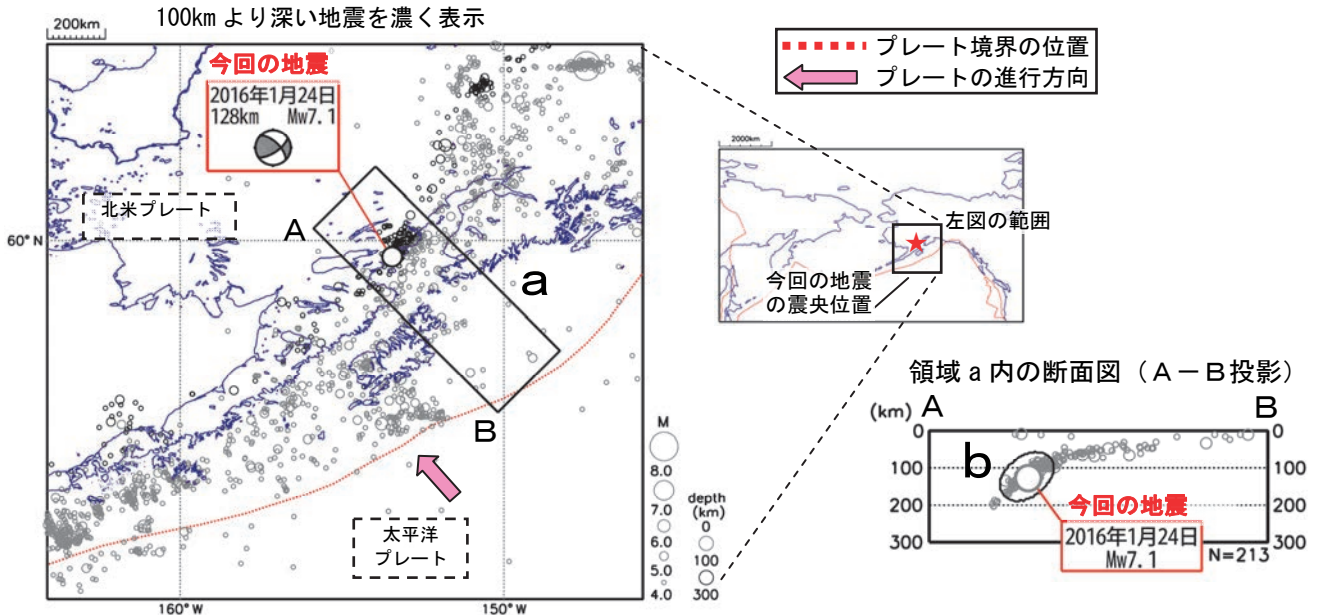
2000 年以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺（領域 b）では、Mw4.0～5.0 程度の地震が度々発生しているが、Mw7.0 を超えるものは今回が初めてである。

1900 年以降の活動を見ると、太平洋プレートの沈み込みに沿って Mw8.0 を超える地震が時々発生している。1964 年 3 月 28 日に Mw9.2 のアラスカ地震が発生し、死者 131 人の被害が生じた。また、この地震に伴い、日本では大船渡で 75cm の津波（観測値は「日本被害津波総覧」による）を観測するなど、太平洋沿岸の広い範囲で津波を観測した。

なお、気象庁は、今回の地震について、同日 19 時 58 分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

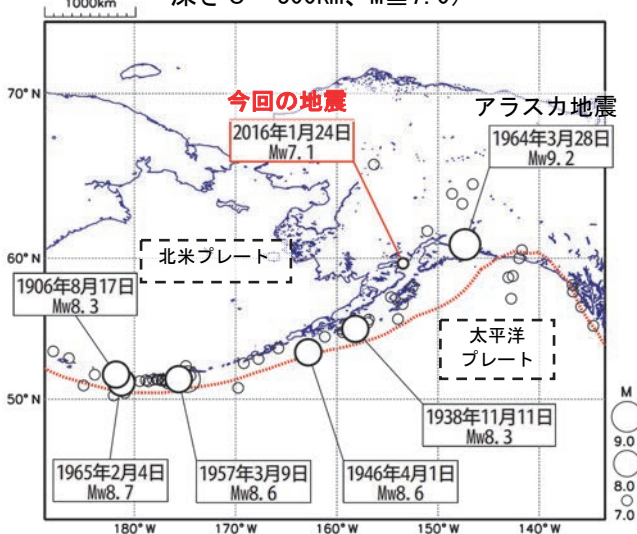
震央分布図

(2000 年 1 月 1 日～2016 年 1 月 31 日、
深さ 0～300km、M≥4.0)
100km より深い地震を濃く表示

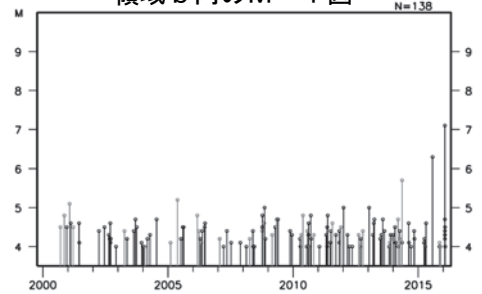


震央分布図

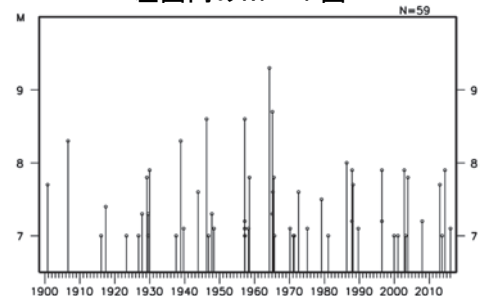
(1900 年 1 月 1 日～2016 年 1 月 31 日、
深さ 0～300km、M≥7.0)



領域 b 内の M-T 図



左図内の M-T 図



本資料中、今回の地震の発震機構と Mw は気象庁による。震央分布図中の、1900 年 1 月～2009 年 12 月の震源要素は国際地震センター(ISC)、2010 年 1 月～2016 年 1 月の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2016 年 2 月 2 日現在)。ただし、1964 年 3 月 28 日の地震のマグニチュードは理科年表による。プレート境界の位置は Bird (2003) *より引用。プレートの進行方向と被害は、USGS による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4 (3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

1 月 30 日 ロシア、カムチャツカ半島の地震

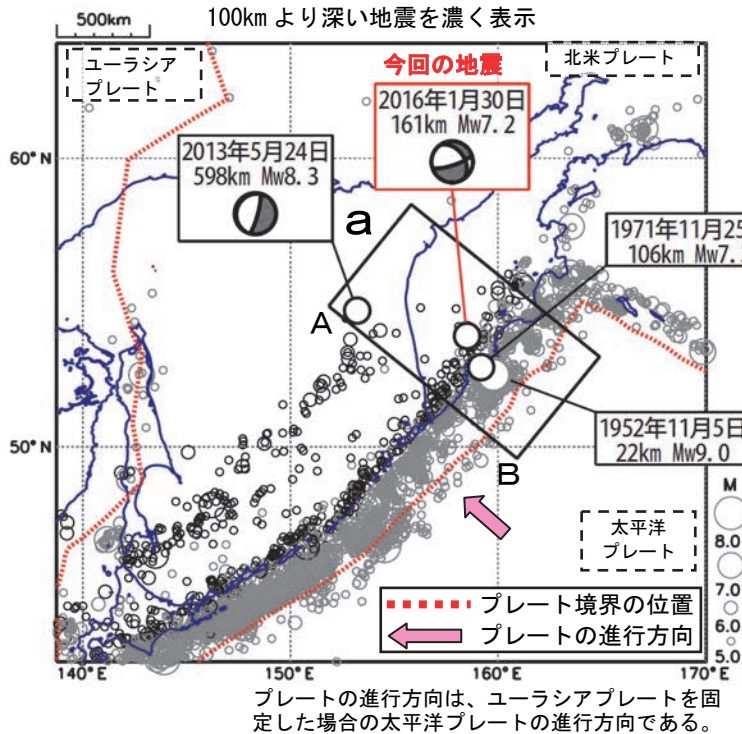
2016 年 1 月 30 日 12 時 25 分（日本時間）に、ロシア、カムチャツカ半島の深さ 161km で Mw7.2 の地震が発生した。この地震により、北海道、青森県、宮城県で震度 1 を観測した。この地震は北米プレートの下に沈み込む太平洋プレート内部で発生した。発震機構（気象庁による CMT 解）は北西－南東方向に圧力軸を持つ型であった。

1950 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺（領域 b）では、Mw6.0 以上の地震が時々発生しており、1952 年 11 月 5 日には Mw9.0 のカムチャツカ地震が発生し、北海道から九州の太平洋沿岸で津波を観測した。養殖施設や漁船・漁具の破損・流失等の被害を生じた（日本被害地震総覧による）。

なお、気象庁は、今回の地震について、同日 12 時 52 分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

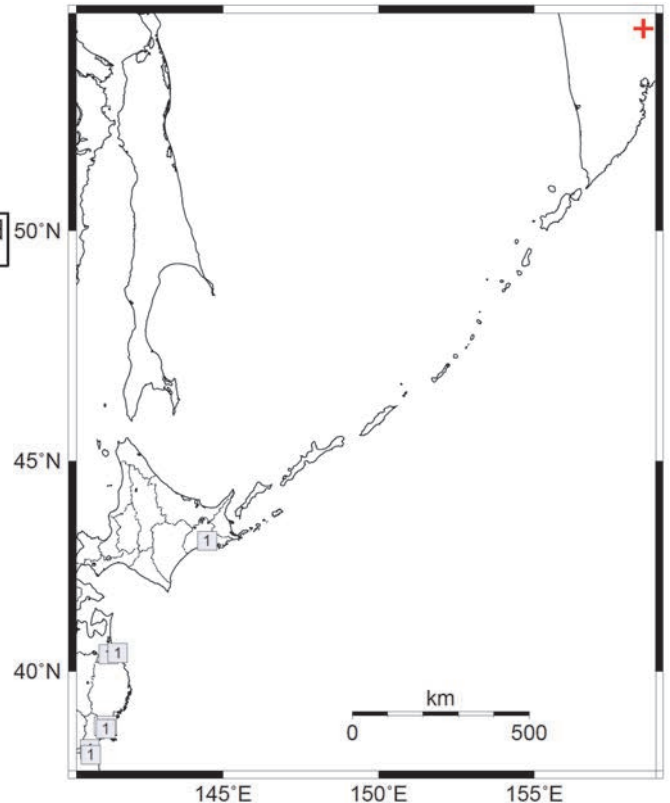
震央分布図

(1950 年 1 月 1 日～2016 年 1 月 31 日、
深さ 0～700km、M≥5.0)
100km より深い地震を濃く表示

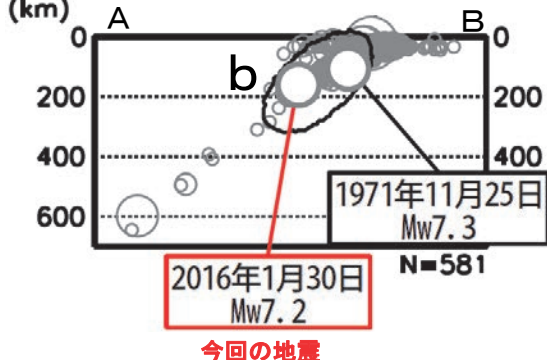


震度分布図

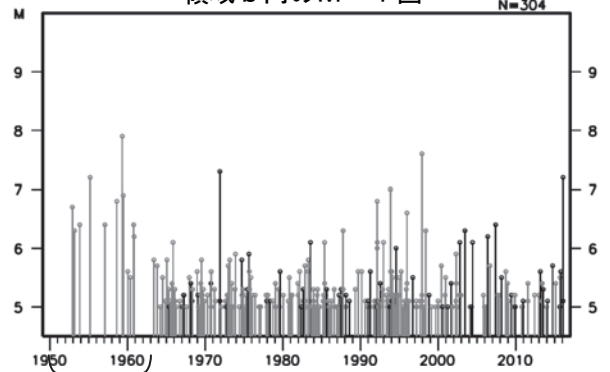
+印は震央を示す



領域 a 内の断面図（A－B 投影）



領域 b 内の M-T 図



この期間は検知能力が低い

本資料中、今回の地震の発震機構と Mw は気象庁による。1950 年 1 月～1963 年 12 月の震源要素は国際地震センター（ISC）、1964 年 1 月～2016 年 1 月の震源要素は米国地質調査所（USGS）による。（2016 年 2 月 1 日現在）。1952 年 11 月 5 日の地震の Mw は理科年表、1971 年 11 月 25 日の地震の Mw は GlobalCMT プロジェクトによる。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) * より引用。

* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4 (3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

● 世界の主な火山活動

平成 28 年（2016 年）1 月に噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

今期間、顕著な噴火の報告はなかった。



図 平成 28 年（2016 年）1 月に噴火した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ “Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。

●付録 1. 震度 1 以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成 25 年 12 月 地震・火山月報（防災編）の付録 2 参照）を記す。なお、* のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、(注) を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に 'F' を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を **太字** で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 00 47	岡山県北部 岡山県 3 鏡野町上齋原* = 2.9 西栗倉村影石* = 2.8 2 津山市加茂町* = 2.3 奈義町豊沢* = 2.3 津山市新野東* = 2.1 津山市小中原* = 1.9 美作市太田* = 1.9 勝央町勝間田* = 1.7 美作市真加部* = 1.5 美作市古町* = 1.5 津山市阿波* = 1.5 和気町矢田* = 1.5 1 鏡野町竹田* = 1.4 美作市栄町* = 1.4 鏡野町井坂* = 1.3 鏡野町富西谷* = 1.3 真庭市豊栄* = 1.3 真庭市森山下和* = 1.3 赤磐市上市* = 1.3 赤磐市松木* = 1.1 岡山美咲町久木* = 1.0 新庄村役場* = 0.9 真庭市森山下福田* = 0.9 和気町尺所* = 0.9 瀬戸内市長船町* = 0.9 岡山北区建部町* = 0.9 岡山東区瀬戸町* = 0.9 津山市林田* = 0.8 津山市山北* = 0.8 美作市江見* = 0.8 玉野市宇野* = 0.7 瀬戸内市邑久町* = 0.7 真庭市下方* = 0.7 美作市尾谷* = 0.6 岡山北区新屋敷* = 0.6 久米南町下弓削* = 0.6 岡山北区大供* = 0.5 笠岡市笠岡* = 0.5 備前市東片上* = 0.5 津山市中北下* = 0.5 真庭市森山上福田* = 0.5 兵庫県 2 宍粟市千種町* = 1.5 たつの市新宮町* = 1.5 1 佐用町上月* = 1.4 宍粟市山崎町船元* = 1.4 新温泉町浜坂* = 1.3 姫路市安富町安志* = 1.3 朝来市新井* = 1.3 佐用町下徳久* = 1.3 市川町西川辺* = 1.2 加古川市加古川町* = 1.2 上郡町大持* = 1.1 佐用町佐用* = 1.1 宍粟市一宮町* = 1.1 兵庫香美町香住区香住* = 1.0 兵庫神戸町寺前* = 0.9 朝来市生野町* = 0.9 丹波市市島町* = 0.9 宍粟市波賀町* = 0.8 養父市広谷* = 0.8 朝来市和田山町枚田* = 0.8 姫路市豊富* = 0.8 新温泉町湯* = 0.7 相生市旭* = 0.7 佐用町三日月* = 0.7 朝来市和田山町柳原* = 0.7 たつの市龍野町* = 0.6 兵庫神戸町新田* = 0.6 豊岡市日高町* = 0.6 宍粟市山崎町中広瀬* = 0.6 丹波市春日町* = 0.6 姫路市安田* = 0.6 豊岡市桜町* = 0.5 養父市関宮* = 0.5 鳥取県 2 八頭町郡家* = 2.2 智頭町智頭* = 2.0 八頭町船岡* = 1.9 鳥取市用瀬町用瀬* = 1.8 八頭町北山* = 1.7 鳥取市吉成* = 1.6 鳥取市佐治町加瀬木* = 1.6 1 鳥取市吉方* = 1.4 鳥取市福部町細川* = 1.3 鳥取若桜町若桜* = 1.2 鳥取市河原町渡一木* = 1.2 鳥取市国府町宮下* = 1.1 湯梨浜町龍島* = 0.9 鳥取市青谷町青谷* = 0.7 倉吉市葵町* = 0.6 江府町江尾* = 0.6 岩美町浦富* = 0.6 境港市東本町* = 0.5 京都府 1 京丹後市久美浜町広瀬* = 0.7 京丹後市網野町* = 0.7 与謝野町四辻* = 0.6 京丹後市久美浜市民局* = 0.6 福知山市三和町千束* = 0.6 大阪府 1 能勢町役場* = 0.5 島根県 1 奥出雲町三成* = 0.6 香川県 1 直島町役場* = 0.9 小豆島町安田* = 0.7	35° 06.7' N	134° 14.1' E	15km	M: 4.0
2	1 03 53	岩手県沖 岩手県 2 宮古市鉾ヶ崎* = 2.1 宮古市五月町* = 1.8 山田町大沢* = 1.8 宮古市田老* = 1.7 宮古市川井* = 1.6 1 山田町八幡町* = 1.2 田野畑村役場* = 1.2 田野畑村田野畑* = 1.1 宮古市茂市* = 1.1 野田村野田* = 1.0 葛巻町葛巻元木* = 1.0 普代村銅屋* = 0.9 岩手洋野町大野* = 0.8 久慈市枝成沢* = 0.8 釜石市中妻町* = 0.7 盛岡市山王町* = 0.7 岩泉町岩泉* = 0.7 花巻市大迫町* = 0.7 盛岡市玉山区藪川* = 0.6 宮古市区界* = 0.6 八幡平市田頭* = 0.6 宮古市長沢* = 0.6 盛岡市玉山区洪民* = 0.5 盛岡市馬場町* = 0.5 花巻市大迫総合支所* = 0.5 青森県 1 階上町道仏* = 1.3 青森南部町苦米地* = 1.2 八戸市内丸* = 1.1 青森南部町平* = 0.9 八戸市湊町* = 0.9 五戸町古館* = 0.7	39° 37.8' N	142° 06.3' E	48km	M: 3.9
3	1 06 55	福島県中通り 福島県 1 古殿町松川横川* = 0.6	37° 03.7' N	140° 34.8' E	6km	M: 2.4
4	1 07 28	沖縄本島近海 沖縄県 1 粟国村浜* = 0.8 粟国村役場* = 0.6	26° 39.0' N	127° 09.6' E	14km	M: 3.5
5	1 09 37	日高地方中部 北海道 1 函館市新浜町* = 0.7 広尾町白樺通* = 0.7 本別町北 2 丁目* = 0.6 幕別町忠類錦町* = 0.6 本別町向陽町* = 0.5 浦河町野深* = 0.5	42° 30.9' N	142° 46.7' E	89km	M: 3.7
6	1 11 20	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島* = 1.1	29° 12.2' N	129° 17.2' E	7km	M: 1.8
7	1 11 27	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島* = 0.6	29° 13.2' N	129° 15.0' E	11km	M: 1.6
8	1 11 32	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島* = 0.5	29° 13.0' N	129° 19.3' E	6km	M: 1.7
9	1 19 47	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町* = 1.1	36° 02.1' N	137° 33.8' E	10km	M: 2.4

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
10	2 05 36	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*0.5	36° 44.6' N	140° 34.9' E	10km	M: 2.7
11	3 04 31	岐阜県美濃中西部 岐阜県 1 揖斐川町東杉原*1.1 揖斐川町谷汲*1.0 岐阜山県市美山支所*1.0 岐阜市京町*0.7 大野町大野*0.6 揖斐川町東津汲*0.5 岐阜山県市大門*0.5 愛知県 1 一宮市千秋=0.5	35° 33.8' N	136° 39.1' E	12km	M: 2.7
12	3 06 24	北海道東方沖 北海道 1 根室市落石東*0.7 根室市瑤瑤瑠*0.6	43° 04.7' N	147° 06.6' E	50km	M: 4.6
13	3 09 28	青森県東方沖 青森県 1 八戸市湊町=1.1	40° 57.8' N	142° 00.6' E	56km	M: 3.4
14	3 09 37	択捉島南東沖 北海道 2 根室市落石東*1.7 1 根室市瑤瑤瑠*0.9 別海町常盤=0.7 標津町北2条*0.6 別海町本別海*0.5	44° 05.3' N	148° 01.5' E	0km	M: 4.7
15	3 11 59	福島県沖 福島県 2 檜葉町北田*2.4 富岡町本岡*2.0 福島広野町下北迫大谷地原*1.8 1 いわき市三和町=1.4 浪江町幾世橋=1.4 南相馬市小高区*1.4 田村市大越町*1.2 小野町小野新町*1.1 玉川村小高*1.1 いわき市小名浜=1.1 福島広野町下北迫苗代替*0.8 川内村上川内早渡*0.8 白河市新白河*0.8 いわき市平四ツ波*0.8 いわき市錦町*0.8 棚倉町棚倉中居野=0.7 田村市常葉町*0.7 田村市都路町*0.7 南相馬市原町区高見町*0.6 大熊町野上*0.6 矢祭町戸塚*0.6 葛尾村落合落合*0.6 浅川町浅川*0.5 白河市郭内=0.5 川内村上川内小山平*0.5 宮城県 1 山元町浅生原*0.7 岩沼市桜*0.7 名取市増田*0.6 茨城県 1 北茨城市磯原町*0.9 高萩市下手綱*0.8 日立市助川小学校*0.7	37° 09.5' N	141° 21.3' E	49km	M: 4.0
16	3 23 39	硫黄島近海 東京都 1 小笠原村母島=0.6	23° 34.0' N	142° 40.9' E	179km	M: 5.3
17	4 09 30	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*0.8 笠間市石井*0.8 石岡市柿岡=0.7 土浦市常名=0.6	36° 46.2' N	140° 59.7' E	80km	M: 3.5
18	4 19 28	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市平良池間=1.4 宮古島市城辺福北=1.1 宮古島市平良下里=1.0 宮古島市城辺福西*1.0 宮古島市平良西里*0.9 宮古島市平良狩俣*0.7 宮古島市伊良部長浜*0.7	25° 01.4' N	125° 36.7' E	54km	M: 3.9
19	4 22 53	沖縄本島近海 沖縄県 1 南城市知念久手堅*0.7	25° 58.6' N	128° 25.9' E	44km	M: 4.8
20	5 05 17	宮崎県北部山沿い 熊本県 1 山都町大平*0.9 宮崎県 1 高千穂町三田井=1.1 小林市真方=1.0 西都市上の宮*0.7 宮崎都農町役場*0.7 宮崎美郷町田代*0.6 延岡市北川町川内名白石*0.6	32° 14.8' N	131° 07.9' E	98km	M: 3.6
21	5 11 21	九州地方南東沖 高知県 2 宿毛市桜町*1.5 1 黒潮町佐賀*1.1 宿毛市片島=0.8 中土佐町久礼*0.8 黒潮町入野=0.5 2 串間市都井*2.3 日南市南郷町南町*1.8 宮崎美郷町田代*1.5 宮崎県 1 宮崎市松橋*1.3 西都市上の宮*1.1 高鍋町上江*1.1 川南町川南*1.1 西都市聖陵町*1.0 小林市真方=0.9 高千穂町三田井=0.9 宮崎市霧島=0.9 椎葉村下福良*0.9 宮崎市田野町体育館*0.8 新富町上富田=0.8 国富町本庄*0.7 延岡市北方町卯*0.7 都城市菖蒲原=0.6 延岡市北川町川内名白石*0.6 日向市大王谷運動公園=0.6 門川町本町*0.5 椎葉村総合運動公園*0.5 延岡市天神小路=0.5 日南市油津=0.5 宮崎都農町役場*0.5 鹿児島県 2 霧島市福山町牧之原*1.6 鹿屋市新栄町=1.6 大崎町仮宿*1.5 1 志布志市志布志町志布志=1.4 錦江町田代支所*1.3 奄美市笠利町里*1.3 鹿児島市東郡元=1.2 肝付町新富*1.2 鹿屋市礼元*1.2 鹿屋市輝北町上百引*1.2 鹿児島市喜入町*1.1 鹿屋市串良町岡崎*1.0 垂水市田神*1.0 霧島市国分中央*1.0 南大隅町根占*0.9 曾於市大隅町中之内*0.9 三島村竹島*0.9 鹿屋市吾平町麓*0.8 霧島市隼人町内山田=0.7 肝付町北方*0.6 奄美市名瀬港町=0.6 錦江町田代麓=0.5 いちき串木野市緑町*0.5 岡山県 1 倉敷市船穂町*0.6 総社市清音軽部*0.5 玉野市宇野*0.5 広島県 1 江田島市能美町*0.8 江田島市大柿町*0.7 府中町大通り*0.7 尾道市因島土生町*0.7 呉市安浦町*0.5 東広島市黒瀬町=0.5 香川県 1 多度津町家中=0.8 愛媛県 1 西予市明浜町*1.1 今治市菊間町*1.1 伊方町湊浦*1.1 八幡浜市五反田*0.8 宇和島市吉田町*0.7 内子町内子*0.7 久万高原町久万*0.7 愛南町一本松*0.6 伊予市下吾川*0.6 宇和島市三間町*0.6 松野町松丸*0.5 宇和島市住吉町=0.5 松山市富久町*0.5 山口県 1 周防大島町久賀*0.6 宇部市東須恵*0.6 熊本県 1 阿蘇市波野*1.3	30° 31.6' N	132° 53.1' E	58km	M: 5.6

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
22	5 15 07	大分県 1 佐伯市鶴見*=1.3 豊後大野市清川町*=1.1 大分市佐賀関*=1.0 津久見市宮本町*=1.0 大分市新春日町*=0.8 佐伯市春日町*=0.8 佐伯市蒲江蒲江浦=0.5	36° 38.9' N	139° 29.3' E	7km	M: 2.9
23	5 18 56	栃木県北部 栃木県 1 日光市足尾町通洞*=1.3 日光市中鉢石町*=1.1 日光市足尾町中才*=0.9 鹿沼市今宮町*=0.5	38° 10.4' N	141° 47.0' E	54km	M: 3.4
24	6 06 23	宮城県沖 宮城県 1 石巻市桃生町*=1.3 女川町女川浜*=0.7	36° 18.6' N	140° 54.3' E	40km	M: 3.3
25	6 06 59	茨城県沖 福島県 茨城県 1 棚倉町棚倉中居野=0.5 1 常陸大宮市上小瀬*=1.1 日立市助川小学校*=1.0 水戸市内原町*=0.9 東海村東海*=0.7 水戸市千波町*=0.6 笠間市石井*=0.5 城里町石塚*=0.5	22° 13.1' N	143° 49.8' E	185km	M: 6.0
26	6 16 25	硫黄島近海 東京都 1 小笠原村母島=1.4	36° 40.4' N	140° 38.7' E	10km	M: 2.4
27	6 22 09	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.9	35° 02.6' N	137° 50.5' E	40km	M: 3.4
28	7 00 02	静岡県西部 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 1 売木村役場*=0.8 1 八百津町八百津*=0.7 1 浜松天竜区春野町*=1.0 島田市川根町家山=1.0 掛川市長谷*=1.0 牧之原市静波*=0.9 牧之原市鬼女新田=0.8 掛川市西大淵*=0.6 浜松中区元城町*=0.5 袋井市浅名*=0.5 静岡森町森*=0.5 1 新城市東入船*=1.4 新城市矢部=1.2 新城市作手高里繩手上*=0.9 新城市作手高里松風呂*=0.7 豊川市一宮町*=0.7 豊橋市向山=0.6 豊川市諏訪*=0.6 豊川市赤坂町*=0.6 幸田町菱池*=0.6 豊川市小坂井町*=0.5 蒲郡市水竹町*=0.5	34° 58.0' N	134° 48.1' E	13km	M: 2.5
29	7 01 13	兵庫県南西部 兵庫県 1 多可町八千代区*=0.9 加東市河高*=0.7	37° 02.2' N	139° 22.4' E	7km	M: 2.2
30	7 02 47	福島県会津 福島県 2 檜枝岐村上河原*=1.6	39° 20.4' N	142° 04.8' E	48km	M: 3.7
31	7 09 15	岩手県沖 岩手県 1 釜石市中妻町*=1.3 釜石市只越町=1.1 住田町世田米*=0.9 大船渡市猪川町=0.7 山田町大沢*=0.7 大船渡市大船渡町=0.6 一関市室根町*=0.6 宮古市茂市*=0.5	42° 38.4' N	145° 34.7' E	61km	M: 4.1
32	7 09 45	釧路沖 北海道 2 根室市瑤瑠*=1.6 根室市厚床*=1.5 1 羅臼町岬町*=1.3 標津町北2条*=1.0 別海町常盤=1.0 浜中町湯沸=0.9 中標津町養老牛=0.8 厚岸町尾幌=0.8 根室市牧の内*=0.8 弟子屈町美里=0.7 根室市落石東*=0.7 弟子屈町弟子屈*=0.6 標茶町塘路*=0.6 浜中町霧多布*=0.5	38° 48.9' N	142° 03.8' E	38km	M: 3.4
33	7 20 23	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町*=0.7 大船渡市猪川町=0.5 一関市藤沢町*=0.5	34° 58.1' N	134° 48.1' E	13km	M: 2.6
34	8 11 18	兵庫県南西部 兵庫県 1 多可町八千代区*=0.8	40° 09.8' N	142° 22.7' E	36km	M: 4.0
35	8 12 53	岩手県沖 青森県 岩手県 1 階上町道仏*=1.3 青森南部町苦米地*=1.0 八戸市南郷*=1.0 青森南部町平*=0.9 五戸町古館=0.8 八戸市内丸*=0.8 八戸市湊町=0.7 三沢市桜町*=0.6 1 普代村銅屋*=1.2 盛岡市玉山区薮川*=1.2 盛岡市玉山区洪民*=0.7 八幡平市田頭*=0.7	39° 34.3' N	140° 20.9' E	5km	M: 2.6
36	9 00 00	秋田県内陸南部 秋田県 2 大仙市刈和野*=1.9 1 大仙市協和境唐松岳*=1.2 大仙市協和境野田*=1.1	36° 53.8' N	141° 04.3' E	62km	M: 3.7
		福島県沖 福島県 2 天栄村下松本*=1.6 白河市新白河*=1.5 1 小野町中通*=1.4 田村市都路町*=1.4 檜葉町北田*=1.4 川内村下川内=1.4 玉川村小高*=1.2 白河市大信*=1.2 須賀川市岩瀬支所*=1.2 白河市東*=1.1 浅川町浅川*=1.1 棚倉町棚倉中居野=1.1 小野町小野新町*=1.1 田村市大越町*=1.1 石川町下泉*=1.0 田村市常葉町*=1.0 鏡石町不時沼*=1.0 泉崎村泉崎*=1.0 郡山市開成*=1.0 浪江町幾世橋=1.0 矢祭町戸塚*=1.0 田村市船引町=1.0 福島広野町下北迫大谷地原*=0.9 二本松市金色*=0.9 郡山市朝日=0.9 いわき市平梅本*=0.9 富岡町本岡*=0.8 古殿町松川新桑原*=0.8 二本松市油井*=0.8 本宮市本宮*=0.7 須賀川市八幡山*=0.7 白河市郭内=0.7 大熊町野上*=0.5 いわき市平四ツ波*=0.5 古殿町松川横川=0.5 茨城県 2 常陸大宮市山方*=1.5 1 笠間市石井*=1.3 常陸太田市高柿町*=1.2 常陸大宮市北町*=1.0 城里町石塚*=1.0				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		水戸市内原町*0.9 日立市助川小学校*0.9 笠間市中央*0.9 笠間市下郷*0.9 笠間市笠間*0.9 常陸大宮市上小瀬*0.9 常陸大宮市野口*0.9 筑西市門井*0.9 高萩市下手綱*0.7 東海村東海*0.7 桜川市岩瀬*0.7 桜川市羽田*0.7 常陸大宮市高部*0.7 水戸市千波町*0.6 常陸大宮市中富町*0.6 土浦市常名*0.6 常陸太田市町田町*0.6 ひたちなか市南神敷台*0.6 ひたちなか市東石川*0.6 石岡市柿岡*0.5				
		栃木県 1 大田原市湯津上*0.8 那須町寺子*0.8 栃木那珂川町馬頭*0.8 日光市中鉢石町*0.7 那須烏山市中央*0.7 芳賀町祖母井*0.6 宇都宮市中里町*0.5				
		群馬県 1 桐生市黒保根町*0.7				
37	9 02 55	兵庫県南西部 兵庫県 2 多可町八千代区*1.5 1 朝来市生野町*1.0 加東市河高*1.0 多可町加美区*0.9	34° 58.0' N	134° 48.2' E	13km	M: 3.1
38	9 22 49	滋賀県南部 滋賀県 1 近江八幡市桜宮町*0.7 大津市木戸消防分団*0.6 大津市南小松*0.5 京都府 1 京都左京区花脊*0.6	35° 12.9' N	135° 54.4' E	9km	M: 2.6
39	9 23 12	奄美大島近海 鹿兒島県 4 瀬戸内町請島*4.2 天城町平土野*3.9 奄美市笠利町里*3.6 奄美市名瀬港町*3.6 瀬戸内町与路島*3.5 3 瀬戸内町西古見*3.3 宇検村湯湾*3.2 奄美市住用町西仲間*3.2 伊仙町伊仙*3.2 瀬戸内町加計呂麻島*3.1 徳之島町亀津*3.0 大和村思勝*3.0 瀬戸内町古仁屋*2.9 喜界町滝川*2.9 奄美市名瀬幸町*2.9 天城町当部*2.7 和泊町和泊*2.7 2 龍郷町浦*2.3 喜界町湾*2.3 龍郷町屋入*2.2 和泊町頭*2.1 鹿兒島十島村悪石島*1.8 知名町瀬利覚*1.8 与論町茶花*1.8 知名町知名*1.6 1 鹿兒島十島村諏訪之瀬島*1.3 鹿兒島十島村中之島徳之尾*0.5	28° 02.7' N	129° 29.5' E	28km	M: 5.4
		沖繩県 2 今帰仁村仲宗根*1.5 1 名護市港*1.3 恩納村恩納*1.2 国頭村奥*1.0 伊平屋村我喜屋*1.0 南城市知念久手堅*1.0 国頭村辺土名*0.8 うるま市みどり町*0.7				
40	9 23 17	奄美大島近海 鹿兒島県 2 瀬戸内町請島*1.7 奄美市名瀬港町*1.6 瀬戸内町西古見*1.5 1 宇検村湯湾*1.4 瀬戸内町加計呂麻島*1.3 瀬戸内町与路島*1.3 奄美市名瀬幸町*1.3 奄美市住用町西仲間*1.3 天城町平土野*1.3 瀬戸内町古仁屋*1.1 伊仙町伊仙*1.1 大和村思勝*0.8 奄美市笠利町里*0.8	28° 04.6' N	129° 30.4' E	30km	M: 4.1
41	9 23 20	奄美大島近海 鹿兒島県 2 宇検村湯湾*2.1 瀬戸内町請島*1.8 奄美市名瀬港町*1.8 瀬戸内町西古見*1.7 奄美市住用町西仲間*1.6 奄美市名瀬幸町*1.5 1 瀬戸内町加計呂麻島*1.4 瀬戸内町与路島*1.4 瀬戸内町古仁屋*1.3 天城町平土野*1.3 大和村思勝*1.2 奄美市笠利町里*0.9 伊仙町伊仙*0.9	28° 04.7' N	129° 30.3' E	30km	M: 4.0
42	9 23 27	奄美大島近海 鹿兒島県 1 瀬戸内町西古見*0.5	28° 04.3' N	129° 30.5' E	29km	M: 3.4
43	10 00 01	奄美大島近海 鹿兒島県 1 瀬戸内町西古見*0.6 瀬戸内町請島*0.6 瀬戸内町加計呂麻島*0.6 宇検村湯湾*0.5	28° 04.1' N	129° 30.1' E	29km	M: 3.4
44	10 00 09	奄美大島近海 鹿兒島県 2 宇検村湯湾*2.1 奄美市名瀬港町*1.8 瀬戸内町請島*1.7 奄美市住用町西仲間*1.7 瀬戸内町古仁屋*1.5 瀬戸内町西古見*1.5 1 瀬戸内町加計呂麻島*1.4 瀬戸内町与路島*1.3 奄美市笠利町里*1.3 大和村思勝*1.2 奄美市名瀬幸町*1.2 伊仙町伊仙*0.8 喜界町滝川*0.5	28° 06.0' N	129° 30.2' E	32km	M: 3.9
45	10 00 40	奄美大島近海 鹿兒島県 1 奄美市名瀬港町*0.7 宇検村湯湾*0.6	28° 04.7' N	129° 30.1' E	30km	M: 3.2
46	10 00 48	奄美大島近海 鹿兒島県 2 奄美市名瀬港町*1.6 奄美市笠利町里*1.6 1 奄美市住用町西仲間*1.4 瀬戸内町請島*1.3 瀬戸内町古仁屋*1.2 喜界町滝川*1.1 奄美市名瀬幸町*1.1 宇検村湯湾*1.1 瀬戸内町与路島*1.0 瀬戸内町加計呂麻島*1.0 瀬戸内町西古見*0.9 大和村思勝*0.8 龍郷町屋入*0.6	28° 04.8' N	129° 30.5' E	30km	M: 3.8
47	10 00 50	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町*0.5 宮城県 1 女川町女川浜*1.3 石巻市桃生町*0.9 石巻市北上町*0.7 南三陸町志津川*0.5 石巻市大街道南*0.5	38° 24.3' N	142° 11.3' E	29km	M: 4.0
48	10 02 39	奄美大島近海 鹿兒島県 1 奄美市名瀬港町*1.3 瀬戸内町請島*1.1 瀬戸内町加計呂麻島*1.0 瀬戸内町西古見*1.0 奄美市名瀬幸町*1.0 瀬戸内町古仁屋*0.9 奄美市住用町西仲間*0.9 瀬戸内町与路島*0.8 宇検村湯湾*0.8 大和村思勝*0.5	28° 03.9' N	129° 30.3' E	27km	M: 3.8

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
49	10 02 54	奄美大島近海 鹿児島県	28° 04.6' N	129° 29.9' E	30km	M: 3.9 瀬戸内町西古見=0.9 瀬戸内町古仁屋*=0.8 奄美市笠利町里*=0.8 奄美市住用町西仲間*=0.8 瀬戸内町与路島*=0.7 瀬戸内町加計呂麻島*=0.7 喜界町滝川=0.6 伊仙町伊仙*=0.6 奄美市名瀬幸町*=0.5
50	11 00 37	日高地方東部 北海道	42° 20.2' N	142° 58.5' E	49km	M: 3.8 浦河町潮見=0.8 浦河町築地*=0.7 幕別町忠類錦町*=0.7 十勝大樹町生花*=0.6
51	11 02 08	岩手県沖 岩手県	39° 38.3' N	142° 06.3' E	48km	M: 3.2 山田町大沢*=0.5
52	11 02 32	福島県沖 福島県	37° 01.1' N	141° 05.0' E	57km	M: 3.1 川内村下川内=0.5
53	11 05 24	奄美大島近海 鹿児島県	28° 04.8' N	129° 30.9' E	30km	M: 3.5 瀬戸内町請島*=0.7 奄美市名瀬港町=0.6 瀬戸内町古仁屋*=0.5 奄美市笠利町里*=0.5
54	11 06 16	和歌山県北部 和歌山県	34° 14.6' N	135° 14.0' E	6km	M: 2.4 和歌山市一番丁*=0.8
55	11 06 30	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 20.8' N	141° 52.5' E	64km	M: 3.5 一関市千厩町*=1.0 石巻市桃生町*=0.6
56	11 11 02	伊勢湾 三重県	34° 56.5' N	136° 40.7' E	8km	M: 2.1 四日市市新浜町*=0.9
57	11 12 09	兵庫県南西部 兵庫県	34° 58.0' N	134° 48.4' E	13km	M: 3.7 多可町八千代区*=2.4 朝来市生野町*=2.0 姫路市香寺町中屋*=1.9 市川町西川辺*=1.9 加古川市志方町*=1.8 多可町加美区*=1.6 加東市河高*=1.6 1 福崎町南田原*=1.3 加西市下万願寺町=1.2 姫路市安田*=1.2 姫路市豊富*=1.2 朝来市和田山町枚田=1.2 佐用町下徳久*=1.2 姫路市安富町安志*=1.1 高砂市荒井町*=1.1 朝来市新井*=1.1 加古川市加古川町=1.1 兵庫神河町寺前*=1.1 朝来市和田山町柳原*=1.0 宍粟市山崎町船元*=1.0 朝来市山東町*=0.9 宍粟市山崎町中広瀬=0.8 兵庫神河町新田*=0.8 加東市社=0.8 たつの市新宮町*=0.7 たつの市御津町*=0.7 多可町中区*=0.7 丹波市青垣町*=0.7 上郡町大持*=0.7 たつの市龍野町*=0.7 加西市北条町*=0.6 三木市細川町=0.5 兵庫太子町鶴*=0.5 姫路市網干*=0.5 宍粟市一宮町*=0.5 岡山県 1 和気町矢田*=1.1 赤磐市周匝*=0.8 美作市太田*=0.7 真庭市下方*=0.5
58	11 15 26	青森県三八上北地方 青森県	40° 23.2' N	141° 15.8' E	10km	M: 4.6 5弱 青森南部町平*=4.6 4 三戸町在府小路町*=4.2 八戸市南郷*=3.9 五戸町古館=3.9 青森南部町苦米地*=3.9 青森南部町沖田面*=3.5 新郷村戸来*=3.5 3 五戸町倉石中市*=3.4 八戸市湊町=3.0 十和田市奥瀬*=2.9 八戸市内丸*=2.9 階上町道仏*=2.9 おいらせ町中下田*=2.6 六戸町大落瀬*=2.6 2 東北町上北南*=2.4 おいらせ町上明堂*=2.4 田子町田子*=2.3 野辺地町田狭沢*=2.3 三沢市桜町*=2.1 十和田市西十二番町*=2.0 東通村砂子又沢内*=1.9 七戸町森ノ上*=1.9 七戸町七戸*=1.9 十和田市西二番町*=1.8 平内町小湊=1.7 外ヶ浜町蟹田*=1.6 八戸市島守=1.5 野辺地町野辺地*=1.5 佐井村長後*=1.5 1 黒石市市ノ町*=1.3 藤崎町水木*=1.3 田舎館村田舎館*=1.3 東北町塔ノ沢山*=1.3 むつ市大畑町中島*=1.2 横浜町林ノ脇*=1.2 むつ市脇野沢*=1.1 東通村砂子又蒲谷地=1.1 弘前市城東中央*=1.1 平内町東田沢*=1.0 東通村白糠*=1.0 むつ市金谷*=1.0 青森市中央*=1.0 青森市浪岡*=1.0 六ヶ所村出戸=0.9 平川市柏木町*=0.9 横浜町寺下*=0.8 中泊町中里*=0.8 風間浦村易国間*=0.8 六ヶ所村尾駈=0.8 むつ市金曲=0.8 平川市猿賀*=0.8 今別町今別*=0.8 藤崎町西豊田*=0.8 蓬田村蓬田*=0.7 つがる市木造*=0.7 青森市花園=0.7 弘前市弥生=0.6 弘前市和田町=0.5 岩手県 3 軽米町軽米*=2.7 2 二戸市浄法寺町*=2.1 二戸市石切所*=2.0 二戸市福岡=1.9 一戸町高善寺*=1.9 岩手洋野町種市=1.7 九戸村伊保内*=1.6 1 久慈市枝成沢=1.3 岩手洋野町大野*=1.2 久慈市川崎町=1.0 葛巻町消防分署*=0.9 八幡平市叭田*=0.9 盛岡市玉山区薮川*=0.8 葛巻町葛巻元木=0.8 八幡平市田頭*=0.8 葛巻町役場*=0.7 岩手町五日市*=0.7 久慈市山形町*=0.7 盛岡市玉山区浪民*=0.6 宮古市五月町*=0.6 久慈市長内町*=0.6 宮古市鉾ヶ崎=0.5 北海道 2 函館市泊町*=1.6 1 知内町重内*=1.1 福島町福島*=0.8 函館市新浜町*=0.7 知内町小谷石=0.7 秋田県 1 小坂町小坂砂森*=1.1 北秋田市花園町=0.6 大館市比内町扇田*=0.5
59	11 15 30	青森県三八上北地方 青森県	40° 23.6' N	141° 15.3' E	10km	M: 2.6 1 青森南部町平*=1.4 三戸町在府小路町*=1.1 青森南部町苦米地*=0.8 五戸町古館=0.8 八戸市南郷*=0.7 青森南部町沖田面*=0.5
60	11 16 37	青森県三八上北地方 青森県	40° 23.6' N	141° 15.5' E	10km	M: 2.2 1 青森南部町平*=0.9 三戸町在府小路町*=0.6

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
61	11 17 21	岩手県沖 青森県	40° 12.3' N	142° 19.4' E	38km	M: 4.4
		2 階上町道仏* = 2.2 八戸市内丸* = 2.0 八戸市南郷* = 1.9 五戸町古館 = 1.8 青森南部町苫米地* = 1.7 野辺地町田狭沢* = 1.6 青森南部町平* = 1.6 八戸市湊町 = 1.6				
		1 三沢市桜町* = 1.4 東通村砂子又沢内* = 1.4 東北町上北南* = 1.3 十和田市奥瀬* = 1.2 三戸町在府小路町* = 1.2 青森南部町沖田面* = 1.2 おいらせ町中下田* = 1.2 おいらせ町上明堂* = 1.2 野辺地町野辺地* = 1.2 七戸町七戸* = 1.1 東通村白糠* = 1.1 七戸町森ノ上* = 1.1 五戸町倉石中市* = 1.0 六ヶ所村犬落瀬* = 1.0 六ヶ所村出戸 = 0.9 横浜町林ノ脇* = 0.9 東北町塔ノ沢山* = 0.8 六ヶ所村尾駈 = 0.8 外ヶ浜町蟹田* = 0.8 東通村砂子又蒲谷地 = 0.7 十和田市西二番町* = 0.7 平内町東沢* = 0.6 むつ市金曲 = 0.6 佐井村長後* = 0.6 むつ市川内町* = 0.6 八戸市島守 = 0.6 青森市花園 = 0.5				
		岩手県				
		2 岩手洋野町種市 = 1.5 盛岡市玉山区薮川* = 1.5				
		1 普代村銅屋* = 1.2 盛岡市玉山区洪民* = 1.2 軽米町軽米* = 1.2 二戸市浄法寺町* = 1.1 一戸町高善寺* = 1.0 八幡平市田頭* = 1.0 宮古市鍛ヶ崎 = 0.7 久慈市枝成沢 = 0.7 八幡平市叭田* = 0.7 岩手洋野町大野* = 0.7 住田町世田米* = 0.6 二戸市福岡 = 0.6 葛巻町葛巻元木 = 0.6 岩手町五日市* = 0.6 宮古市五月町* = 0.6 宮古市川井* = 0.6 久慈市川崎町 = 0.6 九戸村伊保内* = 0.6 一関市室根町* = 0.6 二戸市石切所* = 0.5 盛岡市山王町 = 0.5 宮古市区界* = 0.5 花巻市大迫総合支所* = 0.5 遠野市青笹町* = 0.5 釜石市中妻町* = 0.5				
		北海道				
		1 函館市泊町* = 0.8				
62	11 19 02	青森県三八上北地方 青森県	40° 23.7' N	141° 15.4' E	10km	M: 2.9
		2 三戸町在府小路町* = 1.7 青森南部町平* = 1.6				
		1 八戸市南郷* = 1.1 青森南部町苫米地* = 0.9 五戸町古館 = 0.7				
63	11 21 21	茨城県南部 栃木県	36° 04.5' N	139° 52.5' E	45km	M: 2.9
		1 栃木市旭町 = 0.5				
64	12 00 15	青森県三八上北地方 青森県	40° 23.5' N	141° 16.1' E	9km	M: 3.6
		3 三戸町在府小路町* = 3.3 青森南部町平* = 3.0 青森南部町苫米地* = 2.6				
		2 八戸市南郷* = 2.3 青森南部町沖田面* = 2.0 八戸市内丸* = 1.9 八戸市湊町 = 1.8 五戸町古館 = 1.7 階上町道仏* = 1.6				
		1 田子町田子* = 1.3 新郷村戸来* = 0.9 五戸町倉石中市* = 0.8 八戸市島守 = 0.5				
		岩手県				
		2 二戸市浄法寺町* = 1.6 二戸市福岡 = 1.5				
		1 軽米町軽米* = 1.3 二戸市石切所* = 1.2 一戸町高善寺* = 1.0 九戸村伊保内* = 0.5				
65	12 00 45	奄美大島近海 鹿児島県	28° 24.0' N	129° 57.0' E	45km	M: 4.0
		2 奄美市名瀬港町 = 1.9 奄美市笠利町里* = 1.9 喜界町滝川 = 1.6 奄美市名瀬幸町* = 1.5				
		1 瀬戸内町西古見 = 1.3 瀬戸内町請島* = 1.3 宇檢村湯湾* = 1.2 奄美市住用町西仲間* = 1.1 瀬戸内町与路島* = 1.0 喜界町湾* = 0.9 瀬戸内町加計呂麻島* = 0.9 瀬戸内町古仁屋* = 0.8 大和村思勝* = 0.7 龍郷町屋入 = 0.6				
66	12 01 17	青森県三八上北地方 青森県	40° 23.2' N	141° 15.6' E	10km	M: 2.9
		2 三戸町在府小路町* = 1.8 青森南部町平* = 1.6				
		1 青森南部町苫米地* = 1.2 青森南部町沖田面* = 0.9 八戸市南郷* = 0.9 五戸町古館 = 0.8				
67	12 02 08	北海道北西沖 青森県	44° 25.8' N	141° 12.6' E	265km	M: 6.2
		3 階上町道仏* = 3.2				
		2 おいらせ町中下田* = 2.4 八戸市内丸* = 2.2 八戸市南郷* = 2.2 野辺地町田狭沢* = 2.2 五戸町古館 = 2.2 東通村砂子又沢内* = 2.1 東北町上北南* = 2.1 平内町小湊 = 2.1 むつ市金曲 = 2.1 青森南部町平* = 2.0 八戸市湊町 = 2.0 野辺地町野辺地* = 2.0 三沢市桜町* = 1.9 五戸町倉石中市* = 1.9 青森南部町苫米地* = 1.9 おいらせ町上明堂* = 1.9 むつ市大畑町中島* = 1.9 六ヶ所村尾駈 = 1.8 外ヶ浜町蟹田* = 1.8 七戸町森ノ上* = 1.8 七戸町七戸* = 1.7 大間町大間* = 1.7 六戸町犬落瀬* = 1.7 つがる市稲垣町* = 1.7 三戸町在府小路町* = 1.7 横浜町林ノ脇* = 1.6 横浜町寺下* = 1.6 むつ市金谷* = 1.6 東北町塔ノ沢山* = 1.6 東通村砂子又蒲谷地 = 1.6 むつ市川内町* = 1.5 青森市花園 = 1.5				
		1 青森市中央* = 1.3 蓬田村蓬田* = 1.3 十和田市西二番町* = 1.3 十和田市西十二番町* = 1.3 東通村白糠* = 1.3 青森市浪岡* = 1.2 五所川原市金木町* = 1.2 つがる市木造* = 1.2 六ヶ所村出戸 = 1.2 青森南部町沖田面* = 1.2 藤崎町西豊田* = 1.1 藤崎町水木* = 1.1 平川市猿賀* = 1.1 十和田市奥瀬* = 1.1 東通村尻屋* = 1.1 田舎館村田舎館* = 1.0 八戸市島守 = 1.0 田子町田子* = 1.0 つがる市柏* = 1.0 つがる市車力町* = 1.0 黒石市市ノ町* = 1.0 平内町東沢* = 0.9 風間浦村易国間* = 0.9 板柳町板柳* = 0.9 鶴田町鶴田* = 0.9 中泊町中里* = 0.9 新郷村戸来* = 0.9 むつ市大畑町奥薬研 = 0.9 むつ市脇野沢* = 0.8 平川市柏木町* = 0.8 外ヶ浜町平館* = 0.8 佐井村佐井* = 0.7 佐井村長後* = 0.5				
		北海道				
		2 南幌町栄町* = 2.4 函館市新浜町* = 2.2 札幌北区篠路* = 2.2 猿払村茂茅野* = 2.2 札幌北区太平* = 2.1 新冠町北星町* = 2.0 浦河町潮見 = 2.0 むかわ町松風* = 1.9 浦幌町桜町* = 1.9 札幌北区新琴似* = 1.9 函館市大森町* = 1.8 札幌市稲区前田* = 1.8 長沼町中央* = 1.7 札幌東区元町* = 1.7 渡島北斗市中央* = 1.6 十勝大樹町生花* = 1.6 釧路市音別町中園* = 1.6 むかわ町穂別* = 1.6 上ノ国町大留* = 1.6 新ひだか町静内山手町 = 1.6 岩見沢市北村赤川* = 1.6 様似町栄町* = 1.6 安平町早来北進* = 1.5 釧路市黒金町* = 1.5 石狩市花川 = 1.5 浦河町築地* = 1.5 赤井川村赤井川* = 1.5 函館市泊町* = 1.5				
		1 石狩市花咲* = 1.4 札幌清田区平岡* = 1.4 えりも町えりも岬* = 1.4 豊頃町茂岩本町* = 1.4 根室市厚床* = 1.4 根室市落石東* = 1.4 羽幌町南町* = 1.3 天塩町川口* = 1.3 苫小牧市末広町 = 1.3 日高地方日高町門別* = 1.3 新ひだか町静内御幸町* = 1.3 新ひだか町三石旭町* = 1.3 江別市緑町* = 1.3				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>函館市美原=1.3 倶知安町北4条*=1.3 標茶町塘路*=1.2 札幌厚別区もみじ台*=1.2 羽幌町南3条=1.2 厚真町鹿沼=1.2 幕別町忠類錦町*=1.2 倶知安町南1条=1.2 十勝大樹町東本通*=1.2 釧路市幸町=1.2 芽室町東2条*=1.1 札幌豊平区月寒東*=1.1 安平町追分柏が丘*=1.1 中札内村東2条*=1.1 更別村更別*=1.1 当別町白樺*=1.1 平取町振内*=1.1 釧路町別保*=1.1 厚岸町真栄*=1.1 増毛町見晴町*=1.1 利尻富士町鬼脇=1.1 浦河町野深=1.1 根室市瑤瑤瑠*=1.1 江別市高砂町=1.1 十勝清水町南4条=1.1 帯広市東4条=1.0 幌加内町平和*=1.0 別海町常盤=1.0 別海町本別海*=1.0 札幌西区琴似*=1.0 新千歳空港=1.0 十勝池田町西1条*=1.0 初山別村初山別*=1.0 札幌中央区北2条=1.0 札幌南区真駒内*=1.0 稚内市恵北=1.0 稚内市宗谷岬*=1.0 札幌南区簾舞*=1.0 帯広市東6条*=0.9 厚岸町尾幌=0.9 白老町大町=0.9 遠別町本町*=0.9 本別町北2丁目=0.9 釧路市阿寒町中央*=0.9 新ひだか町静内御園=0.8 浜中町湯沸=0.8 稚内市開運=0.8 函館市川汲町*=0.8 広尾町並木通=0.8 広尾町白樺通=0.8 礼文町香深*=0.8 増毛町岩尾*=0.8 新得町2条*=0.8 小樽市勝納町=0.8 えりも町目黒*=0.7 函館市尾札部町=0.7 猿払村浜鬼志別*=0.7 北竜町竜西=0.7 弟子屈町弟子屈*=0.7 礼文町船泊*=0.7 釧路市音別町尺別=0.7 根室市牧の内*=0.7 札幌中央区南4条*=0.7 羽幌町焼尻=0.6 鶴居村鶴居東*=0.6 千歳市支笏湖温泉*=0.6 幌加内町朱鞠内*=0.6 小平町達布*=0.6 檜山江差町姥神=0.6 浜中町霧多布*=0.5 新ひだか町静内農屋*=0.5</p> <p>岩手県 2 宮古市田老*=2.3 久慈市枝成沢=2.3 普代村銅屋*=2.2 野田村野田*=2.2 盛岡市玉山区薮川*=2.1 久慈市川崎町=2.0 久慈市長内町*=2.0 岩手洋野町種市=1.9 軽米町軽米*=1.9 矢巾町南矢幅*=1.9 二戸市浄法寺町*=1.8 宮古市五月町*=1.7 岩手洋野町大野*=1.6 一戸町高善寺*=1.6 八幡平市田頭*=1.6 盛岡市山王町=1.5 盛岡市玉山区洩民*=1.5 釜石市中妻町*=1.5 1 二戸市石切所*=1.4 岩手町五日市*=1.4 紫波町紫波中央駅前*=1.4 滝沢市鶴飼*=1.4 遠野市青笹町*=1.4 二戸市福岡=1.3 八幡平市大更=1.3 九戸村伊保内*=1.3 一関市千厩町*=1.3 金ヶ崎町西根*=1.3 奥州市江刺区*=1.3 花巻市石鳥谷町*=1.2 北上市柳原町=1.2 北上市相去町*=1.2 一関市室根町*=1.2 奥州市胆沢区*=1.2 宮古市鉾ヶ崎=1.2 宮古市川井*=1.2 宮古市茂市*=1.2 山田町大沢*=1.2 住田町世田米*=1.2 葛巻町葛巻元木=1.1 八幡平市吹田*=1.1 花巻市東和町*=1.1 奥州市水沢区大鐘町=1.1 奥州市水沢区佐倉河*=1.1 宮古市区界*=1.1 山田町八幡町=1.1 岩泉町岩泉*=1.1 田野畑村役場*=1.1 大船渡市大船渡町=1.1 平泉町平泉*=1.0 奥州市前沢区*=1.0 花巻市大迫町=1.0 遠野市宮守町*=0.9 葛巻町消防分署*=0.9 釜石市只越町=0.9 一関市大東町=0.8 一関市藤沢町*=0.8 葛巻町役場*=0.7 岩泉町大川*=0.7 田野畑村田野畑=0.7 盛岡市馬場町*=0.7 宮古市長沢=0.7 雫石町千刈田=0.6 久慈市山形町*=0.6 花巻市大迫総合支所*=0.6 大船渡市猪川町=0.6 大船渡市盛町*=0.5 一関市東山町*=0.5</p> <p>宮城県 2 涌谷町新町裏=1.6 登米市登米町*=1.6 石巻市桃生町*=1.6 登米市米山町*=1.5 大崎市古川北町*=1.5 丸森町鳥屋*=1.5 1 登米市中田町=1.4 登米市迫町*=1.4 大崎市松山*=1.4 気仙沼市唐桑町*=1.3 登米市南方町*=1.3 宮城美里町木間塚*=1.3 大崎市古川三日町=1.3 宮城加美町中新田*=1.2 岩沼市桜*=1.2 石巻市大街道南*=1.2 石巻市相野谷*=1.2 気仙沼市笹が陣*=1.1 栗原市若柳*=1.1 南三陸町志津川=1.1 東松島市矢本*=1.1 気仙沼市赤岩=1.0 色麻町四竈*=1.0 栗原市一迫*=1.0 亘理町下小路*=1.0 石巻市前谷地*=1.0 松島町高城=1.0 宮城美里町北浦*=0.9 大崎市田尻*=0.9 大河原町新南*=0.9 栗原市築館*=0.9 名取市増田*=0.8 角田市角田*=0.8 栗原市志波姫*=0.8 利府町利府*=0.8 大衡村大衡*=0.8 栗原市栗駒=0.7 栗原市高清水*=0.7 大崎市古川大崎=0.6 大郷町粕川*=0.6 仙台宮城野区苦竹*=0.5 石巻市北上町*=0.5 大崎市岩出山*=0.5 栗原市花山*=0.5 登米市東和町*=0.5</p> <p>秋田県 1 大仙市高梨*=0.8 横手市大雄*=0.7</p> <p>山形県 1 中山町長崎*=1.0 酒田市亀ヶ崎=0.8</p> <p>福島県 1 檜葉町北田*=0.9 浪江町幾世橋=0.8 いわき市小名浜=0.6 いわき市三和町=0.6 福島広野町下北迫大谷地原*=0.5</p> <p>茨城県 1 笠間市石井*=0.8 筑西市舟生=0.6 土浦市常名=0.5</p> <p>埼玉県 1 加須市大利根*=0.5</p>				
68	12 02 50	<p>浦河沖 北海道</p> <p>41° 53.7' N 142° 30.0' E 64km M: 4.4</p> <p>2 函館市泊町*=1.9 新冠町北星町*=1.6 浦河町潮見=1.6 函館市新浜町*=1.6 新ひだか町静内山手町=1.5 浦河町築地*=1.5 1 新ひだか町静内御幸町*=1.4 新ひだか町三石旭町*=1.4 函館市川汲町*=1.3 様似町栄町*=1.3 江別市緑町*=1.1 胆振伊達市大滝区本町*=1.1 厚真町鹿沼=1.0 函館市尾札部町=0.8 安平町追分柏が丘*=0.8 浦河町野深=0.8 新ひだか町静内御園=0.8 当別町白樺*=0.7 鹿部町宮浜*=0.7 安平町早来北進*=0.7 登別市桜木町*=0.6 胆振伊達市梅本=0.5 七飯町本町*=0.5 千歳市支笏湖温泉*=0.5</p> <p>青森県 2 東通村砂子又沢内*=1.8 階上町道仏*=1.6 1 野辺地町田狭沢*=1.2 むつ市大畑町中島*=1.2 東通村砂子又蒲谷地=1.2 大間町大間*=1.0 七戸町森ノ上*=0.9 八戸市南郷*=0.8 むつ市金曲=0.8 むつ市金谷*=0.8 八戸市内丸*=0.8 佐井村佐井*=0.8 青森南部町平*=0.7 野辺地町野辺地*=0.7 八戸市湊町=0.7 六ヶ所村尾駁=0.7 東通村尻屋*=0.6 五戸町古館=0.5 むつ市大畑町奥薬研=0.5 東通村白糠*=0.5 佐井村長後*=0.5</p>				
69	12 03 42	<p>秋田県内陸北部 秋田県</p> <p>40° 01.8' N 140° 32.0' E 9km M: 2.7</p> <p>1 北秋田市阿仁銀山*=0.6</p>				
70	12 14 25	<p>青森県三八上北地方 青森県</p> <p>40° 23.7' N 141° 15.8' E 9km M: 2.5</p> <p>1 三戸町在府小路町*=1.2 青森南部町平*=1.0</p>				
71	12 15 09	<p>宮古島近海 沖縄県</p> <p>24° 41.1' N 125° 07.2' E 29km M: 4.1</p> <p>2 宮古島市伊良部長浜*=2.0 宮古島市伊良部国仲=1.7 1 宮古島市平良西里*=1.4 宮古島市平良狩俣*=1.1 宮古島市平良下里=1.1 宮古島市城辺福西*=1.0</p>				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		宮古島市城辺福北=0.8 多良間村塩川=0.8 宮古島市上野新里=0.7 宮古島市平良池間=0.6				
72	12 17 42	浦河沖 北海道 1 新ひだか町三石旭町*=0.5	42° 13.5' N	142° 30.4' E	29km	M: 2.7
73	13 05 46	新潟県下越地方	37° 46.1' N	138° 53.1' E	23km	M: 3.4
(注)	13 05 46	新潟県下越地方 新潟県 1 新潟南区白根*=1.2 出雲崎町米田=1.0 燕市秋葉町*=0.9 加茂市幸町*=0.9 長岡市寺泊教ヶ曾根*=0.8 新潟西蒲区役所=0.7 新潟秋葉区程島=0.5 田上町原ヶ崎新田*=0.5 弥彦村矢作*=0.5	37° 47.4' N	138° 53.8' E	19km	M: 3.2
74	13 06 30	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島*=0.5	29° 15.2' N	129° 11.0' E	12km	M: 2.1
75	13 10 45	千葉県北東部 千葉県 1 銚子市若宮町*=0.6 旭市高生*=0.6	35° 44.3' N	140° 51.5' E	10km	M: 3.2
76	13 13 40	岩手県内陸北部 岩手県 1 九戸村伊保内*=0.7	40° 07.9' N	141° 18.7' E	9km	M: 2.6
77	13 21 48	奄美大島近海 鹿児島県 2 奄美市名瀬港町=1.6 1 奄美市住用町西仲間*=1.2 奄美市名瀬幸町*=1.1 瀬戸内町西古見=1.0 宇検村湯湾*=0.8 瀬戸内町加計呂麻島*=0.8 瀬戸内町請島*=0.7 瀬戸内町古仁屋*=0.7 大和村思勝*=0.5	28° 04.2' N	129° 30.4' E	29km	M: 3.8
78	13 22 03	宮城県沖 宮城県 1 気仙沼市唐桑町*=0.5	38° 38.2' N	141° 54.3' E	48km	M: 3.5
79	13 23 09	兵庫県南西部 兵庫県 1 市川町西川辺*=0.5	34° 57.1' N	134° 35.6' E	15km	M: 3.1
80	14 08 24	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*=0.7	29° 30.1' N	129° 41.1' E	6km	M: 2.5
81	14 12 25	浦河沖 北海道 5弱 浦河町潮見=4.7 様似町栄町*=4.7 函館市新浜町*=4.6 新冠町北星町*=4.6 浦河町築地*=4.5 函館市泊町*=4.5 4 浦河町野深=4.3 新ひだか町静内山手町=4.2 新ひだか町静内御幸町*=4.2 新ひだか町三石旭町*=4.2 札幌東区元町*=4.2 十勝大樹町東本通*=4.2 函館市川汲町*=4.2 安平町追分柏が丘*=4.1 南幌町栄町*=4.1 厚真町鹿沼=4.0 江別市緑町*=4.0 平取町振内*=4.0 札幌白石区北郷*=3.9 厚真町京町*=3.9 安平町早来北進*=3.9 新篠津村第4 7 線*=3.9 むかわ町松風*=3.9 芽室町東2条*=3.9 むかわ町穂別*=3.9 江別市高砂町=3.8 長沼町中央*=3.8 札幌北区太平*=3.8 札幌北区篠路*=3.8 幕別町忠類錦町*=3.8 鹿部町宮浜*=3.8 新ひだか町静内御園=3.8 渡島森町砂原*=3.7 広尾町並木通=3.7 日高地方日高町門別*=3.7 函館市尾札部町=3.7 えりも町えりも岬*=3.7 札幌北区新琴似*=3.7 北広島市共栄*=3.7 浦幌町桜町*=3.7 鹿追町東町*=3.6 帯広市東4条=3.6 帯広市東6条*=3.6 札幌厚別区もみじ台*=3.6 千歳市若草*=3.6 恵庭市京町*=3.6 札幌手稲区前田*=3.6 札幌南区真駒内*=3.6 広尾町白樺通=3.6 釧路市音別町中園*=3.6 中富良野町本町*=3.6 室蘭市寿町*=3.6 十勝清水町南4条=3.5 胆振伊達市大滝区本町*=3.5 札幌清田区平岡*=3.5 登別市桜木町*=3.5 新得町2条*=3.5 石狩市花川=3.5 知内町重内*=3.5 音更町元町*=3.5 3 石狩市花畔*=3.4 千歳市北栄=3.4 新千歳空港=3.4 千歳市支笏湖温泉*=3.4 函館市美原=3.4 函館市日ノ浜町*=3.4 七飯町桜町=3.4 渡島北斗市中央*=3.4 厚沢部町木間内*=3.4 厚沢部町新町*=3.4 岩見沢市栗沢町東本町*=3.4 三笠市幸町*=3.4 白老町大町=3.4 胆振伊達市梅本=3.3 苫小牧市旭町*=3.3 当別町白樺*=3.3 日高地方日高町日高*=3.3 新ひだか町静内農屋*=3.3 中札内村東2条*=3.3 更別村更別*=3.3 十勝大樹町生花*=3.3 岩見沢市北村赤川*=3.3 木古内町木古内*=3.3 美唄市西5条=3.3 函館市大森町*=3.3 栗山町松風*=3.3 渡島森町御幸町=3.2 渡島森町上台町*=3.2 南富良野町役場*=3.2 小樽市勝納町=3.2 胆振伊達市末永町*=3.2 岩見沢市鳩が丘*=3.2 札幌西区琴似*=3.2 白老町緑丘*=3.2 福島町福島*=3.2 札幌中央区北2条=3.2 えりも町目黒*=3.2 豊頃町茂岩本町*=3.2 苫小牧市末広町=3.1 幕別町本町*=3.1 十勝池田町西1条*=3.1 岩見沢市5条=3.1 札幌豊平区月寒東*=3.1 増毛町見晴町*=3.1 美唄市西3条*=3.1 釧路市阿寒町中央*=3.1 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*=3.1 白糠町西1条*=3.1 七飯町本町*=3.1 えりも町本町=3.1 士幌町士幌*=3.0 石狩市聚富=3.0 新十津川町中央*=3.0 札幌南区篠舞*=3.0 上ノ国町大留*=3.0 札幌中央区南4条*=3.0 平取町本町*=3.0 長万部町平里*=3.0 乙部町緑町*=3.0 洞爺湖町栄町*=3.0 真狩村真狩*=2.9 洞爺湖町洞爺町*=2.9 上士幌町清水谷*=2.9 上士幌町上士幌*=2.9 妹背牛町妹背牛*=2.9 滝川市大町=2.9 登別市鉱山=2.9 占冠村中央*=2.9 本別町北2丁目=2.9 滝川市新町*=2.9 砂川市西6条*=2.9 二七コ町中央通*=2.9 釧路市音別町尺別=2.9 壮瞥町滝之町*=2.9 沼田町沼田*=2.8 本別町向陽町*=2.8 余市町浜中町*=2.8 平取町仁世宇=2.8 留寿都村留寿都*=2.8 倶知安町南1条=2.8 奈井江町奈井江*=2.8 せたな町北檜山区徳島*=2.8 由仁町新光*=2.8 北竜町和*=2.8 2 奈井江町南1条*=2.8 月形町円山公園*=2.8 剣淵町仲町*=2.8 富良野市若松町=2.8 富良野市末広町*=2.8 上砂川町上砂川*=2.7 赤井川村赤井川*=2.7 豊浦町大岸*=2.7 秩父別町役場*=2.7 今金町今金*=2.7 渡島北斗市本町*=2.7 檜山江差町姥神=2.7	41° 58.2' N	142° 48.0' E	52km	M: 6.7

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>南富良野町幾寅=2.7 恵庭市漁平=2.7 倶知安町北4条*=2.7 黒松内町黒松内*=2.7 北見市公園町=2.7 北見市南仲町*=2.7 芦別市旭町=2.6 檜山江差町中歌町*=2.6 標津町北2条*=2.6 別海町西春別*=2.6 浦臼町ウラスナイ*=2.6 小樽市花園町*=2.6 雨竜町フシコウリウ*=2.6 夕張市若菜=2.6 余市町朝日町=2.6 当麻町3条*=2.5 美瑛町忠別*=2.5 留萌市幸町*=2.5 釧路市黒金町*=2.5 幕別町忠類明和=2.5 赤平市泉町*=2.5 釧路町別保*=2.5 大空町東藻琴*=2.5 北竜町竜西=2.5 深川市1条*=2.5 訓子府町東町*=2.5 湧別町栄町*=2.5</p> <p>2 石狩市厚田*=2.4 喜茂別町喜茂別*=2.4 京極町京極*=2.4 上富良野町大町=2.4 大空町女満別西3条*=2.4 中標津町丸山*=2.4 別海町常盤=2.4 北見市端野町二区*=2.3 置戸町拓殖*=2.3 室蘭市山手町=2.3 新得町トムラウシ*=2.3 足寄町上螺湾=2.3 弟子屈町弟子屈*=2.3 標茶町塘路*=2.3 鶴居村鶴居東*=2.3 古平町浜町*=2.3 増毛町岩尾*=2.3 別海町本別海*=2.3 岩内町清住*=2.3 石狩市浜益*=2.2 猿払村浅茅野*=2.2 小清水町小清水*=2.2 芦別市北2条*=2.2 釧路市幸町=2.2 厚岸町真栄*=2.2 標茶町川上*=2.2 北見市留辺蘂町栄町*=2.2 歌志内市本町*=2.2 仁木町西町*=2.2 遠軽町生田原*=2.2 旭川市7条*=2.1 東神楽町南1条*=2.1 北見市常呂町常呂*=2.1 東川町東町*=2.1 知内町小谷石=2.1 羽幌町南町*=2.1 留萌市大町=2.1 八雲町住初町*=2.1 根室市厚床*=2.1 旭川市宮前1条=2.1 美幌町東3条=2.1 陸別町陸別*=2.1 弟子屈町美里=2.1 津別町幸町*=2.1 羽幌町南3条=2.0 共和町南幌以*=2.0 根室市落石東*=2.0 渡島松前町清部=2.0 渡島松前町福山=2.0 小平町達布*=2.0 蘭越町蘭越*=2.0 美瑛町本町*=2.0 和寒町西町*=2.0 斜里町本町=2.0 清里町羽衣町*=2.0 厚岸町尾幌=1.9 比布町北町*=1.9 八雲町上の湯=1.9 幌加内町平和*=1.9 せたな町瀬棚区本町*=1.9 岩内町高台=1.9 鷹栖町南1条*=1.9 士別市東6条=1.9 上ノ国町湯ノ岱*=1.8 北見市留辺蘂町上町=1.8 名寄市風連町*=1.8 積丹町美国町*=1.8 寿都町新栄=1.8 小平町鬼鹿*=1.8 苫前町旭*=1.8 興部町興部*=1.8 寿都町渡島*=1.7 八雲町熊石雲石町*=1.7 せたな町北檜山区豊岡=1.7 士別市東3条*=1.7 遠軽町丸瀬布金湧山=1.7 島牧村泊*=1.7 弟子屈町サワラチサップ*=1.7 札幌南区定山溪温泉*=1.7 標津町古多糠=1.6 根室市瑤瑤瑯*=1.6 羅臼町緑町*=1.6 北見市留辺蘂町富士見*=1.6 中標津町養老牛=1.6 名寄市西5条*=1.6 上ノ国町小砂子*=1.5 羅臼町岬町*=1.5 下川町北町*=1.5 積丹町余別町*=1.5 幌加内町朱鞠内*=1.5 佐呂間町永代町*=1.5 せたな町瀬棚区北島歌*=1.5 奥尻町奥尻*=1.5 島牧村江ノ島=1.5 標津町薫別*=1.5</p> <p>1 美深町西町*=1.4 上川地方上川町越路=1.4 天塩町川口*=1.4 浜頓別町クッチャロ*=1.4 網走市南6条*=1.4 遠軽町学田*=1.4 湧別町上湧別*=1.4 浜中町湯沸=1.4 浜中町霧多布*=1.4 上川地方上川町花園町*=1.3 初山別村有明=1.3 遠別町本町*=1.3 積丹町日司町=1.3 網走市台町=1.2 愛別町南町*=1.2 北見市常呂町吉野=1.2 紋別市幸町*=1.2 羽幌町焼尻=1.2 根室市牧の内*=1.1 士別市朝日町=1.1 初山別村初山別*=1.1 遠軽町白滝*=1.1 羅臼町春日=1.1 紋別市南が丘町=1.0 上川地方上川町清川*=0.9 奥尻町松江=0.8 根室市弥栄=0.8 せたな町大成区都都*=0.6 根室市豊里=0.5</p>				
青森県	5弱	<p>東通村砂子又沢内*=4.5</p> <p>4 大間町大間*=4.3 むつ市大畑町中島*=4.2 七戸町森ノ上*=4.1 階上町道仏*=4.1 東通村砂子又蒲谷地=4.1 東北町上北南*=4.0 野辺地町野辺地*=4.0 野辺地町田狭沢*=3.9 むつ市金曲=3.9 むつ市金谷*=3.9 おいらせ町中下田*=3.8 平内町小湊=3.8 外ヶ浜町蟹田*=3.8 八戸市南郷*=3.6 三沢市桜町*=3.6 七戸町七戸*=3.6 青森南部町平*=3.6 横浜町林ノ脇*=3.5 横浜町寺下*=3.5 五戸町古館=3.5 青森南部町苔米地*=3.5 つがる市稲垣町*=3.5 おいらせ町上明堂*=3.5 東通村尻屋*=3.5 六戸町大落瀬*=3.5</p> <p>3 青森市浪岡*=3.4 東北町塔ノ沢山*=3.4 六ヶ所村尾駮=3.4 むつ市川内町*=3.4 藤崎町西豊田*=3.3 藤崎町水木*=3.3 八戸市内丸*=3.3 五戸町倉石中市*=3.3 五所川原市金木町*=3.2 中泊町中里*=3.2 黒石市市ノ町*=3.2 十和田市西十二番町*=3.2 佐井村佐井*=3.2 つがる市柏*=3.1 つがる市車力町*=3.1 田舎館村田舎館*=3.1 平川市猿賀*=3.1 八戸市湊町=3.1 十和田市西二番町*=3.1 風間浦村易国間*=3.1 蓬田村蓬田*=3.1 青森市花園=3.0 青森市中央*=3.0 今別町今別*=3.0 三戸町在府小路町*=3.0 むつ市大畑町奥薬研=3.0 東通村白糠*=3.0 佐井村長後*=3.0 五所川原市栄町=2.9 十和田市奥瀬*=2.9 五所川原市敷島町*=2.9 青森南部町沖田面*=2.9 つがる市木造*=2.9 外ヶ浜町平館*=2.9 弘前市城東中央*=2.9 板柳町板柳*=2.8 鶴田町鶴田*=2.8 平内町東田沢*=2.8 むつ市脇野沢*=2.7 外ヶ浜町三厩*=2.7 六ヶ所村出戸=2.7 田子町田子*=2.6 平川市柏木町*=2.6 弘前市弥生=2.5 五所川原市相内*=2.5 つがる市森田町*=2.5</p> <p>2 中泊町小泊*=2.4 鱒ヶ沢町本町=2.3 西目屋村田代*=2.3 八戸市島守=2.3 新郷村戸来*=2.3 弘前市和田町=2.3 五所川原市太田=2.2 弘前市五所*=2.2 七戸町北天間館=2.2 鱒ヶ沢町舞戸町*=2.1 深浦町深浦岡町=1.9 大鰐町大鰐*=1.9 平川市碓ヶ関*=1.8 深浦町岩崎*=1.8</p> <p>1 深浦町長慶平=1.3 深浦町深浦中沢*=1.3</p> <p>4 盛岡市玉山区薮川*=3.8</p> <p>3 二戸市浄法寺町*=3.4 軽米町軽米*=3.2 久慈市枝成沢=3.0 野田村野田*=2.9 盛岡市玉山区洪民*=2.9 普代村銅屋*=2.8 岩手町五日市*=2.8 八幡平市田頭*=2.8 八幡平市野駄*=2.8 矢巾町南矢幅*=2.8 岩手洋野町種市=2.7 一戸町高善寺*=2.7 滝沢市鶴飼*=2.7 盛岡市山王町=2.6 紫波町紫波中央駅前*=2.6 二戸市福岡=2.5 二戸市石切所*=2.5 八幡平市大更=2.5 八幡平市叭田*=2.5 久慈市川崎町=2.5</p> <p>2 宮古市田老*=2.4 久慈市長内町*=2.4 岩手洋野町大野*=2.4 花巻市材木町*=2.4 花巻市東和町*=2.4 遠野市青笹町*=2.4 宮古市川井*=2.3 葛巻町葛巻元木=2.3 九戸村伊保内*=2.3 花巻市石鳥谷町*=2.3 奥州市江刺区*=2.3 釜石市中妻町*=2.2 北上市相去町*=2.2 金ヶ崎町西根*=2.2 奥州市水沢区大鐘町=2.2 奥州市胆沢区*=2.2 奥州市胆沢区*=2.2 北上市柳原町=2.1 遠野市宮守町*=2.1 一関市千蔵町*=2.1 平泉町平泉*=2.1 花巻市大迫町=2.1 宮古市五月町*=2.0 宮古市区界*=2.0 久慈市山形町*=1.9 山田町大沢*=1.9 一関市花泉町*=1.9 住田町世田米*=1.9 奥州市水沢区佐倉河*=1.9 葛巻町消防分署*=1.9 山田町八幡町=1.8 盛岡市馬場町*=1.8 雫石町千刈田=1.8 葛巻町役場*=1.8 宮古市茂市*=1.8 一関市室根町*=1.7 大船渡市大船渡町=1.7 奥州市衣川区*=1.7 宮古市鍛ヶ崎=1.7 雫石町西根上駒木町=1.6 宮古市長沢=1.6 岩泉町岩泉*=1.5 一関市藤沢町*=1.5 花巻市大迫総合支所*=1.5 一関市竹山町*=1.5</p>				
岩手県						

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		宮城県				1 田野畑村役場*1.4 釜石市只越町=1.4 西和賀町川尻*1.4 西和賀町沢内川舟*1.4 西和賀町沢内太田*1.4 岩泉町大川*1.3 大船渡市猪川町=1.3 大槌町小鏡*1.3 陸前高田市高田町*1.2 一関市大東町=1.2 一関市東山町*1.2 大船渡市盛町*1.1 田野畑村田野畑=1.1 3 涌谷町新町裏=2.6 登米市登米町*2.5 登米市米山町*2.5 登米市迫町*2.5 2 栗原市若柳*2.4 登米市中田町=2.4 登米市南方町*2.4 石巻市大街道南*2.4 石巻市桃生町*2.4 大崎市古川北町*2.2 宮城美里町木間塚*2.1 大崎市古川三日町=2.1 大崎市松山*2.1 石巻市前谷地*2.1 松島町高城=2.1 東松島市矢本*2.0 気仙沼市笹か陣*2.0 栗原市築館*2.0 大崎市田尻*1.9 岩沼市桜*1.9 気仙沼市赤岩=1.9 栗原市一迫*1.9 登米市豊里町*1.9 宮城加美町中新田*1.8 栗原市栗駒=1.8 栗原市志波姫*1.8 角田市角田*1.8 丸森町鳥屋*1.8 石巻市相野谷*1.8 大河原町新南*1.7 宮城川崎町前川*1.7 栗原市鶯沢*1.7 栗原市高清水*1.7 南三陸町志津川=1.7 気仙沼市唐桑町*1.7 色麻町四籠*1.7 大崎市鹿島台*1.6 栗原市金成*1.6 名取市増田*1.6 利府町利府*1.6 蔵王町円田*1.6 宮城美里町北浦*1.5 宮城加美町小野田*1.5 大崎市古川大崎=1.5 大崎市若山山*1.5 栗原市花山*1.5 亶理町下小路*1.5 山元町浅生原*1.5 仙台宮城野区苦竹*1.5
		山形県				1 大崎市三本木*1.3 仙台青葉区作並*1.3 仙台若林区遠見塚*1.3 大郷町柏川*1.3 大衡村大衡*1.3 栗原市瀬峰*1.2 登米市東和町*1.2 登米市石越町*1.2 村田町村田*1.2 仙台宮城野区五輪=1.2 仙台北区山田*1.2 東松島市小野*1.2 仙台青葉区雨宮*1.1 気仙沼市本吉町津谷*1.1 宮城加美町宮崎*1.1 石巻市北上町*1.1 大崎市鳴子*1.1 白石市亶理町*1.1 仙台青葉区大倉=1.0 仙台泉区将監*1.0 富谷町富谷*0.9 気仙沼市本吉町西川内=0.9 大和町吉岡*0.9 石巻市泉町=0.9 登米市津山町*0.8 仙台青葉区落合*0.8 南三陸町歌津*0.8 女川町女川浜*0.8 七ヶ浜町東宮浜*0.8 七ヶ宿町関*0.6 石巻市大瓜=0.6 3 中山町長崎*2.5 2 酒田市飛鳥*2.0 遊佐町遊佐=1.9 村山市中央*1.9 酒田市亀ヶ崎=1.8 鶴岡市藤島*1.7 酒田市山田*1.7 遊佐町舞鶴*1.7 山辺町緑ヶ丘*1.6 河北町役場*1.6 三川町横山*1.5 庄内町狩川*1.5 庄内町余目*1.5 最上町向町*1.5 天童市老野森*1.5 河北町谷地=1.5
		秋田県				1 酒田市宮野浦*1.4 大蔵村清水*1.4 上山市河崎*1.4 米沢市林泉寺*1.4 南陽市三間通*1.4 白鷹町荒砥*1.4 鶴岡市道田町*1.3 酒田市観音寺*1.2 真室川町新町*1.2 山形川西町上小松*1.2 鮭川村佐渡*1.1 寒河江市中央*1.1 高畠町高畠*1.1 大江町左沢*1.0 大石町緑町*1.0 米沢市アルカディア=1.0 鶴岡市馬場町=1.0 鶴岡市温海川=1.0 新庄市東谷地田町=1.0 舟形町舟形*1.0 寒河江市西根*1.0 鶴岡市羽黒町*0.9 米沢市金池*0.9 大蔵村折折*0.9 飯豊町椿*0.9 戸沢村古口*0.6 2 井川町北川尻*2.4 秋田市雄和妙法*2.4 三種町豊岡*2.2 大館市比内町扇田*2.1 大館市中城*2.0 鹿角市花輪*2.0 大仙市高梨*2.0 能代市二ツ井町上台*1.9 大館市桜町*1.9 北秋田市花園町=1.9 北秋田市新田目*1.9 横手市大雄*1.9 能代市緑町=1.8 能代市常盤山谷=1.8 能代市追分町*1.8 藤里町藤琴*1.8 潟上市昭和久保*1.8 潟上市天王*1.8 秋田市河辺和田*1.8 由利本荘市西目町沼田*1.8 大館市早口*1.8 北秋田市阿仁銀山*1.8 由利本荘市前郷*1.7 北秋田市米内沢*1.6 潟上市飯田川下虻川*1.6 横手市平鹿町浅舞*1.6 大仙市刈和野*1.6 大仙市大曲花園町*1.6 三種町鶴川*1.6 にかほ市平沢*1.6 小坂町小坂砂森*1.5 男鹿市角間崎*1.5 湯沢市沖鶴=1.5 湯沢市川連町*1.5 大仙市協和境野田*1.5 大仙市太田町太田*1.5 五城目町西磯ノ目=1.5 八郎潟町大道*1.5 秋田市山王=1.5 1 大潟村中央*1.4 三種町鹿渡*1.4 秋田市雄和女米木=1.4 小坂町小坂上谷地*1.4 上小阿仁村小沢田*1.4 横手市雄物川町今宿=1.4 横手市中央町*1.4 横手市十文字町*1.4 羽後町西馬音内*1.4 秋田美郷町土崎*1.4 仙北市西木町上桧木内*1.4 横手市増田町増田*1.3 秋田美郷町六郷東根=1.3 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*1.3 八峰町峰浜目名湯*1.3 由利本荘市矢島町矢島*1.3 にかほ市金浦*1.3 大館市比内町味増内=1.3 大仙市神宮寺*1.2 大仙市北長野*1.2 大仙市南外*1.2 由利本荘市岩城内道川*1.2 にかほ市象潟町浜ノ田*1.2 北秋田市阿仁水無*1.2 横手市安田柳堤地内*1.2 東成瀬村田子内*1.2 東成瀬村椿川*1.1 秋田市八橋運動公園*1.1 由利本荘市尾崎*1.1 大仙市協和境唐松岳*1.1 由利本荘市岩谷町*1.1 男鹿市船川*1.1 由利本荘市鳥海町伏見*1.0 由利本荘市石脇=1.0 横手市山内土淵*1.0 湯沢市寺沢*1.0 湯沢市横堀*1.0 湯沢市佐竹町*1.0 湯沢市皆瀬*0.9 由利本荘市東由利老方*0.9 横手市大森町*0.9 仙北市田沢湖生保内上清水*0.9 仙北市角館町小勝田*0.9 仙北市西木町上荒井*0.9 男鹿市男鹿中=0.8 八峰町八森木戸の沢*0.8 仙北市角館町東勝楽丁=0.8 2 南相馬市小高区*1.9 桑折町東大隅*1.7 国見町藤田*1.7 福島市松木町=1.5 福島市五老内町*1.5
		福島県				1 玉川村小高*1.4 相馬市中村*1.4 新地町谷地小屋*1.4 南相馬市鹿島区西町*1.4 いわき市小浜浜=1.3 中島村滑津*1.2 田村市大越町*1.2 檜葉町北田*1.2 南相馬市原町区三島町=1.2 郡山市朝日=1.1 郡山市湖南町*1.1 須賀川市八幡山*1.1 川俣町樋ノ口*1.0 天栄村下松本*1.0 田村市滝根町*1.0 いわき市錦町*1.0 いわき市平四ツ波*0.9 福島広野町下北迫大谷地原*0.9 大熊町野上*0.9 二本松市針道*0.9 いわき市三和町=0.8 浅川町浅川*0.8 福島広野町下北迫苗代替*0.7 白河市新白河*0.6 田村市都路町*0.5 棚倉町棚倉中居野=0.5 2 常陸太田市金井町*2.0
		茨城県				1 日立市役所*1.4 小美玉市上玉里*1.4 高萩市下手綱*1.3 筑西市舟生=1.3 笠間市石井*1.1 石岡市柿岡=1.1 つくば市天王台*1.1 東海村東海*1.0 土浦市常名=0.9 石岡市若宮*0.8 水戸市金町=0.8 日立市助川小学校*0.7 常陸大宮市中富町=0.7 常陸大宮市北町*0.7 水戸市千波町*0.7 茨城鹿嶋市鉢形=0.6 坂東市岩井=0.6 稲敷市江戸崎甲*0.6 八千代町菅谷*0.5
		埼玉県				2 春日部市谷原新田*1.5 1 加須市大利根*1.4 加須市下三俣*1.2 久喜市青葉*1.2 久喜市栗橋*1.2 幸手市東*1.2 宮代町笠原*1.2 久喜市鷲宮*1.1 加須市北川辺*1.0 鴻巣市吹上富士見*1.0

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
82	15 04 28	<p>春日部市金崎*1.0 さいたま中央区下落合*1.0 行田市本丸*0.9 草加市高砂*0.9 川島町平沼*0.9 久喜市菖蒲*0.8 吉川市吉川*0.8 久喜市下早見*0.7 熊谷市大里*0.7 杉戸町清地*0.7 鴻巣市中央*0.7 さいたま岩槻区本丸*0.6</p> <p>新潟県 2 村上市岩船駅前*1.5 群馬県 1 群馬明和町新里*1.2 太田市浜町*1.1 館林市城町*1.1 邑楽町中野*1.1 千代田町赤岩*0.8 千葉県 1 千葉中央区都町*1.0 浦安市日の出*1.0 香取市佐原平田*0.8 千葉美浜区ひび野*0.7 成田市花崎町=0.6 東京都 1 東京荒川区東尾久*0.8 東京江東区越中島*0.7</p> <p>茨城県北部 福島県 3 玉川村小高*3.0 矢祭町東館*2.9 棚倉町棚倉中居野*2.6 白河市新白河*2.6 白河市東*2.6 浅川町浅川*2.6 泉崎村泉崎*2.5 白河市表郷*2.5 2 田村市大越町*2.3 中島村滑津*2.2 矢祭町戸塚*2.2 石川町下泉*2.2 古殿町松川新桑原*2.2 鏡石町不時沼*2.2 白河市大信*2.1 白河市郭内*2.1 西郷村熊倉*2.1 須賀川市岩瀬支所*2.0 小野町中通*2.0 白河市八幡小路*2.0 須賀川市八幡山*2.0 田村市滝根町*1.9 いわき市錦町*1.7 田村市船引町*1.7 古殿町松川横川*1.6 棚倉町棚倉ヶ丘*1.6 葛尾村落合落合*1.6 檜枝岐村上河原*1.6 川俣町樋ノ口*1.6 小野町小野新町*1.6 塙町塙*1.6 郡山市開成*1.6 田村市都路町*1.6 郡山市湖南町*1.5 郡山市朝日*1.5 いわき市小名浜*1.5 須賀川市牛袋町*1.5 二本松市針道*1.5 矢吹町一本木*1.5 1 天栄村下松本*1.4 鮫川村赤坂中野*1.4 いわき市三和町*1.4 川内村上川内早渡*1.4 二本松市油井*1.3 三春町大町*1.3 浪江町幾世橋*1.3 田村市常葉町*1.3 本宮市本宮*1.3 飯館村伊丹沢*1.2 檜葉町北田*1.2 本宮市白岩*1.2 平田村永田*1.2 いわき市平梅本*1.0 南会津町田島*1.0 福島伊達市霊山町*1.0 川内村上川内小山平*0.9 南会津町滝原*0.9 二本松市金色*0.9 会津美里町本郷庁舎*0.9 大玉村曲藤*0.8 福島市五老内町*0.8 福島広野町下北迫大谷地原*0.8 須賀川市長沼支所*0.8 川内村下川内*0.8 南会津町界*0.7 南相馬市小高区*0.7 下郷町塩生*0.7 猪苗代町千代田*0.7 大玉村玉井*0.7 会津美里町新鶴庁舎*0.7 福島市飯野町*0.7 大熊町野上*0.6 西会津町登世島*0.6 猪苗代町城南*0.6 南相馬市鹿島区西町*0.6 福島伊達市梁川町*0.6 下郷町高隣*0.6 いわき市平四ツ波*0.5 富岡町本岡*0.5</p> <p>茨城県 3 東海村東海*3.4 笠間市石井*3.2 ひたちなか市東石川*3.2 日立市役所*3.2 土浦市常名*3.1 日立市助川小学校*3.0 常陸大宮市北町*3.0 那珂市瓜連*3.0 笠間市笠間*3.0 常陸大宮市野口*2.9 常陸太田市高柿町*2.9 つくば市研究学園*2.9 日立市十王町友部*2.9 常陸大宮市山方*2.8 水戸市内原町*2.8 桜川市岩瀬*2.8 水戸市千波町*2.8 城里町石塚*2.8 筑西市門井*2.7 取手市寺田*2.7 かすみがうら市上土田*2.6 桜川市真壁*2.6 桜川市羽田*2.6 水戸市金町*2.6 石岡市柿岡*2.6 常陸太田市町田*2.6 常陸太田市大中町*2.5 小美玉市上玉里*2.5 かすみがうら市大和田*2.5 常陸太田市町屋*2.5 ひたちなか市南神敷台*2.5 2 常陸太田市金井町*2.4 常陸大宮市中富町*2.4 城里町阿波山*2.4 小美玉市堅倉*2.4 鉾田市汲上*2.4 鉾田市造谷*2.3 城里町徳蔵*2.3 高萩市下手綱*2.3 筑西市海老ヶ島*2.3 土浦市藤沢*2.2 石岡市若宮*2.2 つくば市天王台*2.2 笠間市中央*2.2 笠間市下郷*2.2 常陸大宮市高部*2.2 常陸大宮市上小瀬*2.2 筑西市舟生*2.1 茨城町小堤*2.1 北茨城市磯原町*2.1 下妻市本城町*2.1 牛久市城中町*2.1 八千代町菅谷*2.1 坂東市馬立*2.1 高萩市安良川*2.0 つくば市小荳*2.0 大洗町磯浜町*2.0 五霞町小福田*2.0 守谷市大柏*2.0 稲敷市江戸崎甲*2.0 石岡市八郷*2.0 阿見町中央*1.9 那珂市福田*1.9 結城市結城*1.9 美浦村受領*1.9 坂東市山*1.9 行方市麻生*1.8 境町旭町*1.8 筑西市下中山*1.8 常総市新石下*1.8 つくばみらい市福田*1.8 稲敷市役所*1.8 茨城鹿嶋市宮中*1.7 茨城鹿嶋市鉢形*1.6 行方市玉造*1.6 鉾田市鉢形*1.6 茨城古河市仁連*1.6 下妻市鬼怒*1.6 牛久市中央*1.6 龍ヶ崎市役所*1.5 常総市水海道諏訪町*1.5 つくばみらい市加藤*1.5 茨城古河市下大野*1.5 ひたちなか市山ノ上町*1.5 1 取手市井野*1.4 坂東市岩井*1.4 稲敷市柴崎*1.4 潮来市堀之内*1.2 潮来市辻*1.2 稲敷市須賀津*1.1 行方市山田*1.1 取手市藤代*1.0 稲敷市結佐*1.0 河内町源清田*1.0 利根町布川*1.0 茨城古河市長谷町*1.0 神栖市溝口*0.9 3 市貝町市塙*3.1 栃木那珂川町馬頭*2.9 益子町益子*2.8 那須烏山市中央*2.8 大田原市湯津上*2.6 真岡市石島*2.6 茂木町茂木*2.6 真岡市田町*2.5 芳賀町祖母井*2.5 那須烏山市大金*2.5 2 足利市大正町*2.4 栃木さくら市喜連川*2.4 栃木那珂川町小川*2.4 宇都宮市中里町*2.3 宇都宮市明保野町*2.2 日光市鬼怒川温泉大原*2.1 真岡市荒町*2.1 那須烏山市役所*2.1 佐野市亀井町*2.0 小山市神鳥谷*2.0 高根沢町石末*2.0 栃木さくら市氏家*2.0 下野市田中*2.0 那須町寺子*1.9 宇都宮市旭*1.9 栃木市藤岡町藤岡*1.9 大田原市黒羽田町*1.8 那須塩原市あたご町*1.8 宇都宮市白沢町*1.8 日光市中鉢石町*1.8 鹿沼市晃望台*1.8 茂木町北高岡天矢場*1.7 那須塩原市鍋掛*1.7 鹿沼市今宮町*1.7 那須塩原市共懇社*1.7 那須塩原市塩原庁舎*1.6 下野市石橋*1.6 栃木市岩舟町静*1.6 大田原市本町*1.6 日光市芹沼*1.5 日光市藤原*1.5 下野市小金井*1.5 1 日光市瀬川*1.4 日光市日蔭*1.4 塩谷町玉生*1.4 宇都宮市塙田*1.3 栃木市旭町*1.3 佐野市田沼町*1.3 佐野市葛生東*1.3 野木町丸林*1.3 那須塩原市墓沼*1.2 栃木市西方町本城*1.2 栃木市万町*1.2 佐野市中町*1.2 日光市湯元*1.1 日光市足尾町中才*1.1 鹿沼市口栗野*1.1 上三川町しらさぎ*1.0 那須塩原市中塩原*1.0 矢板市本町*1.0 栃木市大平町富田*0.9 小山市中央町*0.8 壬生町通町*0.8 日光市足尾町通洞*0.8 栃木市都賀町家中*0.7 日光市中宮祠*0.5 2 桐生市黒保根町*2.1 渋川市赤城町*2.1 沼田市利根町*1.8 大泉町日の出*1.8 桐生市元宿町*1.7 太田市西本町*1.7 館林市美園町*1.6 1 みなかみ町鹿野沢*1.4 伊勢崎市今泉町*1.4 太田市浜町*1.4 千代田町赤岩*1.4 邑楽町中野*1.4 桐生市新里町*1.3 伊勢崎市西久保町*1.3 板倉町板倉*1.3 片品村東小川*1.3</p>	36° 26.9' N	140° 34.8' E	56km	M: 4.3

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>埼玉県</p> <p>片品村鎌田*1.2 桐生市織姫町*1.2 太田市大原町*1.2 群馬明和町新里*1.1 沼田市西倉内町*1.1 みどり市大間々町*1.0 前橋市粕川町*1.0 伊勢崎市東町*1.0 沼田市下久屋町*0.9 みどり市笠懸町*0.9 渋川市吹屋*0.9 館林市城町*0.8 みどり市東町*0.8 沼田市白沢町*0.8 伊勢崎市境*0.8 太田市新田金井町*0.8 前橋市富士見町*0.7 高崎市高松町*0.7 神流町生利*0.7 高崎市足門町*0.6 東吾妻町原町*0.6 前橋市堀越町*0.6 太田市粕川町*0.6 東吾妻町本宿*0.5 前橋市駒形町*0.5 前橋市鼻毛石町*0.5</p> <p>2 久喜市下早見*1.8 春日部市粕壁*1.8 東松山市松葉町*1.7 春日部市金崎*1.7 宮代町笠原*1.7 熊谷市江南*1.6 嵐山町杉山*1.5 幸手市東*1.5</p> <p>千葉県</p> <p>1 羽生市東*1.4 さいたま見沼区堀崎*1.4 さいたま岩槻区本丸*1.4 加須市大利根*1.3 久喜市青葉*1.3 行田市本丸*1.2 さいたま北区宮原*1.2 杉戸町清地*1.1 白岡市千駄野*1.1 鴻巣市川里*1.1 滑川町福田*1.1 川越市新宿町*1.1 桶川市上日出谷*1.1 坂戸市千代田*1.0 吉川市吉川*1.0 行田市南河原*1.0 深谷市川本*1.0 久喜市鷲宮*1.0 川口市中青木分室*1.0 春日部市谷原新田*1.0 草加市高砂*1.0 北本市本町*1.0 鴻巣市吹上富士見*0.9 川島町平沼*0.9 さいたま西区指扇*0.9 埼玉美里町木部*0.9 ときがわ町桃木*0.9 熊谷市妻沼*0.9 上尾市本町*0.9 和光市広沢*0.9 新座市野火止*0.9 東松山市市ノ川*0.9 蓮田市黒浜*0.9 埼玉三芳町藤久保*0.8 熊谷市大里*0.8 秩父市近戸町*0.8 加須市北川辺*0.8 本庄市尻玉町*0.8 久喜市栗橋*0.7 三郷市幸房*0.7 吉見町下細谷*0.7 毛呂山町中央*0.7 越生町越生*0.7 松伏町松伏*0.7 さいたま大宮区天沼町*0.7 狭山市入間川*0.7 さいたま浦和区高砂*0.7 鴻巣市中央*0.7 戸田市上戸田*0.7 長瀨町野上下郷*0.7 熊谷市桜町*0.6 深谷市仲町*0.6 加須市下三俣*0.6 さいたま大宮区大門*0.6 加須市騎西*0.6 八潮市中央*0.6 鶴ヶ島市三ツ木*0.6 小川町大塚*0.5 さいたま緑区中尾*0.5 鳩山町大豆戸*0.5 朝霞市本町*0.5 秩父市上町*0.5 川越市旭町*0.5 久喜市菖蒲*0.5 川口市青木*0.5</p> <p>2 野田市鶴泰*2.3 野田市東宝珠花*1.7 柏市柏*1.7 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.7 白井市復*1.6 成田市花崎町*1.5 柏市旭町*1.5</p> <p>東京都</p> <p>1 柏市大島田*1.4 八千代市大和田新田*1.4 我孫子市我孫子*1.4 栄町安食台*1.3 浦安市日の出*1.2 香取市役所*1.1 香取市仁良*1.1 千葉花見川区花島町*1.1 成田市中台*1.1 芝山町小池*1.0 香取市佐原平田*1.0 香取市佐原諏訪台*1.0 山武市埴谷*1.0 千葉中央区都町*1.0 千葉稲毛区園生町*1.0 千葉若葉区小倉台*1.0 千葉美浜区ひび野*1.0 成田国際空港*1.0 成田市松子*1.0 印西市大森*1.0 印西市美瀬*1.0 船橋市湊町*0.9 成田市役所*0.9 習志野市鷲沼*0.9 印西市笠神*0.9 神崎町神崎本宿*0.9 香取市岩部*0.8 千葉美浜区稲毛海岸*0.8 松戸市西馬橋*0.8 松戸市根本*0.7 成田市猿山*0.7 多古町多古*0.7 四街道市鹿渡*0.7 市川市八幡*0.6 東金市東新宿*0.6 東金市日吉台*0.6 香取市羽根川*0.5 山武市松尾町富士見台*0.5</p> <p>2 東京千代田区大手町*1.5 東京中野区江古田*1.5</p> <p>宮城県</p> <p>1 東京中野区中野*1.4 東京杉並区桃井*1.3 東京江戸川区中央*1.3 三鷹市野崎*1.2 東京練馬区豊玉北*1.1 調布市西つつじヶ丘*1.1 東京文京区大塚*1.0 東京板橋区相生町*1.0 東京練馬区光が丘*1.0 東京新宿区上落合*0.9 東京新宿区百人町*0.9 東京江東区森下*0.9 東京足立区伊興*0.9 東京江戸川区鹿骨*0.9 東京文京区スポーツセンタ*0.8 東京杉並区高井戸*0.8 東京足立区神明南*0.8 東京葛飾区立石*0.8 東京江戸川区船堀*0.8 西東京市中町*0.8 東大和市中央*0.8 東京千代田区富士見*0.7 東京文京区本郷*0.7 東京江東区塩浜*0.7 東京世田谷区三軒茶屋*0.7 東京北区西ヶ原*0.7 東京荒川区東尾久*0.7 東京北区赤羽南*0.6 東京練馬区東大泉*0.6 東京葛飾区金町*0.6 東京江東区越中島*0.6 東京品川区平塚*0.6 東京荒川区荒川*0.5 東京中央区勝どき*0.5 東京港区白金*0.5 東京新宿区歌舞伎町*0.5 東京江東区東陽*0.5 武蔵野市吉祥寺東町*0.5 東京府中市白糸台*0.5 町田市中町*0.5 狛江市和泉本町*0.5 東京世田谷区成城*0.5 東京豊島区南池袋*0.5</p> <p>神奈川県</p> <p>1 岩沼市桜*1.1 横浜港北区日吉本町*1.1 川崎宮前区宮前平*1.0 川崎中原区小杉町*0.7 川崎川崎区宮前町*0.6 川崎中原区小杉陣屋町*0.6</p>				
83	15 06 00	岩手県内陸北部 岩手県	40° 07.9' N	141° 18.8' E	9km	M: 2.6
		1 九戸村伊保内*0.5				
84	15 08 22	茨城県北部 茨城県	36° 40.4' N	140° 36.2' E	9km	M: 3.3
		3 日立市助川小学校*2.5 2 日立市十王町友部*2.1 高萩市下手綱*1.9 高萩市安良川*1.7 日立市役所*1.7 常陸太田市大中町*1.6 1 常陸太田市町屋町*1.0 北茨城市磯原町*1.0 常陸太田市町田町*0.9 常陸大宮市山方*0.7 常陸太田市高柿町*0.6				
85	15 16 17	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 28.0' N	141° 51.0' E	56km	M: 3.5
		1 一関市千厩町*0.6 1 南三陸町志津川*0.7				
86	15 18 57	新島・神津島近海 東京都	34° 21.1' N	139° 14.2' E	3km	M: 1.8
		1 新島村大原*0.9				
87	15 20 05	愛知県西部 岐阜県 愛知県	35° 09.7' N	137° 03.8' E	14km	M: 3.1
		1 土岐市肥田*0.7 1 豊田市長興寺*0.9 一宮市千秋*0.7 豊田市小坂本町*0.7 犬山市五郎丸*0.5				
88	15 22 23	浦河沖 北海道	41° 54.2' N	142° 56.8' E	45km	M: 3.2
		1 浦河町築地*0.5				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
89	16 06 19	茨城県沖 茨城県 1 茨城鹿嶋市宮中*0.9 ひたちなか市南神敷台*0.8 鉾田市鉾田*0.8 鉾田市汲上*0.7 茨城鹿嶋市鉾形=0.6 日立市助川小学校*0.6 水戸市内原町*0.6 土浦市常名*0.6 かすみがうら市上土田*0.5	36° 11.4' N	141° 00.9' E	44km	M: 3.4
90	16 09 25	岩手県沿岸南部 岩手県 2 一関市千厩町*1.6 1 一関市東山町*1.0 一関市室根町*1.0 奥州市前沢区*1.0 一関市藤沢町*0.9 北上市相去町*0.9 住田町世田米*0.8 遠野市青笹町*0.8 奥州市胆沢区*0.8 平泉町平泉*0.7 奥州市衣川区*0.7 釜石市中妻町*0.5 大船渡市猪川町*0.5 一関市大東町*0.5 花巻市大迫総合支所*0.5 宮城県 1 栗原市栗駒=0.6 南三陸町志津川=0.6 登米市東和町*0.5	39° 13.2' N	141° 32.7' E	74km	M: 3.5
91	16 11 38	伊豆大島近海 千葉県 1 館山市長須賀=1.0	34° 55.8' N	139° 38.7' E	35km	M: 2.9
92	16 21 49	福島県沖 福島県 2 白河市新白河*1.5 1 須賀川市岩瀬支所*1.3 白河市大信*1.2 石川町下泉*1.2 田村市船引町=1.2 福島広野町下北迫大谷地原*1.2 いわき市平梅本*1.1 田村市都路町*1.0 小野町中通*1.0 西郷村熊倉*1.0 檜葉町北田*1.0 川内村上川内早渡*1.0 天栄村下松本*0.9 玉川村小高*0.9 矢祭町戸塚*0.9 川内村下川内=0.8 いわき市錦町*0.8 小野町小野新町*0.8 浅川町浅川*0.8 棚倉町棚倉中居野=0.8 鏡石町不時沼*0.7 郡山市開成*0.7 郡山市湖南町*0.6 いわき市平四ツ波*0.6 白河市郭内=0.6 古殿町松川横川=0.6 いわき市三和町=0.5 須賀川市八幡山*0.5 浪江町幾世橋=0.5 茨城県 1 東海村東海*0.9 日立市助川小学校*0.8 日立市十王町友部*0.8 ひたちなか市南神敷台*0.7 笠間市石井*0.7 常陸大宮市北町*0.6 常陸大宮市山方*0.6 水戸市内原町*0.5 常陸太田市町田町*0.5 城里町石塚*0.5 土浦市常名=0.5 常陸太田市高柿町*0.5 高萩市下手綱*0.5 北茨城市磯原町*0.5 栃木県 1 大田原市湯津上*0.9 那須町寺子*0.9 宇都宮市中里町*0.7 栃木那珂川町馬頭*0.6	37° 04.5' N	141° 08.8' E	60km	M: 3.7
93	17 06 55	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*0.9	36° 34.9' N	140° 48.4' E	19km	M: 2.9
94	17 08 54	長野県中部 岐阜県 長野県 2 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*1.9 高山市高根町*1.6 1 松本市安曇*1.1 山形村役場*1.0 木曾町日義*0.7 長野市信州新町新町*0.6 松本市奈川*0.6 木曾町新開*0.5	36° 09.3' N	137° 37.8' E	6km	M: 3.3
95	17 13 25	茨城県南部 茨城県 栃木県 1 筑西市門井*0.5 常陸大宮市上小瀬*0.5 1 宇都宮市中里町*1.0 宇都宮市明保野町=0.8 真岡市石島*0.8 鹿沼市今宮町*0.5	36° 10.3' N	140° 00.6' E	51km	M: 3.1
96	17 22 27	福岡県北西沖 福岡県 1 福岡空港=0.9 福岡西区今宿*0.7 糸島市志摩初=0.6	33° 39.2' N	130° 18.3' E	11km	M: 2.9
97	18 09 56	相模湾 埼玉県 2 さいたま緑区中尾*1.7 さいたま大宮区天沼町*1.6 さいたま中央区下落合*1.5 1 熊谷市大里*1.3 宮代町笠原*1.3 川口市青木*1.2 さいたま南区別所*1.2 春日部市谷原新田*1.2 志木市中宗岡*1.1 川島町平沼*1.1 加須市大利根*1.1 吉見町下細谷*1.1 富士見市鶴馬*1.0 草加市高砂*1.0 越谷市越ヶ谷*1.0 鴻巣市吹上富士見*1.0 鴻巣市中央*0.9 伊奈町小室*0.9 さいたま岩槻区本丸*0.8 白岡市千駄野*0.8 杉戸町清地*0.8 さいたま浦和区高砂=0.8 戸田市上戸田*0.7 久喜市菖蒲*0.7 さいたま大宮区大門*0.7 春日部市金崎*0.7 さいたま北区宮原*0.6 桶川市上日出谷*0.6 さいたま見沼区堀崎*0.6 狭山市入間川*0.6 久喜市下早見=0.6 川口市三ツ和*0.5 さいたま西区指扇*0.5 加須市騎西*0.5 幸手市東*0.5 千葉県 2 市原市姉崎*1.5 1 浦安市日の出=0.7 館山市長須賀=0.6 君津市久留里市場*0.6 東京都 2 東京江東区越中島*1.7 東京江東区森下*1.7 東京江東区塩浜*1.5 1 東京千代田区大手町=1.4 東京江東区東陽*1.3 東京練馬区豊玉北*1.3 東京中央区勝どき*1.1 東京港区白金*1.1 東京品川区平塚*1.1 東京北区西ヶ原*1.1 東京江戸川区中央=1.1 東京世田谷区中町*1.0 東京品川区北品川*1.0 東京北区赤羽南*0.9 東京荒川区東尾久*0.9 東京板橋区高島平*0.9 東京港区海岸=0.9 東京目黒区中央町*0.9 東京新宿区上落合*0.8 東京文京区大塚*0.8 東京江東区青海=0.8 東京江戸川区船堀*0.8 西東京市中町*0.8 東京千代田区富士見*0.8 東京国際空港=0.8 東京葛飾区立石*0.7 東京文京区スポーツセンター*0.7 東京文京区本郷*0.7 東京荒川区荒川*0.7 東京練馬区東大泉*0.6 東京新宿区百人町*0.6 東京大田区多摩川*0.5 東京板橋区相生町*0.5 東京渋谷区本町*0.5 東京中野区中野*0.5 東京足立区伊興*0.5 茨城県 1 笠間市石井*0.8 坂東市岩井=0.7 筑西市舟生=0.6 日立市助川小学校*0.6 栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.9 群馬県 1 邑楽町中野*0.6 神奈川県 1 横浜中区山手町=1.4 横浜瀬谷区三ツ境*1.0 三浦市城山町*1.0 横浜瀬谷区中屋敷*0.7	35° 10.9' N	139° 16.6' E	150km	M: 4.3

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
98	18 23 19	山梨県 1 富士河口湖町船津=0.5	36° 24.6' N	139° 13.7' E	11km	M: 2.4
99	19 04 51	群馬県南部 群馬県 1 みどり市大間々町*=1.1 桐生市元宿町*=0.5	36° 28.1' N	141° 04.2' E	45km	M: 3.6
100	19 06 09	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*=1.4 高萩市安良川*=1.0 高萩市下手綱*=0.9 北茨城市磯原町*=0.8 日立市役所*=0.7 笠間市石井*=0.6 埼玉県 1 東松山市松葉町*=0.5	35° 13.1' N	138° 24.1' E	21km	M: 2.8
101	19 11 13	山梨県中・西部 山梨県 1 早川町葉袋*=0.7 静岡県 1 富士宮市野中*=1.2 富士市大淵*=0.6	22° 50.0' N	121° 17.5' E	29km	M: 5.8
102	19 16 30	台湾付近 沖縄県 1 与那国町久部良=0.6	37° 27.2' N	141° 34.5' E	45km	M: 3.5
103	19 16 54	福島県沖 福島県 1 檜葉町北田*=1.1	34° 08.7' N	135° 05.4' E	8km	M: 2.6
104	19 18 49	紀伊水道 和歌山県 2 海南市下津*=1.5 1 有田市初島町*=1.0	37° 41.7' N	141° 44.6' E	47km	M: 4.3
105	20 00 23	福島県沖 宮城県 2 石巻市桃生町*=1.6 亙理町下小路*=1.5 1 山元町浅生原*=1.3 石巻市大街道南*=1.2 岩沼市桜*=1.1 角田市角田*=1.0 名取市増田*=0.9 女川町女川浜*=0.9 大河原町新南*=0.9 大崎市鹿島台*=0.9 登米市迫町*=0.8 丸森町鳥屋*=0.8 大崎市田尻*=0.8 仙台空港=0.8 東松島市矢本*=0.8 蔵王町円田*=0.8 登米市中田町=0.7 石巻市北上町*=0.7 宮城美里町木間塚*=0.7 東松島市小野*=0.7 七ヶ浜町東宮浜*=0.7 栗原市築館*=0.6 柴田町船岡=0.6 村田町村田*=0.5 栗原市志波姫*=0.5 白石市亙理町*=0.5 松島町高城=0.5 福島県 2 檜葉町北田*=1.8 田村市滝根町*=1.5 浪江町幾世橋=1.5 1 相馬市中村*=1.4 福島伊達市壘山町*=1.3 福島広野町下北迫大谷地原*=1.3 川内村上川内早渡*=1.2 新地町谷地小屋*=1.2 川内村下川内=1.1 国見町藤田*=1.0 川俣町樋ノ口*=1.0 田村市船引町=1.0 田村市大越町*=1.0 田村市都路町*=1.0 飯館村伊丹沢*=1.0 南相馬市鹿島区西町*=1.0 玉川村小高*=0.9 川内村上川内小山平*=0.9 南相馬市原町区高見町*=0.9 天栄村下松本*=0.9 福島伊達市保原町*=0.8 二本松市油井*=0.8 いわき市三和町=0.8 小野町中通*=0.8 南相馬市鹿島区栞窪=0.8 白河市新白河*=0.8 福島伊達市梁川町*=0.8 福島伊達市前川原*=0.7 小野町小野新町*=0.7 南相馬市原町区三島町=0.7 田村市常葉町*=0.7 二本松市針道*=0.6 大熊町野上*=0.6 富岡町本岡*=0.6 いわき市平四ツ波*=0.5 郡山市朝日=0.5 棚倉町棚倉中居野=0.5 岩手県 1 一関市千厩町*=0.5	40° 12.9' N	142° 19.8' E	37km	M: 4.1
106	20 00 26	岩手県沖 青森県 2 階上町道仏*=1.5 1 八戸市南郷*=1.2 青森南部町平*=1.2 八戸市湊町=1.1 青森南部町苔米地*=1.1 八戸市内丸*=1.1 五戸町古館=0.8 三戸町在府小路町*=0.6 岩手県 1 軽米町軽米*=1.1 盛岡市玉山区洪民*=0.9 盛岡市玉山区藪川*=0.9 普代村銅屋*=0.8 二戸市浄法寺町*=0.7 八幡平市田頭*=0.7 久慈市川崎町=0.7 岩手洋野町種市=0.6 岩手洋野町大野*=0.6 釜石市中妻町*=0.6 住田町世田米*=0.5 釜石市只越町=0.5	43° 09.0' N	145° 31.4' E	55km	M: 3.3
107	20 11 15	根室半島南東沖 北海道 1 根室市牧の内*=0.8	34° 55.8' N	138° 22.0' E	24km	M: 2.7
108	20 11 23	静岡県中部 静岡県 1 静岡駿河区曲金=1.1	32° 52.5' N	131° 06.6' E	0km	M: 1.6
109	20 15 22	熊本県阿蘇地方 熊本県 1 南阿蘇村中松=1.2	36° 40.3' N	140° 38.5' E	10km	M: 3.3
110	20 17 04	茨城県北部 茨城県 2 高萩市安良川*=2.1 日立市十王町友部*=2.0 高萩市下手綱*=1.9 1 日立市助川小学校*=1.1 日立市役所*=1.1 北茨城市磯原町*=0.9 常陸太田市大中町*=0.5 常陸太田市町屋町=0.5	37° 06.9' N	141° 08.0' E	36km	M: 3.2
111	20 19 31	福島県沖 福島県 1 檜葉町北田*=0.7	37° 09.4' N	140° 35.8' E	77km	M: 3.2
111	20 19 31	福島県中通り 福島県 1 浅川町浅川*=1.0 玉川村小高*=0.6				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
112	20 22 14	沖縄本島近海 鹿児島県 1 和泊町国頭=1.2 伊仙町伊仙*=0.9 知名町瀬利寛=0.8	27° 19.1' N	128° 52.1' E	31km	M: 3.6
113	21 06 53	根室半島南東沖 北海道 3 根室市落石東*=2.8 根室市牧の内*=2.7 別海町本別海*=2.7 根室市瑛瑠瑠*=2.7 標津町北2条*=2.5 根室市厚床*=2.5 2 別海町常盤=2.3 厚岸町尾幌=2.2 別海町西春別*=2.2 根室市豊里=2.2 根室市弥栄=2.1 浜中町霧多布*=2.1 標茶町塘路*=2.0 中標津町丸山*=2.0 釧路市黒金町*=1.9 羅臼町岬町*=1.9 浜中町湯沸=1.7 白糠町西1条*=1.7 鶴居村鶴居東*=1.6 厚岸町真栄*=1.6 中標津町養老牛=1.6 釧路市幸町=1.5 1 釧路町別保*=1.4 釧路市阿寒町中央*=1.3 弟子屈町弟子屈*=1.1 釧路市音別町中園*=1.0 羅臼町緑町*=1.0 弟子屈町美里=0.9 斜里町ウトロ香川*=0.9 足寄町上螺湾=0.9 標津町薫別*=0.8 標茶町川上*=0.8 十勝大樹町東本通*=0.7 標津町古多糠=0.7 広尾町並木通=0.7 弟子屈町サウンチサップ*=0.7 新得町2条*=0.6 十勝清水町南4条=0.6 羅臼町春日=0.6 本別町北2丁目=0.6 斜里町本町=0.5 青森県 1 東通村砂子又沢内*=0.6	43° 04.0' N	146° 03.1' E	50km	M: 5.1
114	21 07 14	島根県東部 島根県 3 奥出雲町三成*=3.2 2 雲南市大東町大東=2.2 安来市伯太町東母里*=2.2 邑南町瑞穂支所*=2.1 奥出雲町横田*=2.0 雲南市加茂町加茂中*=2.0 雲南市吉田町吉田*=1.7 松江市宍道町昭和*=1.5 雲南市三刀屋町三刀屋*=1.5 1 松江市玉湯町湯町*=1.4 出雲市斐川町莊原*=1.4 雲南市掛合町掛合*=1.4 雲南市木次町里方*=1.4 飯南町頓原*=1.4 島根美郷町粕淵*=1.3 島根美郷町都賀本郷*=1.3 邑南町淀原*=1.2 松江市八雲町西岩坂*=1.2 川本町川本*=1.1 出雲市塩冶有原町*=1.0 邑南町下口羽*=1.0 松江市島根町加賀*=0.8 松江市学園南*=0.8 松江市鹿島町佐陀本郷*=0.8 松江市東出雲町掛屋*=0.7 大田市温泉津町小浜*=0.6 松江市西津田=0.6 出雲市今市町=0.6 出雲市平田町*=0.5 安来市広瀬町広瀬祖父谷丁*=0.5 鳥取県 2 鳥取南部町天萬*=2.0 米子市東町*=1.9 日南町霞*=1.6 鳥取日野町根雨*=1.6 鳥取南部町法勝寺*=1.5 1 米子市淀江町*=1.3 日南町生山*=1.3 日吉津村日吉津*=1.2 米子市博労町=1.1 伯耆町溝口*=1.1 江府町江尾*=1.0 伯耆町吉長*=0.8 境港市東本町=0.8 大山町末長*=0.6 岡山県 2 新見市哲西町矢田*=1.8 新見市唐松*=1.5 高梁市備中町*=1.5 1 高梁市原田南町*=1.1 新見市新見=1.0 真庭市森山下和*=1.0 笠岡市笠岡*=0.9 新見市神郷下神代*=0.9 里庄町里見*=0.9 真庭市下皆部*=0.8 真庭市森山下福田*=0.8 高梁市成羽町*=0.8 高梁市川上町*=0.8 矢掛町矢掛*=0.8 浅口市天草公園=0.8 新見市哲多町本郷*=0.8 真庭市下方*=0.7 新見市千屋実*=0.7 笠岡市殿川*=0.6 新庄村役場*=0.6 真庭市森山上福田*=0.5 岡山北区建部町*=0.5 井原市芳井町*=0.5 総社市清音軽部*=0.5 広島県 2 庄原市高野町*=2.4 庄原市西城町大佐*=1.9 庄原市東城町*=1.5 1 福山市東桜町*=1.4 福山市神辺町*=1.3 三原市円一町=1.1 福山市駅家町*=1.1 神石高原町油木*=1.1 広島三次市君田町*=1.0 大崎上島町中野*=1.0 福山市内海町*=0.9 北広島町都志見=0.9 北広島町有田=0.9 広島安佐北区可部南*=0.9 大竹市小方*=0.9 北広島町豊平郵便局*=0.8 安芸高田市美土里町*=0.8 庄原市西城町熊野=0.7 北広島町川小田*=0.7 広島西区己斐*=0.7 北広島町大朝*=0.7 庄原市比和町*=0.7 廿日市市大野*=0.7 尾道市向島町*=0.7 庄原市中本町*=0.6 広島府中市上下町上下*=0.6 広島三次市十日市中=0.6 広島三次市三次町*=0.6 広島三次市作木町*=0.6 尾道市因島土生町*=0.6 庄原市総領町*=0.6 呉市広*=0.5 福山市新市町*=0.5 神石高原町小島*=0.5 広島三次市吉舎町*=0.5 兵庫県 1 朝来市和田山町枚田=0.6 徳島県 1 徳島三好市池田総合体育館=0.5 香川県 1 観音寺市坂本町=1.0 土庄町甲=0.7 多度津町家中=0.6 愛媛県 1 上島町魚島*=0.9 上島町弓削*=0.9 今治市吉海町*=0.7	35° 11.0' N	133° 05.3' E	12km	M: 3.9
115	22 01 37	宮城県北部 岩手県 1 住田町世田米*=1.4 一関市室根町*=1.2 一関市千厩町*=1.1 釜石市中妻町*=1.1 大船渡市猪川町=0.9 大船渡市大船渡町=0.8 陸前高田市高田町*=0.6 釜石市只越町=0.6 宮城県 1 気仙沼市唐桑町*=1.3 南三陸町志津川=1.2 気仙沼市笹が陣*=0.9 登米市中田町=0.8 石巻市泉町=0.7 栗原市栗駒=0.6 気仙沼市赤岩=0.6 石巻市北上町*=0.6 大崎市鳴子*=0.5	38° 49.9' N	141° 34.7' E	74km	M: 3.7
116	22 04 03	熊本県熊本地方 熊本県 1 菊池市旭志*=0.6	32° 57.9' N	130° 55.1' E	3km	M: 2.0
117	22 05 19	トカラ列島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村小宝島*=1.7	29° 15.2' N	129° 09.0' E	11km	M: 1.8
118	22 05 23	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島*=1.3	29° 15.3' N	129° 12.0' E	11km	M: 1.7
119	22 06 23	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市城辺福北=1.2	24° 21.2' N	125° 23.6' E	29km	M: 3.7
120	22 07 26	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島*=0.9	29° 15.3' N	129° 10.1' E	10km	M: 1.4

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
121	22 17 25	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島*=1.1	29° 15.5' N	129° 07.8' E	9km	M: 1.5
122	22 17 30	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島*=1.2	29° 16.4' N	129° 10.1' E	7km	M: 1.5
123	23 01 31	静岡県伊豆地方 静岡県 1 熱海市網代=0.7	35° 02.9' N	139° 05.2' E	4km	M: 1.9
124	23 01 33	静岡県伊豆地方 静岡県 3 熱海市網代=3.0 2 伊豆市中伊豆グラウンド=2.4 函南町平井*=2.1 伊豆の国市長岡*=2.0 熱海市泉*=1.9 東伊豆町奈良本*=1.8 熱海市中央町*=1.8 長泉町中土狩*=1.8 三島市東本町=1.7 伊豆の国市四日町*=1.7 河津町田中*=1.5 1 伊東市大原=1.4 静岡清水町堂庭*=1.4 三島市大社町*=1.3 伊豆市八幡*=1.1 伊豆の国市田京*=1.1 沼津市高島本町*=1.0 裾野市佐野*=0.9 富士宮市野中*=0.5 神奈川県 2 湯河原町中央=2.4 真鶴町岩*=1.9 1 小田原市久野=0.7 箱根町湯本*=0.6 埼玉県 1 所沢市北有楽町*=0.9 東京都 1 国分寺市本多*=1.0 国分寺市戸倉=0.8	35° 03.8' N	139° 04.8' E	5km	M: 3.7
125	23 02 09	伊豆半島東方沖 静岡県 2 熱海市網代=1.8 1 熱海市泉*=0.9 伊豆市中伊豆グラウンド=0.7 神奈川県 1 湯河原町中央=0.5	35° 03.1' N	139° 05.2' E	4km	M: 2.6
126	23 05 34	伊豆半島東方沖 静岡県 3 熱海市網代=2.9 2 熱海市泉*=2.1 函南町平井*=2.1 熱海市中央町*=2.0 伊豆市中伊豆グラウンド=1.9 三島市東本町=1.5 1 伊豆の国市四日町*=1.4 伊豆の国市長岡*=1.4 長泉町中土狩*=1.3 東伊豆町奈良本*=1.1 三島市大社町*=0.9 静岡清水町堂庭*=0.9 伊豆の国市田京*=0.9 河津町田中*=0.8 伊豆市八幡*=0.8 伊東市大原=0.7 裾野市佐野*=0.6 沼津市高島本町*=0.5 神奈川県 2 湯河原町中央=1.6 1 真鶴町岩*=1.3 東京都 1 国分寺市本多*=0.5	35° 03.8' N	139° 05.1' E	4km	M: 3.3
127	23 09 12	熊本県熊本地方 熊本県 1 菊池市旭志*=0.6	32° 53.0' N	130° 48.7' E	13km	M: 2.2
128	24 00 57	根室半島南東沖 北海道 3 別海町常盤=2.6 別海町西春別*=2.6 根室市落石東*=2.6 2 根室市瑤瑤瑠*=2.3 根室市厚床*=2.2 標茶町塘路*=2.1 浜中町霧多布*=1.9 根室市牧の内*=1.9 別海町本別海*=1.7 鶴居村鶴居東*=1.5 標津町北2条*=1.5 1 釧路市黒金町*=1.4 厚岸町尾幌=1.4 釧路町別保*=1.3 釧路市音別町中園*=1.3 中標津町丸山*=1.3 中標津町養老牛=1.2 根室市弥栄=1.2 根室市豊里=1.2 厚岸町真栄*=1.1 白糠町西1条*=1.1 釧路市阿寒町中央*=1.1 標茶町川上*=1.0 羅臼町岬町*=1.0 釧路市幸町=1.0 浜中町湯沸=1.0 弟子屈町弟子屈*=0.8 弟子屈町サワチサブ*=0.7 弟子屈町美里=0.7 本別町北2丁目=0.6	43° 15.8' N	145° 46.3' E	94km	M: 4.4
129	24 04 16	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町*=0.5	36° 03.2' N	137° 33.6' E	9km	M: 2.3
130	24 06 33	千葉県東方沖 茨城県 3 水戸市金町=2.9 水戸市千波町*=2.9 神栖市溝口*=2.9 鉾田市汲上*=2.8 潮来市辻*=2.7 鉾田市鉾田=2.6 鉾田市造谷*=2.6 ひたちなか市南神敷台*=2.6 茨城鹿嶋市宮中*=2.5 土浦市常名=2.5 茨城鹿嶋市鉢形=2.5 2 水戸市内原町*=2.4 笠間市石井*=2.4 石岡市柿岡=2.4 小美玉市上玉里*=2.3 日立市助川小学校*=2.3 行方市山田*=2.3 稲敷市役所*=2.1 かすみがうら市大和田*=2.1 神栖市波崎*=2.1 小美玉市堅倉*=2.1 行方市玉造*=2.1 美浦村受領*=2.1 結城市結城*=2.0 潮来市堀之内=2.0 行方市麻生*=2.0 ひたちなか市東石川*=2.0 稲敷市江戸崎甲*=2.0 東海村東海*=2.0 土浦市藤沢*=2.0 城里町石塚*=2.0 笠間市中央*=1.9 つくば市研究学園*=1.9 筑西市門井*=1.9 桜川市羽田*=1.9 茨城町小堤*=1.9 石岡市若宮*=1.9 笠間市笠間*=1.8 つくば市天王台*=1.8 日立市役所*=1.8 稲敷市結佐*=1.8 筑西市舟生=1.8 那珂市福田*=1.8 かすみがうら市上土田*=1.8 常陸大宮市北町*=1.7 桜川市岩瀬*=1.7 つくば市小荃*=1.7 常総市新石下*=1.7 常陸太田市金井町*=1.7 稲敷市須賀津*=1.7 笠間市下郷*=1.6 下妻市鬼怒*=1.6 境町旭町*=1.6 牛久市城中町*=1.6 石岡市八郷*=1.5 茨城古河市仁連*=1.5 稲敷市柴崎*=1.5 下妻市本城町*=1.5 常陸大宮市山方*=1.5 牛久市中央*=1.5 筑西市下山*=1.5 桜川市真壁*=1.5 ひたちなか市山ノ上町=1.5 1 常陸太田市町屋町=1.4 大洗町磯浜町*=1.4 龍ヶ崎市役所*=1.4 取手市寺田*=1.4 阿見町中央*=1.4 五霞町小福田*=1.4 筑西市海老ヶ島*=1.4 高萩市下手綱*=1.3 那珂市瓜連*=1.3 取手市井野*=1.3 常総市水海道諏訪町*=1.3 つくばみらい市加藤*=1.2 坂東市岩井=1.2 坂東市山*=1.2 八千代町菅谷*=1.2 常陸大宮市野口*=1.2 高萩市安良川*=1.1 城里町阿波山*=1.1 日立市十王町友部*=1.1 常陸大宮市中富町=1.1 常陸太田市高柿町*=1.1 河内町源清田*=1.1	35° 52.7' N	140° 53.9' E	17km	M: 4.6

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>千葉県</p> <p>3 取手市藤代*=1.0 つくばみらい市福田*=1.0 茨城古河市下大野*=0.9 常陸大宮市上小瀬*=0.8 大子町池田*=0.8 城里町徳蔵*=0.8 守谷市大柏*=0.8 利根町布川=0.8 常陸太田市町田町*=0.7 常陸大宮市高部*=0.5</p> <p>2 銚子市川口町=2.5</p> <p>2 香取市仁良*=2.3 銚子市若宮町*=2.1 旭市南堀之内*=2.1 香取市役所*=2.1 東金市日吉台*=2.0 匝瑳市八日市場ハ*=2.0 成田市花崎町=2.0 旭市萩園*=1.9 野田市鶴奉*=1.9 旭市ニ*=1.8 多古町多古=1.8 芝山町小池*=1.8 香取市羽根川*=1.8 香取市佐原平田=1.7 山武市松尾町富士見台=1.7 山武市埴谷*=1.7 千葉若葉区小倉台*=1.7 成田市中台*=1.7 香取市岩部*=1.6 東庄町笹川*=1.6 大網白里市大網*=1.6 一宮町一宮=1.6 香取市佐原諏訪台*=1.6 成田市松子*=1.6 八千代市大和田新田*=1.6 八街市八街*=1.6 東金市東岩崎*=1.5 旭市高生*=1.5 横芝光町宮川*=1.5 山武市殿台*=1.5 山武市蓮沼ハ*=1.5 九十九里町片貝*=1.5 匝瑳市今泉*=1.5</p> <p>1 東金市東新宿=1.4 横芝光町栗山*=1.4 山武市松尾町五反田*=1.4 千葉花見川区花島町*=1.4 千葉佐倉市海隣寺町*=1.4 印西市笠神*=1.4 白井市復*=1.4 栄町安食台*=1.4 神崎町神崎本宿*=1.3 白子町関*=1.3 長南町長南*=1.3 千葉中央区千葉市役所*=1.3 千葉稲毛区園生町*=1.3 千葉美浜区ひび野=1.3 四街道市鹿渡*=1.3 千葉美浜区稲毛海岸*=1.2 船橋市湊町*=1.2 成田国際空港=1.2 成田市猿山*=1.2 柏市旭町=1.2 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.2 印西市大森*=1.2 印西市美瀬*=1.2 野田市東宝珠花*=1.1 成田市役所*=1.1 柏市柏*=1.1 柏市大島田*=1.1 市原市姉崎*=1.1 千葉中央区中央港=1.1 銚子市天王台=1.1 いすみ市国府台*=1.1 松戸市西馬橋*=1.0 千葉緑区おゆみ野*=1.0 習志野市鷺沼*=0.9 我孫子市我孫子*=0.9 君津市久留里市場*=0.9 浦安市日の出=0.8 大多喜町大多喜*=0.8 酒々井町中央台*=0.7 長柄町大津倉=0.5 勝浦市新宮*=0.5</p> <p>栃木県</p> <p>2 真岡市石島*=2.1 小山市神鳥谷*=1.8 下野市田中*=1.8 下野市小金井*=1.7 市貝町市塙*=1.6 益子町益子=1.5</p> <p>1 佐野市葛生東*=1.4 真岡市荒町*=1.4 茂木町茂木*=1.4 芳賀町祖母井*=1.4 野木町丸林*=1.4 栃木市岩舟町静*=1.3 鹿沼市晃望台*=1.3 真岡市田町*=1.3 宇都宮市明保野町=1.3 那須烏山市中央=1.3 宇都宮市中里町*=1.2 栃木市旭町=1.2 栃木市大平町富田*=1.2 高根沢町石末*=1.2 下野市石橋*=1.2 鹿沼市今宮町*=1.2 小山市中央町*=1.0 大田原市湯津上*=0.9 栃木市藤岡町藤岡*=0.9 栃木市西方町本城*=0.9 那須烏山市大金*=0.9 栃木那珂川町馬頭*=0.9 佐野市田沼町*=0.9 佐野市亀井町*=0.9 栃木市万町*=0.8 上三川町しらさぎ*=0.8 栃木那珂川町小川*=0.7 茂木町北高岡天矢場*=0.7 栃木さくら市喜連川*=0.7 宇都宮市塙田*=0.6 日光市中鉢石町*=0.6 日光市芹沼*=0.5 宇都宮市旭*=0.5 日光市鬼怒川温泉大原*=0.5</p> <p>埼玉県</p> <p>2 加須市大利根*=1.6</p> <p>1 久喜市下早見=1.4 春日部市谷原新田*=1.3 春日部市粕壁*=1.2 幸手市東*=1.2 宮代町笠原*=1.2 春日部市金崎*=1.1 吉川市吉川*=1.1 久喜市青葉*=1.0 川口市青木分室*=0.9 越谷市越ヶ谷*=0.9 さいたま南区別所*=0.9 さいたま岩槻区本丸*=0.9 白岡市千駄野*=0.9 鴻巣市川里*=0.9 加須市北川辺*=0.8 鴻巣市中央*=0.8 久喜市栗橋*=0.8 戸田市上戸田*=0.8 和光市広沢*=0.8 杉戸町清地*=0.8 加須市騎西*=0.8 久喜市菖蒲*=0.7 桶川市上日出谷*=0.7 三郷市幸房*=0.7 さいたま北区宮原*=0.7 さいたま見沼区堀崎*=0.7 草加市高砂*=0.7 さいたま緑区中尾*=0.7 蕨市中央*=0.7 鴻巣市吹上富士見*=0.6 上尾市本町*=0.6 北本市本町*=0.6 さいたま浦和区高砂=0.6 久喜市鷲宮*=0.6 八潮市中央*=0.5 蓮田市黒浜*=0.5 熊谷市大里*=0.5</p> <p>福島県</p> <p>1 玉川村小高*=1.1 白河市東*=0.9 棚倉町棚倉中居野=0.8 白河市新白河*=0.8 浅川町浅川*=0.7 泉崎村泉崎*=0.7 天栄村下松本*=0.5 矢祭町戸塚*=0.5 矢祭町東館*=0.5 白河市郭内=0.5</p> <p>群馬県</p> <p>1 渋川市赤城町*=1.1 沼田市西倉内町=0.8 沼田市利根町*=0.8 桐生市黒保根町*=0.8 邑楽町中野*=0.6 沼田市白沢町*=0.5 前橋市富士見町*=0.5 千代田町赤岩*=0.5</p> <p>東京都</p> <p>1 東京江戸川区中央=0.9 東京文京区本郷*=0.8 東京渋谷区本町*=0.8 東京足立区神明南*=0.8 東京千代田区大手町=0.7 東京北区西ヶ原*=0.7 東京葛飾区立石*=0.7 東京江戸川区船堀*=0.7 東京杉並区高井戸*=0.6 東京北区赤羽南*=0.6 東京荒川区東尾久*=0.6 東京板橋区相生町*=0.6 東京足立区伊興*=0.6 東京品川区平塚*=0.5 東京江戸川区鹿骨*=0.5 町田市中町*=0.5</p> <p>神奈川県</p> <p>1 川崎市崎区宮前町*=0.5</p>				
131	24 07 05	和歌山県北部 和歌山県	34° 02.3' N	135° 13.8' E	6km	M: 2.3
		1 湯浅町青木*=0.9 有田川町下津野*=0.7				
132	24 15 47	父島近海 東京都	27° 16.5' N	142° 22.4' E	48km	M: 4.3
		1 小笠原村父島三日月山=0.5				
133	24 20 26	和歌山県北部 和歌山県	34° 13.2' N	135° 13.4' E	5km	M: 2.3
		1 和歌山市一番丁*=1.0				
134	25 00 12	千葉県東方沖 千葉県	35° 38.5' N	140° 40.6' E	51km	M: 4.4
		<p>3 旭市南堀之内*=3.0 香取市仁良*=2.7 匝瑳市八日市場ハ*=2.6 匝瑳市今泉*=2.5</p> <p>2 山武市松尾町富士見台=2.4 香取市役所*=2.3 旭市高生*=2.3 山武市蓮沼ハ*=2.3 成田市花崎町=2.3 山武市殿台*=2.2 横芝光町栗山*=2.2 山武市埴谷*=2.2 芝山町小池*=2.1 山武市松尾町五反田*=2.1 旭市ニ*=2.1 旭市萩園*=2.0 多古町多古=2.0 九十九里町片貝*=2.0 東金市日吉台*=2.0 横芝光町宮川*=2.0 成田市松子*=2.0 香取市羽根川*=1.9 香取市岩部*=1.8 香取市佐原平田=1.8 香取市佐原諏訪台*=1.8 一宮町一宮=1.8 東庄町笹川*=1.7 成田国際空港=1.7 東金市東新宿=1.7 大網白里市大網*=1.6 成田市役所*=1.6 長南町長南*=1.6 神崎町神崎本宿*=1.5 成田市中台*=1.5</p> <p>1 東金市東岩崎*=1.4 市原市姉崎*=1.4 八街市八街*=1.4 印西市笠神*=1.4 銚子市若宮町*=1.3 長柄町桜谷*=1.3 千葉佐倉市海隣寺町*=1.3 栄町安食台*=1.3 千葉若葉区小倉台*=1.2 印西市大森*=1.2 成田市猿山*=1.2 白子町関*=1.2 いすみ市国府台*=1.2 長生村本郷*=1.1</p>				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
135	25 02 13	<p>八千代市大和田新田*=1.1 四街道市鹿渡*=1.1 千葉中央区中央港=1.1 千葉中央区千葉市役所*=1.1 茂原市道表*=1.1 野田市鶴奉*=1.0 長柄町大津倉=1.0 市原市国分寺台中央*=1.0 睦沢町下之郷*=1.0 千葉花見川区花島町*=1.0 千葉稲毛区園生町*=1.0 銚子市川口町=1.0 千葉緑区おゆみ野*=1.0 千葉美浜区ひび野=1.0 印西市美瀬*=0.9 酒々井町中央台*=0.9 白井市復*=0.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=0.9 大多喜町大多喜*=0.9 千葉美浜区稲毛海岸*=0.7 勝浦市墨名=0.7 君津市久留里市場*=0.7</p> <p>茨城県 2 稲敷市結佐*=2.4 潮来市辻*=2.0 稲敷市須賀津*=2.0 稲敷市役所*=1.9 神栖市溝口*=1.9 茨城鹿嶋市鉢形=1.8 行方市麻生*=1.5 潮来市堀之内=1.5</p> <p>1 河内町源清田*=1.4 稲敷市柴崎*=1.4 小美玉市上玉里*=1.3 稲敷市江戸崎甲*=1.3 茨城鹿嶋市宮中*=1.3 鉾田市汲上*=1.3 笠間市石井*=1.2 笠間市中央*=1.1 かすみがうら市上土田*=1.1 神栖市波崎*=1.1 龍ヶ崎市役所*=1.0 土浦市常名=1.0 美浦村受領*=1.0 石岡市柿岡=0.9 利根町布川=0.9 東海村東海*=0.9 行方市山田*=0.9 取手市寺田*=0.8 筑西市舟生=0.8 小美玉市堅倉*=0.8 かすみがうら市大和田*=0.8 牛久市城中町*=0.7 石岡市若宮*=0.7 鉾田市鉾田=0.7 つくば市天王台*=0.6 坂東市岩井=0.5</p> <p>栃木県 1 益子町益子=0.5</p> <p>埼玉県 1 宮代町笠原*=0.7 春日部市谷原新田*=0.6 さいたま緑区中尾*=0.6 春日部市金崎*=0.5</p> <p>東京都 1 東京足立区神明南*=0.6 東京江戸川区中央=0.5</p> <p>福島県沖 福島県 4 檜葉町北田*=3.8 3 川内村上川内早渡*=3.1 川内村上川内小山平*=2.8 田村市滝根町*=2.6 富岡町本岡*=2.6 いわき市三和町=2.5 2 田村市大越町*=2.4 田村市都路町*=2.4 福島広野町下北迫大谷地原*=2.3 川内村下川内=2.3 田村市常葉町*=2.2 大熊町野上*=2.2 小野町小野新町*=2.1 浪江町幾世橋=2.1 小野町中通*=2.0 田村市船引町=1.9 平田村永田*=1.8 いわき市平四ツ波*=1.8 玉川村小高*=1.8 いわき市平梅本*=1.7 福島広野町下北迫苗代替*=1.6 二本松市針道*=1.6 須賀川市八幡山*=1.5 本宮市本宮*=1.5 二本松市金色*=1.5 1 郡山市開成*=1.4 二本松市油井*=1.4 浅川町浅川*=1.4 いわき市小名浜=1.4 葛尾村落合落合*=1.4 白河市新白河*=1.3 須賀川市岩瀬支所*=1.3 郡山市朝日=1.3 鏡石町不時沼*=1.2 川俣町樋ノ口*=1.2 福島伊達市霊山町*=1.1 須賀川市牛袋町*=1.1 大玉村玉井*=1.1 三春町大町*=1.0 天栄村下松本*=1.0 福島市飯野町*=1.0 古殿町松川新桑原*=1.0 飯館村伊丹沢*=1.0 喜多方市塩川町*=1.0 いわき市錦町*=0.9 石川町下泉*=0.9 本宮市白岩*=0.9 棚倉町棚倉中居野=0.9 郡山市湖南町*=0.8 南相馬市原町区高見町*=0.8 白河市郭内=0.8 南相馬市鹿島区栢窪=0.7 福島伊達市月館町*=0.7 南相馬市鹿島区西町*=0.7 南相馬市原町区三島町=0.7 福島伊達市梁川町*=0.6 福島市五老内町*=0.6 相馬市中村*=0.6 新地町谷地小屋*=0.5 大玉村曲藤=0.5 下郷町高岡*=0.5 古殿町松川横川=0.5 矢祭町戸塚*=0.5 福島市桜木町*=0.5</p> <p>宮城県 1 岩沼市桜*=0.7</p> <p>茨城県 1 笠間市石井*=0.7 日立市助川小学校*=0.6</p> <p>栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.8</p>	37° 07.7' N	141° 08.4' E	29km	M: 4.2
136	25 04 47	<p>茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.7</p>	36° 36.1' N	140° 58.4' E	47km	M: 2.8
137	25 08 09	<p>茨城県沖 茨城県 2 日立市助川小学校*=1.8 1 日立市役所*=1.2 水戸市内原町*=1.0 高萩市安良川*=0.9 東海村東海*=0.8 ひたちなか市南神敷台*=0.6 日立市十王町友部*=0.6 笠間市石井*=0.6 筑西市門井*=0.5 土浦市常名=0.5</p> <p>栃木県 1 小山市神鳥谷*=0.8</p>	36° 35.9' N	140° 51.3' E	19km	M: 3.6
138	25 11 51	<p>茨城県南部 茨城県 1 筑西市海老ヶ島*=0.7 桜川市羽田*=0.6 坂東市山*=0.6 笠間市下郷*=0.6 石岡市柿岡=0.5</p> <p>栃木県 1 下野市田中*=0.8 佐野市亀井町*=0.7 栃木市藤岡町藤岡*=0.6 栃木市岩舟町静*=0.6 栃木市旭町=0.5</p> <p>埼玉県 1 宮代町笠原*=0.5</p>	36° 03.9' N	139° 50.6' E	44km	M: 3.2
139	25 15 41	<p>山梨県中・西部 山梨県 1 丹波山村丹波*=0.6</p>	35° 51.9' N	138° 46.5' E	12km	M: 2.4
140	25 16 17	<p>青森県三八上北地方 青森県 1 三戸町在府小路町*=1.0 青森南部町平*=0.9</p>	40° 23.2' N	141° 15.5' E	8km	M: 2.2
141	26 05 12	<p>茨城県北部 茨城県 1 日立市十王町友部*=0.8 日立市助川小学校*=0.6</p>	36° 41.8' N	140° 38.7' E	10km	M: 3.3
142	26 06 18	<p>薩摩半島西方沖 鹿児島県 1 鹿児島市喜入町*=0.8 薩摩川内市上館町*=0.5</p>	31° 52.2' N	129° 13.9' E	12km	M: 3.8
143	26 12 48	<p>岩手県沿岸北部 岩手県 1 葛巻町役場*=0.7 葛巻町消防分署*=0.5</p>	40° 04.7' N	141° 37.1' E	71km	M: 3.3

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
144	26 13 36	伊予灘 山口県 1 周防大島町東和総合支所*0.8	33° 40.6' N	132° 15.6' E	49km	M: 3.2
145	26 19 38	千葉県南東沖 千葉県 静岡県 1 南房総市岩糸*0.9 南房総市白浜町白浜*0.8 館山市長須賀=0.6 館山市北条*0.6 1 東伊豆町奈良本*0.6	34° 54.7' N	139° 54.3' E	83km	M: 3.6
146	26 20 37	宮城県沖 宮城県 3 女川町女川浜*2.9 2 仙台若林区遠見塚*2.4 石巻市桃生町*2.4 石巻市北上町*2.3 宮城川崎町前川*2.3 仙台宮城野区苦竹*2.3 名取市増田*2.3 亙理町下小路*2.2 大衡村大衡*2.2 仙台宮城野区五輪*2.2 岩沼市桜*2.2 塩竈市旭町*2.1 東松島市矢本*2.1 仙台空港=2.1 石巻市鮎川浜*2.1 石巻市大街道南*2.1 蔵王町円田*2.1 涌谷町新町裏=2.0 宮城美里町北浦*2.0 大崎市田尻*2.0 仙台泉区将監*2.0 山元町浅生原*2.0 大崎市松山*1.9 角田市角田*1.9 大崎市鹿島台*1.9 栗原市志波姫*1.9 大河原町新南*1.9 栗原市若柳*1.9 松島町高城=1.9 栗原市清水*1.8 宮城美里町木間塚*1.8 富谷町富谷*1.8 大崎市古川三日町=1.8 大崎市古川大崎=1.8 石巻市泉町=1.8 栗原市栗駒=1.7 石巻市前谷地*1.7 仙台青葉区大倉=1.7 仙台青葉区作並*1.7 登米市豊里町*1.7 登米市南方町*1.7 利府町利府*1.7 気仙沼市赤岩=1.7 村田町村田*1.7 柴田町船岡=1.7 栗原市瀬峰*1.7 南三陸町志津川=1.6 大和町吉岡*1.6 大郷町粕川*1.6 栗原市一迫*1.6 石巻市相野谷*1.6 登米市中田町=1.6 色麻町四籠*1.6 気仙沼市笹が陣*1.6 大崎市古川北町*1.6 東松島市小野*1.6 登米市迫町*1.6 七ヶ浜町東宮浜*1.6 仙台青葉区雨宮*1.5 仙台青葉区落合*1.5 石巻市雄勝町*1.5 登米市米山町*1.5 栗原市築館*1.5 白石市亙理町*1.5 栗原市金成*1.5 宮城加美町中新田*1.5 登米市東和町*1.5 1 大崎市鳴子*1.4 多賀城市中央*1.4 南三陸町歌津*1.3 丸森町上滝=1.3 仙台太白区山田*1.3 栗原市花山*1.3 登米市登米町*1.3 登米市津山町*1.3 大崎市三本木*1.2 丸森町鳥屋*1.2 気仙沼市唐桑町*1.2 登米市石越町*1.2 七ヶ宿町関*1.1 栗原市鶯沢*1.1 気仙沼市本吉町西川内=1.0 大崎市岩出山*0.9 宮城加美町小野田*0.9 石巻市大瓜=0.8 気仙沼市本吉町津谷*0.8 岩手県 2 一関市千厩町*2.2 一関市室根町*2.2 一関市藤沢町*2.1 一関市花泉町*1.7 奥州市衣川区*1.5 住田町世田米*1.5 奥州市前沢区*1.5 1 大船渡市大船渡町=1.4 一関市竹山町*1.4 一関市東山町*1.4 奥州市胆沢区*1.4 北上市相去町*1.3 矢巾町南矢幅*1.3 花巻市東和町*1.3 一関市川崎町*1.3 北上市柳原町=1.3 平泉町平泉*1.2 一関市大東町=1.1 奥州市江刺区*1.1 花巻市石鳥谷町*1.0 釜石市中妻町*1.0 盛岡市玉山区薮川*1.0 金ヶ崎町西根*0.9 盛岡市山王町=0.9 遠野市宮守町*0.9 大船渡市猪川町=0.9 盛岡市玉山区渋民*0.8 陸前高田市高田町*0.7 花巻市大迫町=0.7 釜石市只越町=0.7 宮古市区界*0.7 遠野市青笹町*0.6 大船渡市盛町*0.6 奥州市水沢区佐倉河*0.5 奥州市水沢区大鐘町=0.5 福島県 2 福島伊達市霊山町*2.4 相馬市中村*2.4 国見町藤田*2.3 飯館村伊丹沢*2.3 福島伊達市梁川町*2.0 新地町谷地小屋*2.0 二本松市針道*1.9 田村市大越町*1.9 田村市滝根町*1.9 南相馬市鹿島区栞笹=1.9 南相馬市鹿島区西町*1.9 田村市船引町=1.8 福島伊達市前川原*1.8 本宮市本宮*1.8 福島市五老内町*1.8 桑折町東大隅*1.8 川俣町樋ノ口*1.8 福島市桜木町*1.7 二本松市油井*1.7 南相馬市原町区高見町*1.7 福島市松木町=1.6 檜葉町北田*1.6 福島伊達市保原町*1.5 南相馬市原町区三島町=1.5 1 二本松市金色*1.4 玉川村小高*1.4 田村市常葉町*1.4 田村市都路町*1.4 福島伊達市月館町*1.4 本宮市白岩*1.4 福島市飯野町*1.3 須賀川市岩瀬支所*1.3 小野町中通*1.3 小野町小野新町*1.3 富岡町本岡*1.3 浪江町幾世橋=1.3 葛尾村落合落合*1.3 郡山市朝日=1.2 大玉村玉井*1.2 天栄村下松本*1.2 南相馬市原町区本町*1.2 郡山市開成*1.1 平田村永田*1.1 いわき市三和町=1.1 南相馬市小高区*1.1 福島広野町下北迫大谷地原*1.0 川内村下川内=1.0 須賀川市八幡山*1.0 白河市新白河*0.9 鏡石町不時沼*0.9 棚倉町棚倉中居野=0.9 川内村上川内早渡*0.9 大熊町野上*0.9 浅川町浅川*0.9 三春町大町*0.9 二本松市小浜*0.8 白河市大信*0.8 大玉村曲藤=0.7 郡山市湖南町*0.7 石川町下泉*0.7 白河市郭内=0.6 福島広野町下北迫苗代替*0.5 川内村上川内小山平*0.5 いわき市平四ツ波*0.5 青森県 1 階上町道仏*1.0 秋田県 1 大仙市高梨*0.7 大仙市刈和野*0.5 山形県 1 大蔵村清水*1.0 東根市中央*1.0 戸沢村古口*0.9 河北町谷地=0.9 米沢市アルカディア=0.8 天童市老野森*0.7 中山町長崎*0.7 米沢市林泉寺*0.7 舟形町船形*0.7 河北町役場*0.6 茨城県 1 日立市役所*0.9 大子町池田*0.9 笠間市石井*0.8 東海村東海*0.8 日立市助川小学校*0.7 常陸大宮市山方*0.7 水戸市内原町*0.6 土浦市常名=0.5	38° 15.9' N	141° 52.9' E	51km	M: 4.5
147	27 10 12	伊豆半島東方沖 静岡県 2 熱海市網代=1.8 1 伊豆市中伊豆グラウンド=0.9 函南町平井*0.7 東伊豆町奈良本*0.6 神奈川県 1 湯河原町中央=0.7	35° 03.7' N	139° 05.0' E	5km	M: 2.7
148	27 13 21	紀伊水道 和歌山県 1 和歌山市一番丁*0.9 和歌山市男野芝丁=0.6	34° 14.7' N	135° 05.9' E	7km	M: 2.9
149	27 21 27	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*0.6	36° 38.2' N	140° 32.5' E	9km	M: 2.3

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
150	27 21 53	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*1.2 日立市十王町友部*0.6	36° 44.5' N	140° 34.8' E	9km	M: 3.0
151	28 19 34	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市城辺福北=0.8 宮古島市伊良部国仲=0.5 宮古島市伊良部長浜*0.5	24° 44.1' N	125° 24.7' E	45km	M: 3.5
152	28 20 53	和歌山県南部 三重県 奈良県 和歌山県 1 尾鷲市南浦*1.1 紀宝町神内*0.8 熊野市紀和町板屋*0.5 尾鷲市南陽町=0.5 1 野迫川村北股*0.9 天川村洞川=0.9 吉野町上市*0.8 宇陀市大宇陀迫間*0.8 十津川村小原*0.7 桜井市初瀬=0.7 天川村沢谷*0.6 下北山村寺垣内*0.6 1 湯浅町青木*1.0 日高川町川原河*0.9 田辺市中辺路町栗栖川*0.9 白浜町日置*0.9 御坊市箇=0.8 日高川町土生*0.7 田辺市中屋敷町*0.7 由良町里*0.7 有田川町清水*0.6 みなべ町土井=0.6 新宮市新宮=0.6 串本町串本*0.6 有田川町下津野*0.5 田辺市中辺路町近露=0.5 太地町役場*0.5	33° 50.9' N	135° 39.3' E	51km	M: 3.6
153	29 03 28	千葉県東方沖 千葉県 1 銚子市若宮町*0.5	35° 42.5' N	140° 54.9' E	13km	M: 2.8
154	29 03 41	紀伊水道 和歌山県 1 和歌山市一番丁*1.3 和歌山市男野芝丁=0.8 有田市初島町*0.5	34° 14.7' N	135° 05.9' E	7km	M: 2.9
155	29 05 47	宮城県沖 岩手県 宮城県 福島県 1 一関市千厩町*0.5 1 石巻市北上町*1.4 石巻市大街道南*1.2 女川町女川浜*1.2 石巻市泉町=1.1 石巻市鮎川浜*1.0 石巻市桃生町*1.0 東松島市矢本*1.0 岩沼市桜*1.0 涌谷町新町裏=0.9 宮城川崎町前川*0.9 宮城美里町北浦*0.9 名取市増田*0.8 石巻市相野谷*0.7 蔵王町円田*0.7 松島町高城=0.5 気仙沼市唐桑町*0.5 1 檜葉町北田*0.5	38° 14.2' N	141° 58.8' E	44km	M: 4.1
156	29 12 58	沖縄本島近海 鹿児島県 1 知名町瀬利覚=1.3 知名町知名*0.5	27° 25.9' N	128° 37.6' E	44km	M: 3.4
157	29 22 46	宮城県沖 宮城県 1 南三陸町志津川=0.7	38° 18.6' N	142° 08.2' E	36km	M: 3.9
158	30 12 34	茨城県北部 福島県 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 2 矢祭町東館*1.7 1 玉川村小高*1.4 棚倉町棚倉中居野=1.3 泉崎村泉崎*1.1 浅川町浅川*1.1 白河市東*1.1 白河市新白河*1.0 矢祭町戸塚*0.9 鏡石町不時沼*0.7 檜枝岐村上河原*0.6 いわき市錦町*0.5 2 笠間市石井*2.2 東海村東海*2.0 常陸大宮市北町*1.9 大子町池田*1.8 日立市役所*1.8 筑西市門井*1.8 桜川市岩瀬*1.8 桜川市羽田*1.8 水戸市内原町*1.7 笠間市笠間*1.7 城里町石塚*1.7 水戸市金町=1.6 常陸太田市高柿町*1.6 日立市助川小学校*1.6 土浦市常名=1.5 石岡市柿岡=1.5 1 筑西市海老ヶ島*1.4 桜川市真壁*1.4 常陸大宮市上小瀬*1.3 常陸大宮市野口*1.3 城里町阿波山*1.3 水戸市千波町*1.3 常陸大宮市山方*1.3 つくば市天王台*1.1 つくば市研究学園*1.1 ひたちなか市南神敷台*1.1 常陸大宮市中富町=1.1 城里町徳蔵*1.1 笠間市下郷*1.1 小美玉市堅倉*1.1 取手市寺田*1.1 かすみがうら市上土田*1.0 かすみがうら市大和田*1.0 常陸太田市金井町*1.0 笠間市中央*1.0 八千代町菅谷*0.9 常陸太田市中大町*0.9 北茨城市磯原町*0.9 常陸太田市町屋町=0.9 常陸大宮市高部*0.8 常陸太田市町田町*0.8 鉾田市汲上*0.8 石岡市若宮*0.8 筑西市下中山*0.7 坂東市山*0.7 つくば市小莖*0.6 下妻市本城町*0.6 守谷市大柏*0.6 茨城町小堤*0.6 牛久市城中町*0.6 土浦市藤沢*0.6 境町旭町*0.5 結城市結城*0.5 稲敷市江戸崎甲*0.5 行方市麻生*0.5 筑西市舟生=0.5 鉾田市造谷*0.5 2 市貝町市塙*1.8 1 益子町益子=1.4 真岡市田町*1.3 真岡市石島*1.3 茂木町茂木*1.3 那須烏山市中央=1.3 栃木那珂川町馬頭*1.3 芳賀町祖母井*1.2 大田原市湯津上*1.1 宇都宮市中里町*1.0 栃木那珂川町小川*1.0 真岡市荒町*0.9 宇都宮市明保野町=0.8 日光市鬼怒川温泉大原*0.8 下野市田中*0.8 那須烏山市大金*0.7 日光市中鉢石町*0.7 栃木さくら市喜連川*0.7 那須烏山市役所*0.6 那須町寺子*0.6 鹿沼市今宮町*0.5 足利市大正町*0.5 1 桐生市元宿町*0.6 1 春日部市粕壁*0.8 春日部市金崎*0.5 1 野田市鶴奉*1.0 野田市東宝珠花*0.6	36° 27.4' N	140° 36.0' E	55km	M: 3.9
159	30 15 01	沖縄本島近海 鹿児島県 沖縄県 1 与論町茶花*1.4 知名町瀬利覚=0.9 伊仙町伊仙*0.9 与論町麦屋=0.5 1 伊平屋村我喜屋=1.2 伊平屋村役場*1.2 国頭村奥=0.9	27° 09.1' N	128° 16.9' E	16km	M: 4.2
160	30 15 31	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*0.5	36° 28.5' N	141° 08.7' E	45km	M: 3.3
161	30 20 30	和歌山県北部 京都府 1 和東町釜塚*0.6	34° 13.9' N	135° 36.1' E	64km	M: 3.5

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		奈良県 1 宇陀市大宇陀迫間*=0.9 高取町観覚寺*=0.8 桜井市初瀬=0.8 宇陀市菟田野松井*=0.7 香芝市本町*=0.7 御所市役所*=0.6 上牧町上牧*=0.5 広陵町南郷*=0.5 吉野町上市*=0.5 和歌山県 1 橋本市東家*=0.8 田辺市本宮町本宮*=0.8 新宮市熊野川町日足*=0.7 田辺市中辺路町近露=0.6				
162	30 21 44	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町*=1.2	36° 03.2' N	137° 33.5' E	8km	M: 2.7
163	31 02 23	北海道東方沖 北海道 1 根室市落石東*=1.1 根室市瑤瑤瑠*=0.7	43° 40.4' N	147° 44.8' E	9km	M: 4.5
164 (注)	31 13 06 31 13 06	岩手県沖 岩手県沖 青森県 1 階上町道仏*=1.2 五戸町古館=1.2 青森南部町苦米地*=1.0 八戸市内丸*=0.9 おいらせ町中下田*=0.9 七戸町森ノ上*=0.9 八戸市湊町=0.6 三戸町在府小路町*=0.6 岩手県 1 普代村銅屋*=1.4 宮古市田老*=1.2 野田村野田*=1.1 久慈市長内町*=1.0 盛岡市玉山区薮川*=0.8 宮古市五月町*=0.7 久慈市川崎町=0.7 盛岡市玉山区洪民*=0.7 八幡平市田頭*=0.7 宮古市鉾ヶ崎=0.6 久慈市枝成沢=0.6 宮古市川井*=0.5 田野畑村田野畑=0.5 二戸市福岡=0.5 住田町世田米*=0.5	39° 59.7' N 39° 59.3' N	142° 24.5' E 142° 23.2' E	22km 21km	M: 4.4 M: 4.0
165	31 13 26	岩手県沖 青森県 2 五戸町古館=1.5 1 八戸市内丸*=1.3 階上町道仏*=1.3 青森南部町苦米地*=1.1 七戸町森ノ上*=1.0 三戸町在府小路町*=0.9 おいらせ町中下田*=0.9 八戸市湊町=0.9 八戸市南郷*=0.7 岩手県 2 普代村銅屋*=1.6 1 八幡平市田頭*=1.1 宮古市田老*=1.0 野田村野田*=1.0 盛岡市玉山区薮川*=1.0 二戸市浄法寺町*=1.0 一戸町高善寺*=1.0 久慈市長内町*=0.9 田野畑村田野畑=0.9 二戸市福岡=0.8 久慈市川崎町=0.8 田野畑村役場*=0.8 盛岡市玉山区洪民*=0.8 軽米町軽米*=0.8 久慈市枝成沢=0.7 宮古市川井*=0.7 宮古市五月町*=0.7 宮古市茂市*=0.6 岩泉町岩泉*=0.6 九戸村伊保内*=0.6 宮古市鉾ヶ崎=0.5 山田町大沢*=0.5	39° 59.4' N	142° 24.5' E	23km	M: 4.2
166	31 16 42	山梨県東部・富士五湖 山梨県 1 西桂町小沼*=0.5	35° 31.5' N	139° 00.1' E	27km	M: 2.5

●付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <平成27年（2015年）2月～平成28年（2016年）1月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成27年（2015年）											
2月	100	42	8	3		2				155	6日 徳島県南部（震度5強） 17日 岩手県沖（震度5強） 三陸沖の地震活動 （震度4：1回、震度3：1回、震度2：5回、 震度1：5回）
3月	90	33	17	2						142	
4月	85	38	8	2						133	
5月	108	37	10	2	2	2				161	13日 宮城県沖（震度5強） 22日 奄美大島近海（震度5弱） 25日 埼玉県北部（震度5弱） 30日 小笠原諸島西方沖（震度5強） 神奈川県西部の地震活動 （震度2：2回、震度1：19回）
6月	107	38	10	4	1					160	4日 網走地方（震度5弱） 神奈川県西部の地震活動 （震度3：2回、震度2：4回、震度1：10回）
7月	84	36	11	2	1	1				135	10日 岩手県内陸北部（震度5弱） 13日 大分県南部（震度5強） 八丈島近海の地震活動 （震度2：3回、震度1：8回）
8月	97	41	23	4						165	
9月	80	37	11	1	1					130	12日 東京湾（震度5弱）
10月	106	46	12	5						169	鳥取県中部の地震活動 （震度4：3回、震度3：2回、震度2：3回、 震度1：15回）
11月	113	33	13	5						164	薩摩半島西方沖の地震活動 （震度4：1回、震度3：1回、震度2：6回、 震度1：9回）
12月	111	54	13	1						179	熊本県熊本地方の地震活動 （震度3：2回、震度2：5回、震度1：10回）
平成28年（2016年）											
1月	115	35	13	2	2					167	11日 青森県三八上北地方（震度5弱） 14日 浦河沖（震度5弱） 奄美大島近海の地震活動 （震度4：1回、震度2：5回、震度1：6回）
平成28年計	115	35	13	2	2	0	0	0	0	167	
過去1年計	1196	470	149	33	7	5	0	0	0	1860	（平成27年2月～平成28年1月）

注）「記事」欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

●付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード(M)別の月別地震回数 <平成27年(2015年)2月～平成28年(2016年)1月>

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
平成27年(2015年)								
2月	461	93	10	5		569	108	14日 台湾付近 (M6.2) 17日 三陸沖 (M6.9) 20日 三陸沖 (M6.5) 21日 三陸沖 (M6.4) 25日 鳥島近海 (M6.1)
3月	406	73	6			485	79	
4月	371	66	11	3		451	80	20日 与那国島近海 (M6.8) 20日 与那国島近海 (M6.0) 20日 与那国島近海 (M6.4)
5月	360	70	10	3	1	444	84	11日 鳥島近海 (M6.3) 13日 宮城県沖 (M6.8) 30日 小笠原諸島西方沖 (M8.1) 31日 鳥島近海 (M6.6)
6月	359	78	13	1		451	92	23日 小笠原諸島西方沖 (M6.8)
7月	363	85	5	1		454	91	7日 北海道東方沖 (M6.3)
8月	374	64	15	1		454	80	17日 硫黄島近海 (M6.1)
9月	335	92	11	1		439	104	2日 鳥島近海 (M6.1)
10月	373	68	5			446	73	
11月	558	112	12	1	1	684	126	14日 薩摩半島西方沖 (M7.1) 20日 父島近海 (M6.3)
12月	384	69	4			457	73	
平成28年(2016年)								
1月	383	71	6	3		463	80	6日 硫黄島近海 (M6.0) 12日 北海道北西沖 (M6.2) 14日 浦河沖 (M6.7)
平成28年計	383	71	6	3	0	463	80	
過去1年計	4727	941	108	19	2	5797	1070	(平成27年2月～平成28年1月)

注) 日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」欄には主にM6.0以上の地震について記載した。

● 付録 4. 緊急地震速報の提供状況

平成 28 年 1 月に緊急地震速報（警報）を発表した地震は 1 回であった。また、緊急地震速報（予報）を発表した地震の回数は 76 回であった。

平成 28 年 1 月に発表した緊急地震速報（警報）

地震発生日時	震央地名	マグニチュード (M)	最大震度	予想最大震度	警報発表までの経過時間 (秒)
平成 28 年 1 月 14 日 12 時 25 分	浦河沖	6.7	5 弱	5 強	4.0

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（警報）で発表した予想震度の最大値、「警報発表までの経過時間（秒）」は地震検知から緊急地震速報（警報）第 1 報発表までの経過時間（秒）を示す。

震度 5 弱以上を観測し、緊急地震速報（警報）を発表しなかった地震

地震発生日時	震央地名	マグニチュード (M)	最大震度	予想最大震度
平成 28 年 1 月 11 日 15 時 26 分	青森県三八上北地方	4.6	5 弱	4

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（予報）の最終報で発表した予想震度の最大値を示す。

平成 19 年 10 月～平成 28 年 1 月に緊急地震速報を発表した地震の月別回数

年	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 19 年 (2007 年)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成 20 年 (2008 年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成 21 年 (2009 年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成 22 年 (2010 年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成 23 年 (2011 年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成 24 年 (2012 年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成 25 年 (2013 年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成 26 年 (2014 年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成 27 年 (2015 年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成 28 年 (2016 年)	1(76)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1(76)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、() 内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び国立研究開発法人海洋研究開発機構の地震観測データを利用している。

1. 平成 28 年 1 月 14 日 12 時 25 分 浦河沖の地震

発生した地震の概要（暫定値）

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
平成 28 年 1 月 14 日 12 時 25 分 33.3 秒	浦河沖	41° 58.2′	142° 48.0′	52km	6.7	5 弱

緊急地震速報の詳細

(緊急地震速報（警報）は背景が灰色の時に発表)

地震波検知時刻		12 時 25 分 42.4 秒 (えりも)							
提供時刻		経過 時間	震源要素					予測震度	
			震央地名	北緯	東経	深さ	M		
第 1 報	12 時 25 分 46.4 秒	4.0	浦河沖	42.0	142.8	50km	6.7	※1	
第 2 報	12 時 25 分 47.2 秒	4.8	浦河沖	42.0	142.8	50km	6.7	※1	
第 3 報	12 時 25 分 50.6 秒	8.2	浦河沖	42.0	142.8	50km	7.0	※2	
第 4 報	12 時 25 分 53.2 秒	10.8	浦河沖	42.0	142.8	50km	7.0	※2	
第 5 報	12 時 25 分 55.3 秒	12.9	日高地方東部	42.2	142.8	30km	6.2	※3	
第 6 報	12 時 25 分 56.1 秒	13.7	日高地方東部	42.2	142.8	30km	6.6	※4	
第 7 報	12 時 25 分 59.3 秒	16.9	浦河沖	42.1	142.8	40km	6.6	※5	
第 8 報	12 時 25 分 59.4 秒	17.0	浦河沖	42.0	142.8	50km	6.7	※1	
第 9 報	12 時 26 分 00.3 秒	17.9	浦河沖	42.0	142.8	50km	6.7	※1	
第 10 報	12 時 26 分 00.7 秒	18.3	浦河沖	41.9	142.8	50km	6.7	※6	
第 11 報	12 時 26 分 01.4 秒	19.0	浦河沖	41.9	142.8	50km	6.7	※6	
第 12 報	12 時 26 分 12.3 秒	29.9	浦河沖	42.0	142.8	50km	6.7	※1	
第 13 報	12 時 26 分 32.1 秒	49.7	浦河沖	42.0	142.8	50km	6.7	※1	
第 14 報	12 時 26 分 43.2 秒	60.8	浦河沖	42.0	142.8	50km	6.7	※1	

※1 震度 5 弱から 5 強程度 日高地方東部

震度 5 弱程度 日高地方中部

震度 4 から 5 弱程度 十勝地方南部、十勝地方中部、渡島地方東部

震度 4 程度 日高地方西部、胆振地方中東部、十勝地方北部、石狩地方南部、釧路地方中南部、空知地方南部、青森県下北、胆振地方西部、石狩地方中部、空知地方中部、青森県津軽北部、後志地方北部、青森県三八上北

震度 3 から 4 程度 上川地方南部、石狩地方北部

※2 震度 5 強から 6 弱程度 日高地方東部

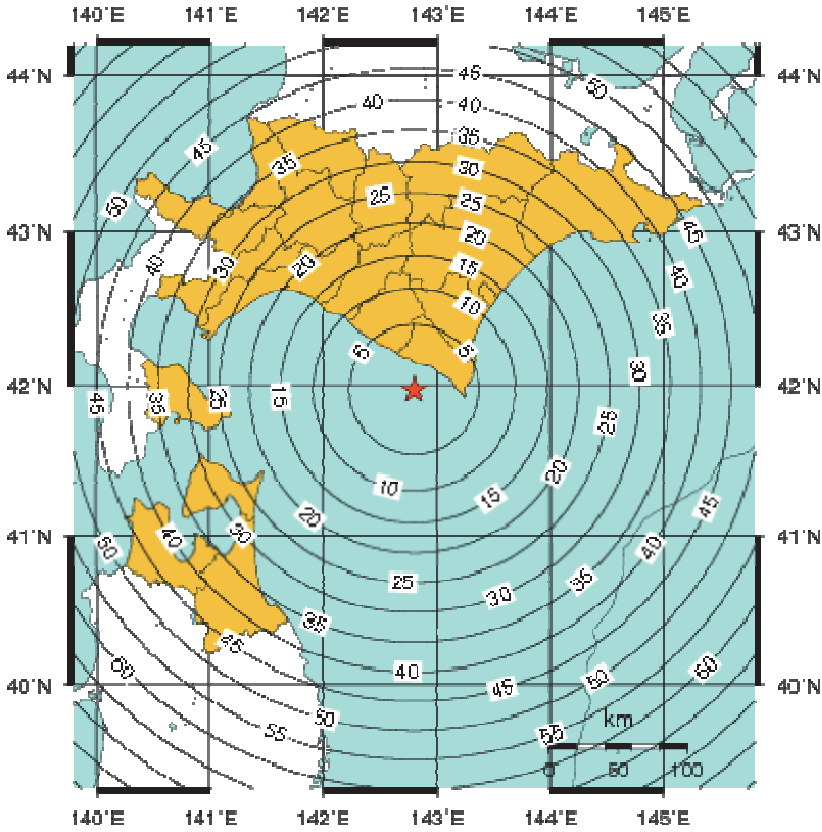
震度 5 弱から 5 強程度 日高地方中部



震度 5 弱程度 十勝地方南部、胆振地方中東部、十勝地方中部、渡島地方東部、青森県下北

震度 4 から 5 弱程度 日高地方西部

震度 4 程度	十勝地方北部、上川地方南部、石狩地方南部、釧路地方中南部、空知地方南部、胆振地方西部、石狩地方中部、石狩地方北部、空知地方中部、後志地方東部、青森 県津軽北部、後志地方北部、青森県三八上北、空知地方北部、渡島地方西部、渡島地方北部、後志地方西部、檜山地方、岩手県沿岸北部、根室地方南部、根室地方北部、岩手県内陸北部
震度 3 から 4 程度	上川地方中部、釧路地方北部、根室地方中部、留萌地方南部、網走地方
※3 震度 5 弱程度	日高地方東部
震度 4 程度	日高地方中部、十勝地方南部、十勝地方中部、日高地方西部、胆振地方中東部、十勝地方北部、石狩地方南部、渡島地方東部、青森県下北
※4 震度 5 強程度	日高地方東部
震度 5 弱程度	日高地方中部
震度 4 から 5 弱程度	十勝地方南部、十勝地方中部
震度 4 程度	日高地方西部、胆振地方中東部、十勝地方北部、石狩地方南部、釧路地方中南部、空知地方南部、渡島地方東部、石狩地方中部、胆振地方西部、空知地方中部、青森県下北、後志地方北部、青森県三八上北
震度 3 から 4 程度	上川地方南部
※5 震度 5 弱から 5 強程度	日高地方東部
震度 5 弱程度	日高地方中部
震度 4 から 5 弱程度	十勝地方南部
震度 4 程度	日高地方西部、胆振地方中東部、十勝地方中部、十勝地方北部、石狩地方南部、釧路地方中南部、空知地方南部、渡島地方東部、石狩地方中部、青森県下北、胆振地方西部、後志地方北部、青森県三八上北
震度 3 から 4 程度	空知地方中部、青森県津軽北部
※6 震度 5 弱から 5 強程度	日高地方東部
震度 4 から 5 弱程度	日高地方中部、渡島地方東部
震度 4 程度	十勝地方南部、日高地方西部、胆振地方中東部、十勝地方中部、十勝地方北部、石狩地方南部、青森県下北、釧路地方中南部、空知地方南部、胆振地方西部、石狩地方中部、青森県津軽北部、青森県三八上北、後志地方北部
震度 3 から 4 程度	空知地方中部

警報第 1 報発表から主要動到達までの時間及び警報発表対象地域の分布図



 緊急地震速報(警報)を発表した地域  : 震源

※緊急地震速報（警報）は、予想した最大震度が 5 弱以上の場合に、震度 4 以上の揺れが予想される地域に対して、強い揺れに警戒していただくよう発表します。

● 付録 5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震

平成 28 年 1 月に長周期地震動階級※ 1 以上を観測した地震は 1 回であった。（平成 27 年 12 月は 0 回）

年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 25 年 (2013 年)			1	4	1	0	0	1	1	1	0	0	9
平成 26 年 (2014 年)	0	0	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	9
平成 27 年 (2015 年)	0	1	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	7
平成 28 年 (2016 年)	1												1

平成 25 年 3 月～平成 28 年 1 月に長周期地震動階級 1 以上を観測した地震の月別回数
（平成 25 年 3 月 28 日の長周期地震動に関する観測情報（試行）※※の提供開始以降）

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級 1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動階級 2	室内で大きな揺れを感じ、物に掴まりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級 3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級 4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成 27 年 12 月号「付録 10. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。

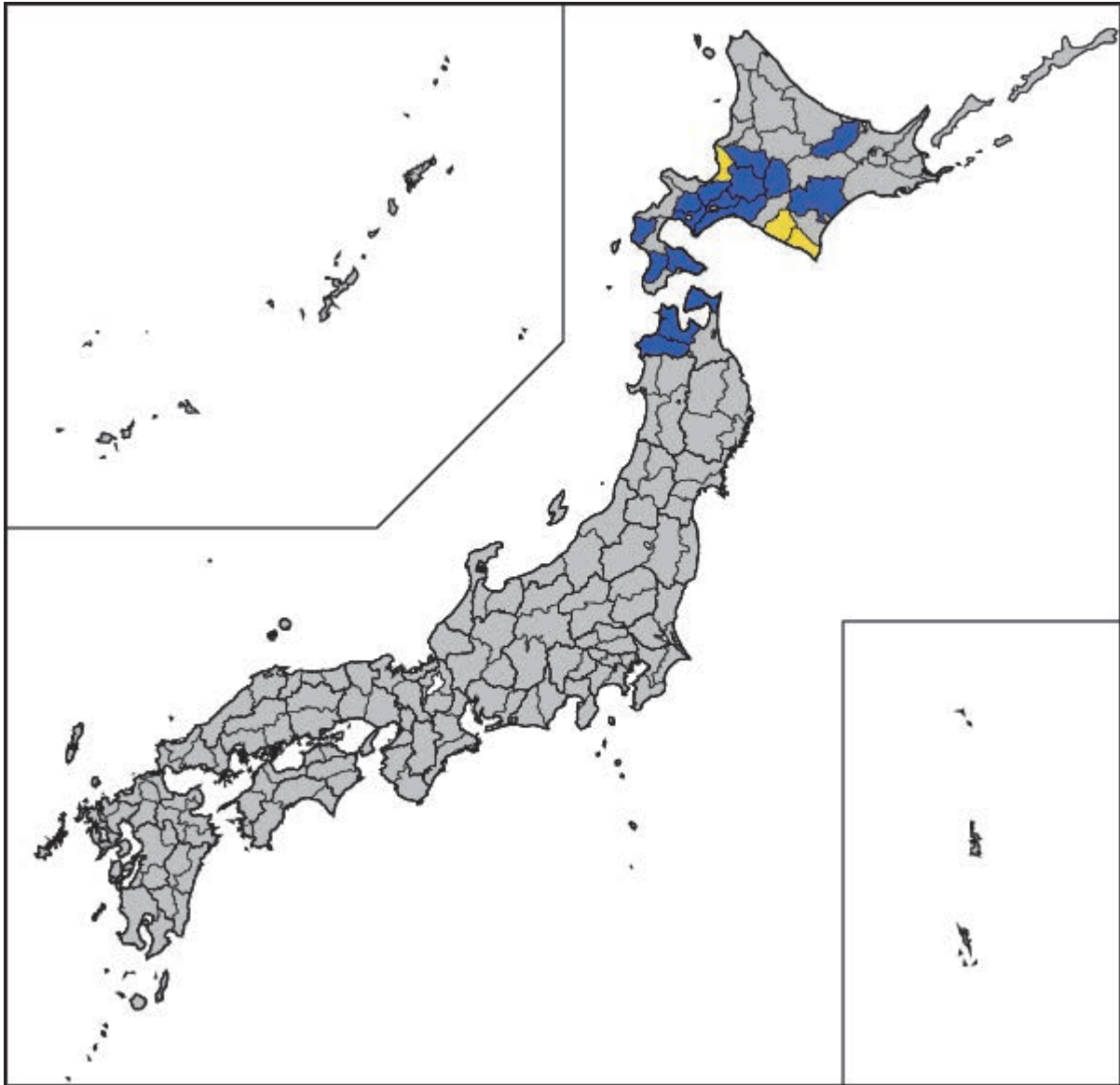
※※ 長周期地震動に関する観測情報（試行）に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成 25 年 4 月号「特集 3. 長周期地震動に関する観測情報（試行）について」を参照。

1. 平成 28 年 1 月 14 日 12 時 25 分 浦河沖の地震

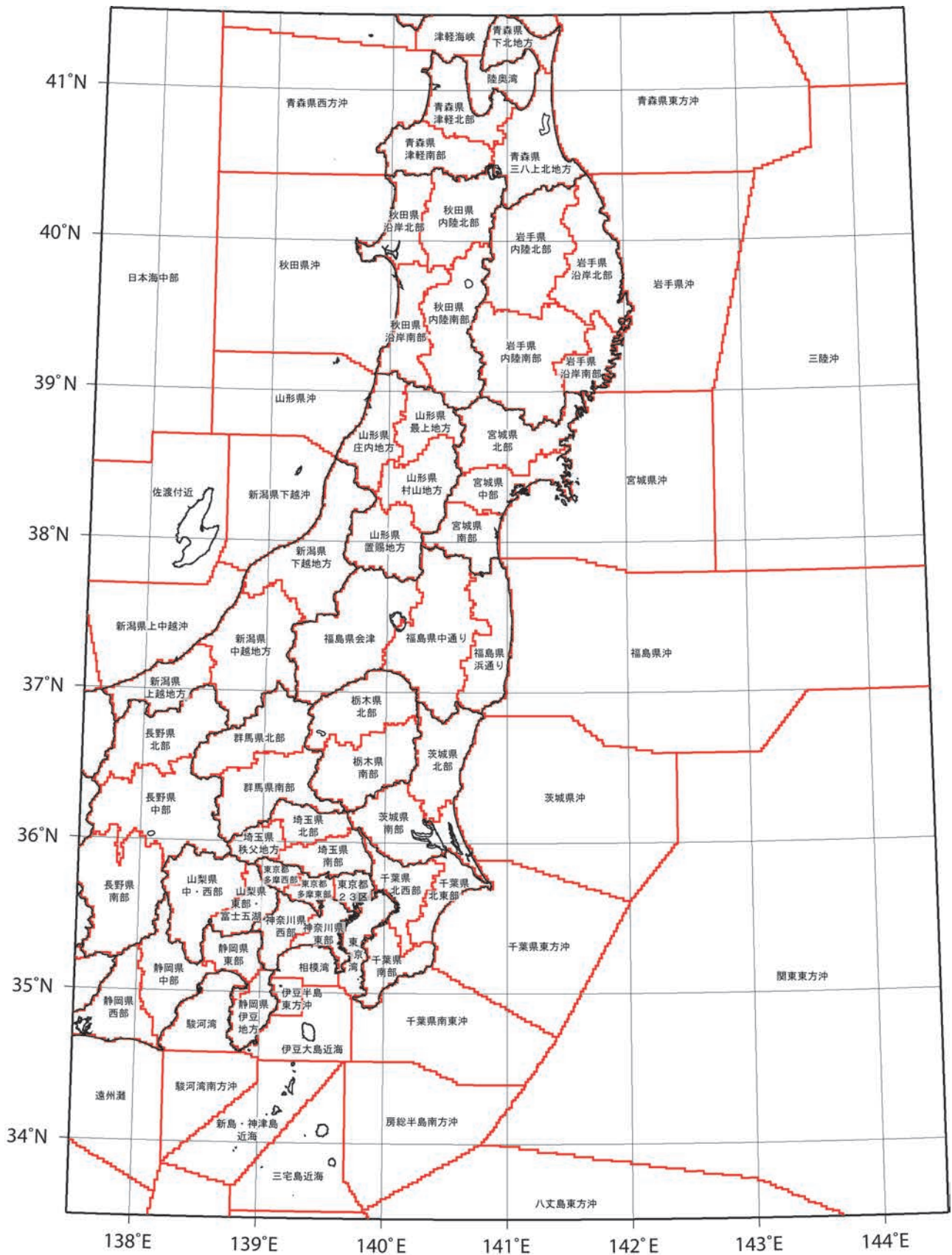
長周期地震動階級 1 以上を観測した地域・観測点

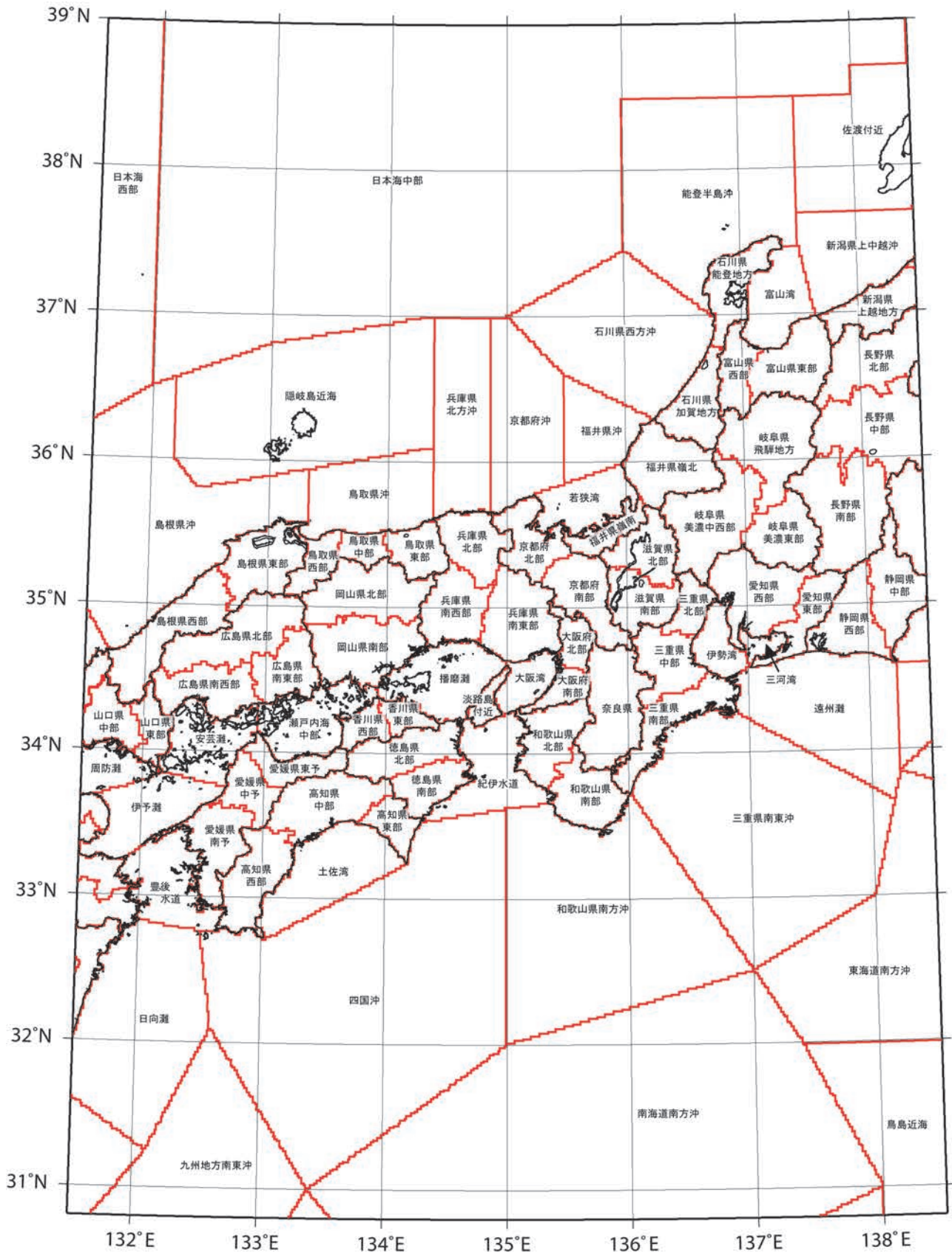
2016 年 1 月 14 日 12 時 25 分 浦河沖 北緯 41 度 58.2 分 東経 142 度 48.0 分 深さ 52km M6.7			
都道府県	地域	地点	長周期地震動階級
北海道	石狩地方北部	石狩市花川	2
北海道	日高地方中部	新ひだか町静内山手町	2
北海道	日高地方中部	新ひだか町静内御園	2
北海道	日高地方東部	浦河町野深	2
北海道	日高地方東部	浦河町潮見	2
北海道	石狩地方北部	石狩市聚富	1
北海道	石狩地方中部	札幌中央区北 2 条	1
北海道	石狩地方中部	江別市高砂町	1
北海道	石狩地方南部	千歳市北栄	1
北海道	石狩地方南部	新千歳空港	1
北海道	石狩地方南部	恵庭市漁平	1
北海道	後志地方東部	倶知安町南 1 条	1
北海道	空知地方中部	滝川市大町	1
北海道	空知地方南部	岩見沢市 5 条	1
北海道	空知地方南部	美唄市西 5 条	1
北海道	渡島地方東部	函館市尾札部町	1
北海道	渡島地方東部	渡島森町御幸町	1
北海道	檜山地方	檜山江差町姥神	1
北海道	胆振地方西部	胆振伊達市梅本	1
北海道	胆振地方中東部	苫小牧市末広町	1
北海道	胆振地方中東部	白老町大町	1
北海道	胆振地方中東部	厚真町鹿沼	1
北海道	上川地方南部	富良野市若松町	1
北海道	北見地方	北見市公園町	1
北海道	十勝地方中部	帯広市東 4 条	1
北海道	十勝地方中部	十勝清水町南 4 条	1
青森県	青森県津軽北部	青森市花園	1
青森県	青森県津軽北部	五所川原市栄町	1
青森県	青森県津軽南部	弘前市和田町	1
青森県	青森県津軽南部	鱒ヶ沢町本町	1
青森県	青森県下北	むつ市金曲	1
青森県	青森県下北	東通村砂子又蒲谷地	1

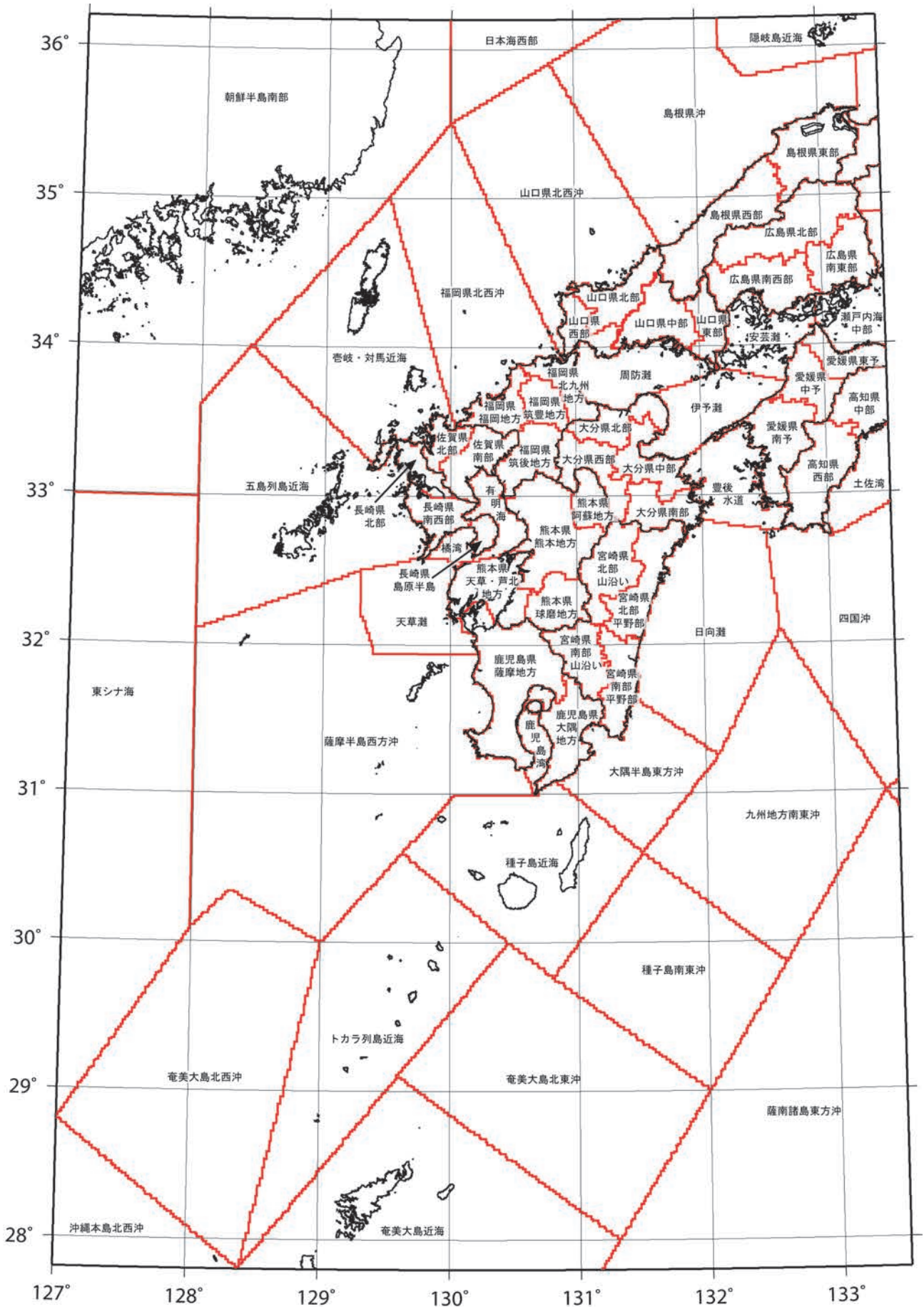
長周期地震動階級 1 以上が観測された地域



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4







● 正誤表

平成 27 年 12 月号の地震・火山月報（防災編）に誤りがありましたので、正誤表を掲載します。

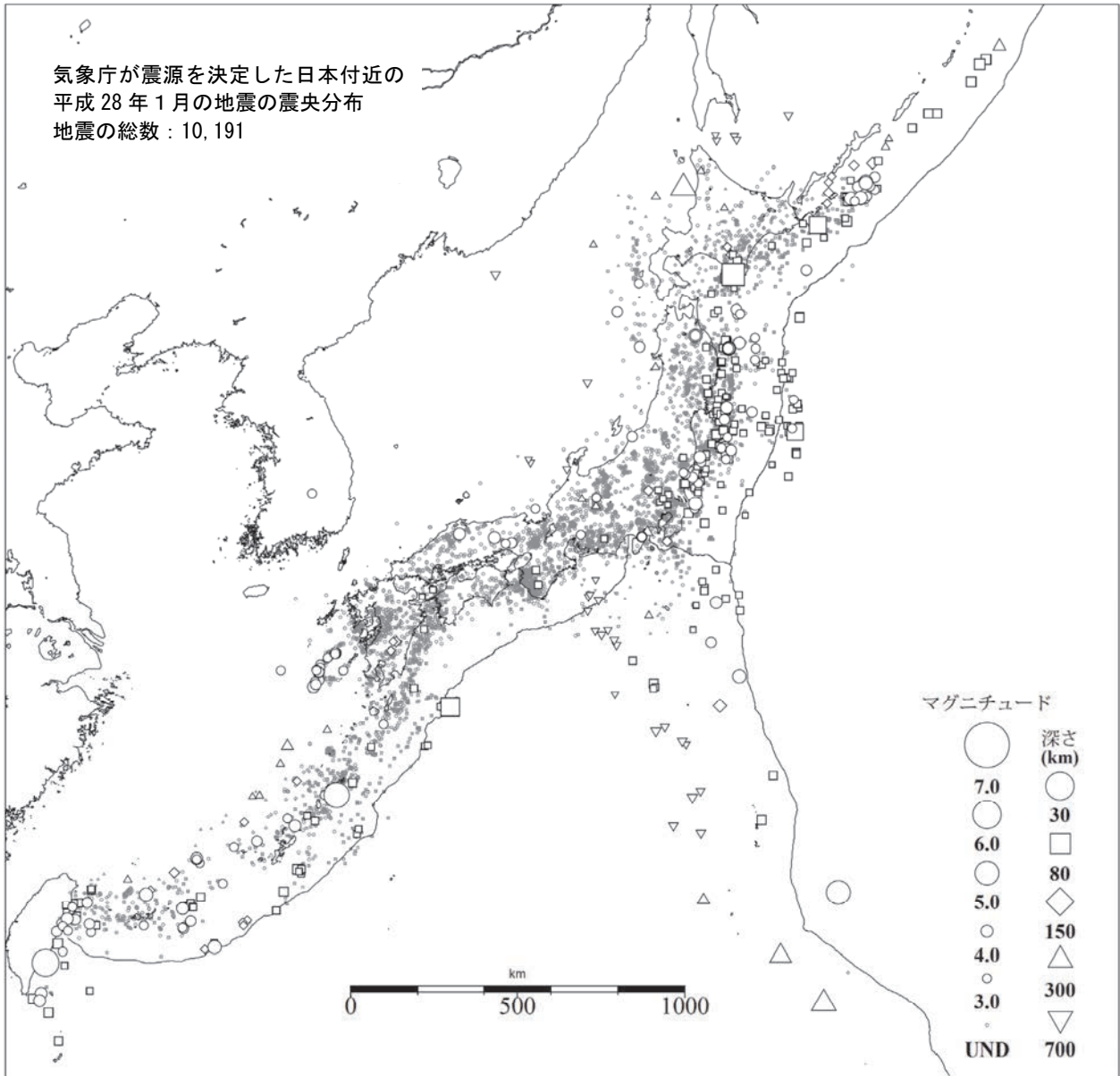
100 ページ

2015 年の日本の主な火山活動

・ 十和田の本文 1 行目～ 2 行目の記述

修正後	3 月に低周波地震が 3 回発生したが、火山性地震は少ない状態で経過した。
修正前	低周波地震が 2 月に 1 回、3 月に 2 回発生した。 低周波地震の発生前後で地震活動に特段の変化はなく、今期間、火山性地震は少ない状態で経過した。

気象庁が震源を決定した日本付近の
平成 28 年 1 月の地震の震央分布
地震の総数 : 10,191



(M3.0以上の地震については白抜きで示す)